

【市民アンケート調査報告書】

令和4年3月
島根県大田市

目次

1	調査の概要	1
1.1	調査の目的	1
1.2	調査の方法	1
1.3	回収結果	1
1.4	報告書の見方	2
2	回答者の属性	3
2.1	性別	3
2.2	年齢	3
2.3	家族構成	4
2.4	18未満の子どもの同居の有無	5
2.5	65歳以上の方の同居の有無	5
2.6	主な職業	6
2.7	居住地	8
2.8	通学・通勤先	10
2.9	住宅	12
3	調査の分析	14
3.1	現在の住環境について	14
(1)	居住年数	14
(2)	大田市の「住み心地」	16
(3)	今後の居住動向	18
(4)	生活環境の変化	24
3.2	施策の「満足度」と「重要度」	30
3.2.1	満足度評価と重要度評価	30
3.2.2	満足度評価	32
(1)	満足度の指標化	33
(2)	27施策の「満足度（加重平均値）」：全体・性別・年齢別・居住地別	35
3.2.3	重要度評価	40
(1)	重要度の指標化	41
(2)	27施策の「重要度（加重平均値）」：全体・性別・年齢別・居住地別	43
3.2.4	満足度と重要度の相関図による分析	48
(1)	施策に関する満足度と重要度の相関図	49
(2)	項目別にみた過年度調査との比較	49
3.2.5	ニーズ度による分析	50
3.2.6	特に重要だと思う施策	52

3.3 大田市の行政について	54
(1) 行政への関心	54
(2) 市民参画	56
(3) 行政サービスのあり方	58
(4) 今後の行財政改革の優先的な取り組み.....	60
3.4 地域活動（まちづくり）について	62
(1) 地域活動の取り組み	62
(2) 地域活動の市民と行政の役割分担.....	66
(3) 市民がまちづくりに参加しやすい仕組みづくり	68
3.5 大田市のまちの将来像について	70
(1) まちの将来像	70
(2) 人口減少、定住対策としての提案.....	72
3.6 大田市の情報発信について	74
(1) 広報情報の取得	74
(2) 「広報おおだ」の閲覧について	76
(3) 「広報おおだ」のページ数について.....	78
(4) 「広報おおだ」に取り上げて欲しい話題ついて.....	80
(5) 市のホームページの利用頻度について.....	82
(6) 市のホームページの内容について.....	84
(7) 市のホームページの情報検索について.....	86
(8) SNS 利用頻度について	89
(9) SNS で取得希望の行政情報について.....	91
(10) SNS で取り上げて欲しい行政情報について	93
3.7 大田市への意見	95
(1) 大田市への愛着や誇り	95
(2) 大田市のセールスポイント（自慢できるところ）	97
(3) 今後の心配ごと	99
(4) 自由意見	101

■参考資料 1 自由意見一覧

■参考資料 2 アンケート調査票

1 調査の概要

1.1 調査の目的

本調査は、第2次大田市総合計画(後期計画)の策定にあたり、多様化する市民ニーズや行政課題を把握するため、本市が推進している施策の満足度並びに重要度を調査し、後期計画策定の基礎資料とすることを目的とする。

1.2 調査の方法

- (1) 調査地域 : 大田市全域
- (2) 調査対象 : 市内在住の満18歳以上の男女
- (3) 標本数 : 約2,000人(配布数 2,011人)
- (4) 抽出方法 : 住民基本台帳から無作為に抽出
- (5) 調査方法 : 郵送配布・郵送回収調査及びしまね電子申請サービス利用による回答
- (6) 調査実施期間 : 令和3年12月24日～令和4年1月20日
- (7) 調査実施機関 : 大田市政策企画部政策企画課

1.3 回収結果

有効回収数 : 828件 (有効回収率 41.2%)

【地区別回収結果】

ブロック	配布数	回収数	回収率
中央	685	287	41.9%
東部	364	137	37.6%
西部	404	166	41.1%
三瓶	99	42	42.4%
高山	88	41	46.6%
温泉津	154	53	34.4%
仁摩	217	90	41.5%
その他	-	4	-
無回答	-	8	-
合計	2,011	828	41.2%

1.4 報告書の見方

- ①集計は、小数点以下第2位を四捨五入している。従って、回答比率の合計は必ずしも100%にならない場合がある。
 - ②2つ以上の回答（複数回答）を要する質問の場合、その回答比率の合計は100%を超える場合がある。
 - ③数表、図表、文中に表す「N」は比率算出上の基数（標本数）である。全標本数ベースを示す「全体」を「N」、該当数ベースを「n」で標記している。
 - ④図表中においては、見やすさを考慮し、回答割合が極端に少ない数値（例：0.0%、0.1%など）は、図中標記から割愛している場合がある。
 - ⑤自由記述の集計においては、1つの意見に複数の内容が記述してある場合、それぞれの項目でカウントしている。
 - ⑥クロス集計の表示は、基本的に「性別」、「年齢」、「居住地域」の3項目としている。
 - ⑦経年変化の比較として以下の調査結果と比較をする。
 - ・大田市総合戦略「地方創生についてのアンケート調査（平成27年）」：総合戦略（H27）
 - ・大田市総合計画・後期計画「大田市市民満足度調査（平成29年）」：前回調査（H29）
- ※本調査結果：今回調査（R3）

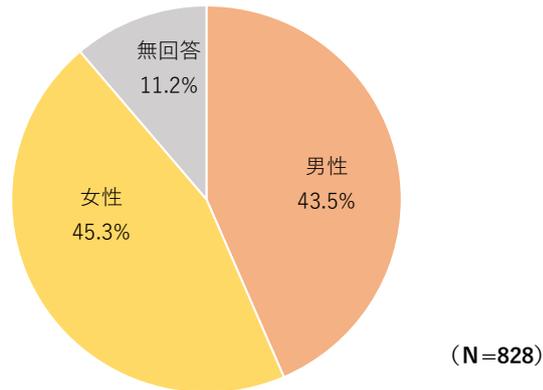
2 回答者の属性

2.1 性別

問1 あなたの性別をお書きください。(回答者本人が記入)

【全体結果】

- 全体では、「女性」が45.3%となっており、「男性」より1.8ポイント高くなっている。



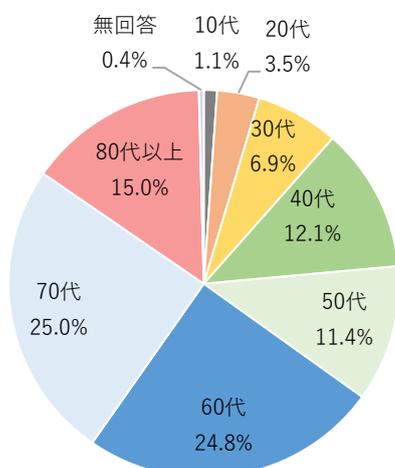
2.2 年齢

問2 あなたの年齢は次のうちどれですか。(1つ選んで○をつけてください)

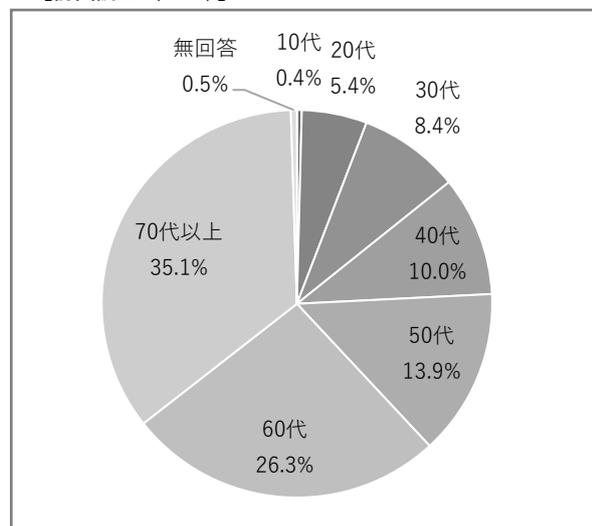
- | | | | |
|--------|--------|--------|----------|
| 1. 10代 | 2. 20代 | 3. 30代 | 4. 40代 |
| 5. 50代 | 6. 60代 | 7. 70代 | 8. 80代以上 |

【全体結果・前回調査比較】

- 全体では、「70代」が25.0%と最も高く、次いで「60代」が24.8%、「80代以上」が15.0%となっており、「60代以上」は、全体の約6割を占めている。
- 前回調査比較では、前回調査から「60代」のポイントは1.5ポイント低くなっているが、「60代以上」については、3.4ポイント高くなっている。



【前回調査 (H29)】



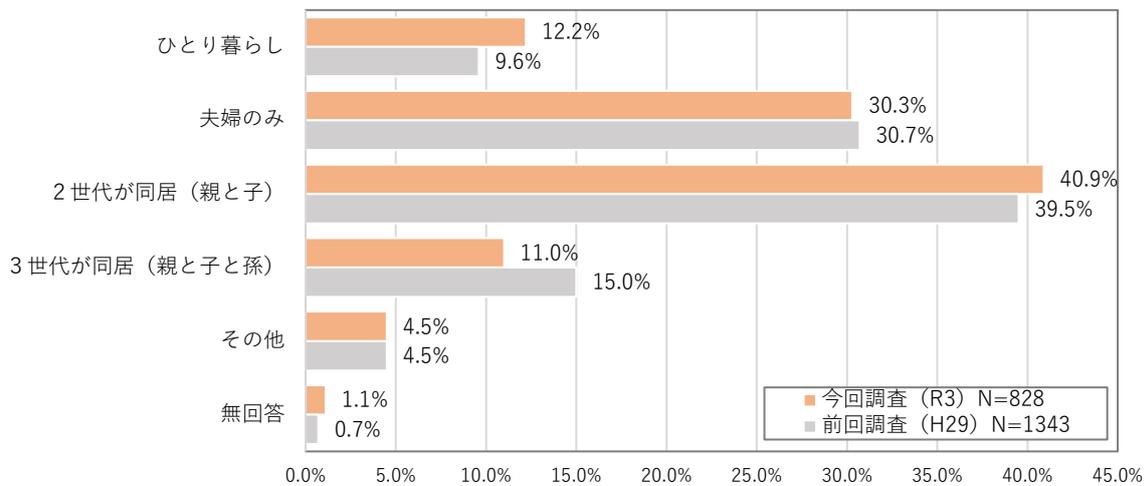
2.3 家族構成

問3 あなたの家族の構成は次のうちどれですか。(1つ選んで○をつけてください)

- | | | |
|------------------|----------|----------------|
| 1. ひとり暮らし | 2. 夫婦のみ | 3. 2世代が同居（親と子） |
| 4. 3世代が同居（親と子と孫） | 5. その他（） | |

【全体結果・前回調査比較】

- **全体**では、「2世代が同居（親と子）」が40.9%と最も高く、全体の約4割を占めている。次いで「夫婦のみ」が30.3%となっている。
- **前回調査比較**では、前回調査から「3世代が同居（親と子と孫）」が4.0ポイント減少し、同居人数は減少傾向となっている。



【家族構成：年齢別クロス】

- **年齢別**にみると、「20代以下」から「50代」までは、「2世帯が同居（親と子）」が高く、「60代」、「70代」になると「夫婦のみ」が高くなっている。また、年齢が高くなるにつれ、「ひとり暮らし」の割合も高くなっており、同居人数は減少している。

		合計	ひとり暮らし	夫婦のみ	2世代が同居（親と子）	3世代が同居（親と子と孫）	その他	無回答
全体		828	101	251	339	91	37	9
		100.0%	12.2%	30.3%	40.9%	11.0%	4.5%	1.1%
年齢	20代以下	38	6	0	22	8	1	1
		100.0%	15.8%	0.0%	57.9%	21.1%	2.6%	2.6%
	30代	57	3	2	39	10	3	0
		100.0%	5.3%	3.5%	68.4%	17.5%	5.3%	0.0%
	40代	100	4	12	67	15	2	0
		100.0%	4.0%	12.0%	67.0%	15.0%	2.0%	0.0%
	50代	94	10	16	53	9	5	1
		100.0%	10.6%	17.0%	56.4%	9.6%	5.3%	1.1%
60代	205	20	77	75	21	11	1	
	100.1%	9.8%	37.6%	36.6%	10.2%	5.4%	0.5%	
70代	207	33	98	50	16	8	2	
	100.0%	15.9%	47.3%	24.2%	7.7%	3.9%	1.0%	
80代以上	124	25	46	33	12	7	1	
	100.0%	20.2%	37.1%	26.6%	9.7%	5.6%	0.8%	

※数値の網掛け□はその区分において最も高い数値を示す。□は次に高い数値を示す。（「その他」、「無回答」を除く）

※青太字は全体平均より5ポイント以上10ポイント未満の値を示す。赤太字は、全体平均より10ポイント以上高い値を示す。

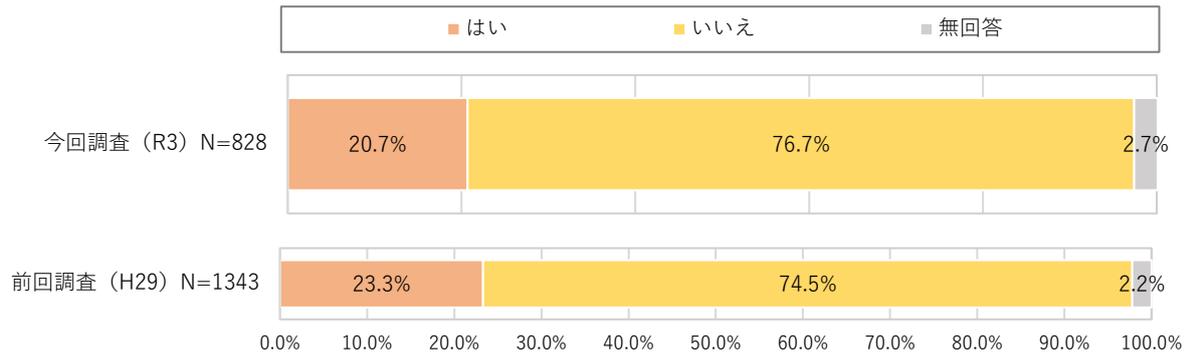
2.4 18歳未満の子どもの同居の有無

問4 あなたの家族(同居)に18歳未満の子どもはいますか。(1つ選んで○をつけてください)

1. はい 2. いいえ

【全体結果・前回調査比較】

- **全体**では、「18歳未満の子ども」がいる世帯は20.7%となっており、約5世帯に1世帯の割合となっている。
- **前回調査比較**では、前回調査から大きな割合の変化はみられない。



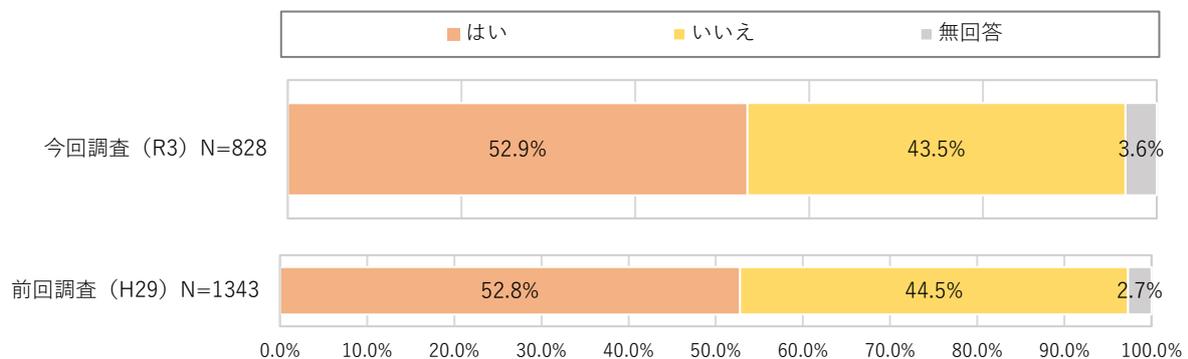
2.5 65歳以上の方の同居の有無

問5 あなたの家族(同居)に65歳以上の方はいますか。(1つ選んで○をつけてください)

1. はい 2. いいえ

【全体結果・前回調査比較】

- **全体**では、「65歳以上の方」がいる世帯は、52.9%となっており、約2世帯に1世帯の割合となっている。
- **前回調査比較**では、前回調査から大きな割合の変化はみられない。



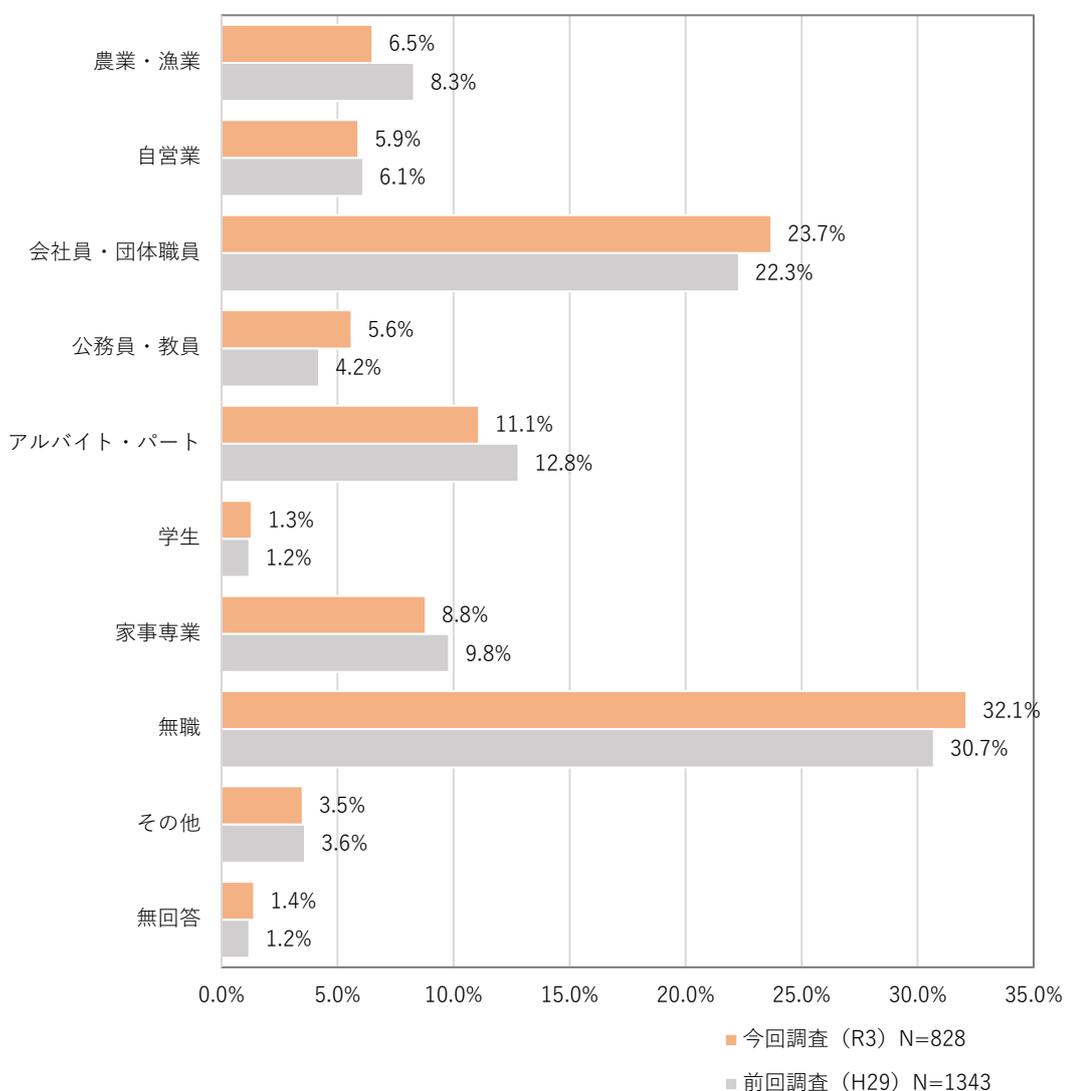
2.6 主な職業

問6 あなたのご職業は次のうちどれですか。(主な職業を1つお答えください)

- | | | | |
|--------------|--------|-------------|-----------|
| 1. 農業・漁業 | 2. 自営業 | 3. 会社員・団体職員 | 4. 公務員・教員 |
| 5. アルバイト・パート | 6. 学生 | 7. 家事専業 | 8. 無職 |
| 9. その他 () | | | |

【全体結果・前回調査比較】

- **全体**では、「無職」が32.1%と最も高く、全体の約3割を占めている。次いで「会社員・団体職員」が23.7%、「アルバイト・パート」が11.1%となっている。アルバイト・パート等を含めた有職者の合計は約5割となっている。
- **前回調査比較**では、上位の「無職」、「会社員・団体職員」は増加傾向だが、「アルバイト・パート」は前回調査から1.7ポイント減少している。



【主な職業：性別・年齢別・居住地別クロス】

- 性別にみると、「男性」では「無職」、「会社員・団体職員」の割合が「女性」に比べて多くなっており、「女性」では「家事専業」の割合が多くなっている。
- 年齢別にみると、「30代」から「50代」までは「会社員・団体職員」が4割以上を占め、全体平均よりも割合が高くなっている。「60代」以上では「無職」の割合が多くなっている。
- 居住地別にみると、「三瓶」では「家事専業」の割合が約2割を占めており、全体平均よりも割合が高くなっている。また、「高山」では「無職」の割合が約4割を占めており、全体平均よりも高くなっている。

		合計	農業・漁業	自営業	会社員・団体職員	公務員・教員	アルバイト・パート	学生	家事専業	無職	その他	無回答
全体		828 99.9%	54 6.5%	49 5.9%	196 23.7%	46 5.6%	92 11.1%	11 1.3%	73 8.8%	266 32.1%	29 3.5%	12 1.4%
性別	男性	360 99.9%	34 9.4%	28 7.8%	110 30.6%	22 6.1%	23 6.4%	3 0.8%	3 0.8%	122 33.9%	12 3.3%	3 0.8%
	女性	375 100.0%	15 4.0%	13 3.5%	73 19.5%	23 6.1%	56 14.9%	7 1.9%	62 16.5%	108 28.8%	12 3.2%	6 1.6%
年齢	20代以下	38 100.0%	1 2.6%	2 5.3%	15 39.5%	4 10.5%	2 5.3%	11 28.9%	1 2.6%	0 0.0%	0 0.0%	2 5.3%
	30代	57 100.1%	0 0.0%	4 7.0%	33 57.9%	9 15.8%	7 12.3%	0 0.0%	1 1.8%	1 1.8%	2 3.5%	0 0.0%
	40代	100 100.0%	0 0.0%	7 7.0%	56 56.0%	14 14.0%	8 8.0%	0 0.0%	4 4.0%	4 4.0%	5 5.0%	2 2.0%
	50代	94 100.0%	2 2.1%	5 5.3%	46 48.9%	14 14.9%	18 19.1%	0 0.0%	1 1.1%	4 4.3%	3 3.2%	1 1.1%
	60代	205 99.9%	16 7.8%	16 7.8%	39 19.0%	5 2.4%	40 19.5%	0 0.0%	27 13.2%	55 26.8%	7 3.4%	0 0.0%
	70代	207 99.9%	21 10.1%	13 6.3%	6 2.9%	0 0.0%	16 7.7%	0 0.0%	27 13.0%	112 54.1%	10 4.8%	2 1.0%
	80代以上	124 100.0%	14 11.3%	2 1.6%	1 0.8%	0 0.0%	1 0.8%	0 0.0%	12 9.7%	90 72.6%	2 1.6%	2 1.6%
居住地ブロック	中央	287 100.1%	8 2.8%	18 6.3%	71 24.7%	24 8.4%	30 10.5%	2 0.7%	25 8.7%	99 34.5%	8 2.8%	2 0.7%
	東部	137 99.9%	11 8.0%	8 5.8%	25 18.2%	7 5.1%	11 8.0%	2 1.5%	17 12.4%	47 34.3%	7 5.1%	2 1.5%
	西部	166 99.8%	14 8.4%	6 3.6%	46 27.7%	12 7.2%	20 12.0%	3 1.8%	9 5.4%	46 27.7%	6 3.6%	4 2.4%
	三瓶	42 100.0%	5 11.9%	4 9.5%	11 26.2%	0 0.0%	2 4.8%	0 0.0%	8 19.0%	10 23.8%	2 4.8%	0 0.0%
	高山	41 100.0%	6 14.6%	4 9.8%	4 9.8%	1 2.4%	3 7.3%	0 0.0%	4 9.8%	17 41.5%	1 2.4%	1 2.4%
	温泉津	53 99.9%	6 11.3%	4 7.5%	17 32.1%	1 1.9%	7 13.2%	0 0.0%	4 7.5%	12 22.6%	2 3.8%	0 0.0%
	仁摩	90 100.0%	4 4.4%	5 5.6%	22 24.4%	1 1.1%	15 16.7%	2 2.2%	6 6.7%	32 35.6%	3 3.3%	0 0.0%

※数値の網掛け□はその区分において最も高い数値を示す。□は次に高い数値を示す。（「その他」、「無回答」を除く）

※青太字は全体平均より5ポイント以上10ポイント未満の値を示す。赤太字は、全体平均より10ポイント以上高い値を示す。

2.7 居住地

問7 あなたのお住まいは次のうちどれですか。（1つ選んで○をつけてください）

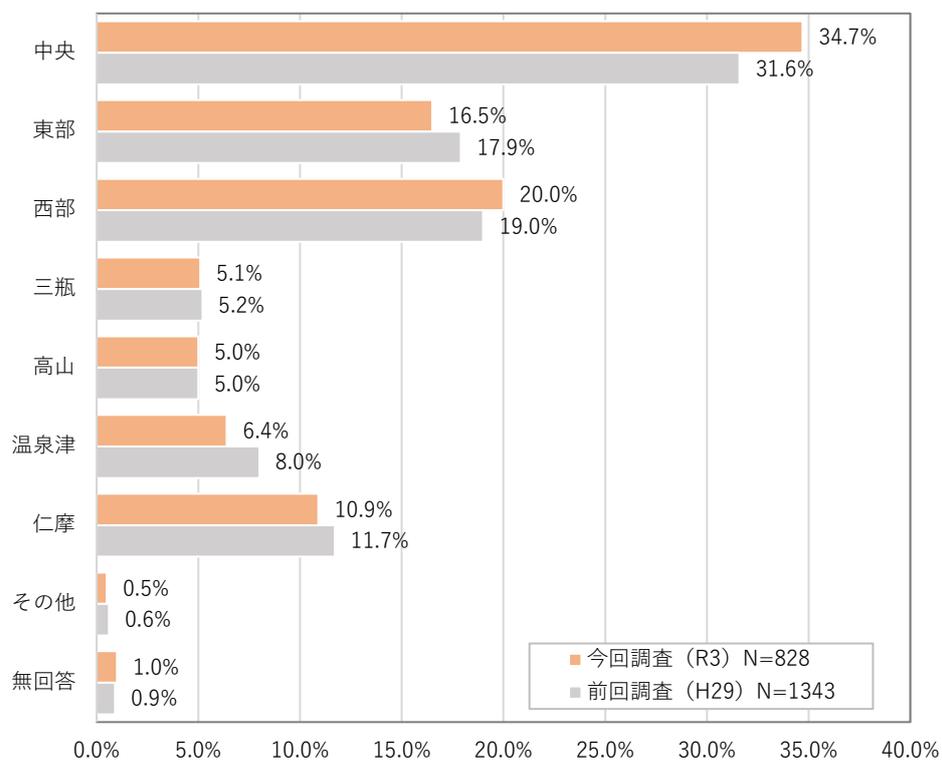
1. 大田町	2. 川合町	3. 三瓶町池田	4. 三瓶町志学	5. 三瓶町多根
6. 山口町	7. 富山町	8. 朝山町	9. 波根町	10. 久手町
11. 鳥井町	12. 長久町	13. 静間町	14. 五十猛町	15. 大屋町
16. 久利町	17. 大森町	18. 水上町	19. 祖式町	20. 大代町
21. 湯里	22. 温泉津	23. 井田	24. 福波	25. 仁万・天河内
26. 宅野	27. 大国	28. 馬路	29. その他（）	

※居住地ブロックの集計

ブロック	町名
中央	大田町・川合町・久利町・大屋町
東部	朝山町・富山町・波根町・久手町
西部	鳥井町・長久町・静間町・五十猛町
三瓶	三瓶町・山口町
高山	大森町・水上町・祖式町・大代町
温泉津	温泉津町
仁摩	仁摩町

【全体結果・前回調査比較】

- 全体では、「中央」が34.7%と最も高く、全体の約3割を占めている。次いで「西部」が20.0%、「東部」が16.5%となっている。
- 前回調査比較では、前回調査から大きな割合の変化はみられない。



【居住地：性別・年齢別クロス】

- 性別にみると、「男性」、「女性」ともに全体平均とほぼ同様の傾向となっている。
- 年齢別にみると、「30代」、「40代」では「中央」の割合が約4割以上を占め、全体平均よりも高くなっている。

		合計	中央	東部	西部	三瓶	高山	温泉津	仁摩	その他	無回答
全体		828	287	137	166	42	41	53	90	4	8
		100.1%	34.7%	16.5%	20.0%	5.1%	5.0%	6.4%	10.9%	0.5%	1.0%
性別	男性	360	132	49	78	19	17	23	39	2	1
		100.1%	36.7%	13.6%	21.7%	5.3%	4.7%	6.4%	10.8%	0.6%	0.3%
	女性	375	127	66	74	17	21	24	43	1	2
		100.0%	33.9%	17.6%	19.7%	4.5%	5.6%	6.4%	11.5%	0.3%	0.5%
年齢	20代以下	38	11	6	11	1	1	0	6	2	0
		99.9%	28.9%	15.8%	28.9%	2.6%	2.6%	0.0%	15.8%	5.3%	0.0%
	30代	57	30	7	11	2	0	1	6	0	0
		100.0%	52.6%	12.3%	19.3%	3.5%	0.0%	1.8%	10.5%	0.0%	0.0%
	40代	100	43	16	24	4	2	5	6	0	0
		100.0%	43.0%	16.0%	24.0%	4.0%	2.0%	5.0%	6.0%	0.0%	0.0%
	50代	94	33	8	20	3	4	9	15	0	2
		100.1%	35.1%	8.5%	21.3%	3.2%	4.3%	9.6%	16.0%	0.0%	2.1%
60代	205	60	38	36	14	15	21	20	0	1	
	100.0%	29.3%	18.5%	17.6%	6.8%	7.3%	10.2%	9.8%	0.0%	0.5%	
70代	207	73	38	44	8	9	11	20	2	2	
	100.2%	35.3%	18.4%	21.3%	3.9%	4.3%	5.3%	9.7%	1.0%	1.0%	
80代以上	124	37	24	20	10	10	6	17	0	0	
	100.0%	29.8%	19.4%	16.1%	8.1%	8.1%	4.8%	13.7%	0.0%	0.0%	

※数値の網掛け□はその区分において最も高い数値を示す。□は次に高い数値を示す。（「その他」、「無回答」を除く）

※青太字は全体平均より5ポイント以上10ポイント未満の値を示す。赤太字は、全体平均より10ポイント以上高い値を示す。

【通学・通勤先：性別・年齢別クロス】

- 性別にみると、「男性」、「女性」ともに全体平均とほぼ同様の傾向となっている。
- 年齢別にみると、「20代以下」で「県内市外」が約3割を占めており、全体平均よりも21.5ポイント高くなっている。「60代」以上になると、「無回答」の割合が高くなっており、主な職業が「無職」であるためと考えられる。

		合計	市内	県内市外	その他	無回答
全体		828	385	61	67	315
		100.0%	46.5%	7.4%	8.1%	38.0%
性別	男性	360	171	33	41	115
		100.0%	47.5%	9.2%	11.4%	31.9%
	女性	375	177	24	20	154
		100.0%	47.2%	6.4%	5.3%	41.1%
年齢	20代以下	38	22	11	4	1
		99.9%	57.9%	28.9%	10.5%	2.6%
	30代	57	46	8	1	2
		100.0%	80.7%	14.0%	1.8%	3.5%
	40代	100	71	19	3	7
		100.0%	71.0%	19.0%	3.0%	7.0%
	50代	94	81	8	3	2
	100.0%	86.2%	8.5%	3.2%	2.1%	
60代	205	105	9	21	70	
	99.9%	51.2%	4.4%	10.2%	34.1%	
70代	207	49	5	23	130	
	100.0%	23.7%	2.4%	11.1%	62.8%	
80代以上	124	11	1	12	100	
	100.0%	8.9%	0.8%	9.7%	80.6%	

※数値の網掛け□はその区分において最も高い数値を示す。□は次に高い数値を示す。（「その他」、「無回答」を除く）

※青太字は全体平均より5ポイント以上10ポイント未満の値を示す。赤太字は、全体平均より10ポイント以上高い値を示す。

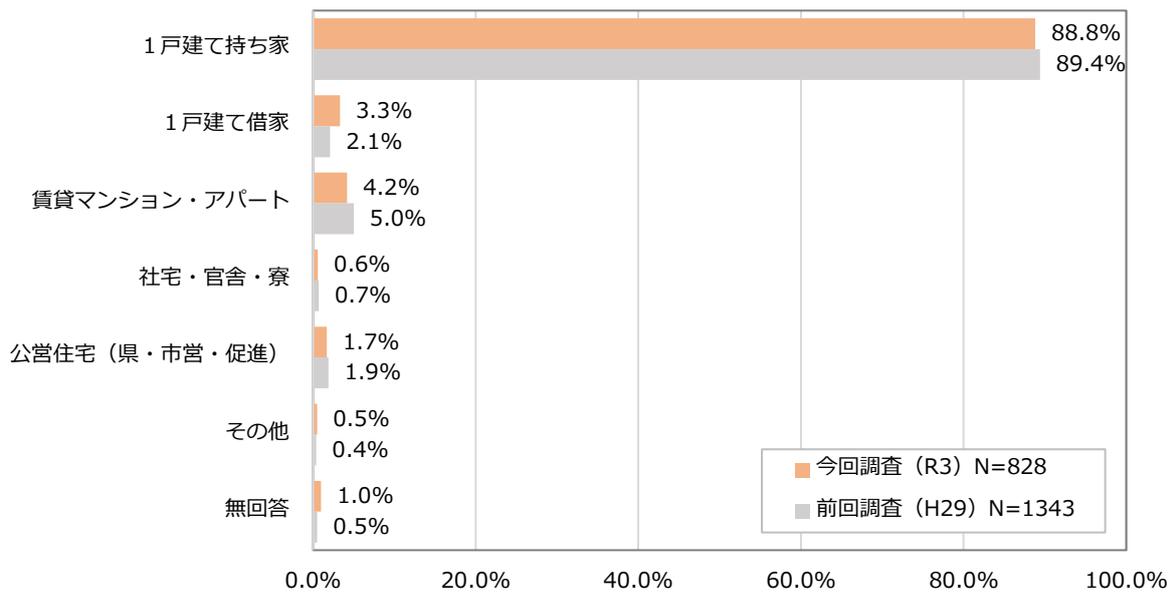
2.9 住宅

問9 あなたのお住まいの種類は次のうちどれですか。（1つ選んで○をつけてください）

- | | | |
|------------|------------------|-----------------|
| 1. 1戸建て持ち家 | 2. 1戸建て借家 | 3. 賃貸マンション・アパート |
| 4. 社宅・官舎・寮 | 5. 公営住宅（県・市営・促進） | 6. その他（） |

【全体結果・前回調査比較】

- **全体**では、「1戸建て持ち家」が88.8%と最も高く、全体の約9割を占めている。次いで「賃貸マンション・アパート」が4.2%となっている。
- **前回調査比較**では、前回調査から「1戸建て持ち家」が0.6ポイント減少している。



【住宅：性別・年齢別・居住地別クロス】

- 性別にみると、「男性」、「女性」ともに全体平均とほぼ同様の傾向となっている。
- 年齢別にみると、「20代以下」、「30代」は、「賃貸マンション・アパート」の割合が約1.5割となっており、全体平均よりも10ポイント近く高くなっている。「60代」以上になると、「1戸建て持ち家」の割合が9割強となり、持ち家率が高くなっている。
- 居住地別にみると、「三瓶」、「高山」では「1戸建て持ち家」が9割強となり、持ち家率が高くなっている。一方、「中央」、「西部」では約8割強となっており、「賃貸マンション・アパート」の割合が全体平均よりも高くなっている。

		合計	1戸建て 持ち家	1戸建て 借家	賃貸マン ション・アパ ート	社宅・官 舎・寮	公営住宅 (県・市 営・促進)	その他	無回答
全体		828 100.1%	735 88.8%	27 3.3%	35 4.2%	5 0.6%	14 1.7%	4 0.5%	8 1.0%
性別	男性	360 100.0%	321 89.2%	12 3.3%	16 4.4%	3 0.8%	4 1.1%	2 0.6%	2 0.6%
	女性	375 99.9%	335 89.3%	11 2.9%	16 4.3%	2 0.5%	6 1.6%	2 0.5%	3 0.8%
年齢	20代以下	38 100.0%	29 76.3%	2 5.3%	5 13.2%	1 2.6%	0 0.0%	0 0.0%	1 2.6%
	30代	57 100.0%	42 73.7%	4 7.0%	10 17.5%	1 1.8%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	40代	100 100.0%	81 81.0%	8 8.0%	6 6.0%	1 1.0%	2 2.0%	1 1.0%	1 1.0%
	50代	94 99.9%	79 84.0%	2 2.1%	11 11.7%	0 0.0%	2 2.1%	0 0.0%	0 0.0%
	60代	205 100.0%	188 91.7%	5 2.4%	2 1.0%	2 1.0%	6 2.9%	1 0.5%	1 0.5%
	70代	207 100.0%	196 94.7%	4 1.9%	1 0.5%	0 0.0%	3 1.4%	1 0.5%	2 1.0%
	80代以上	124 100.0%	120 96.8%	2 1.6%	0 0.0%	0 0.0%	1 0.8%	1 0.8%	0 0.0%
居住地 ブロック	中央	287 100.0%	251 87.5%	10 3.5%	18 6.3%	2 0.7%	2 0.7%	3 1.0%	1 0.3%
	東部	137 100.1%	122 89.1%	6 4.4%	3 2.2%	0 0.0%	6 4.4%	0 0.0%	0 0.0%
	西部	166 99.9%	144 86.7%	4 2.4%	11 6.6%	1 0.6%	3 1.8%	1 0.6%	2 1.2%
	三瓶	42 100.0%	42 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	高山	41 100.0%	40 97.6%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 2.4%
	温泉津	53 100.1%	47 88.7%	2 3.8%	0 0.0%	2 3.8%	2 3.8%	0 0.0%	0 0.0%
	仁摩	90 100.0%	82 91.1%	5 5.6%	1 1.1%	0 0.0%	1 1.1%	0 0.0%	1 1.1%

※数値の網掛け□はその区分において最も高い数値を示す。□は次に高い数値を示す。(「その他」、「無回答」を除く)

※青太字は全体平均より5ポイント以上10ポイント未満の値を示す。赤太字は、全体平均より10ポイント以上高い値を示す。

3 調査の分析

3.1 現在の住環境について

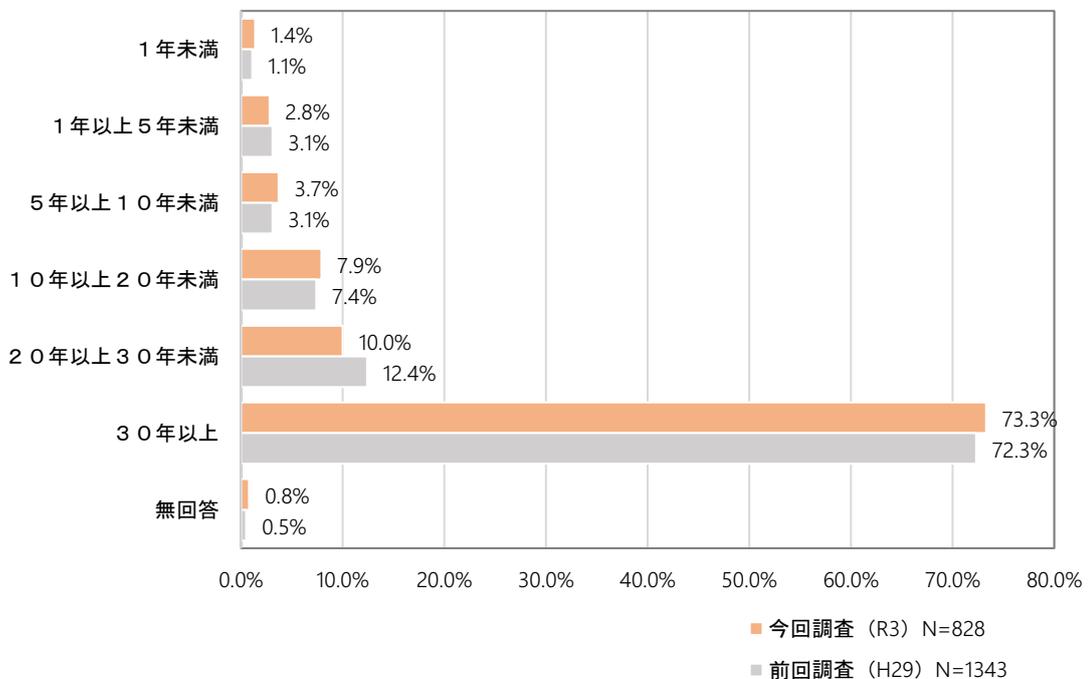
(1) 居住年数

問10 あなたは、大田市にお住まいになって通算で何年ぐらいになりますか。
(1つ選んで○をつけてください) ※合併前の旧市・旧町を含めお答えください。

- | | | |
|---------------|---------------|--------------|
| 1. 1年未満 | 2. 1年以上5年未満 | 3. 5年以上10年未満 |
| 4. 10年以上20年未満 | 5. 20年以上30年未満 | 6. 30年以上 |

【全体結果・前回調査比較】

- 全体では、「30年以上」が73.3%と最も高く、約7割を占めている。次いで「20年以上30年未満」が10.0%となっている。
- 前回調査比較では、「30年以上」が1.0ポイント増加し、居住年数は長くなっている。



【居住年数：性別・年齢別・居住地別クロス】

- 性別をみると、「男性」、「女性」ともに全体平均とほぼ同様の傾向となっている。
- 年齢別にみると、「40代」以上になると、居住年数は「30年以上」が5割以上を占め、「60代」以上では8割を占めている。
- 居住地別にみると、「中央」を除く地域では、「30年以上」が7割以上を占めている。「三瓶」、「高山」では約8割となっており、全体平均よりも高くなっている。

		合計	1年未満	1年以上 5年未満	5年以上 10年未満	10年以上 20年未満	20年以上 30年未満	30年以上	無回答
全体		828	12	23	31	65	83	607	7
		99.9%	1.4%	2.8%	3.7%	7.9%	10.0%	73.3%	0.8%
性別	男性	360	10	10	16	20	36	266	2
		100.1%	2.8%	2.8%	4.4%	5.6%	10.0%	73.9%	0.6%
	女性	375	2	11	14	39	39	270	0
		99.9%	0.5%	2.9%	3.7%	10.4%	10.4%	72.0%	0.0%
年齢	20代以下	38	2	2	1	16	16	0	1
		100.0%	5.3%	5.3%	2.6%	42.1%	42.1%	0.0%	2.6%
	30代	57	3	8	7	8	10	21	0
		99.9%	5.3%	14.0%	12.3%	14.0%	17.5%	36.8%	0.0%
	40代	100	3	3	11	15	11	56	1
		100.0%	3.0%	3.0%	11.0%	15.0%	11.0%	56.0%	1.0%
	50代	94	0	2	2	3	19	68	0
	99.9%	0.0%	2.1%	2.1%	3.2%	20.2%	72.3%	0.0%	
60代	205	2	6	4	4	17	172	0	
	100.1%	1.0%	2.9%	2.0%	2.0%	8.3%	83.9%	0.0%	
70代	207	1	0	6	18	9	173	0	
	100.0%	0.5%	0.0%	2.9%	8.7%	4.3%	83.6%	0.0%	
80代以上	124	1	2	0	1	1	117	2	
	100.0%	0.8%	1.6%	0.0%	0.8%	0.8%	94.4%	1.6%	
居住地 ブロック	中央	287	3	12	13	28	30	200	1
		100.0%	1.0%	4.2%	4.5%	9.8%	10.5%	69.7%	0.3%
	東部	137	2	2	4	13	11	104	1
		100.0%	1.5%	1.5%	2.9%	9.5%	8.0%	75.9%	0.7%
	西部	166	3	4	6	14	14	125	0
		99.9%	1.8%	2.4%	3.6%	8.4%	8.4%	75.3%	0.0%
	三瓶	42	1	1	0	0	3	37	0
	100.0%	2.4%	2.4%	0.0%	0.0%	7.1%	88.1%	0.0%	
高山	41	1	1	1	0	5	33	0	
	99.9%	2.4%	2.4%	2.4%	0.0%	12.2%	80.5%	0.0%	
温泉津	53	0	1	2	3	7	40	0	
	100.1%	0.0%	1.9%	3.8%	5.7%	13.2%	75.5%	0.0%	
仁摩	90	2	2	4	6	11	63	2	
	99.9%	2.2%	2.2%	4.4%	6.7%	12.2%	70.0%	2.2%	

※数値の網掛け□はその区分において最も高い数値を示す。□は次に高い数値を示す。(「無回答」を除く)

※青太字は全体平均より5ポイント以上10ポイント未満の値を示す。赤太字は、全体平均より10ポイント以上高い値を示す。

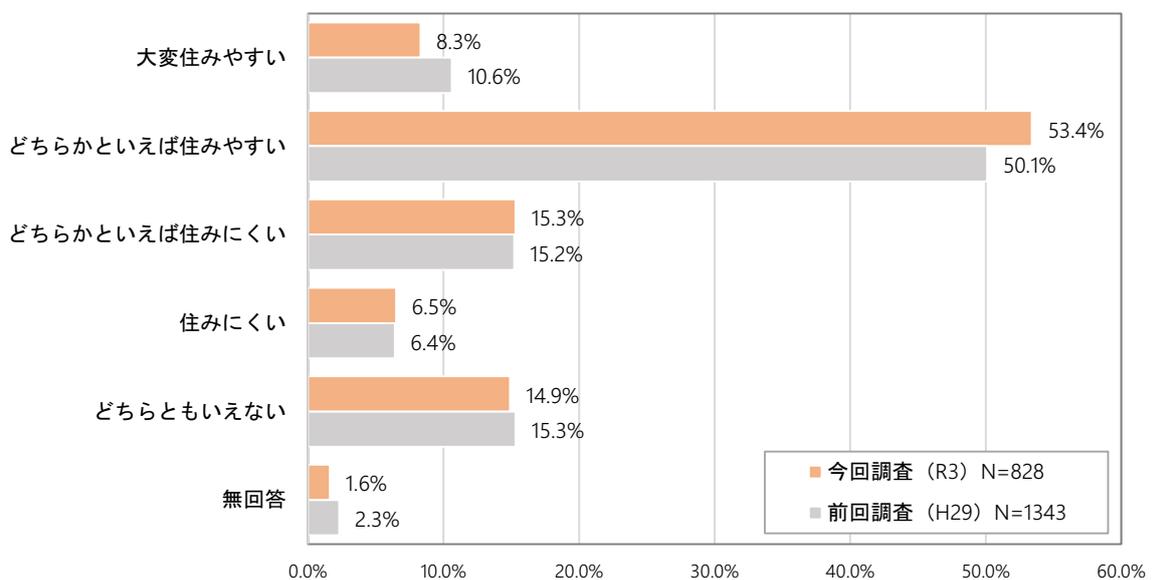
(2) 大田市の「住み心地」

問 1 1 あなたは、大田市の「住み心地」について、どう感じていますか。
(1つ選んで○をつけてください)

- | | | |
|------------|------------------|------------------|
| 1. 大変住みやすい | 2. どちらかといえば住みやすい | 3. どちらかといえば住みにくい |
| 4. 住みにくい | 5. どちらともいえない | |

【全体結果・前回調査比較】

- 全体では、「大変住みやすい」が8.3%、「どちらかといえば住みやすい」が53.4%となっており、全体の約6割が『住みやすい』と感じている。
- 前回調査比較では、前回調査から「住みにくい」が0.1ポイント増加し、『住みやすい』の割合が増加している。



【大田市の住み心地：性別・年齢別・居住地別クロス】

- 性別をみると、「男性」、「女性」ともに全体平均とほぼ同様の傾向となっている。
- 年齢別をみると、「50代」では「どちらかといえば住みやすい」が6割となっており、全体平均よりも5ポイント以上高くなっている。
- 居住地別をみると、「温泉津」では「どちらかといえば住みやすい」が他の地域に比べて高くなっている。一方、「高山」では「住みにくい」が全体平均よりも5ポイント以上高くなっている。

		合計	大変住みやすい	どちらかといえば住みやすい	どちらかといえば住みにくい	住みにくい	どちらともいえない	無回答
全体		828 100.0%	69 8.3%	442 53.4%	127 15.3%	54 6.5%	123 14.9%	13 1.6%
性別	男性	360 100.0%	28 7.8%	186 51.7%	58 16.1%	27 7.5%	52 14.4%	9 2.5%
	女性	375 99.9%	35 9.3%	201 53.6%	56 14.9%	23 6.1%	56 14.9%	4 1.1%
年齢	20代以下	38 100.2%	5 13.2%	15 39.5%	5 13.2%	3 7.9%	8 21.1%	2 5.3%
	30代	57 100.1%	1 1.8%	29 50.9%	10 17.5%	5 8.8%	11 19.3%	1 1.8%
	40代	100 100.0%	10 10.0%	55 55.0%	11 11.0%	4 4.0%	18 18.0%	2 2.0%
	50代	94 99.9%	2 2.1%	57 60.6%	17 18.1%	8 8.5%	10 10.6%	0 0.0%
	60代	205 100.0%	18 8.8%	111 54.1%	33 16.1%	14 6.8%	26 12.7%	3 1.5%
	70代	207 99.9%	22 10.6%	102 49.3%	32 15.5%	15 7.2%	33 15.9%	3 1.4%
	80代以上	124 100.0%	10 8.1%	71 57.3%	19 15.3%	5 4.0%	17 13.7%	2 1.6%
居住地ブロック	中央	287 100.0%	23 8.0%	159 55.4%	46 16.0%	20 7.0%	35 12.2%	4 1.4%
	東部	137 100.0%	15 10.9%	67 48.9%	21 15.3%	9 6.6%	23 16.8%	2 1.5%
	西部	166 100.0%	14 8.4%	83 50.0%	25 15.1%	11 6.6%	31 18.7%	2 1.2%
	三瓶	42 100.1%	3 7.1%	23 54.8%	6 14.3%	2 4.8%	7 16.7%	1 2.4%
	高山	41 100.0%	3 7.3%	18 43.9%	7 17.1%	5 12.2%	6 14.6%	2 4.9%
	温泉津	53 100.1%	3 5.7%	34 64.2%	8 15.1%	2 3.8%	6 11.3%	0 0.0%
	仁摩	90 100.0%	7 7.8%	52 57.8%	14 15.6%	4 4.4%	11 12.2%	2 2.2%

※数値の網掛け□はその区分において最も高い数値を示す。□は次に高い数値を示す。（「どちらともいえない」、「無回答」を除く）

※青太字は全体平均より5ポイント以上10ポイント未満の値を示す。赤太字は、全体平均より10ポイント以上高い値を示す。

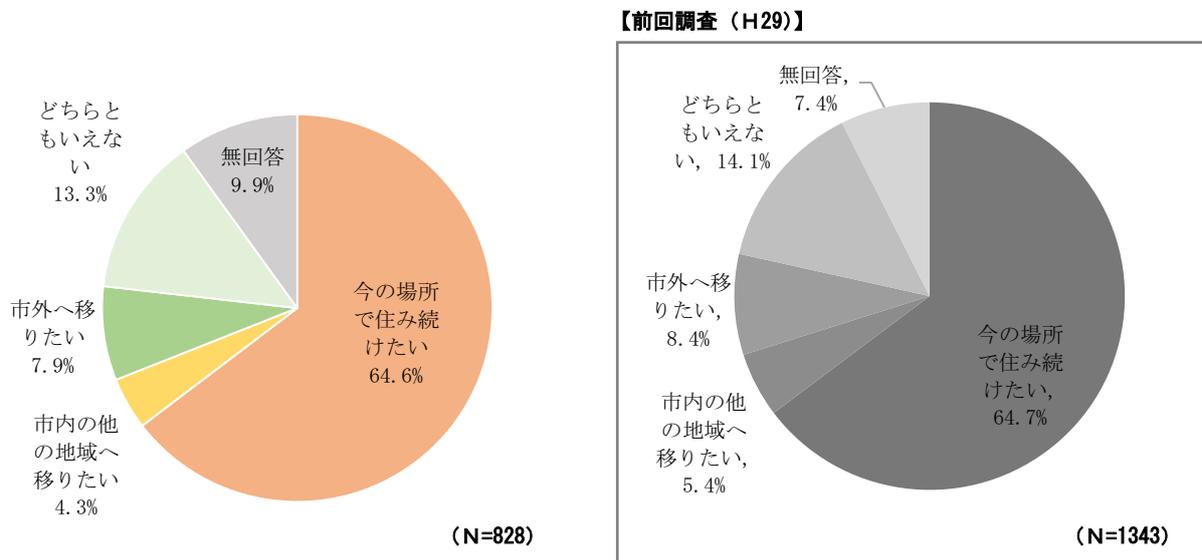
(3) 今後の居住意向

問 1 2 あなたは、今後も大田市に住み続けたいと思いますか。(1つ選んで○をつけてください)

- | | | |
|----------------|-----------------|------------|
| 1. 今の場所で住み続けたい | 2. 市内の他の地域へ移りたい | 3. 市外へ移りたい |
| 4. どちらともいえない | | |

【全体結果・前回調査比較】

- 全体では、「今の場所で住み続けたい」が 64.6%と最も高く、「市内の他の地域へ移りたい」4.3%と併せると、大田市内での居住意向は全体の約7割を占めている。一方、「市外へ移りたい」は7.9%となっており、約1割程度みられる。
- 前回調査比較では、前回調査では「今の場所で住み続けたい」と「市内の他の地域へ移りたい」を併せた大田市内での居住意向は約7割となっており、経年変化による大きな割合の変化はみられないものの、「市内の他の地域へ移りたい」は前回調査から 1.1 ポイント減少しており、市内での移動意向に減少がみられる。



【今後の居住意向：性別・年齢別・居住地別クロス】

- 性別にみると、「男性」、「女性」ともに全体平均とほぼ同様の傾向となっている。
- 年齢別にみると、いずれの年代も「今の場所で住み続けたい」が最も多くなっている。一方、次いで多いのが「市外へ移りたい」でそれぞれの年代で約1割程度となっている。
- 居住地別にみると、「仁摩」では、「今の場所で住み続けたい」の割合が約7割となっており、全体平均よりも5ポイント以上高くなっている。一方、「三瓶」「高山」では、6割未満と低くなっている。

		合計	今の場所で住み続けたい	市内の他の地域へ移りたい	市外へ移りたい	どちらともいえない	無回答
全体		828	535	36	65	110	82
		100.0%	64.6%	4.3%	7.9%	13.3%	9.9%
性別	男性	360	232	17	28	40	43
		99.9%	64.4%	4.7%	7.8%	11.1%	11.9%
	女性	375	236	18	31	56	34
		100.0%	62.9%	4.8%	8.3%	14.9%	9.1%
年齢	20代以下	38	23	3	1	8	3
		100.0%	60.5%	7.9%	2.6%	21.1%	7.9%
	30代	57	34	4	5	10	4
		99.9%	59.6%	7.0%	8.8%	17.5%	7.0%
	40代	100	71	3	5	13	8
		100.0%	71.0%	3.0%	5.0%	13.0%	8.0%
	50代	94	59	5	11	11	8
		100.0%	62.8%	5.3%	11.7%	11.7%	8.5%
60代	205	133	9	16	26	21	
	100.0%	64.9%	4.4%	7.8%	12.7%	10.2%	
70代	207	130	5	18	27	27	
	99.9%	62.8%	2.4%	8.7%	13.0%	13.0%	
80代以上	124	82	7	9	15	11	
	100.0%	66.1%	5.6%	7.3%	12.1%	8.9%	
居住地ブロック	中央	287	187	11	26	39	24
		100.1%	65.2%	3.8%	9.1%	13.6%	8.4%
	東部	137	89	8	9	19	12
		100.1%	65.0%	5.8%	6.6%	13.9%	8.8%
	西部	166	103	7	12	24	20
		99.9%	62.0%	4.2%	7.2%	14.5%	12.0%
	三瓶	42	25	3	1	8	5
	99.9%	59.5%	7.1%	2.4%	19.0%	11.9%	
高山	41	22	2	4	7	6	
	100.1%	53.7%	4.9%	9.8%	17.1%	14.6%	
温泉津	53	35	1	6	5	6	
	99.9%	66.0%	1.9%	11.3%	9.4%	11.3%	
仁摩	90	64	4	6	7	9	
	100.0%	71.1%	4.4%	6.7%	7.8%	10.0%	

※数値の網掛け□はその区分において最も高い数値を示す。□は次に高い数値を示す。（「どちらともいえない」、「無回答」を除く）

※青太字は全体平均より5ポイント以上10ポイント未満の値を示す。赤太字は、全体平均より10ポイント以上高い値を示す。

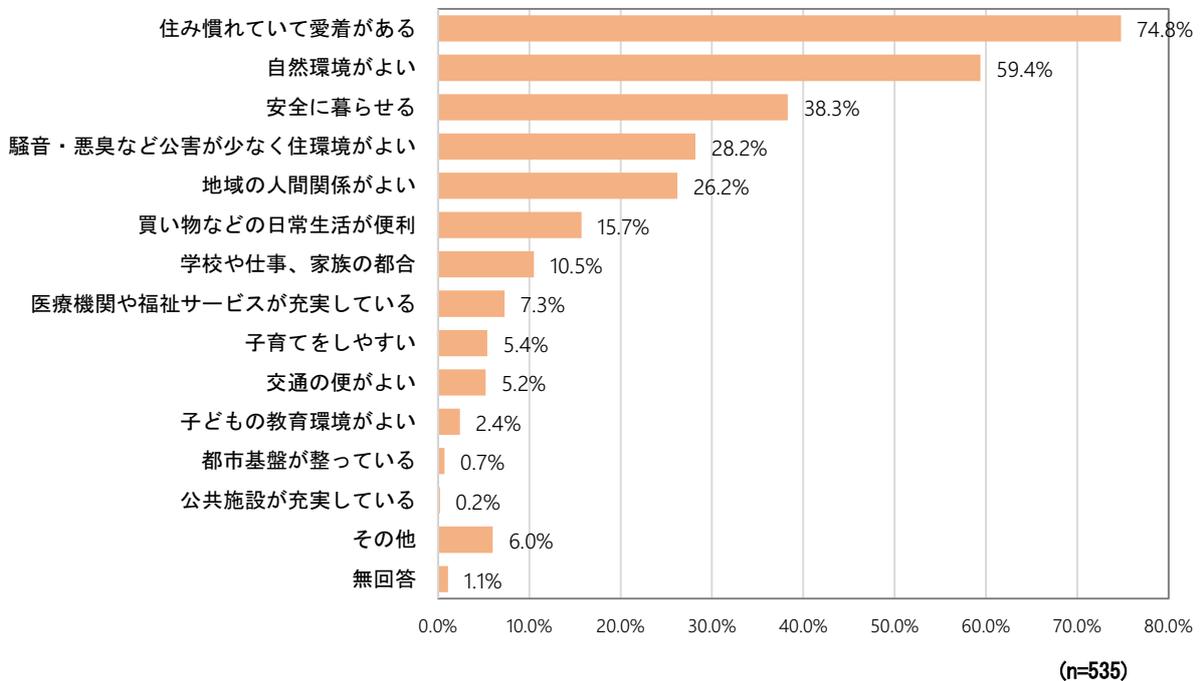
問 1 2 -1 住み続けたい主な理由は何ですか。(あてはまるものを3つまで選んで○をつけてください)

※問 1 2 で「1. 今の場所で住み続けたい」と回答した方のみ

- | | | | |
|------------------|------------------------|-----------------------|-----------------|
| 1. 自然環境がよい | 2. 騒音・悪臭など公害が少なく住環境がよい | 3. 医療機関や福祉サービスが充実している | 4. 子育てをしやすい |
| 5. 買い物などの日常生活が便利 | 6. 都市基盤が整っている | 7. 交通の便がよい | 8. 公共施設が充実している |
| 9. 子どもの教育環境がよい | 10. 安全に暮らせる | 11. 地域の人間関係がよい | 12. 学校や仕事、家族の都合 |
| 13. 住みなれていて愛着がある | 14. その他 () | | |

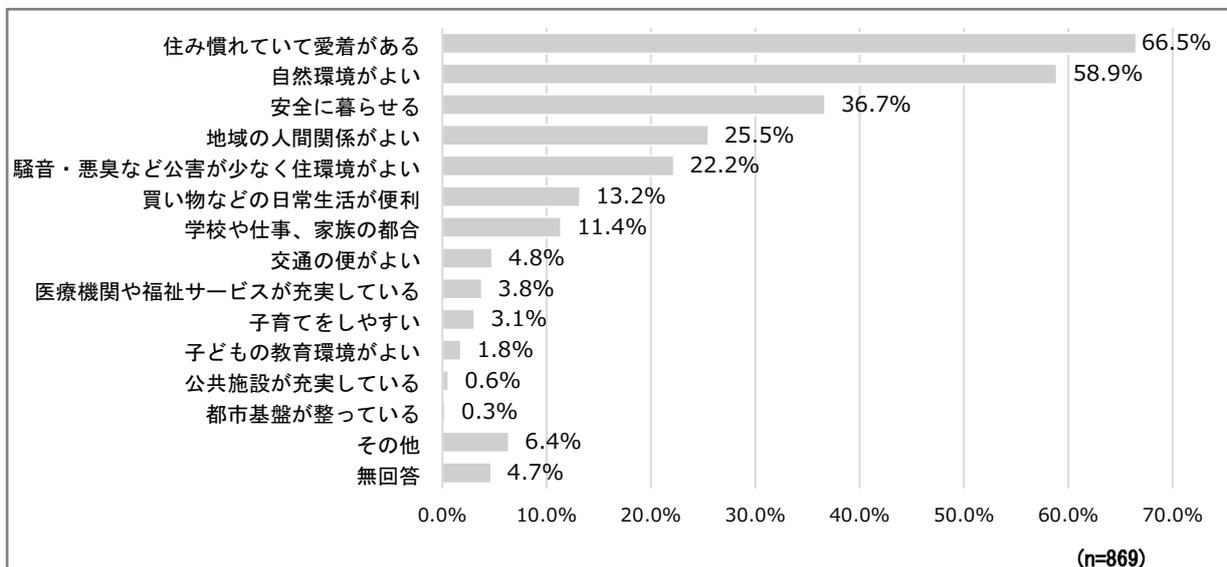
【全体結果・前回調査比較】

- 全体では、「住み慣れていて愛着がある」が 74.8%と最も高くなっている。次いで「自然環境がよい」が 59.4%、「安全に暮らせる」が 38.3%となっている。
- 前回調査比較では、前回調査から上位項目に大きな変化はみられない。



【前回調査 (H29)】

※「ずっと住み続けたい」または「当分の間住み続けたい」と回答した方のみ。(あてはまるもの3つまで選び○)



【住み続けたい主な理由：性別・年齢別・居住地別クロス】

- 性別にみると、「男性」、「女性」ともに全体平均とほぼ同様の傾向となっている。
- 年齢別にみると、「40代」「50代」は「自然環境がよい」が全体平均よりも高くなっており、「住み慣れていて愛着がある」の割合は「20代以下」から「40代」までは全体平均より低くなっている。
- 居住地別にみると、「三瓶」では、「自然環境がよい」の割合が約7割となっており、全体平均よりも10ポイント以上高くなっている。

		合計 件数	自然 環境 がよい	自然 環境 がよい なく住環境 がよい	医 療 機 関 や 福 祉 サ ー ビ ス が 充 実 し て	子 育 て を し や す い	利 便 な 日 常 生 活 が 便 宜	買 い 物 な ど の 日 常 生 活 が 便 宜	都 市 基 盤 が 整 っ て い る	交 通 の 便 が よ い
全体		535	59.4%	28.2%	7.3%	5.4%	15.7%	0.7%	5.2%	
性別	男性	232	57.3%	31.5%	9.5%	7.3%	16.4%	0.9%	6.9%	
	女性	236	58.9%	25.4%	5.9%	4.2%	14.4%	0.8%	4.2%	
年齢	20代以下	23	60.9%	17.4%	13.0%	0.0%	13.0%	0.0%	4.3%	
	30代	34	47.1%	26.5%	5.9%	0.0%	5.9%	0.0%	5.9%	
	40代	71	66.2%	23.9%	9.9%	7.0%	15.5%	0.0%	5.6%	
	50代	59	71.2%	28.8%	10.2%	5.1%	15.3%	1.7%	8.5%	
	60代	133	57.1%	30.8%	5.3%	5.3%	18.8%	0.0%	3.8%	
	70代	130	64.6%	31.5%	5.4%	4.6%	16.9%	2.3%	3.8%	
	80代以上	82	45.1%	24.4%	7.3%	8.5%	14.6%	0.0%	7.3%	
居住地 ブロック	中央	23	57.2%	29.9%	7.0%	5.3%	11.8%	0.0%	7.5%	
	東部	34	58.4%	29.2%	6.7%	7.9%	19.1%	1.1%	5.6%	
	西部	71	57.3%	21.4%	6.8%	2.9%	14.6%	1.0%	1.0%	
	三瓶	59	72.0%	36.0%	4.0%	4.0%	8.0%	0.0%	4.0%	
	高山	133	63.6%	31.8%	13.6%	13.6%	31.8%	0.0%	9.1%	
	温泉津	130	60.0%	31.4%	2.9%	0.0%	22.9%	0.0%	5.7%	
	仁摩	82	60.9%	28.1%	10.9%	6.3%	17.2%	3.1%	3.1%	

		合計 件数	公 共 施 設 が 充 実 し て い る	子 ど も の 教 育 環 境 が よ い	安 全 に 暮 ら せ る	地 域 の 人 間 関 係 が よ い	学 校 や 仕 事 家 族 の 都 合	住 み 慣 れ て い て 愛 着 が あ る	そ の 他
全体		535	0.2%	2.4%	38.3%	26.2%	10.5%	74.8%	6.0%
性別	男性	232	0.0%	2.2%	38.8%	25.9%	11.2%	72.4%	7.8%
	女性	236	0.0%	3.0%	37.7%	28.8%	10.2%	75.4%	5.5%
年齢	20代以下	23	0.0%	4.3%	34.8%	30.4%	13.0%	65.2%	13.0%
	30代	34	0.0%	0.0%	38.2%	38.2%	14.7%	70.6%	5.9%
	40代	71	0.0%	4.2%	33.8%	21.1%	9.9%	69.0%	2.8%
	50代	59	0.0%	1.7%	47.5%	22.0%	15.3%	76.3%	0.0%
	60代	133	0.8%	0.8%	41.4%	24.8%	10.5%	77.4%	6.8%
	70代	130	0.0%	2.3%	36.2%	30.8%	7.7%	78.5%	10.8%
	80代以上	82	0.0%	4.9%	34.1%	23.2%	9.8%	75.6%	2.4%
居住地 ブロック	中央	23	0.0%	2.7%	35.3%	28.3%	9.6%	67.9%	4.8%
	東部	34	0.0%	2.2%	36.0%	23.6%	10.1%	76.4%	10.1%
	西部	71	0.0%	2.9%	40.8%	28.2%	10.7%	79.6%	7.8%
	三瓶	59	0.0%	4.0%	44.0%	20.0%	20.0%	96.0%	4.0%
	高山	133	0.0%	9.1%	40.9%	31.8%	9.1%	77.3%	18.2%
	温泉津	130	2.9%	0.0%	28.6%	17.1%	14.3%	80.0%	0.0%
	仁摩	82	0.0%	0.0%	45.3%	28.1%	7.8%	76.6%	1.6%

※数値の網掛け□はその区分において最も高い数値を示す。□は2番目に高い数値を示す。□は3番目に高い数値を示す。

※青太字は全体平均より5ポイント以上10ポイント未満の値を示す。赤太字は、全体平均より10ポイント以上高い値を示す。

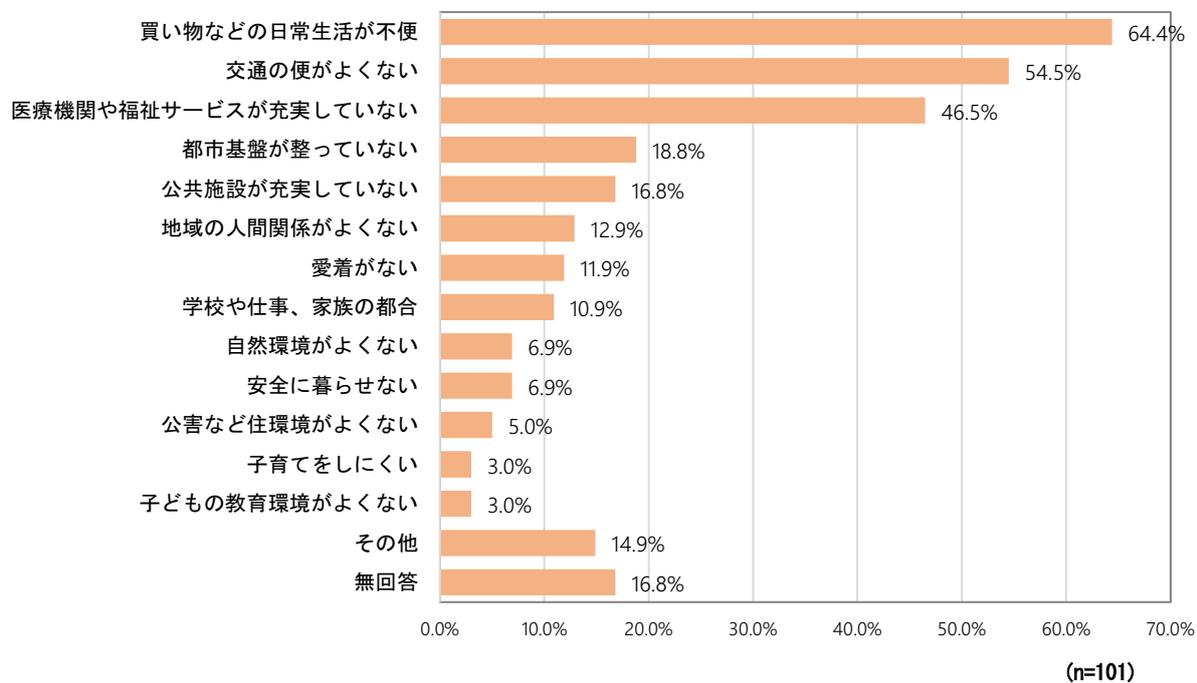
問12-2 移りたい主な理由は何ですか。(あてはまるものを3つまで選んで○をつけてください)

※問12で「2. 市内の他の地域へ移りたい」または「3. 市外へ移りたい」と回答した方のみ

- | | | | |
|------------------|-----------------|------------------------|-----------------|
| 1. 自然環境がよくない | 2. 公害など住環境がよくない | 3. 医療機関や福祉サービスが充実していない | 4. 子育てをしにくい |
| 5. 買い物などの日常生活が不便 | 6. 都市基盤が整っていない | 7. 交通の便がよくない | 8. 公共施設が充実していない |
| 9. 子どもの教育環境がよくない | 10. 安全に暮らせない | 11. 地域の人間関係がよくない | 12. 学校や仕事、家族の都合 |
| 13. 愛着がない | 14. その他 () | | |

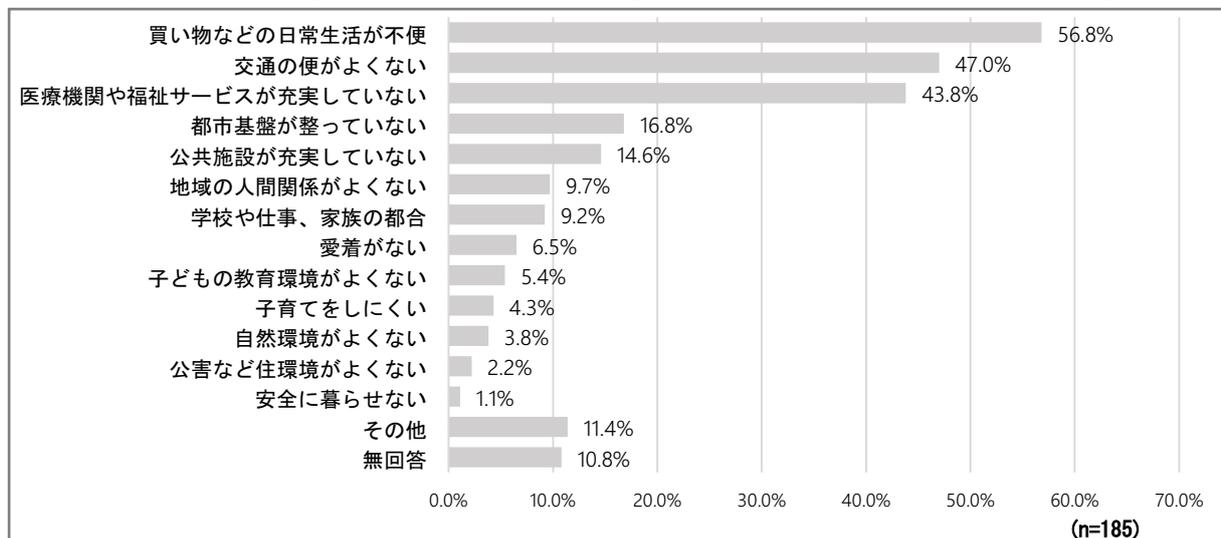
【全体結果・前回調査比較】

- 全体では、「買い物などの日常生活が不便」が64.4%と最も高くなっている。次いで「交通の便がよくない」が54.5%、「医療機関や福祉サービスが充実していない」が46.5%となっている。
- 前回調査比較では、前回調査から上位項目に大きな変化はみられない。



【前回調査 (H29)】

※「市内の他の地域へ移りたい」または「他の市町村へ移りたい」と回答した方のみ。(あてはまるもの2つまで選び○)



【移りたい主な理由：性別・年齢別・居住地別クロス】

- 性別にみると、「男性」、「女性」ともに全体平均とほぼ同様の傾向となっている。
- 年齢別にみると、「20代以下」、「40代」、「60代」、「80代以上」では「買い物などの日常生活が不便」が全体平均よりも高くなっている。「20代以下」、「40代」、「60代」では「交通の便がよくない」の割合が6割以上となっており、全体平均よりも10ポイント以上高くなっている。
- 居住地別にみると、「東部」、「温泉津」では、「医療機関や福祉サービスが充実していない」が全体平均よりも10ポイント以上高くなっている。

		合計 件数	自然環境 がよくな い	公書など住 環境がよ くない	医療機関 や福祉サ ービスが 充実して いない	子育てを ついでに	買物な どの日常 生活が不 便	都市基盤 が整って いない	交通の便 がよくな い
全体		101	6.9%	5.0%	46.5%	3.0%	64.4%	18.8%	54.5%
性別	男性	45	11.1%	2.2%	37.8%	2.2%	55.6%	24.4%	64.4%
	女性	49	4.1%	8.2%	53.1%	4.1%	71.4%	14.3%	46.9%
年齢	20代以下	4	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%	100.0%	25.0%	100.0%
	30代	9	0.0%	11.1%	44.4%	0.0%	33.3%	22.2%	33.3%
	40代	8	12.5%	12.5%	100.0%	0.0%	100.0%	25.0%	75.0%
	50代	16	6.3%	0.0%	31.3%	0.0%	37.5%	25.0%	50.0%
	60代	25	4.0%	4.0%	56.0%	8.0%	92.0%	16.0%	68.0%
	70代	23	8.7%	0.0%	34.8%	4.3%	34.8%	13.0%	43.5%
	80代以上	16	12.5%	12.5%	43.8%	0.0%	81.3%	18.8%	43.8%
居住地 ブロック	中央	37	10.8%	2.7%	43.2%	5.4%	54.1%	24.3%	54.1%
	東部	17	5.9%	11.8%	58.8%	5.9%	76.5%	5.9%	52.9%
	西部	19	0.0%	5.3%	52.6%	0.0%	78.9%	26.3%	63.2%
	三瓶	4	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	100.0%	25.0%	100.0%
	高山	6	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	16.7%
	温泉津	7	0.0%	0.0%	71.4%	0.0%	71.4%	14.3%	42.9%
	仁摩	10	10.0%	10.0%	30.0%	0.0%	60.0%	0.0%	60.0%

		合計 件数	公共施設 が充実し ていない	子ども の教育環 境がよ くない	安全に暮 らせない	地域の 人間関係 がよくな い	学校や仕 事家族の 都合	愛着がな い	その他
全体		101	16.8%	3.0%	6.9%	12.9%	10.9%	11.9%	14.9%
性別	男性	45	24.4%	4.4%	8.9%	8.9%	15.6%	4.4%	15.6%
	女性	49	8.2%	2.0%	4.1%	18.4%	8.2%	16.3%	12.2%
年齢	20代以下	4	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%	25.0%
	30代	9	11.1%	0.0%	0.0%	11.1%	0.0%	22.2%	11.1%
	40代	8	50.0%	12.5%	12.5%	25.0%	0.0%	12.5%	12.5%
	50代	16	25.0%	0.0%	6.3%	6.3%	18.8%	0.0%	6.3%
	60代	25	20.0%	0.0%	4.0%	8.0%	12.0%	12.0%	16.0%
	70代	23	4.3%	8.7%	13.0%	17.4%	13.0%	13.0%	30.4%
	80代以上	16	12.5%	0.0%	6.3%	18.8%	12.5%	12.5%	0.0%
居住地 ブロック	中央	37	13.5%	0.0%	2.7%	8.1%	8.1%	18.9%	21.6%
	東部	17	11.8%	5.9%	0.0%	11.8%	23.5%	5.9%	5.9%
	西部	19	26.3%	5.3%	15.8%	26.3%	10.5%	5.3%	5.3%
	三瓶	4	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%	25.0%
	高山	6	0.0%	16.7%	16.7%	0.0%	16.7%	16.7%	16.7%
	温泉津	7	28.6%	0.0%	0.0%	0.0%	14.3%	0.0%	14.3%
	仁摩	10	20.0%	0.0%	20.0%	30.0%	0.0%	0.0%	20.0%

※数値の網掛け□はその区分において最も高い数値を示す。□は2番目に高い数値を示す。□は3番目に高い数値を示す。

※青太字は全体平均より5ポイント以上10ポイント未満の値を示す。赤太字は、全体平均より10ポイント以上高い値を示す。

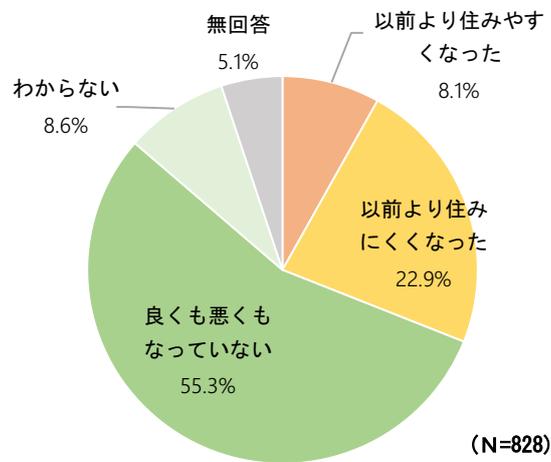
(4) 生活環境の変化

問 1 3 あなたは、ここ数年の間で、お住いの地域の周辺的生活環境について、全般的にどのようになつたと感じていますか。(1つ選んで○をつけてください)

- | | | |
|-----------------|-----------------|-----------------|
| 1. 以前より住みやすくなった | 2. 以前より住みにくくなった | 3. 良くも悪くもなっていない |
| 4. わからない | | |

【全体結果】

- 全体では、「良くも悪くもなっていない」が55.3%と最も高く、全体の約6割を占めている。一方、「以前より住みにくくなった」は22.9%となっており、「以前より住みやすくなった」の8.1%よりも大きく上回っている。



【生活環境の変化：性別・年齢別・居住地別クロス】

- 性別にみると、「男性」、「女性」ともに全体平均とほぼ同様の傾向となっている。
- 年齢別にみると、「30代」を除く年代では「良くも悪くもなっていない」が5割以上を占めているものの、「30代」では「以前より住みにくくなった」が約3割となっており、全体平均よりも5ポイント以上高くなっている。
- 居住地別にみると、「中央」、「東部」、「西部」では「以前より住みにくくなった」が約2割を占めており、「以前より住みやすくなった」の割合よりも高くなっている。「仁摩」では「以前より住みにくくなった」が約3割となっており、全体平均よりも5ポイント以上高くなっている。

		合計	以前より住みやすくなった	以前より住みにくくなった	良くも悪くもなっていない	わからない	無回答
全体		828 100.0%	67 8.1%	190 22.9%	458 55.3%	71 8.6%	42 5.1%
性別	男性	360 100.1%	20 5.6%	91 25.3%	202 56.1%	29 8.1%	18 5.0%
	女性	375 100.0%	41 10.9%	76 20.3%	201 53.6%	35 9.3%	22 5.9%
年齢	20代以下	38 100.1%	3 7.9%	8 21.1%	20 52.6%	5 13.2%	2 5.3%
	30代	57 100.0%	6 10.5%	17 29.8%	27 47.4%	4 7.0%	3 5.3%
	40代	100 100.0%	13 13.0%	21 21.0%	50 50.0%	11 11.0%	5 5.0%
	50代	94 100.0%	4 4.3%	25 26.6%	52 55.3%	6 6.4%	7 7.4%
	60代	205 100.1%	10 4.9%	42 20.5%	124 60.5%	19 9.3%	10 4.9%
	70代	207 100.1%	20 9.7%	50 24.2%	114 55.1%	15 7.2%	8 3.9%
	80代以上	124 100.0%	11 8.9%	27 21.8%	68 54.8%	11 8.9%	7 5.6%
居住地ブロック	中央	287 100.0%	30 10.5%	69 24.0%	154 53.7%	19 6.6%	15 5.2%
	東部	137 99.9%	15 10.9%	33 24.1%	75 54.7%	9 6.6%	5 3.6%
	西部	166 100.0%	11 6.6%	35 21.1%	92 55.4%	21 12.7%	7 4.2%
	三瓶	42 100.0%	0 0.0%	6 14.3%	25 59.5%	7 16.7%	4 9.5%
	高山	41 100.1%	3 7.3%	7 17.1%	23 56.1%	4 9.8%	4 9.8%
	温泉津	53 100.1%	1 1.9%	9 17.0%	39 73.6%	3 5.7%	1 1.9%
	仁摩	90 100.1%	6 6.7%	29 32.2%	42 46.7%	7 7.8%	6 6.7%

※数値の網掛け□はその区分において最も高い数値を示す。□は次に高い数値を示す。（「わからない」、「無回答」を除く）

※青太字は全体平均より5ポイント以上10ポイント未満の値を示す。赤太字は、全体平均より10ポイント以上高い値を示す。

問13-1 その理由は何ですか。(自由記載)

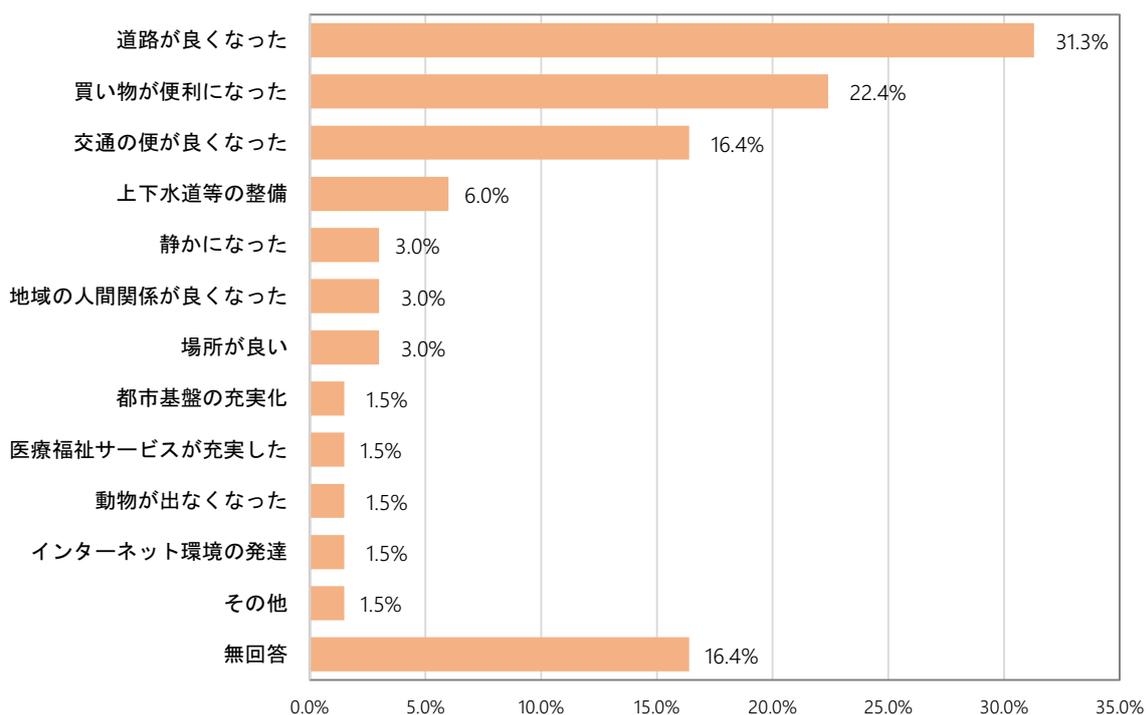
※問13で「1. 以前より住みやすくなった」または「2. 以前より住みにくくなった」と回答した方のみ

1. 以前より住みやすくなった 理由

【全体結果】

- 全体では、道路整備により「道路が良くなった」という意見が31.3%と最も高く、次いで、大型店の出店等により「買い物が便利になった」という意見が22.4%、「交通の便が良くなった」が16.4%となっている。

※「理由」の集計はキーワードにより集計した。



(n=67)

【以前より住みやすくなった理由（1%以上の項目について抜粋）：性別・年齢別・居住地別クロス】

- 性別にみると、「男性」では「交通の便が良くなった」が約3割となっており、全体平均よりも5ポイント以上高くなっている。
- 年齢別にみると、「40代」、「50代」で「買い物が便利になった」全体平均よりも10ポイント以上高くなっている。一方、「60代」及び「70代」では割合が約1割と低くなっている。
- 居住地別にみると、「中央」では「買い物が便利になった」が約3割を占めており、全体平均よりも5ポイント以上高くなっている。また、「仁摩」、「高山」「西部」では「道路が良くなった」が4割以上を占めており、全体平均よりも10ポイント以上高くなっている。

		合計 件数	道路が良 くなった	買い物が便 利になった	交通の便 が良くな った	上下水道 等の整備	静かにな った	地域の 関係が 良くなっ た	場所が良 い
全体		67	31.3%	22.4%	16.4%	6.0%	3.0%	3.0%	3.0%
性別	男性	32	31.3%	25.0%	25.0%	3.1%	0.0%	0.0%	3.1%
	女性	27	33.3%	22.2%	7.4%	3.7%	7.4%	7.4%	3.7%
年齢	20代以下	8	0.0%	62.5%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	30代	8	37.5%	0.0%	12.5%	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%
	40代	6	33.3%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	50代	2	100.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	60代	13	38.5%	15.4%	38.5%	15.4%	0.0%	0.0%	0.0%
	70代	16	31.3%	12.5%	12.5%	12.5%	0.0%	12.5%	0.0%
	80代以上	14	28.6%	21.4%	7.1%	0.0%	14.3%	0.0%	0.0%
	居住地 ブロック	中央	30	23.3%	30.0%	23.3%	0.0%	0.0%	0.0%
	東部	15	26.7%	20.0%	13.3%	13.3%	13.3%	6.7%	6.7%
	西部	11	45.5%	18.2%	0.0%	9.1%	0.0%	9.1%	0.0%
	三瓶	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	高山	3	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	温泉津	1	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	仁摩	6	50.0%	0.0%	0.0%	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%

※数値の網掛け□はその区分において最も高い数値を示す。□は2番目に高い数値を示す。□は3番目に高い数値を示す。

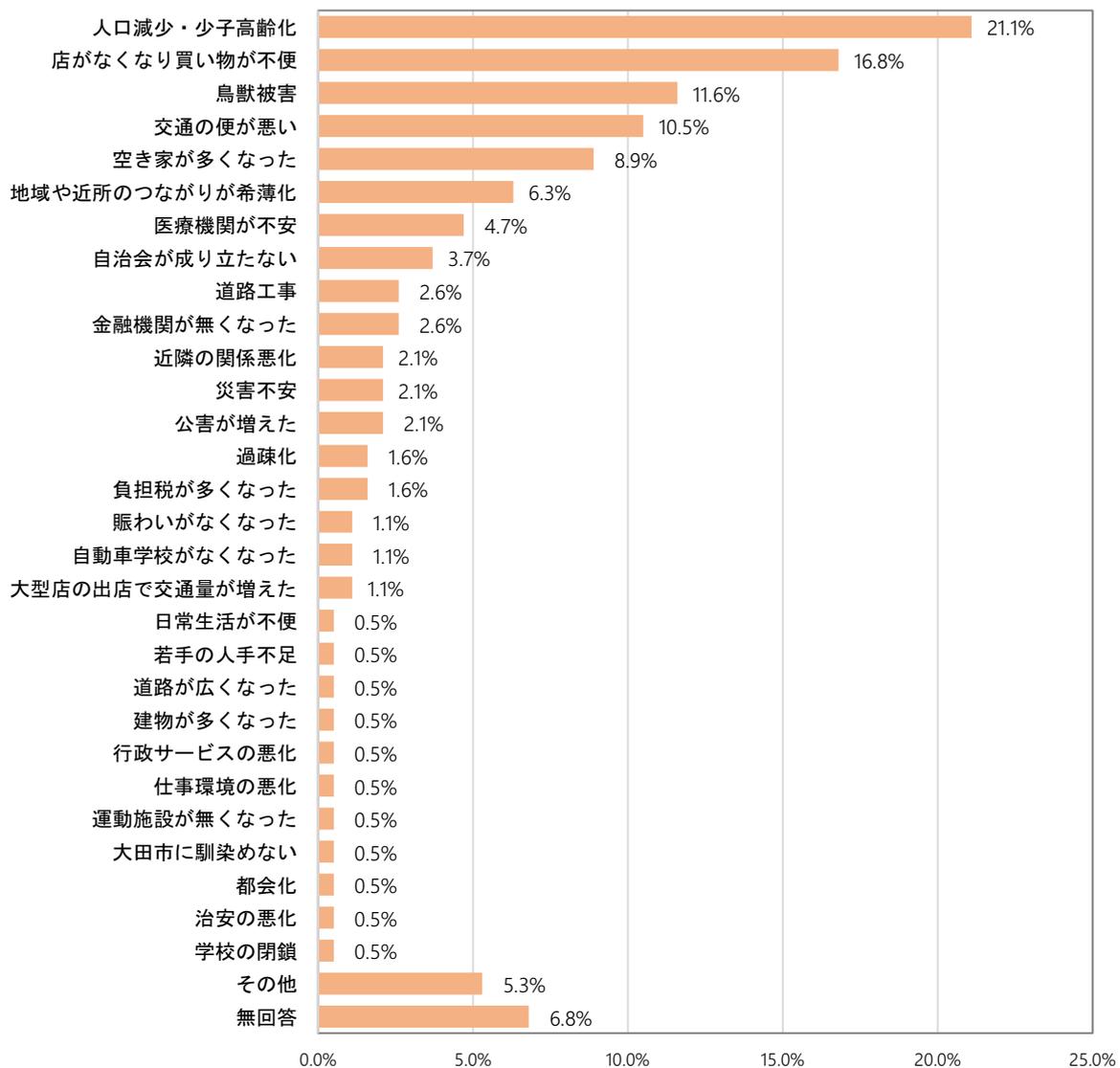
※青太字は全体平均より5ポイント以上10ポイント未満の値を示す。赤太字は、全体平均より10ポイント以上高い値を示す。

2. 以前より住みにくくなった 理由

【全体結果】

- 全体では、「人口減少・少子高齢化」という意見が21.1%と最も高く、次いで、「店がなくなり、買い物が不便」という意見が16.8%、「鳥獣被害」が11.6%となっている。

※「理由」の集計はキーワードにより集計した。



(n=190)

【以前より住みにくくなった理由（1%以上の項目について抜粋）：性別・年齢別・居住地別クロス】

- 性別にみると、「男性」では「鳥獣被害」が約 1.5 割、「女性」では「交通の便が悪い」が約 1.5 割となっており、全体平均よりも 5 ポイント以上高くなっている。
- 年齢別にみると、「20 代以下」、「30 代」で「店がなくなり買い物が不便」が約 3 割。「60 代」、「80 代以上」でも全体平均よりも高くなっている。
- 居住地別にみると、「三瓶」、「高山」、「温泉津」では「店がなくなり買い物が不便」が約 3 割で、全体平均よりも 10 ポイント以上高くなっている。また、「高山」では「人口減少・少子高齢化」が約半数を占め、全体平均よりも 10 ポイント以上高くなっている。

		合計 件数	化 少子 人口 減少 高齢	不 便 り 買 い 物 が 店 が な く な る	鳥 獣 被 害	交 通 の 便 が 悪 い	た 多 く 空 き 家 が な っ た	地 域 や 近 所 の つ な が り	医 療 機 関 が 不 安	自 治 会 が 成 り 立 た な い
全体		190	21.1%	16.8%	11.6%	10.5%	8.9%	6.3%	4.7%	3.7%
性別	男性	87	24.1%	16.1%	17.2%	6.9%	8.0%	4.6%	3.4%	5.7%
	女性	78	16.7%	19.2%	6.4%	16.7%	11.5%	7.7%	5.1%	2.6%
年齢	20 代以下	3	33.3%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	30 代	3	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	66.7%	0.0%
	40 代	20	15.0%	15.0%	5.0%	5.0%	0.0%	0.0%	10.0%	10.0%
	50 代	26	23.1%	7.7%	19.2%	0.0%	11.5%	15.4%	0.0%	0.0%
	60 代	55	32.7%	21.8%	14.5%	12.7%	9.1%	1.8%	3.6%	1.8%
	70 代	51	11.8%	13.7%	15.7%	13.7%	7.8%	7.8%	3.9%	7.8%
	80 代以上	32	18.8%	18.8%	0.0%	15.6%	15.6%	9.4%	3.1%	0.0%
	居住地 ブロック	中央	69	23.2%	14.5%	10.1%	13.0%	8.7%	4.3%	1.4%
	東部	33	18.2%	15.2%	15.2%	15.2%	9.1%	9.1%	6.1%	0.0%
	西部	35	25.7%	20.0%	8.6%	5.7%	8.6%	2.9%	11.4%	5.7%
	三瓶	6	16.7%	33.3%	16.7%	0.0%	0.0%	16.7%	0.0%	0.0%
	高山	7	57.1%	28.6%	14.3%	0.0%	14.3%	0.0%	0.0%	14.3%
	温泉津	9	11.1%	33.3%	11.1%	11.1%	0.0%	11.1%	11.1%	0.0%
	仁摩	29	10.3%	10.3%	13.8%	10.3%	13.8%	10.3%	3.4%	0.0%

		合計 件数	道 路 事 故	金 融 機 関 が 無 く な っ た	近 隣 の 関 係 悪 化	災 害 不 安	た 多 く 負 担 税 が な っ た	公 害 が 増 え た	過 疎 化	た 多 く 負 担 税 が な っ た
全体		273	2.6%	2.6%	2.1%	2.1%	2.1%	1.6%	1.6%	2.6%
性別	男性	112	2.3%	2.3%	2.3%	2.3%	3.4%	2.3%	1.1%	2.3%
	女性	122	1.3%	2.6%	1.3%	2.6%	1.3%	1.3%	2.6%	1.3%
年齢	20 代以下	10	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	30 代	14	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	40 代	24	0.0%	0.0%	5.0%	5.0%	5.0%	0.0%	5.0%	0.0%
	50 代	38	3.8%	3.8%	3.8%	0.0%	3.8%	0.0%	0.0%	3.8%
	60 代	70	3.6%	1.8%	1.8%	3.6%	1.8%	3.6%	0.0%	3.6%
	70 代	64	2.0%	5.9%	2.0%	0.0%	2.0%	2.0%	2.0%	2.0%
	80 代以上	53	3.1%	0.0%	0.0%	3.1%	0.0%	0.0%	3.1%	3.1%
居住地 ブロック	中央	88	4.3%	2.9%	0.0%	0.0%	1.4%	0.0%	2.9%	4.3%
	東部	50	0.0%	3.0%	0.0%	3.0%	3.0%	0.0%	3.0%	0.0%
	西部	35	5.7%	2.9%	2.9%	2.9%	0.0%	5.7%	0.0%	5.7%
	三瓶	13	0.0%	0.0%	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	高山	16	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	温泉津	40	0.0%	11.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	仁摩	28	0.0%	0.0%	3.4%	6.9%	6.9%	3.4%	0.0%	0.0%

※数値の網掛け□はその区分において最も高い数値を示す。□は2番目に高い数値を示す。□は3番目に高い数値を示す。

※青太字は全体平均より 5 ポイント以上 10 ポイント未満の値を示す。赤太字は、全体平均より 10 ポイント以上高い値を示す。

3.2 施策の「満足度」と「重要度」

3.2.1 満足度評価と重要度評価

問 1 4 次の表は、大田市がこれまで取り組んできたまちづくりの施策（大田市総合計画（平成 19 年度策定）の基本計画の施策）を示しています。これらの「①から⑩」の取り組みについて、それぞれ【A】現状の満足度と【B】今後の重要度をどのように考えていますか。（あてはまる番号を 1 つ選んで○をつけてください）

大田市の総合計画に掲げた 27 の施策について、「満足度」と「今後の重要度」をたずねた。27 の施策については、次の表のとおりである。

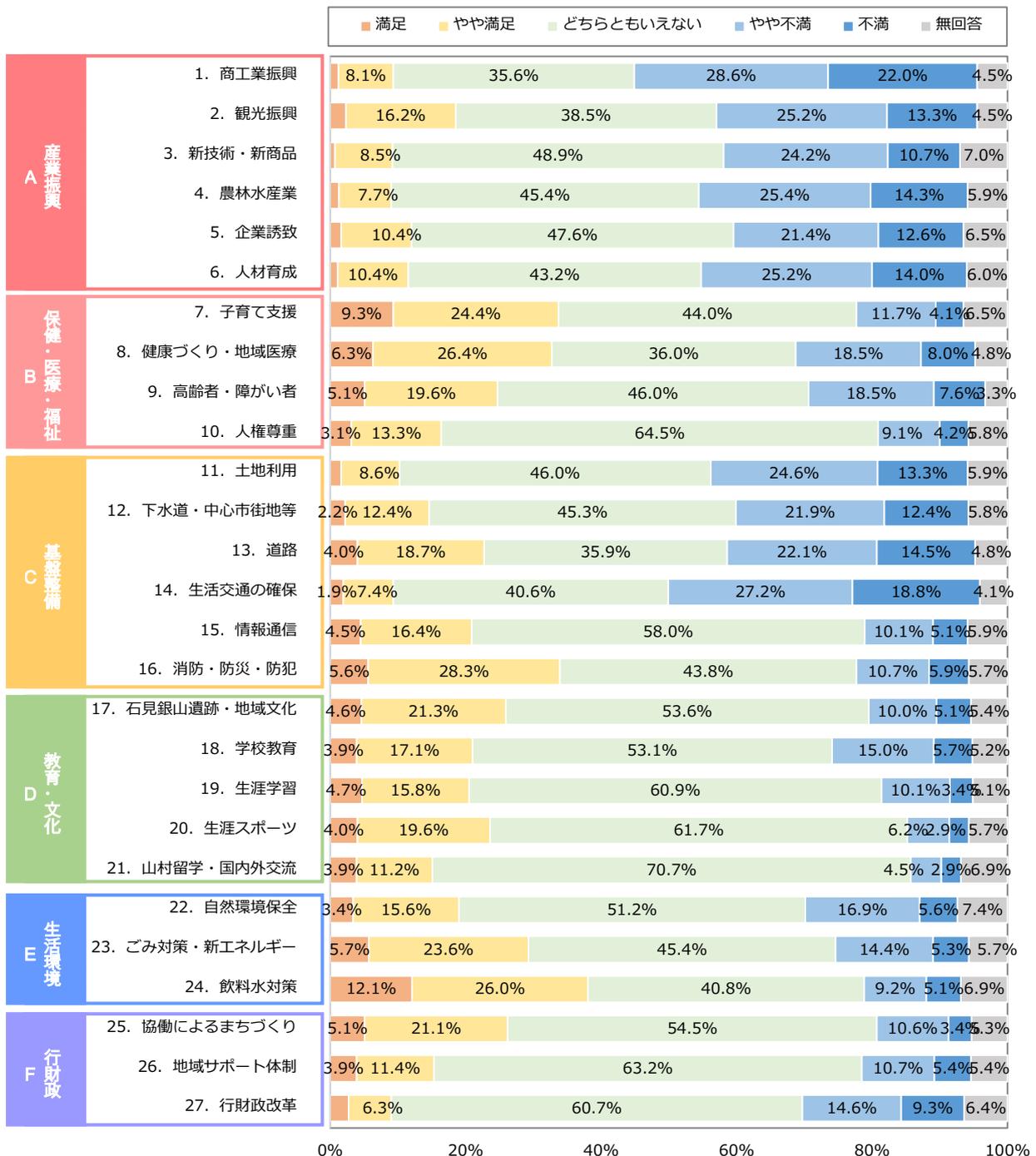
施策大綱	設問番号	設問内容	略表記
A 産業振興	1	商工業の振興 ・道の駅の整備運営等による地元製品の販売促進 ・地産地消の推進による地域内消費の拡大 ・大田市駅周辺を中心市街地の活性化 など	商工業振興
	2	観光の振興 ・大田市観光協会と連携し、観光資源の磨き上げや、地域一体となった観光地域づくり ・観光地の景観保全、維持管理などの受入環境整備 ・世界遺産・国立公園・日本遺産の魅力発信 など	観光振興
	3	新産業の創出 ・地域資源を活かした新商品開発の支援 ・関係機関と連携した起業創業の支援 ・円滑な事業承継に向けての支援 など	新産業・新商品
	4	農林水産業の振興 ・地元原材料等を活かした新たな特産品づくりや 6 次産業化の推進 ・担い手の確保・育成 ・ほ場整備、漁場整備、森林施業等の生産基盤の整備や融資制度、利子補給等による経営支援 など	農林水産業
	5	企業誘致活動の推進 ・製造業、IT 関連企業等への積極的な誘致 ・誘致した企業への支援の強化、関連する産業の育成 など	企業誘致
	6	人材育成の推進 ・高校生等を対象とした、地元企業を知る機会の充実 ・地元企業・地元で働く人の情報発信と職業紹介 ・地域をけん引する若手経営者・後継者の育成 など	人材育成
B 保健・医療・福祉	7	子育て支援の充実 ・子育て支援体制の整備・充実 ・中学生までの子ども医療費の助成 ・保育サービスの充実、第 3 子以降の保育料の無償化及び副食費免除 など	子育て支援
	8	保健・健康づくりの推進、地域医療の充実・確保 ・妊娠から子育て期までの支援や、生活習慣病予防の対策、ワクチン接種の助成 ・医師・看護師の確保、市立病院の医療機器の充実、地域医療の充実 など	健康づくり・地域医療
	9	高齢者・障がい者の福祉の充実 ・高齢者や障がい者の権利擁護の支援、介護・障がい福祉人材の確保 ・介護予防施策の推進、認知症高齢者を支える地域づくり ・大田市社会福祉協議会など関係機関と連携し、経済的に困窮している人や障がい者の総合的な相談支援体制の充実 など	高齢者・障がい者
	10	人権尊重の推進 ・人権啓発・教育の推進、男女共同参画社会の推進、消費者の安全・安心の確保 など	人権尊重

施策大綱	設問番号	設問内容	略表記
C 基盤整備	11	計画的な土地利用の促進 ・コンパクトで利便性の高いまちづくりの促進（計画的な行政・医療・福祉・商業の都市機能の集積） など	土地利用
	12	都市基盤の整備 ・下水道や浄化槽の整備、中心市街地の整備、市営住宅や公園の整備 など	下水道・中心市街地等
	13	道路ネットワークの整備 ・高速道路や国道・県道の整備促進、市道・農林道の整備 など	道路
	14	公共交通の確保 ・市内路線バスの運行時刻や路線の見直しによる利便性の向上、運行維持 ・地域による予約型乗り合いタクシーの導入 など	生活交通の確保
	15	情報通信網の整備・活用 ・ケーブルテレビの普及促進 ・情報通信基盤を活かした各分野における活用・連携・電子申請への取組み など	情報通信
	16	安全な生活の確保 ・消防・救急救助体制や防災体制の充実・強化、交通安全対策の推進、防犯対策の充実、治山治水対策等の推進 など	消防・防災・防犯
D 教育・文化	17	遺跡保全と歴史・文化の振興 ・石見銀山遺跡とその関連史跡の保全・整備や町並みの整備や情報発信 ・地域固有の歴史・文化財・民俗芸能の理解と保存・活用、芸術文化の振興 など	石見銀山遺跡・地域文化
	18	学校教育の推進 ・地域と連携した学習活動、ふるさと教育、高校魅力化の推進 ・老朽校舎、体育館の改修や学校給食の充実等の学校教育環境の整備・充実 など	学校教育
	19	生涯学習の推進 ・公民館を中心とした社会教育の推進、図書館の利用促進 など	生涯学習
	20	生涯スポーツの推進 ・スポーツ活動の推進やスポーツ施設の改修、大田市健康・体力づくり市民大会・三瓶高原クロスカントリー大会などの交流活動の推進 など	生涯スポーツ
	21	地域間交流の推進 ・小中学生の山村留学（長期・短期）の推進 ・韓国の大田（テジョン）廣域市や岡山県笠岡市との国内外交流の推進 など	山村留学・国内外交流
E 生活環境	22	自然環境の保全 ・海岸・河川等の自然環境の保全と、自然や歴史を活かした景観づくりなど	自然環境保全
	23	ごみの減量化とリサイクルの促進 ・ごみ・し尿処理の対策、ごみのリサイクルの推進、太陽光発電などの新エネルギー導入の推進 など	ごみ対策・新エネルギー
	24	飲料水の確保と供給 ・上水道・簡易給水施設の整備	飲料水対策
D 行財政	25	協働のまちづくりの推進 ・市民と行政による持続可能なまちづくりの推進、まちづくりセンターの活動支援 ・広報誌の発行・ホームページの充実による市民との情報の共有化の推進 など	協働によるまちづくり
	26	地域サポート体制の充実 ・各ブロックの活動支援、自治会集会所建設などへの助成 など	地域サポート体制
	27	行財政改革の推進 ・公共施設の総延床面積の削減 ・歳入の確保（市税、ふるさと納税制度などの有効活用） ・歳出の削減（人件費などの経常的経費）など	行財政改革

3.2.2 満足度評価

【全体評価結果】

- 施策大綱別では、「A産業振興」「C基盤整備」は『不満』（「不満」と「やや不満」を合わせた割合。）が高い施策が多く、特に「A産業振興」では『満足』（「満足」と「やや満足」を合わせた割合。）がどの施策も約1割と低くなっている。
- 施策別では、『満足』が最も高いのは「24. 飲料水対策」（38.1%）となっており、次いで、「16. 消防・防災・防犯」（33.9%）、「7. 子育て支援」（33.7%）となっている。
『不満』が最も高いのは、「1. 商工業振興」（50.6%）であり、次いで「14. 生活交通の確保」（46.0%）、「4. 農林水産業」（39.7%）となっている。



(1) 満足度の指標化

「満足度」をよりの確に分析するため以下のように係数（ウエイト）を設定し、加重平均による指標化を行った。

【係数（ウエイト）】

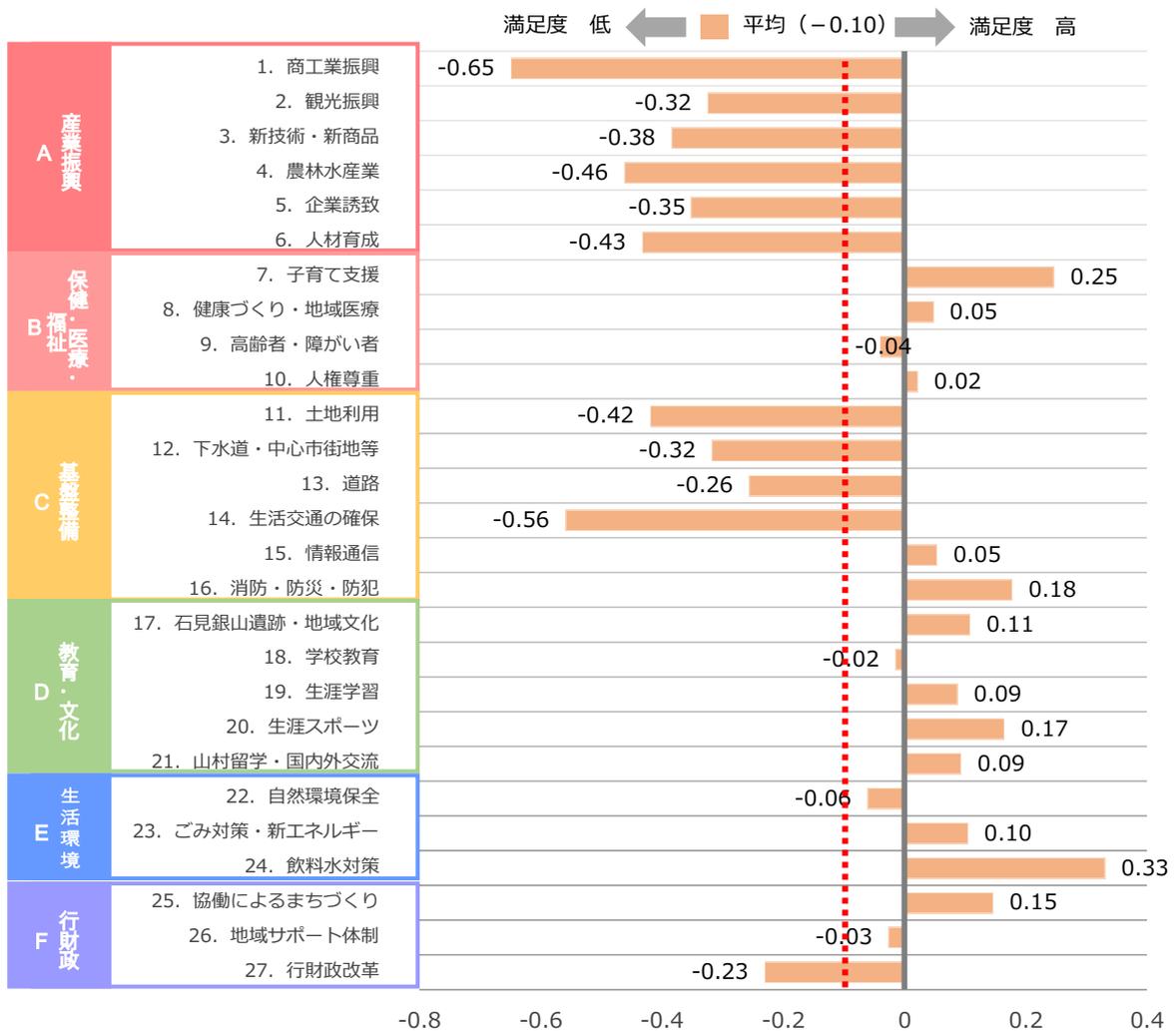
・満点：2点 やや満足：1点 どちらともいえない：0点 やや不満：-1点 不満：-2点

【計算式】

・（「満足」の件数×2点＋「やや満足」の件数×1点＋「どちらともいえない」の件数×0点＋「やや不満」の件数×-1点＋「不満」の件数×-2点）÷（回答者件数－無回答件数）

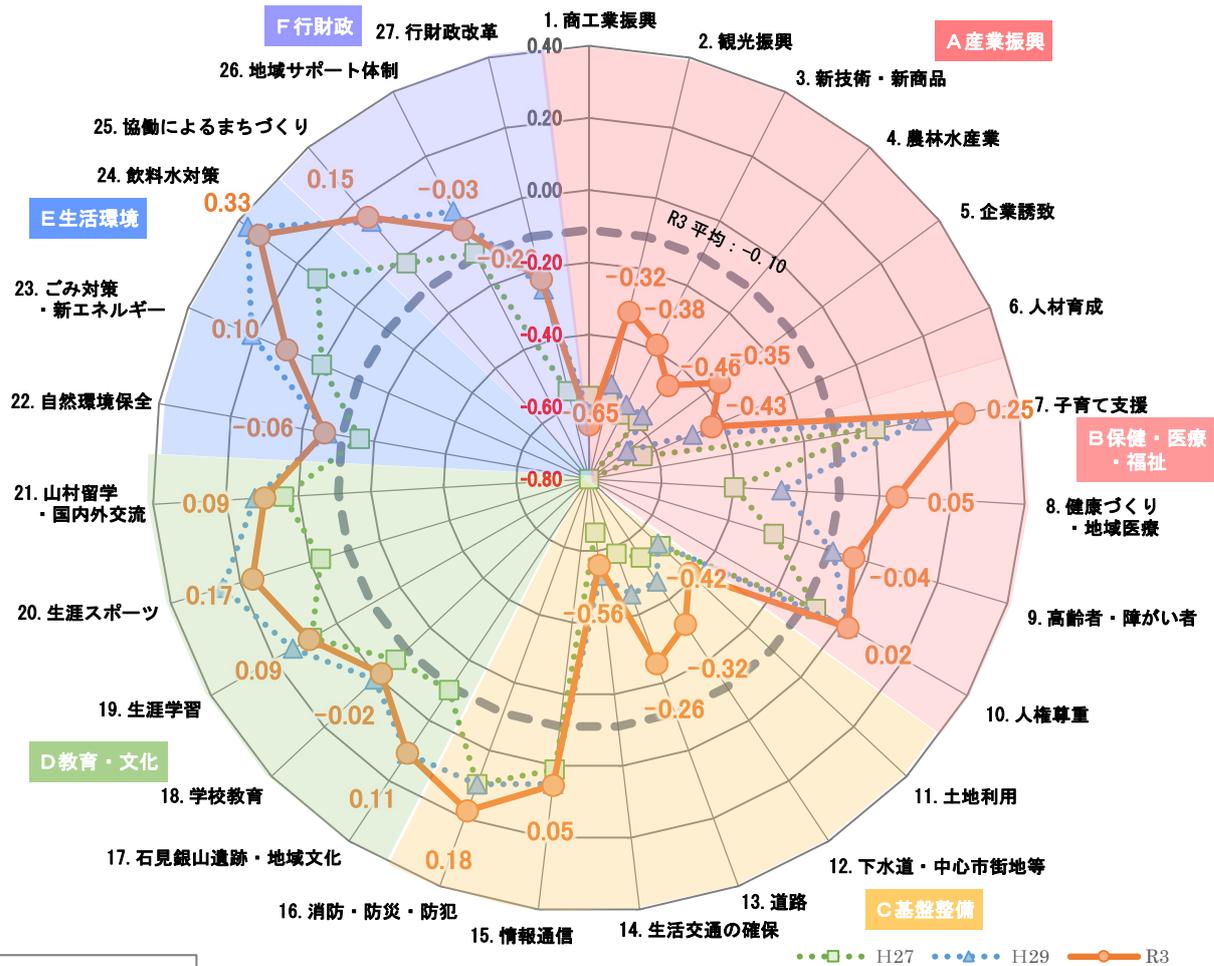
【満足度/ウエイト値による集計】

- 施策大綱別では、「D教育・文化」「E生活環境」は満足度が総じて高く、「A産業振興」「C基盤整備」は低くなっている。
- 施策別では、満足度は「24.飲料水対策」（0.33）が最も高くなっており、次いで、「7.子育て支援」（0.25）、「16.消防・防災・防犯」（0.18）となっている。
満足度が最も低いのは「1.商工業振興」（-0.65）であり、次いで「14.生活交通の確保」（-0.56）、「4.農林水産業」（-0.46）となっている。



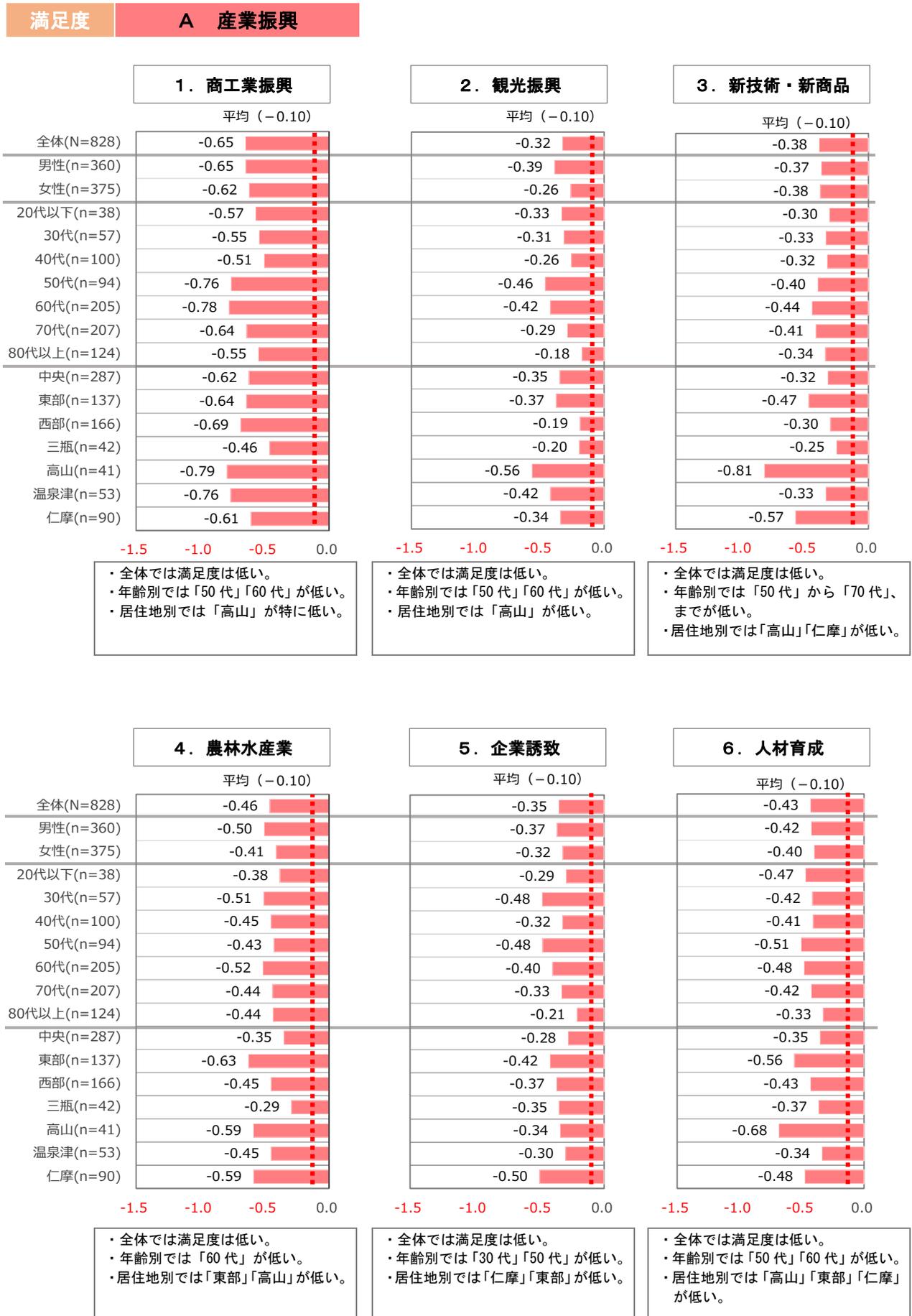
【満足度（過年度比較）】

- 施策大綱別では、「A産業振興」はH29 前回調査から満足度が低くなっている施策が多くなっている。その他は概ね前回調査から満足度は高くなっており、全体平均値も経年的に増加傾向にある。
- 施策別では、H29 前回調査でのマイナス値からプラス値に転じている施策として「7. 子育て支援」「15. 情報通信」「16. 消防・防災・防犯」「石見銀山遺跡・地域文化」「生涯スポーツ」がある。一方、経年的に満足度が低くなっている施策としては、「1. 商工業振興」「2. 観光振興」「3. 新技術・新商品」「農林水産業」「11. 土地利用」「12. 下水道・中心市街地等」がある。



※H27：総合戦略 平成27年大田市地方創生についてのアンケート調査（大田市総合戦略策定時） N=786
 ※H29：前回調査 平成29年大田市市民アンケート調査（第二次大田市総合計画策定時） N=1343
 ※R3：今回調査 令和3年大田市市民アンケート調査（第二次大田市総合計画） N=828

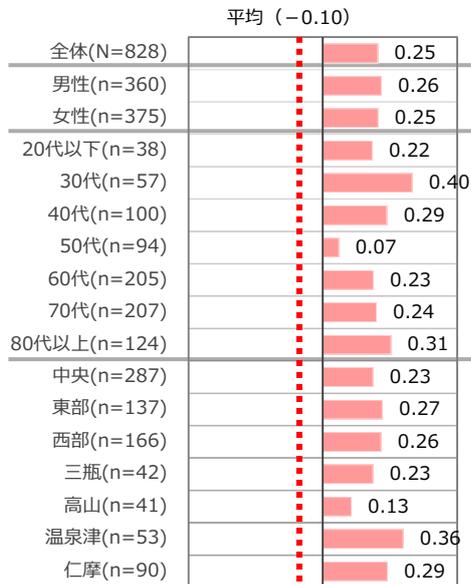
(2) 27施策の「満足度（加重平均値）」：全体・性別・年齢別・居住地別



満足度

B 保健・医療・福祉

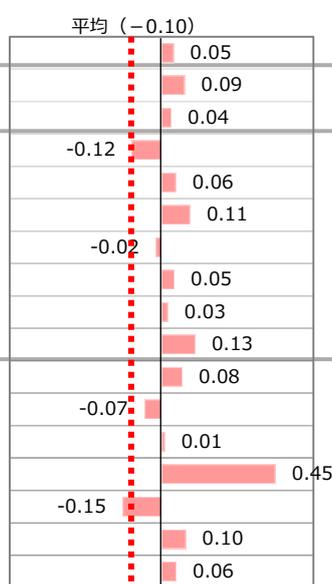
7. 子育て支援



-0.6 -0.4 -0.2 0.0 0.2 0.4 0.6

- ・全体では満足度は高い。
- ・年齢別では「30代」が最も高い。
- ・居住地別では「温泉津」が最も高い。一方、「高山」は全体平均以下と低い。

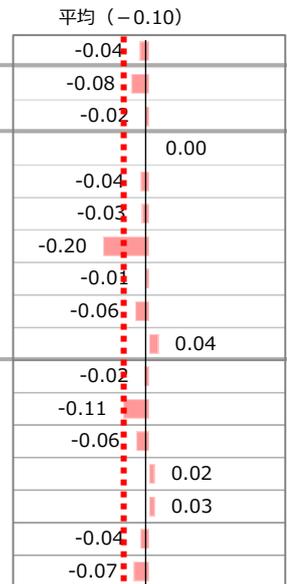
8. 健康づくり・地域医療



-0.6 -0.4 -0.2 0.0 0.2 0.4 0.6

- ・全体では満足度は高い。
- ・年齢別では「20代以下」「50代」が低い。
- ・居住地別では「三瓶」が低い。

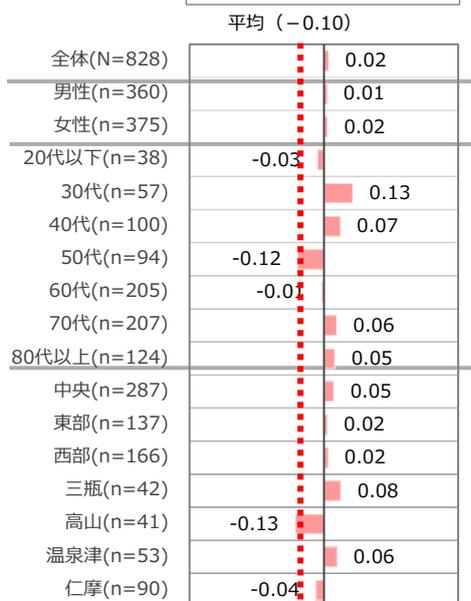
9. 高齢者・障がい者



-0.6 -0.4 -0.2 0.0 0.2 0.4 0.6

- ・全体では満足度は低い。
- ・年齢別では「50代」が低い。
- ・居住地別では「東部」が低い。

10. 人権尊重

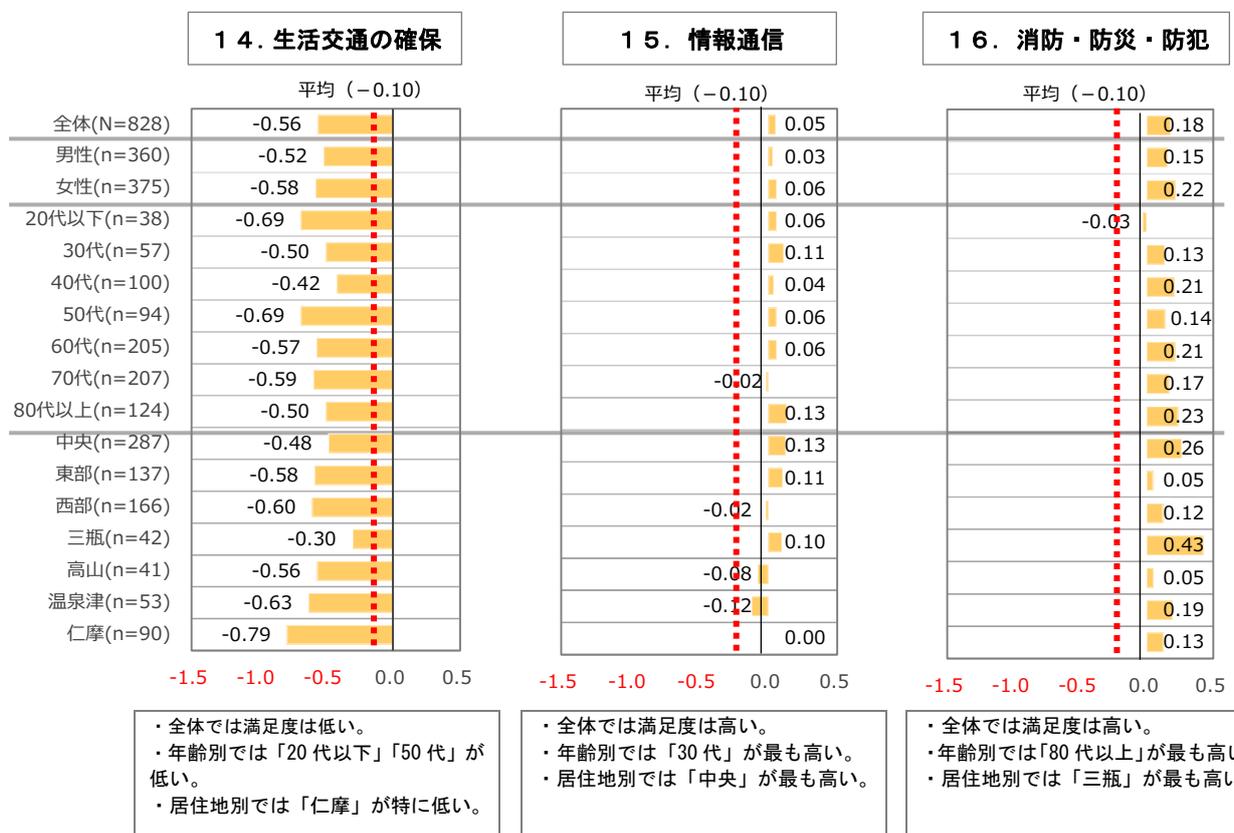
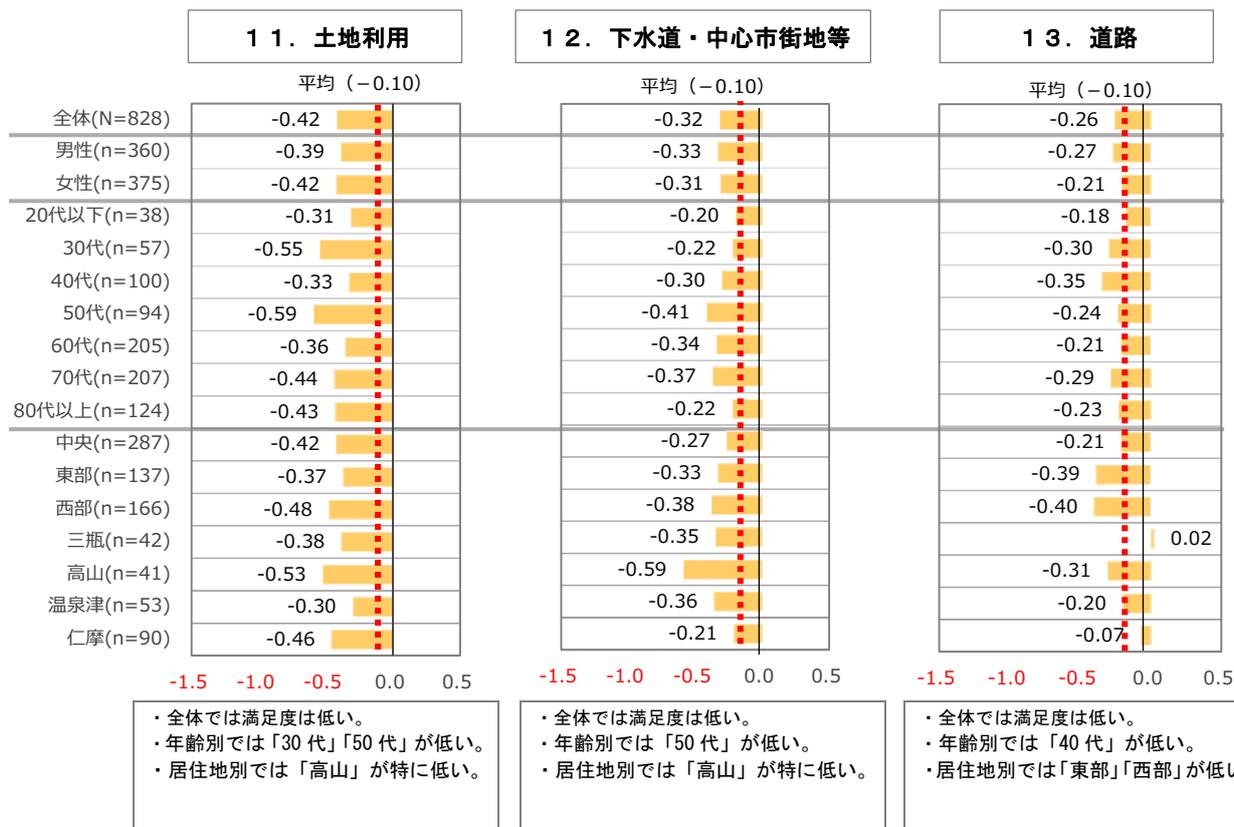


-0.6 -0.4 -0.2 0.0 0.2 0.4 0.6

- ・全体では満足度は高い。
- ・年齢別では「30代」が最も高い。
- ・居住地別では「三瓶」が最も高い。一方、「高山」は全体平均以下と低い。

満足度

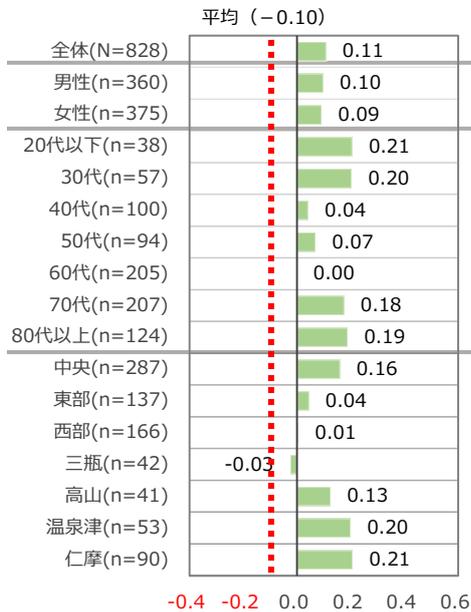
C 基盤整備



満足度

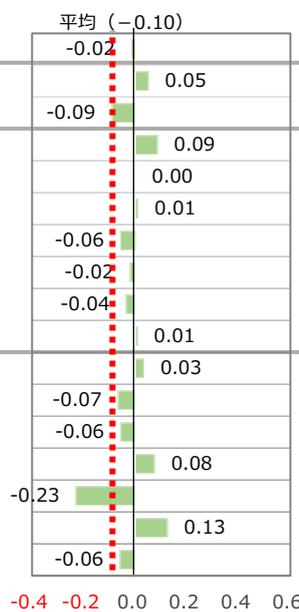
D 教育・文化

17. 石見銀山遺跡・地域文化



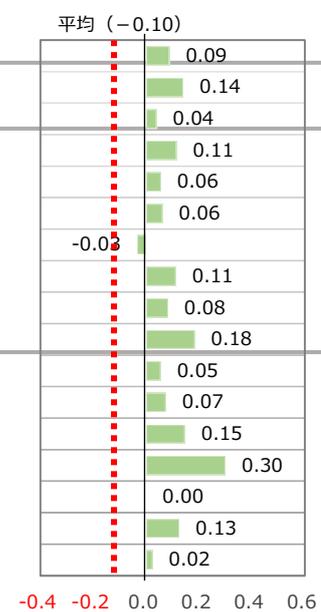
- ・全体では満足度は高い。
- ・年齢別では全体的に高いが「40代」は全体に比べ低い。
- ・居住地別では「仁摩」が最も高い。

18. 学校教育



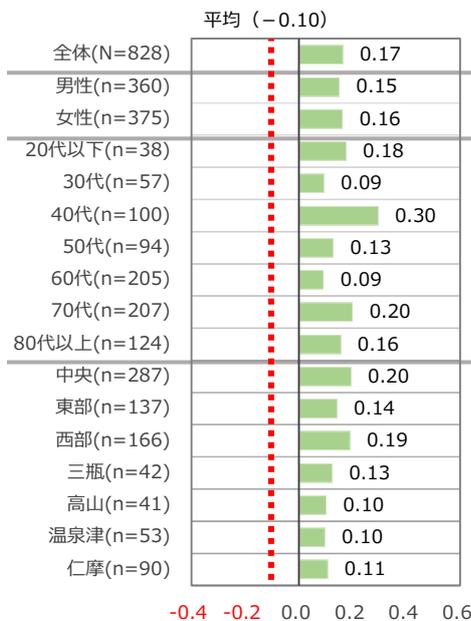
- ・全体では満足度は低い。
- ・性別では「女性」は低い。
- ・年齢別では「50代」「60代」が低い。
- ・居住地別では「高山」は低い。一方、「三瓶」「温泉津」は高い。

19. 生涯学習



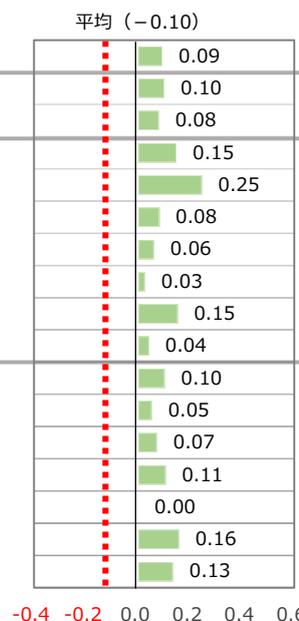
- ・全体では満足度は高い。
- ・性別では「男性」が高い。
- ・年齢別では「60代以上」が高い。
- ・居住地別では「三瓶」が特に高い。

20. 生涯スポーツ



- ・全体では満足度は高い。
- ・年齢別では「40代」「70代」が高い。
- ・居住地別では「中央」が特に高い。

21. 山村留学・国内外交流

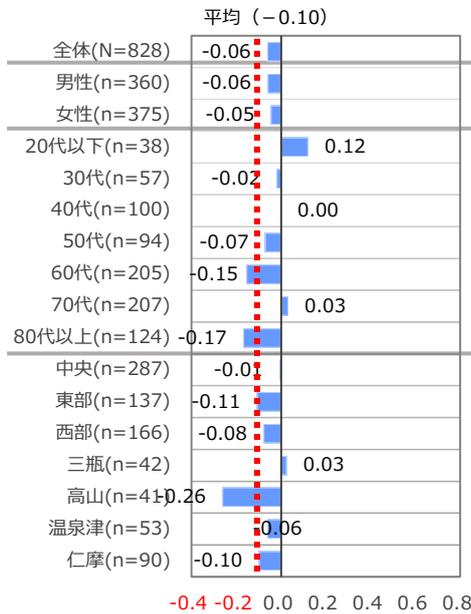


- ・全体では満足度は高い。
- ・性別では「男性」が高い。
- ・年齢別では「30代」「70代」が高い。
- ・居住地別では「温泉津」が特に高い。

満足度

D 生活環境

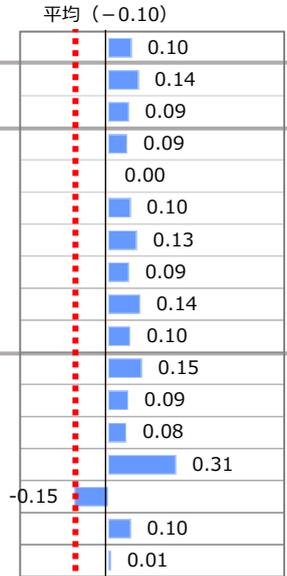
2 2. 自然環境



-0.4 -0.2 0.0 0.2 0.4 0.6 0.8

- ・全体では満足度は低い。
- ・居住地別では「高山」が特に低い。

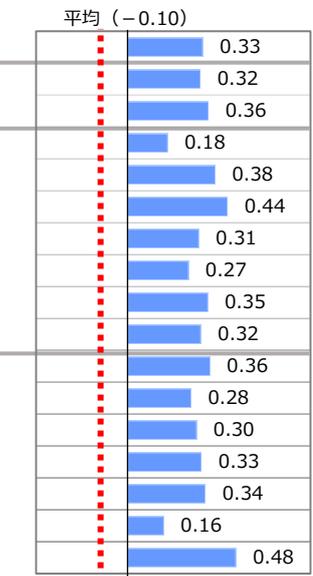
2 3. ごみ対策・新エネルギー



-0.4 -0.2 0.0 0.2 0.4 0.6 0.8

- ・全体では満足度は高い。
- ・年齢別では「70代」が高い。
- ・居住地別では「三瓶」が特に高い。

2 4. 飲料水対策



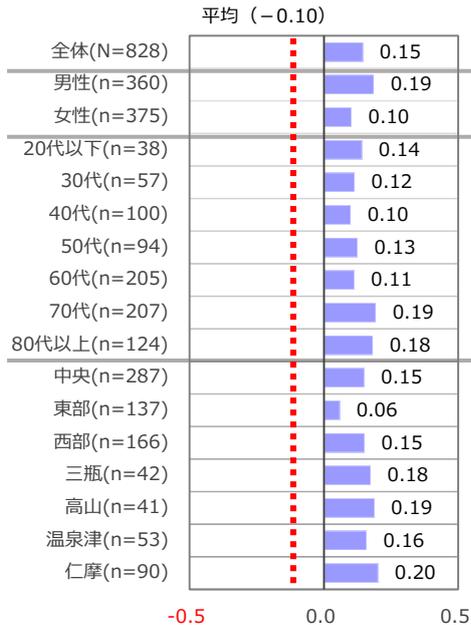
-0.4 -0.2 0.0 0.2 0.4 0.6 0.8

- ・全体では満足度は高い。
- ・年齢別では「30代」から「80代以上」まで総じて高い。
- ・居住地別では「仁摩」が特に高い。

満足度

E 行財政

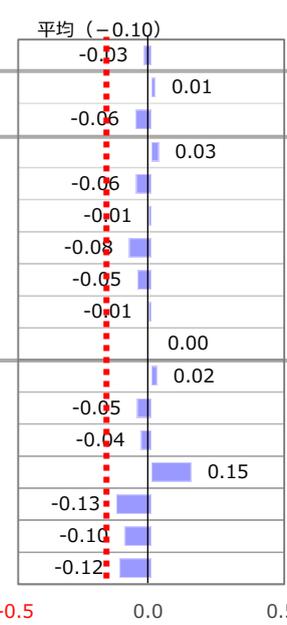
2 5. 協働のまちづくり



-0.5 0.0 0.5

- ・全体では満足度は高い。
- ・性別では「男性」が高い。
- ・年齢別では「70代」「80代以上」が高い。

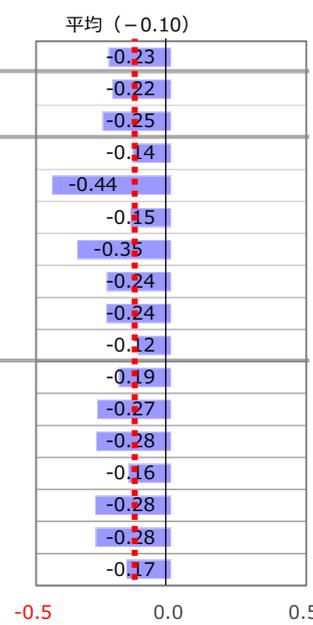
2 6. 地域サポート体制



-0.5 0.0 0.5

- ・全体では満足度は低い。
- ・年齢別では「50代」が低い。
- ・居住地別では「高山」「温泉津」「仁摩」が低い。

2 7. 行財政改革



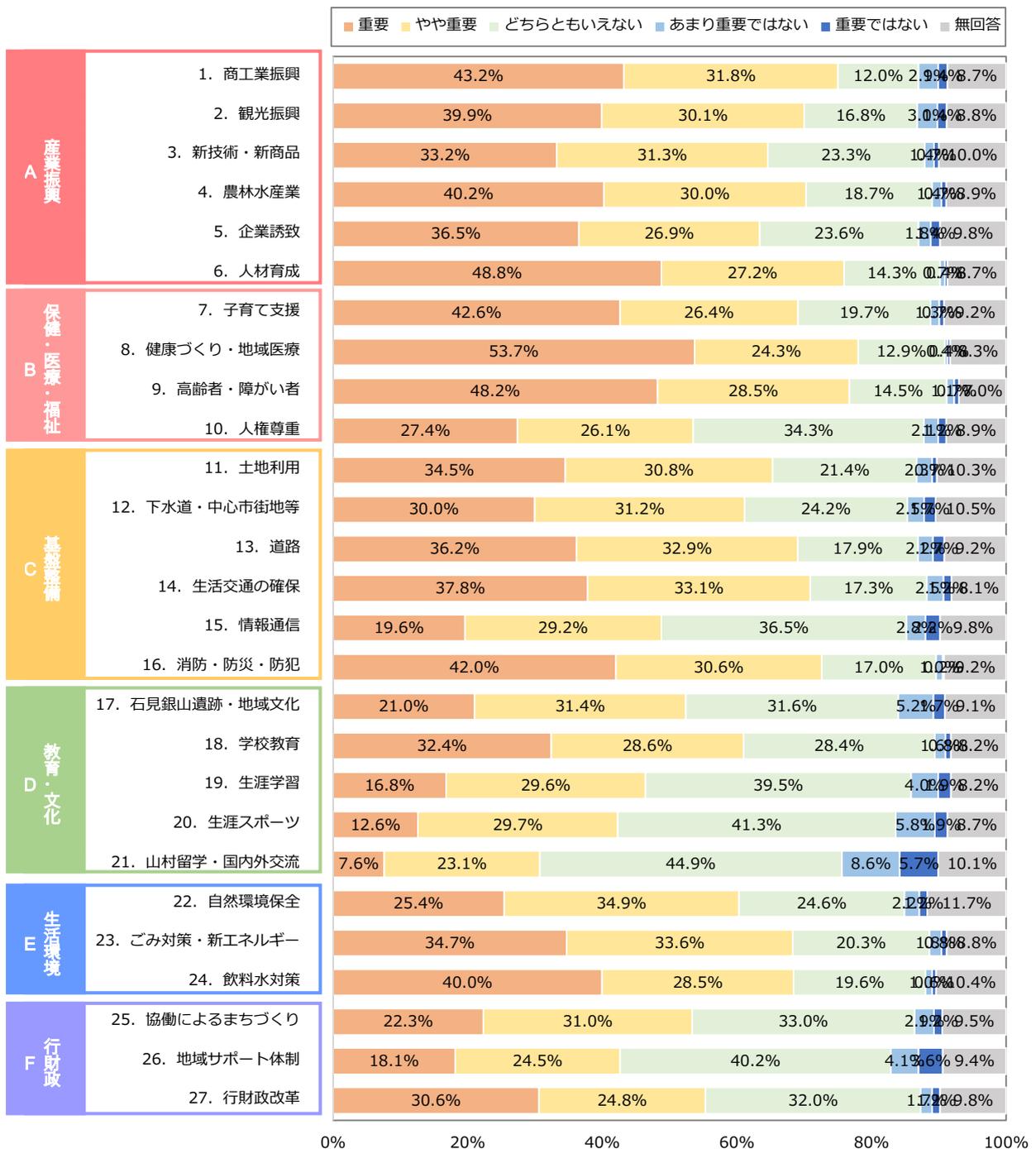
-0.5 0.0 0.5

- ・全体では満足度は低い。
- ・年齢別では「30代」「50代」で低い。

3.2.3 重要度評価

【全体評価結果】

- 施策大綱別では、「A産業振興」は『重要』（「重要」と「やや重要」を合わせた割合。）が高い施策が多く、全ての項目で6割以上が『重要』となっている。一方、「D教育・文化」「F行財政」では『重要』が5割未満である項目が多く、『重要でない』（「あまり重要ではない」と「重要ではない」を合わせた割合。）の割合が他の施策大綱に比べて高くなっている。
- 施策別では、『重要』が最も高いのは「8.健康づくり・地域医療」（78.0%）となっており、次いで、「9.高齢者・障がい者」（76.7%）、「6.人材育成」（76.0%）となっている。
『重要でない』が最も高いのは、「21.山村留学・国内外交流」（14.3%）であり、次いで「20.生涯スポーツ」「26.地域サポート体制」（7.7%）となっている。



(1) 重要度の指標化

「重要度」をよりの確に分析するため以下のように係数（ウエイト）を設定し、満足度と同様に加重平均による指標化を行った。

【係数（ウエイト）】

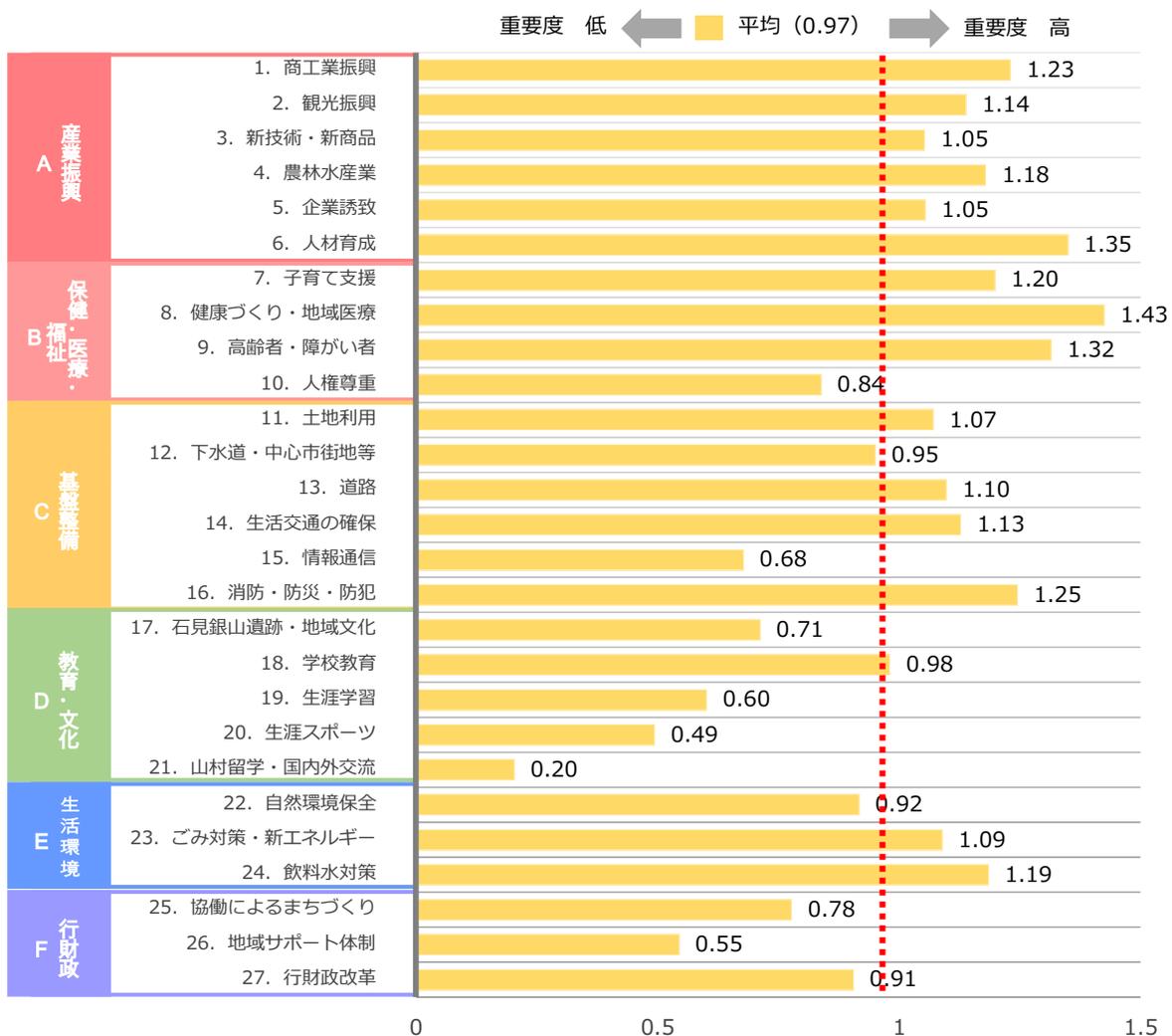
・重要：2点 やや重要：1点 どちらともいえない：0点 あまり重要でない：-1点 重要でない：-2点

【計算式】

・（「重要」の件数×2点＋「やや重要」の件数×1点＋「どちらともいえない」の件数×0点＋「あまり重要でない」の件数×-1点＋「重要でない」の件数×-2点）÷（回答者件数－無回答件数）

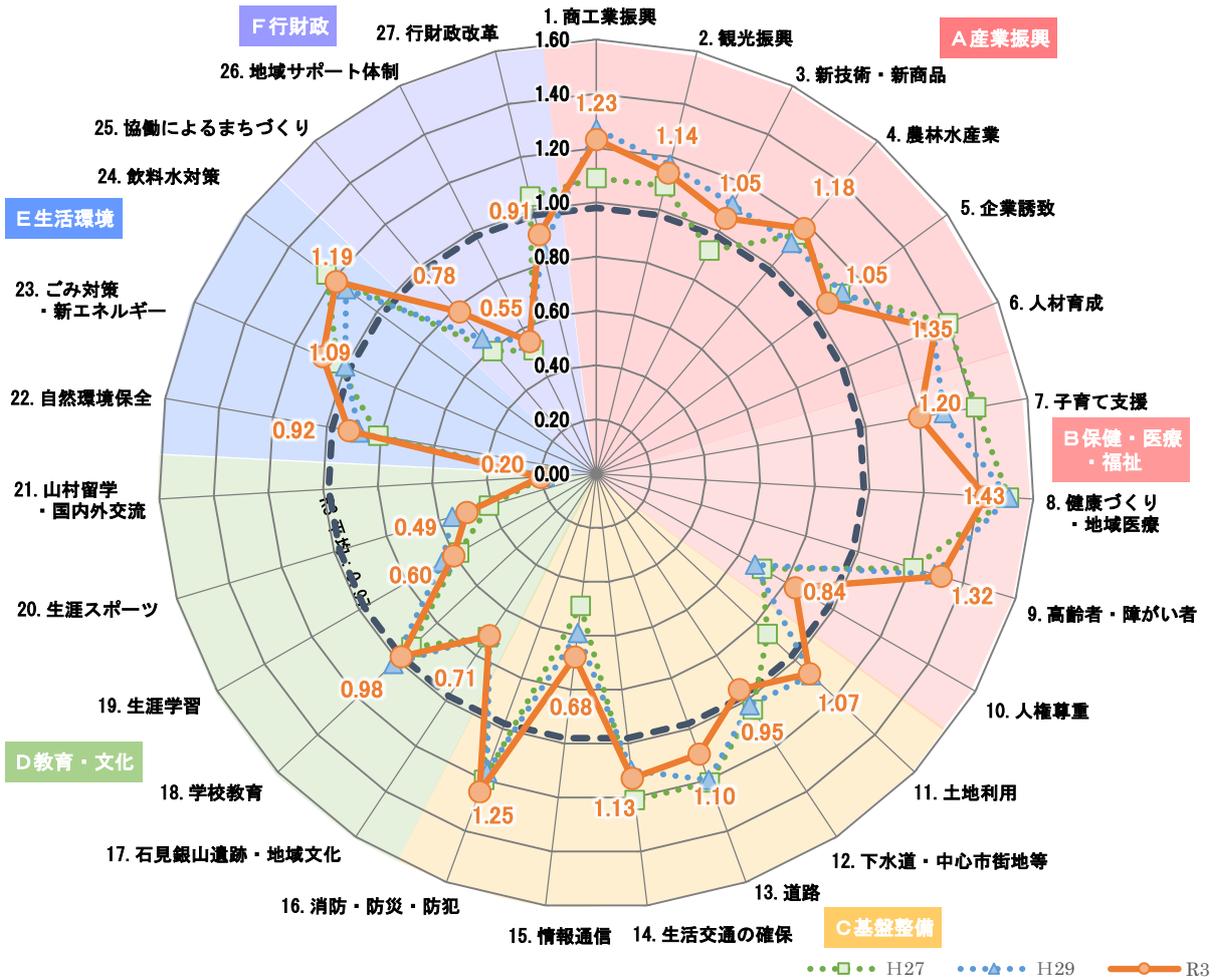
【重要度/ウエイト値による集計】

- 施策大綱別では、「A産業振興」「B保健・医療・福祉」は重要度が総じて高く、「D教育・文化」は低くなっている。
- 施策別では、重要度は「8.健康づくり・地域医療」（1.43）が最も高くなっており、次いで、「6.人材育成」（1.35）、「9.高齢者・障がい者」（1.32）となっている。
重要度が最も低いのは「21.山村留学・国内外交流」（0.20）であり、次いで「20.生涯スポーツ」（0.49）、「26.地域サポート体制」（0.55）となっている。



【重要度（過年度比較）】

- 施策大綱別では、全体的にH29 前回調査から重要度が高くなっている施策が多く、全体平均値も経年的に増加傾向にある。また、「A産業振興」は経年的に重要度が高まっている施策が多くなっている。
- 施策別では、経年的に重要度が高まっている施策として「1. 商工業振興」「2. 観光振興」「3. 新技術・新商品」がある。
一方、経年的に重要度が低くなっている施策としては、「16. 消防・防災・防犯」「23. ごみ対策・新エネルギー」「27. 行財政改革」がある。



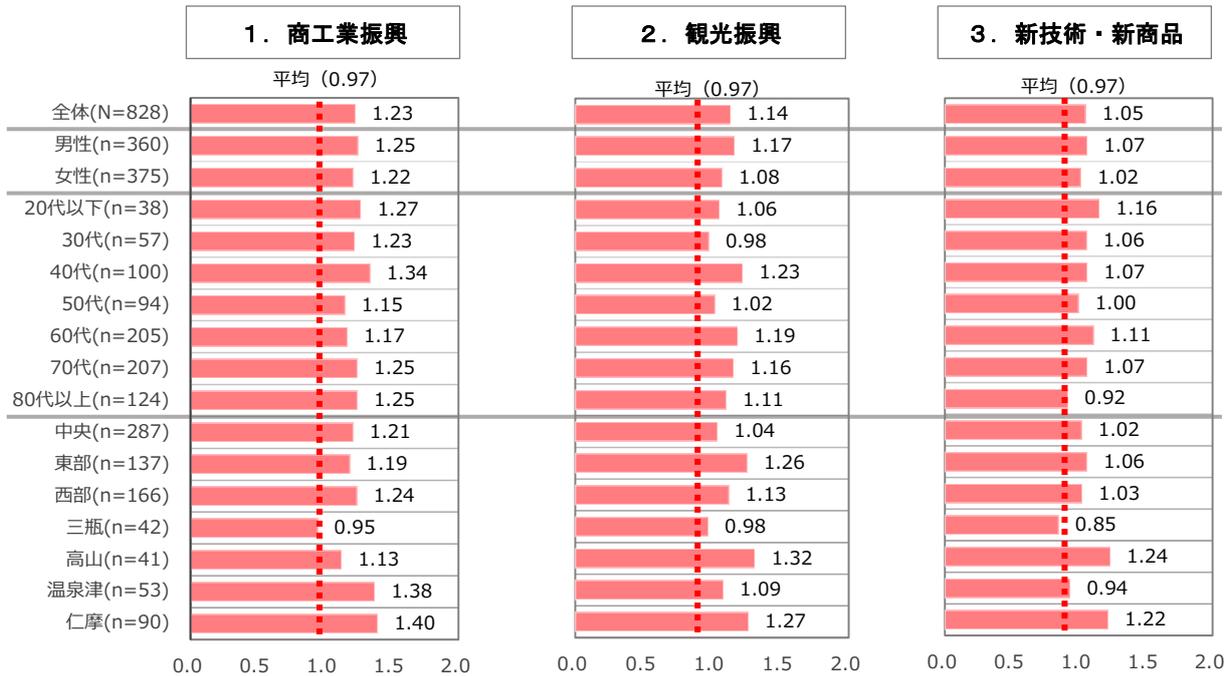
【重要度全体平均値】
 H27 : 0.95
 H29 : 0.97
 R3 : 0.97

※H27：総合戦略 平成27年大田市地方創生についてのアンケート調査（大田市総合戦略策定時） N=786
 ※H29：前回調査 平成29年大田市市民アンケート調査（第二次大田市総合計画策定時） N=1343
 ※R3：今回調査 令和3年大田市市民アンケート調査（第二次大田市総合計画） N=828

(2) 27施策の「重要度（加重平均値）」：全体・性別・年齢別・居住地別

重要度

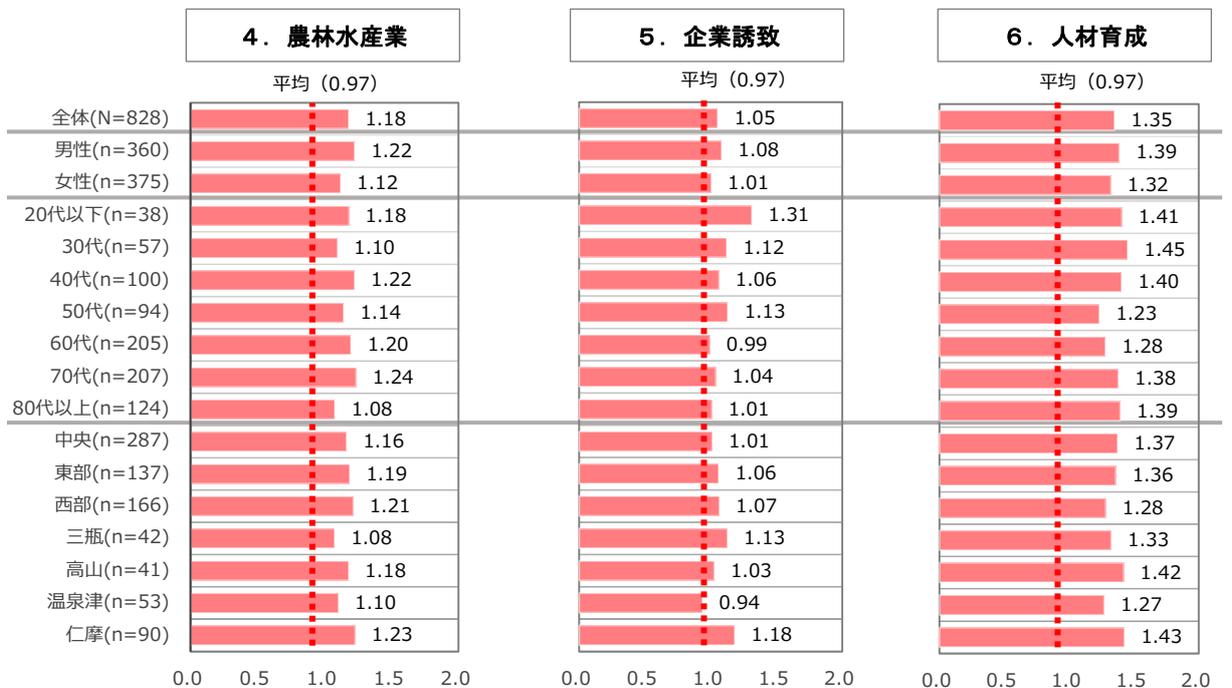
A 産業振興



- ・全体では重要度は高い。
- ・性別では「男性」が高い。
- ・年齢別では「40代」が高い。
- ・居住地別では「西部」「中央」が高い。

- ・全体では重要度は高い。
- ・性別、年齢別、居住地別でみても総じて重要度は高い。

- ・全体では重要度はやや高い。
- ・年齢別の「80代以上」では低くなっているが、性別、年齢別、居住地別でみても総じて重要度はやや高い。



- ・全体では重要度はやや高い。
- ・性別、年齢別、居住地別でみても総じて重要度は高い。

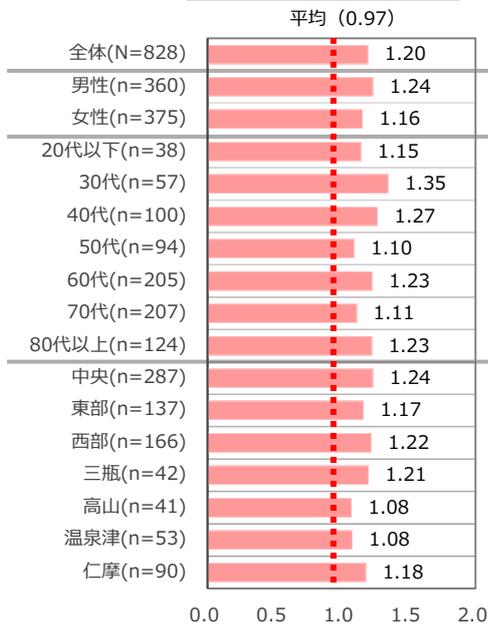
- ・全体では重要度はやや高い。
- ・年齢別では「60代」以上で低い。
- ・居住地別では「温泉津」が低い。

- ・全体では重要度は高い。
- ・性別、年齢別、居住地別でみても総じて重要度は高い。

重要度

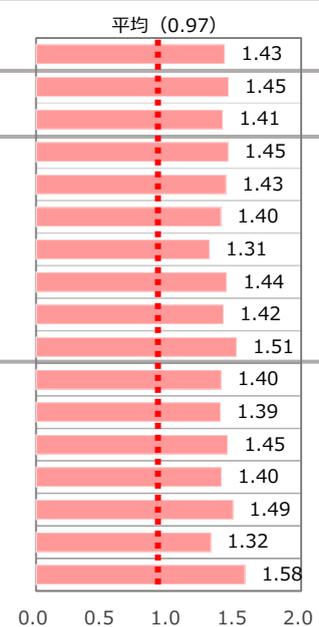
B 保健・医療・福祉

7. 子育て支援



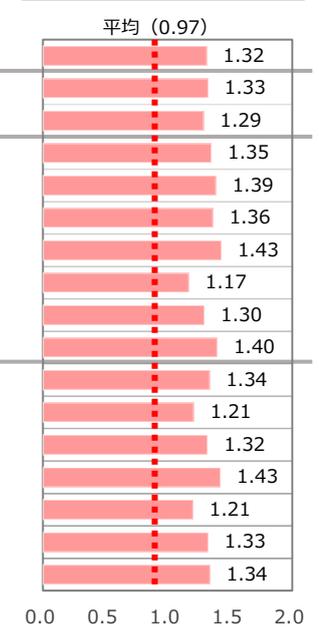
- ・全体では重要度は高い。
- ・性別、年齢別、居住地別でも総じて重要度は高い。
- ・特に「30代」、「中央」で高い。

8. 健康づくり・地域医療



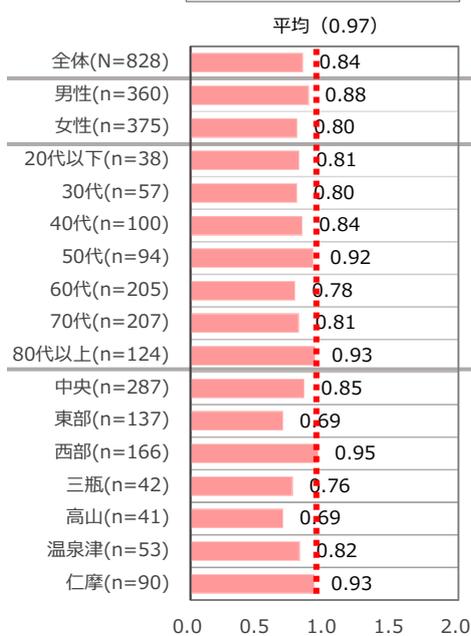
- ・全体では重要度は高い。
- ・性別、年齢別、居住地別でも総じて重要度は高い。

9. 高齢者・障がい者



- ・全体では重要度は高い。
- ・性別、年齢別、居住地別でも総じて重要度は高い。
- ・特に「50代」「三瓶」で高い。

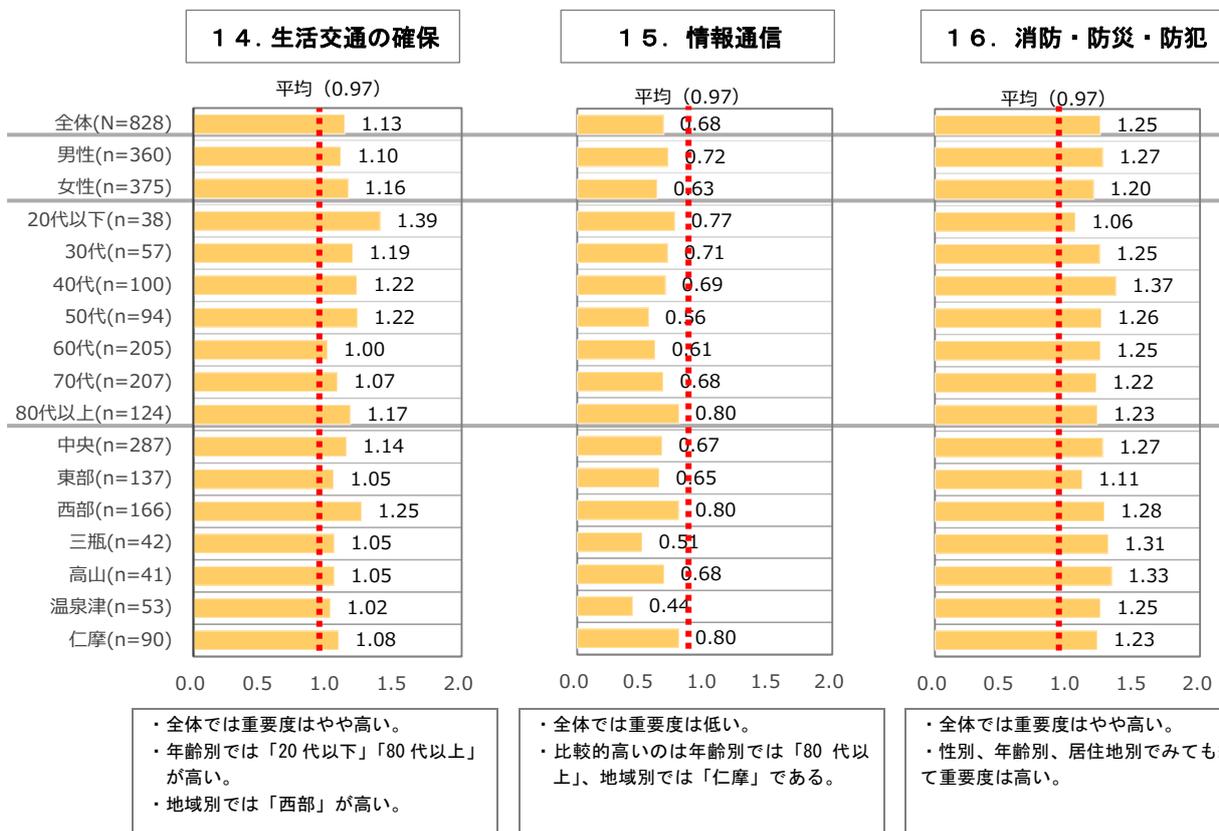
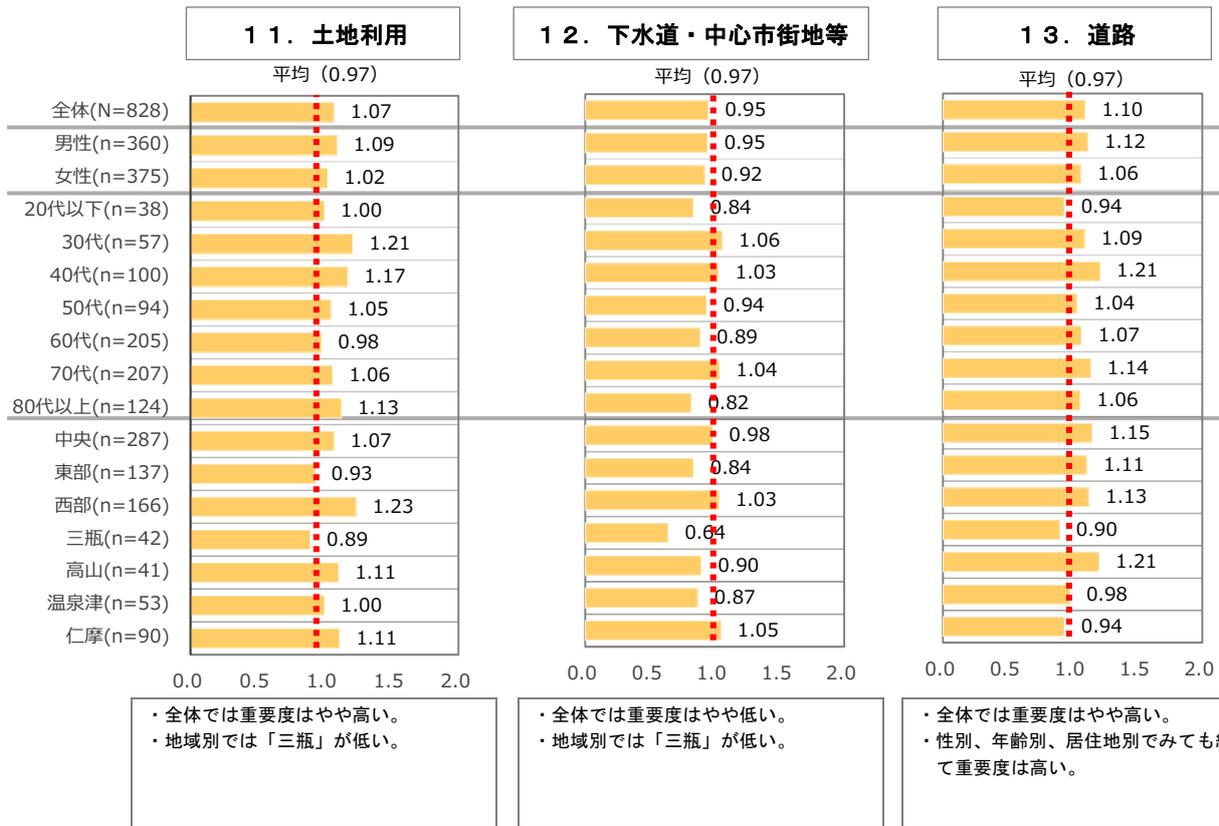
10. 人権尊重



- ・全体では重要度は低い。
- ・性別、年齢別、居住地別でも総じて重要度は低い。

重要度

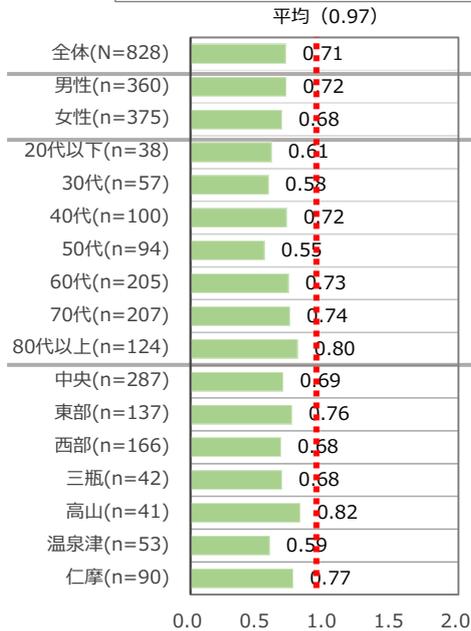
C 基盤整備



重要度

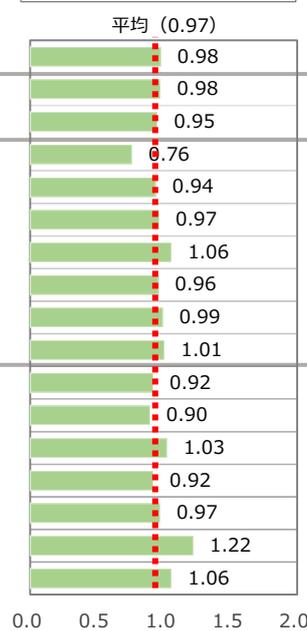
D 教育・文化

17. 石見銀山遺跡・地域文化



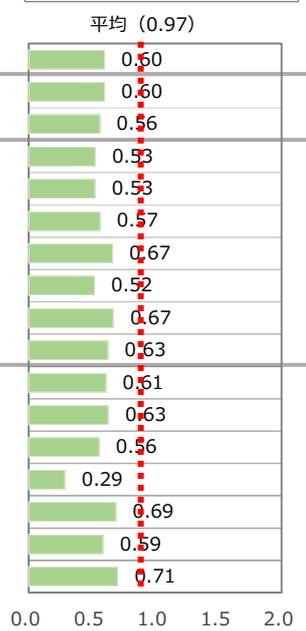
- ・全体では重要度は低い。
- ・比較的高いのは年齢別では「80代以上」、地域別では「高山」である。

18. 学校教育



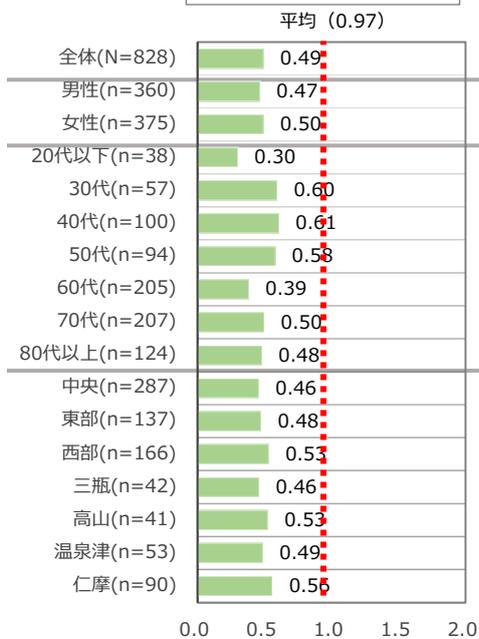
- ・全体では重要度はやや高い。
- ・比較的高いのは年齢別では「50代」、地域別では「温泉津」である。

19. 生涯学習



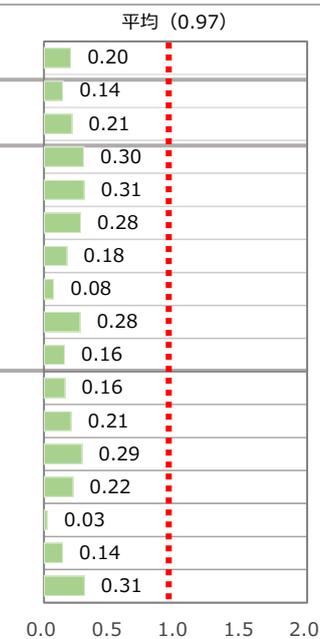
- ・全体では重要度は低い。
- ・比較的高いのは年齢別では「50代」「70代」、地域別では「高山」である。

20. 生涯スポーツ



- ・全体では重要度は低い。
- ・比較的高いのは年齢別では「40代」である。

21. 山村留学・国内外交流

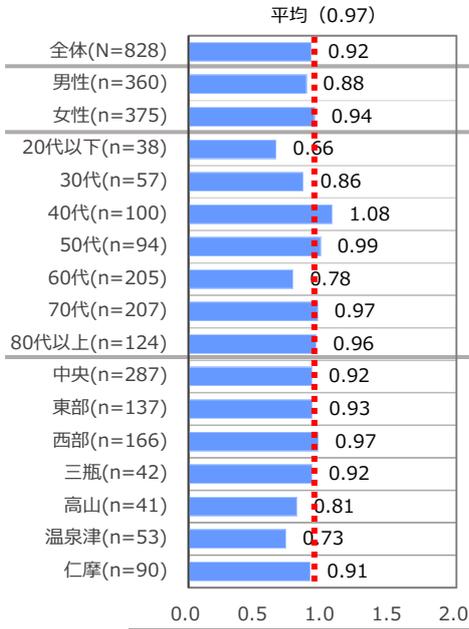


- ・全体では重要度は低い。
- ・比較的高いのは居住地別では「仁摩」である。

重要度

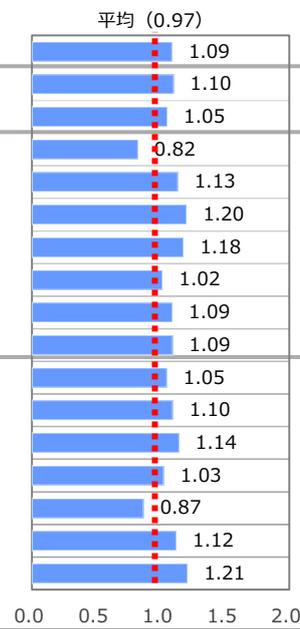
D 生活環境

2 2. 自然環境



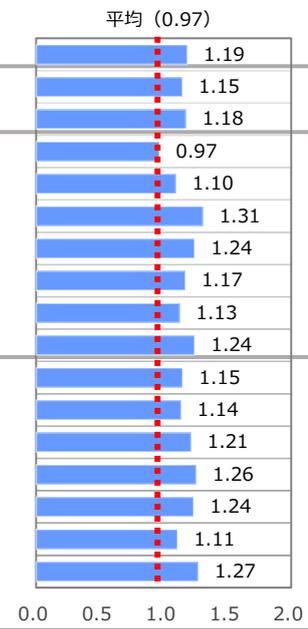
- ・全体では重要度はやや低い。
- ・比較的高いのは年齢別では「40代」である。

2 3. ごみ対策・新エネルギー



- ・全体では重要度はやや高い。
- ・年齢別では「20代以下」では低いが、それ以外の年代では比較的高くなっている。

2 4. 飲料水対策

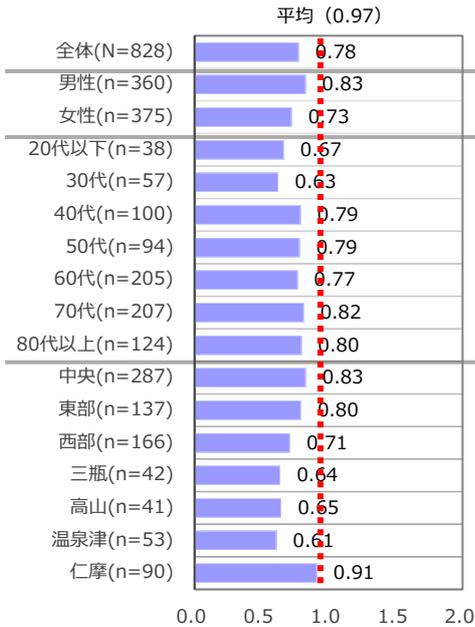


- ・全体では重要度はやや高い。
- ・年齢別では「20代以下」では低いが、それ以外の年代では高くなっている。

重要度

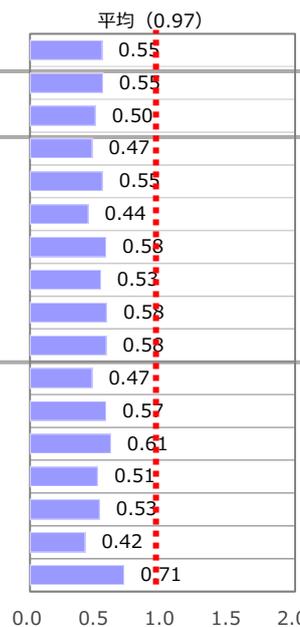
E 行財政

2 5. 協働のまちづくり



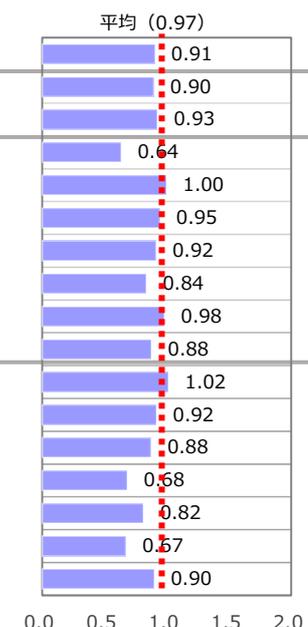
- ・全体では重要度は低い。
- ・比較的高いのは年齢別では「70代」、居住地別では「仁摩」である。

2 6. 地域サポート体制



- ・全体では重要度は低い。
- ・比較的高いのは年齢別では「80代以上」である。居住地別では「仁摩」である。

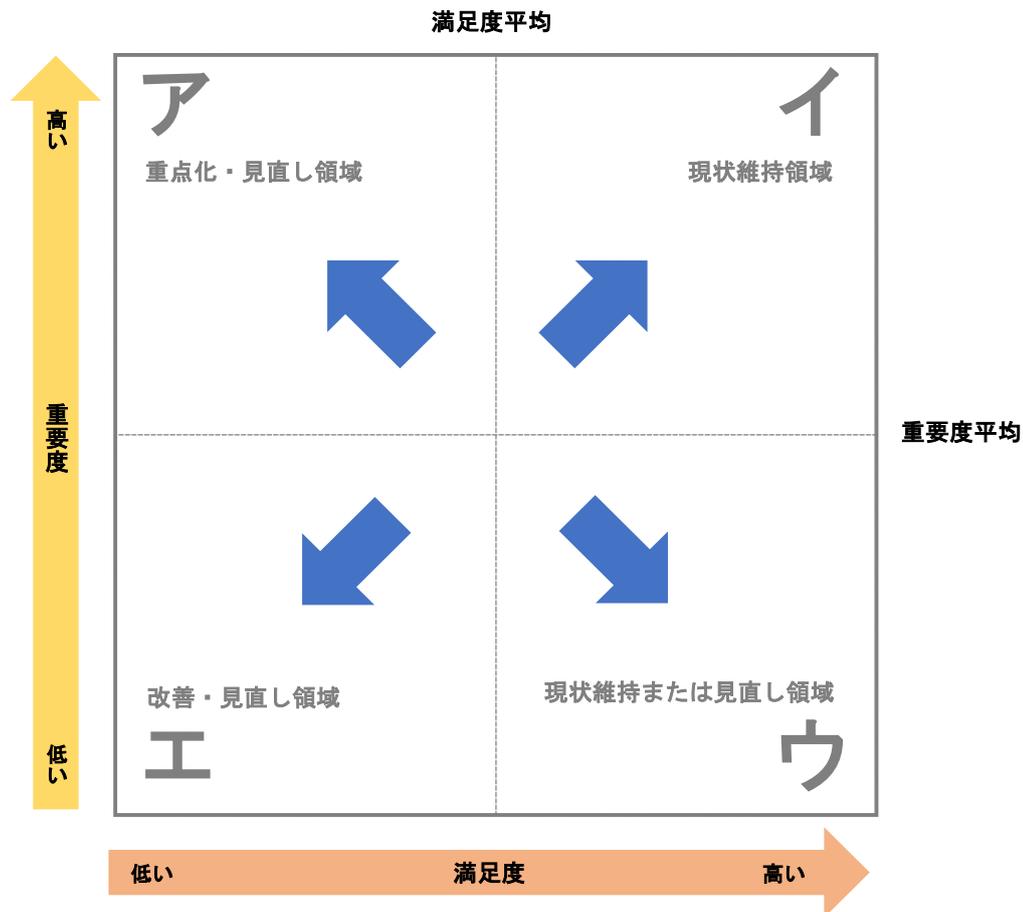
2 7. 行財政改革



- ・全体では重要度はやや低い。
- ・比較的高いのは年齢別では「30代」である。居住地別では「中央」である。

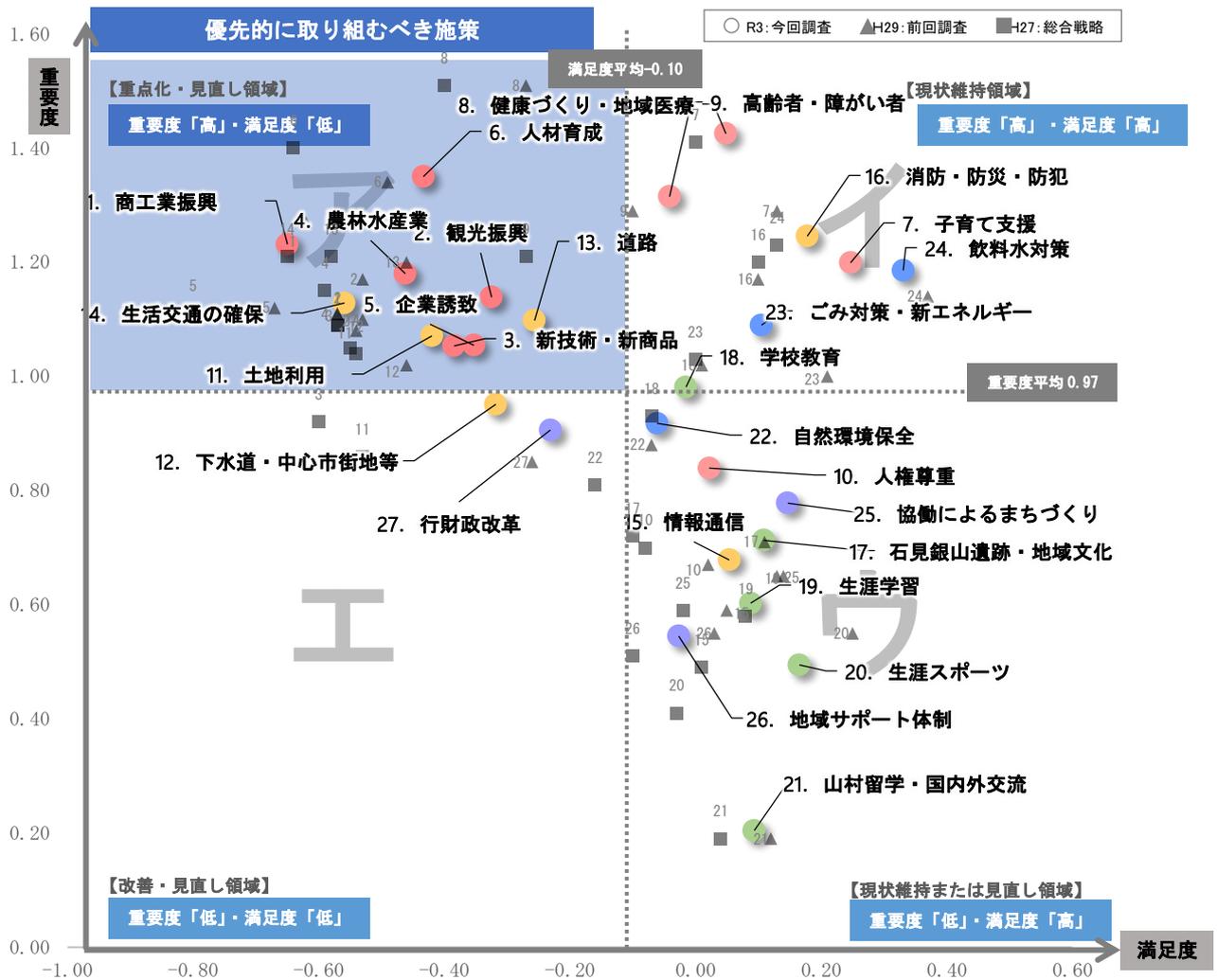
3.2.4 満足度と重要度の相関図による分析

「満足度」と「重要度」それぞれの加重平均値をもとに、縦軸に「満足度」、横軸に「重要度」をとり、27 の施策を散布図上に示し「相関図」として各施策の位置づけを整理する。



【ア】 重点化・見直し領域	<p>重要度は高いが、満足度が低い</p> <p>今後のまちづくりにおける重要度は高いが、満足度が相対的に低く、施策の重点化や抜本的な見直しなども含めて、満足度を高める必要がある領域を表す。</p> <p>1. 商工業振興、2. 観光振興、3. 新技術・新商品、11. 土地利用 等</p>
【イ】 現状維持領域	<p>重要度、満足度ともに高い</p> <p>今後のまちづくりにおける重要度も満足度も高く、現時点での満足度の水準を維持していくことが必要な領域を表す。</p> <p>7. 子育て支援、16. 消防・防災・防犯、23. ごみ対策・新エネルギー 等</p>
【ウ】 現状維持または見直し領域	<p>重要度が低く、満足度が高い</p> <p>今後のまちづくりにおける重要度は低いものの満足度が高く、満足度の水準を維持していくか、あるいは施策のあり方を含めて見直すべき必要のある領域を表す。</p> <p>10. 人権尊重、17. 石見銀山遺跡・地域文化、19. 生涯学習、20. 生涯スポーツ 等</p>
【エ】 改善・見直し領域	<p>重要度、満足度ともに低い</p> <p>今後のまちづくりにおける重要度も満足度も低く、施策の目的やニーズを再確認するとともに、施策のあり方や進め方そのものを、改めて見直す必要のある領域を表す。</p> <p>12. 下水道・中心市街地等、27. 行財政改革</p>

(1) 施策に関する満足度と重要度の相関図



(2) 項目別にみた過年度調査との比較

施策	満足度の推移			過年度調査との比較		重要度の推移			過年度調査との比較		相関図の推移			
	R3	H29	H27	R3-H29	R3-H27	R3	H29	H27	R3-H29	R3-H27	R3	H29	H27	
産業振興	1. 商工業振興	-0.65	-0.62	-0.57	-0.03	-0.08	1.23	1.27	1.09	-0.04	+0.14	ア	ア	ア
	2. 観光振興	-0.32	-0.53	-0.57	+0.21	+0.25	1.14	1.17	1.09	-0.03	+0.05	ア	ア	ア
	3. 新技術・新商品	-0.38	-0.57	-0.60	+0.19	+0.22	1.05	1.11	0.92	-0.06	+0.13	ア	ア	エ
	4. 農林水産業	-0.46	-0.57	-0.59	+0.11	+0.13	1.18	1.11	1.15	+0.07	+0.03	ア	ア	ア
	5. 企業誘致	-0.35	-0.67	-0.80	+0.32	+0.45	1.05	1.12	1.11	-0.07	-0.06	ア	ア	ア
	6. 人材育成	-0.43	-0.49	-0.64	+0.06	+0.21	1.35	1.34	1.40	+0.01	-0.05	ア	ア	ア
平均	-0.43	-0.58	-0.63	+0.14	+0.19	1.17	1.19	1.13	-0.02	+0.04				
療・健・福・社医	7. 子育て支援	0.25	0.13	0.00	+0.12	+0.25	1.20	1.29	1.41	-0.09	-0.21	イ	イ	イ
	8. 健康づくり・地域医療	0.05	-0.27	-0.40	+0.32	+0.45	1.43	1.51	1.51	-0.08	-0.08	イ	ア	ア
	9. 高齢者・障がい者	-0.04	-0.10	-0.27	+0.06	+0.23	1.32	1.29	1.21	+0.03	+0.11	イ	イ	イ
	10. 人権尊重	0.02	0.02	-0.08	+0.00	+0.10	0.84	0.67	0.70	+0.17	+0.14	ウ	ウ	ウ
平均	0.07	-0.06	-0.19	+0.12	+0.26	1.20	1.19	1.21	+0.01	-0.01				
基盤整備	11. 土地利用	-0.42	-0.54	-0.53	+0.12	+0.11	1.07	1.08	0.86	-0.01	+0.21	ア	ア	エ
	12. 下水道・中心市街地等	-0.32	-0.46	-0.54	+0.14	+0.22	0.95	1.02	1.04	-0.07	-0.09	エ	ア	ア
	13. 道路	-0.26	-0.46	-0.58	+0.20	+0.32	1.10	1.20	1.21	-0.10	-0.11	ア	ア	ア
	14. 生活交通の確保	-0.56	-0.53	-0.65	-0.03	+0.09	1.13	1.10	1.21	+0.03	-0.08	ア	ア	ア
	15. 情報通信	0.05	0.05	0.01	+0.00	+0.04	0.68	0.59	0.49	+0.09	+0.19	ウ	ウ	ウ
	16. 消防・防災・防犯	0.18	0.10	0.10	+0.08	+0.08	1.25	1.17	1.20	+0.08	+0.05	イ	イ	イ
平均	-0.22	-0.31	-0.37	+0.09	+0.14	1.03	1.03	1.00	+0.00	+0.03				
教育・文化	17. 石見銀山遺跡・地域文化	0.11	0.11	-0.10	-0.00	+0.21	0.71	0.71	0.72	+0.00	-0.01	ウ	ウ	ウ
	18. 学校教育	-0.02	0.01	-0.07	-0.03	+0.05	0.98	1.02	0.93	-0.04	+0.05	イ	イ	ウ
	19. 生涯学習	0.09	0.14	0.08	-0.05	+0.01	0.60	0.65	0.58	-0.05	+0.02	ウ	ウ	ウ
	20. 生涯スポーツ	0.17	0.25	-0.03	-0.08	+0.20	0.49	0.55	0.41	-0.06	+0.08	ウ	ウ	ウ
	21. 山村留学・国内外交流	0.09	0.12	0.04	-0.03	+0.05	0.20	0.19	0.19	+0.01	+0.01	ウ	ウ	ウ
平均	0.09	0.13	-0.02	-0.04	+0.10	0.60	0.62	0.57	-0.02	+0.03				
生活環境	22. 自然環境保全	-0.06	-0.07	-0.16	+0.01	+0.10	0.92	0.88	0.81	+0.04	+0.11	ウ	ウ	ウ
	23. ごみ対策・新エネルギー	0.10	0.21	0.00	-0.11	+0.10	1.09	1.00	1.03	+0.09	+0.06	イ	イ	イ
	24. 飲料水対策	0.33	0.37	0.13	-0.04	+0.20	1.19	1.14	1.23	+0.05	-0.04	イ	イ	イ
	平均	0.12	0.17	-0.01	-0.05	+0.13	1.06	1.01	1.02	+0.06	+0.04			
行財政	25. 協働によるまちづくり	0.15	0.13	-0.02	+0.02	+0.17	0.78	0.65	0.59	+0.13	+0.19	ウ	ウ	ウ
	26. 地域サポート体制	-0.03	0.03	-0.10	-0.06	+0.07	0.55	0.55	0.51	-0.00	+0.04	ウ	ウ	ウ
	27. 行財政改革	-0.23	-0.26	-0.55	+0.03	+0.32	0.91	0.85	1.05	0.06	-0.14	エ	エ	ア
平均	-0.04	-0.03	-0.22	-0.00	+0.19	0.74	0.68	0.72	+0.06	+0.03				
全体平均	-0.11	-0.17	-0.28	+0.06	+0.17	0.98	0.97	0.95	+0.01	+0.03				

良い ← +0.3以上 +0.3未満 +0.2未満 +0.1未満 ±0 -0.1未満 -0.2未満 -0.3未満 -0.3以下 悪い

3.2.5 ニーズ度による分析

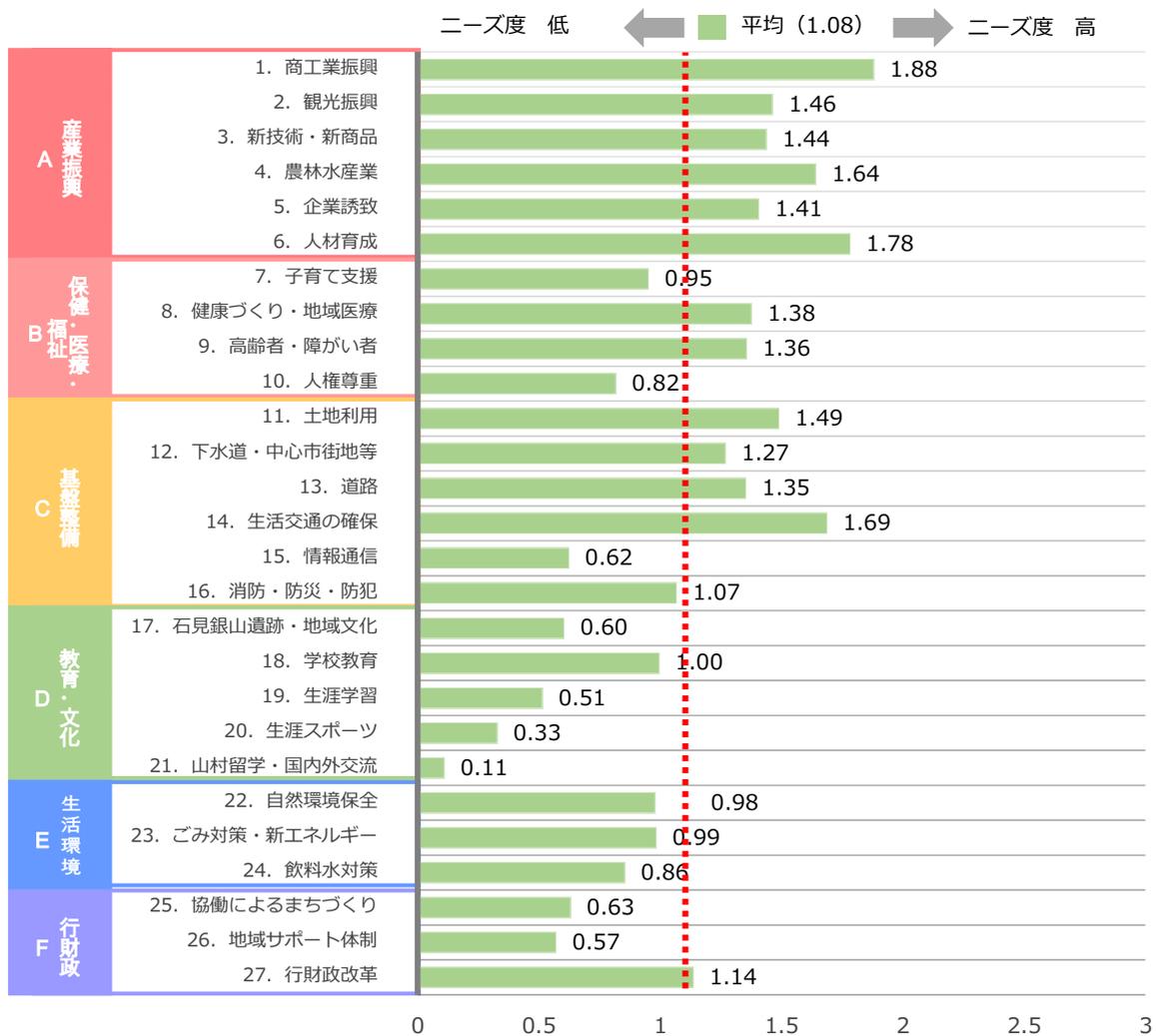
これまで算出した「満足度」と「重要度」の加重平均の乖離値を、ニーズ度として以下のように数値化し、市民のニーズを分析した。

【計算式】

$$\cdot \text{ニーズ度} = \text{重要度} - \text{満足度}$$

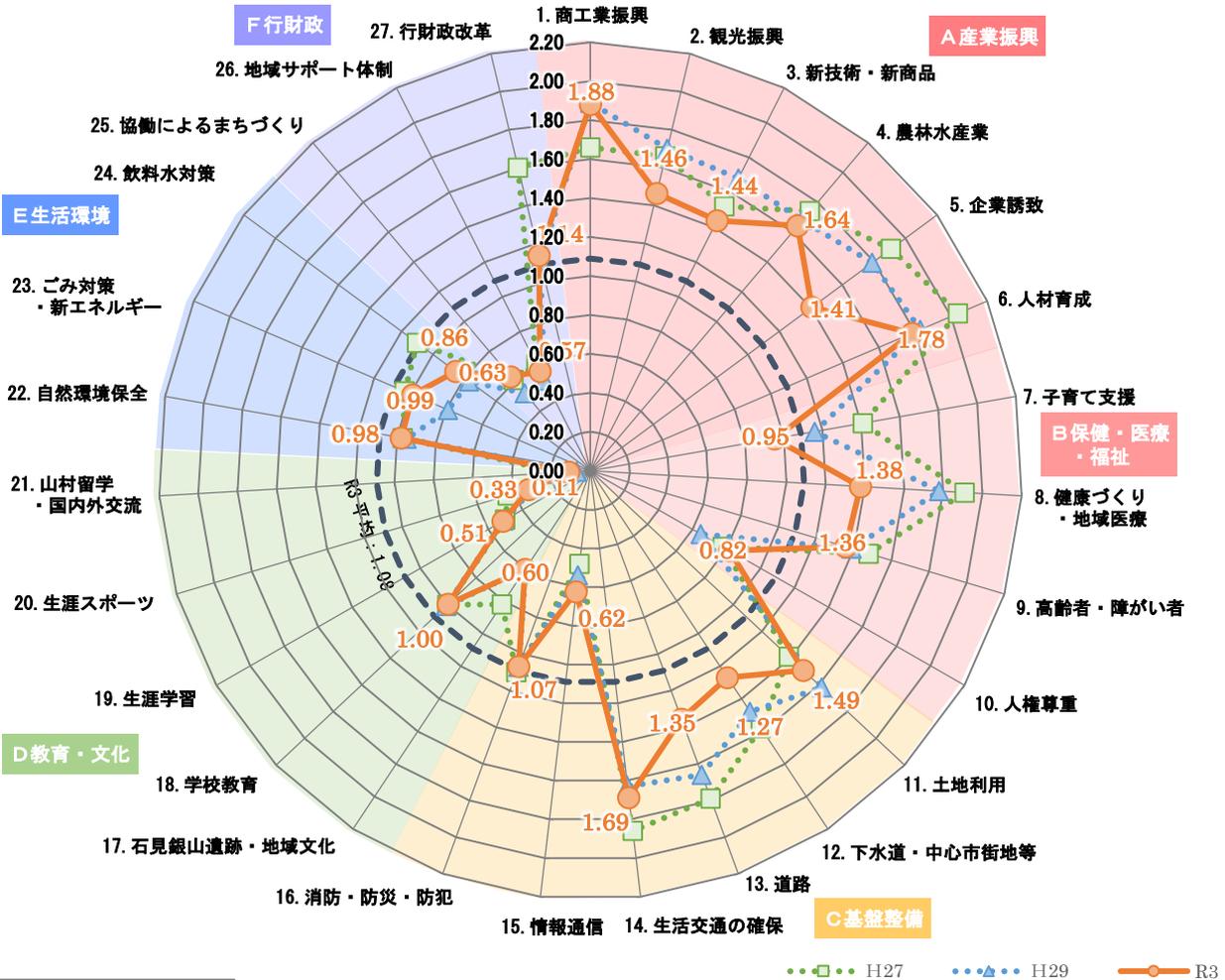
【全体評価結果】

- 施策大綱別では、「A産業振興」の施策のニーズ度がいずれも高くなっており、「D教育・文化」、「D行財政」は施策のニーズ度が低くなっている。
- 施策別では、ニーズ度が最も高いのは「1. 商工業振興」(1.88)となっており、次いで、「6. 人材育成」(1.78)、「5. 企業誘致」(1.41)となっている。
ニーズ度が最も低いのは「21. 山村留学・国内外交流」(0.11)であり、次いで「20. 生涯スポーツ」(0.33)、「19. 生涯学習」(0.51)となっている。



【ニーズ度（過年度比較）】

- 施策大綱別では、いずれの調査結果においても「A産業振興」「C基盤整備」のニーズ度が相対的に高く、「D教育・文化」「E生活環境」「F行財政」はニーズ度が低くなっている。
- 施策別では、経年的に重要度が高まっている施策として「1. 商工業振興」「15. 情報通信」がある。一方、経年的にニーズ度が低くなっている施策としては、「2. 観光振興」「3. 新技術・新商品」「5. 企業誘致」「7. 子育て支援」「8. 健康づくり・地域医療」「12. 下水道・中心市街地等」「13. 道路」「27. 行財政改革」がある。



【ニーズ度全体平均値】
 H27 : 1.23
 H29 : 1.14
 R3 : 1.08

※H27：総合戦略 平成27年大田市地方創生についてのアンケート調査（大田市総合戦略策定時） N=786
 ※H29：前回調査 平成29年大田市市民アンケート調査（第二次大田市総合計画策定時） N=1343
 ※R3：今回調査 令和3年大田市市民アンケート調査（第二次大田市総合計画） N=828

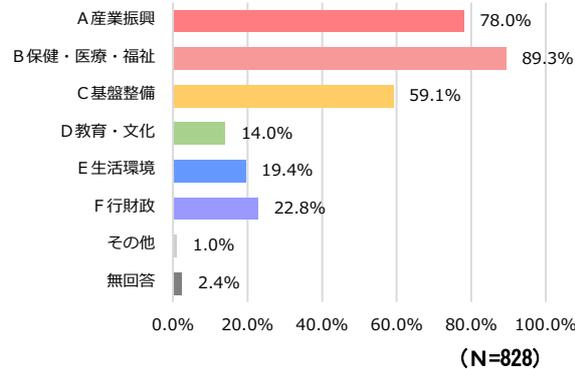
3.2.6 特に重要だと思う施策

問15 問14の「①から⑳」の取り組みのうち、特にあなたが今後、『重要』だと思う施策は何ですか。(あてはまるものを3つ選んで○)

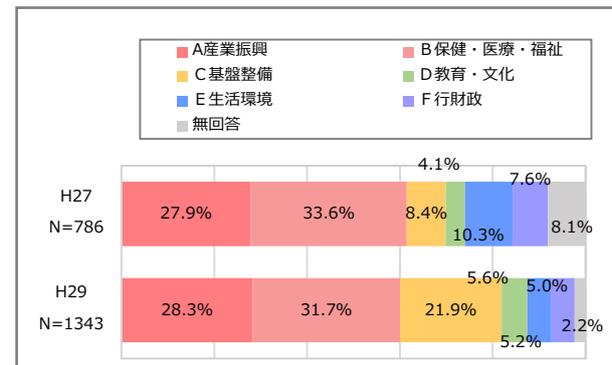
【全体結果】

- 施策大綱別では、「B 保健・医療・福祉」が 89.3%と最も高く、次いで「A 産業振興」が 78.0%、「C 基盤整備」が 59.1%となっており、過去調査と同様の順位となっている。
- 施策別では、「9. 高齢者・障がい者」が 33.0%と最も高くなっている。次いで「8. 健康づくり・地域医療」が 31.8%、「7. 子育て支援」が 21.5%となっており、上位3位は、いずれも「B 保健・医療・福祉」に関する施策となっている。

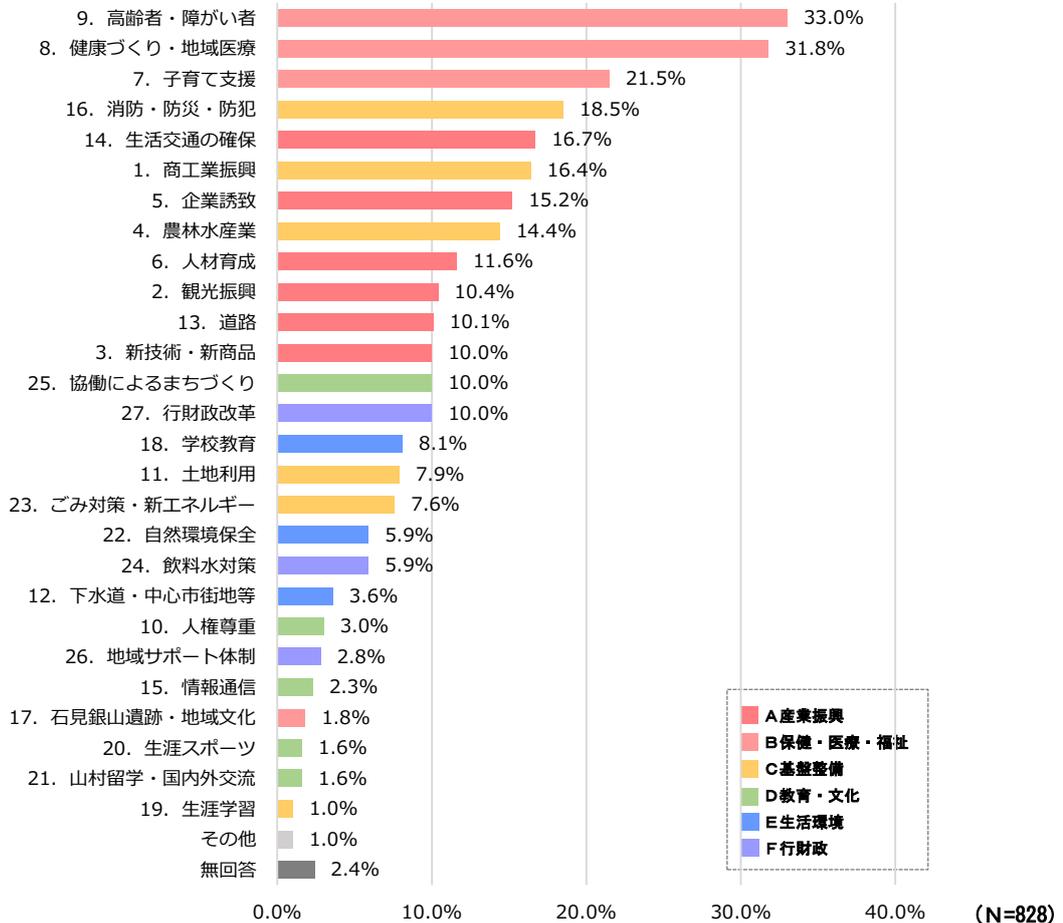
【施策大綱別】



【過去調査 (H27・H29)】



【施策別】



【特に重要だと思う施策：性別・年齢別・居住地別クロス】

- 性別にみると、「男性」、「女性」ともに全体平均とほぼ同様の傾向となっている。
- 年齢別にみると、「20代以下」「40代」が「商工業振興」が全体平均よりも5ポイント以上高くなっている。
- 居住地別にみると、「高山」では「商工業振興」、「三瓶」では「健康づくり地域医療」、「仁摩」では「生活交通の確保」、「温泉津」では「消防・防災・防犯」が全体平均よりも高くなっている。

	合計 件数	A産業振興						B保健・医療・福祉				C基盤整備				
		振興 商工業	観光 振興	新商品 新技術	水産業 農林	企業 誘致	人材 育成	子育て 支援	地域 医療	健康 づくり	高齢者 障がい者	人権 尊重	土地 利用	中心市 街地・ 集	下 水道	道 路
全体	828	16.4%	10.4%	10.0%	14.4%	15.2%	11.6%	21.5%	31.8%	33.0%	3.0%	7.9%	3.6%	10.1%	16.7%	
性別	男性	360	15.6%	11.9%	9.7%	16.7%	14.2%	11.9%	21.1%	32.2%	31.9%	3.3%	8.9%	3.9%	10.8%	17.5%
	女性	375	17.3%	10.1%	10.9%	10.7%	16.8%	10.4%	21.1%	30.7%	33.6%	2.1%	7.5%	3.5%	10.1%	16.5%
年齢	20代以下	38	26.3%	7.9%	13.2%	18.4%	13.2%	2.6%	21.1%	31.6%	34.2%	2.6%	2.6%	5.3%	5.3%	23.7%
	30代	57	8.8%	7.0%	19.3%	8.8%	19.3%	7.0%	17.5%	33.3%	31.6%	5.3%	10.5%	3.5%	8.8%	19.3%
	40代	100	23.0%	12.0%	10.0%	10.0%	14.0%	13.0%	26.0%	34.0%	29.0%	3.0%	12.0%	3.0%	11.0%	9.0%
	50代	94	16.0%	9.6%	10.6%	13.8%	18.1%	12.8%	14.9%	27.7%	24.5%	3.2%	12.8%	5.3%	7.4%	20.2%
	60代	205	12.7%	9.3%	9.8%	18.0%	13.7%	12.7%	27.8%	32.2%	35.6%	2.4%	4.9%	2.4%	10.2%	13.2%
	70代	207	15.9%	9.7%	7.7%	14.5%	15.9%	13.0%	16.9%	30.0%	37.2%	2.4%	6.8%	5.3%	11.6%	19.8%
	80代以上	124	19.4%	14.5%	8.9%	13.7%	14.5%	10.5%	21.8%	35.5%	30.6%	4.0%	7.3%	1.6%	11.3%	16.9%
	居住地 ブロック	中央	287	16.7%	9.4%	10.1%	17.4%	15.7%	10.1%	24.0%	29.3%	27.9%	2.1%	7.3%	3.5%	11.1%
東部		137	17.5%	10.9%	6.6%	10.9%	17.5%	13.9%	18.2%	28.5%	32.8%	2.9%	8.0%	5.1%	13.9%	18.2%
西部		166	17.5%	10.8%	9.6%	12.0%	11.4%	12.7%	19.3%	35.5%	40.4%	4.8%	7.2%	4.2%	11.4%	13.9%
三瓶		42	16.7%	16.7%	11.9%	19.0%	19.0%	9.5%	28.6%	42.9%	31.0%	0.0%	7.1%	7.1%	4.8%	9.5%
高山		41	26.8%	12.2%	17.1%	12.2%	7.3%	14.6%	24.4%	29.3%	29.3%	2.4%	7.3%	0.0%	12.2%	7.3%
温泉津		53	15.1%	1.9%	7.5%	13.2%	15.1%	9.4%	18.9%	34.0%	41.5%	0.0%	7.5%	1.9%	9.4%	20.8%
仁摩		90	10.0%	13.3%	13.3%	14.4%	17.8%	10.0%	17.8%	33.3%	31.1%	6.7%	11.1%	1.1%	2.2%	27.8%

	合計 件数	D教育・文化							E生活環境				F行財政			その他
		情報 通信	消防 ・防 犯	石見 ・山 陰 ・地 域 文 化	学 校 教 育	生 涯 学 習	生 涯 ス ポ ー ツ	山 村 留 留 ・ 国 内 外 交 流	保 全	自 然 環 境	新 工 事 ル ギ ー	飲 料 水 対 策	ま ち づ く よ う な 協 働	一 地 域 サ ポ ー ト	改 革 行 政 財 政	
全体	828	2.3%	18.5%	1.8%	8.1%	1.0%	1.6%	1.6%	5.9%	7.6%	5.9%	10.0%	2.8%	10.0%	1.0%	
性別	男性	360	2.8%	18.6%	2.2%	6.7%	1.1%	1.4%	1.4%	4.2%	6.4%	5.0%	9.7%	3.6%	8.3%	1.4%
	女性	375	2.1%	17.6%	1.9%	8.3%	0.5%	1.9%	1.9%	7.2%	9.1%	6.1%	10.4%	2.1%	11.2%	0.5%
年齢	20代以下	38	2.6%	18.4%	0.0%	5.3%	0.0%	2.6%	5.3%	7.9%	2.6%	5.3%	2.6%	2.6%	2.6%	0.0%
	30代	57	1.8%	12.3%	0.0%	8.8%	1.8%	1.8%	5.3%	3.5%	7.0%	5.3%	10.5%	1.8%	12.3%	1.8%
	40代	100	2.0%	21.0%	4.0%	7.0%	0.0%	0.0%	1.0%	2.0%	14.0%	8.0%	12.0%	3.0%	10.0%	0.0%
	50代	94	0.0%	24.5%	1.1%	9.6%	1.1%	3.2%	1.1%	9.6%	10.6%	6.4%	9.6%	2.1%	9.6%	1.1%
	60代	205	2.0%	18.0%	2.9%	7.8%	1.5%	1.5%	1.5%	4.4%	4.4%	6.3%	10.7%	3.9%	8.3%	1.5%
	70代	207	4.3%	19.3%	1.4%	7.2%	1.0%	1.9%	1.0%	6.3%	6.3%	3.9%	11.6%	2.9%	11.1%	1.0%
	80代以上	124	1.6%	14.5%	0.8%	9.7%	0.8%	0.8%	0.8%	8.9%	8.9%	7.3%	6.5%	1.6%	12.9%	0.8%
	居住地 ブロック	中央	287	1.7%	17.1%	2.1%	5.6%	1.0%	2.1%	1.4%	6.3%	11.1%	5.6%	9.4%	2.4%	12.2%
東部		137	3.6%	21.2%	2.9%	8.8%	0.7%	1.5%	2.2%	4.4%	4.4%	6.6%	13.1%	2.9%	10.2%	2.2%
西部		166	0.6%	14.5%	1.2%	9.6%	0.6%	2.4%	1.8%	6.6%	6.0%	6.0%	12.7%	3.6%	9.6%	0.0%
三瓶		42	2.4%	26.2%	2.4%	7.1%	2.4%	0.0%	0.0%	2.4%	9.5%	4.8%	9.5%	0.0%	4.8%	0.0%
高山		41	2.4%	9.8%	0.0%	9.8%	0.0%	0.0%	2.4%	4.9%	7.3%	7.3%	2.4%	7.3%	7.3%	2.4%
温泉津		53	1.9%	32.1%	0.0%	9.4%	1.9%	0.0%	0.0%	7.5%	9.4%	7.5%	5.7%	3.8%	11.3%	0.0%
仁摩		90	5.6%	16.7%	2.2%	10.0%	1.1%	1.1%	2.2%	6.7%	2.2%	5.6%	7.8%	1.1%	6.7%	0.0%

※数値の網掛け□はその区分において最も高い数値を示す。□は次に高い数値を示す。□は次に高い数値を示す。（「その他」を除く）

※青太字は全体平均より5ポイント以上10ポイント未満の値を示す。赤太字は、全体平均より10ポイント以上高い値を示す。

3.3 大田市の行政について

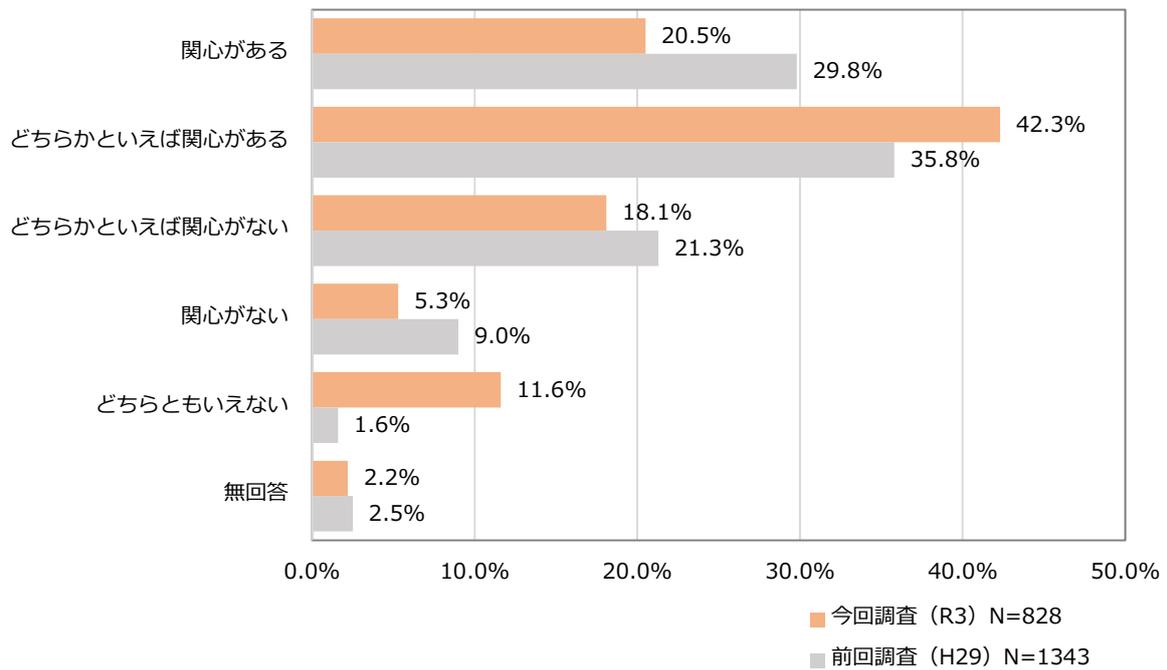
(1) 行政への関心

問 16 あなたは、大田市の行政について関心をお持ちですか。(1つ選んで○をつけてください)

- | | | |
|----------|------------------|------------------|
| 1. 関心がある | 2. どちらかといえば関心がある | 3. どちらかといえば関心がない |
| 4. 関心がない | 5. どちらともいえない | |

【全体結果・前回調査比較】

- 全体では、「関心がある」が20.5%、「どちらかといえば関心がある」が42.3%となっており、全体の約6割が大田市の行政に関心を示している。
- 前回調査比較では、「関心がある」が9.3ポイント減少している。



【行政への関心：性別・年齢別・居住地別クロス】

- 性別にみると、「男性」は「関心がある」の割合が全体平均よりも高くなっている。
- 年齢別にみると、「40代」、「80代以上」では、行政への関心が高くなっている一方、「20代以下」「30代」「50代」は「どちらかといえば関心がない」、「関心がない」が全体平均に比べて高くなっており、行政への関心が低くなっている。
- 居住地別にみると、「高山」は「どちらかといえば関心がない」、「関心がない」が全体平均に比べて高くなっている。一方「仁摩」では「どちらかといえば関心がある」が高くなっている。

		合計	関心がある	どちらかといえば関心がある	どちらかといえば関心がない	関心がない	どちらともいえない	無回答
全体		828	170	350	150	44	96	18
		100.0%	20.5%	42.3%	18.1%	5.3%	11.6%	2.2%
性別	男性	360	85	151	59	15	43	7
		99.9%	23.6%	41.9%	16.4%	4.2%	11.9%	1.9%
	女性	375	71	158	76	21	40	9
		100.0%	18.9%	42.1%	20.3%	5.6%	10.7%	2.4%
年齢	20代以下	38	2	15	7	2	10	2
		100.1%	5.3%	39.5%	18.4%	5.3%	26.3%	5.3%
	30代	57	10	25	11	3	7	1
		100.1%	17.5%	43.9%	19.3%	5.3%	12.3%	1.8%
	40代	100	30	41	13	6	9	1
		100.0%	30.0%	41.0%	13.0%	6.0%	9.0%	1.0%
	50代	94	15	36	20	7	13	3
		100.0%	16.0%	38.3%	21.3%	7.4%	13.8%	3.2%
60代	205	44	96	28	10	22	5	
	100.0%	21.5%	46.8%	13.7%	4.9%	10.7%	2.4%	
70代	207	48	84	38	10	24	3	
	100.0%	23.2%	40.6%	18.4%	4.8%	11.6%	1.4%	
80代以上	124	21	51	32	6	11	3	
	99.9%	16.9%	41.1%	25.8%	4.8%	8.9%	2.4%	
居住地ブロック	中央	287	67	124	45	14	30	7
		100.0%	23.3%	43.2%	15.7%	4.9%	10.5%	2.4%
	東部	137	26	58	27	8	16	2
		100.0%	19.0%	42.3%	19.7%	5.8%	11.7%	1.5%
	西部	166	28	72	30	9	23	4
		100.1%	16.9%	43.4%	18.1%	5.4%	13.9%	2.4%
	三瓶	42	8	19	7	2	5	1
		100.0%	19.0%	45.2%	16.7%	4.8%	11.9%	2.4%
高山	41	9	8	10	6	6	2	
	100.0%	22.0%	19.5%	24.4%	14.6%	14.6%	4.9%	
温泉津	53	11	19	12	3	8	0	
	100.0%	20.8%	35.8%	22.6%	5.7%	15.1%	0.0%	
仁摩	90	19	45	16	1	7	2	
	100.0%	21.1%	50.0%	17.8%	1.1%	7.8%	2.2%	

※数値の網掛け□はその区分において最も高い数値を示す。□は次に高い数値を示す。（「どちらともいえない」、「無回答」を除く）

※青太字は全体平均より5ポイント以上10ポイント未満の値を示す。赤太字は、全体平均より10ポイント以上高い値を示す。

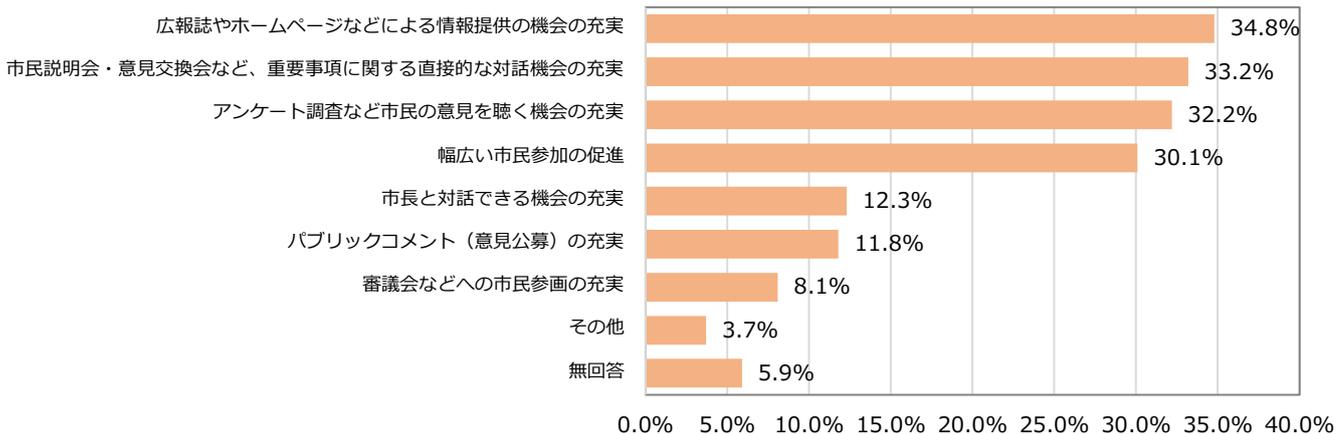
(2) 市民参画

問 17 大田市では、ホームページや広報誌を通じて、市政に関する情報提供を行うとともに市政に対する意見や提案を「市民の声」としていただき、まちづくりの施策に活かすように努めています。今後、いっそう市民参画の市政を行っていくために、どのようなことが重要だとお考えですか。(あてはまるものを2つまで選んで○をつけてください)

1. 市民説明会・意見交換会など、重要事項に関する直接的な対話機会の充実
2. 市長と対話できる機会の充実
3. 幅広い市民参加の促進
4. 審議会などへの市民参画の充実
5. アンケート調査など市民の意見を聴く機会の充実
6. パブリックコメント（意見公募）の充実
7. 広報誌やホームページなどによる情報提供の機会の充実
8. その他（ ）

【全体結果】

- 全体では、「広報誌やホームページなどによる情報提供の機会の充実」が 34.8%と最も高く、次いで「市民説明会・意見交換会などの直接的な対話機会の充実」が 33.2%、「アンケート調査など市民の意見を聴く機会の充実」が 32.2%となっている。



(N=828)

【市民参画：性別・年齢別・居住地別クロス】

- 性別にみると、「男性」は「市民説明会・意見交換会など直接的な対話機会の充実」の割合が高く、「女性」では「広報誌やホームページなど情報提供の機会の充実」が高くなっている。
- 年齢別にみると、「40代」「50代」では「アンケート調査など市民の意見を聴く機会の充実」の割合が高くなっている。
- 居住地別にみると、「高山」では「広報誌やホームページなど情報提供の機会の充実」が全体平均よりも10ポイント以上高くなっている。

		合計	市民説明会・意見交換会など直接的な対話機会の充実	市長と対話できる機会の充実	幅広い市民参加の促進	審議会などへの市民参画の充実	アンケート調査など市民の意見を聴く機会の充実	パブリックコメント（意見募集）の充実	広報誌やホームページなど情報提供の機会の充実	その他	無回答
全体		828	275 33.2%	102 12.3%	249 30.1%	67 8.1%	267 32.2%	98 11.8%	288 34.8%	31 3.7%	49 5.9%
性別	男性	360	129 35.8%	47 13.1%	112 31.1%	24 6.7%	113 31.4%	45 12.5%	122 33.9%	14 3.9%	20 5.6%
	女性	375	119 31.7%	39 10.4%	106 28.3%	33 8.8%	134 35.7%	45 12.0%	126 33.6%	14 3.7%	28 7.5%
年齢	20代以下	38	14 36.8%	5 13.2%	6 15.8%	4 10.5%	12 31.6%	3 7.9%	13 34.2%	2 5.3%	4 10.5%
	30代	57	19 33.3%	7 12.3%	17 29.8%	4 7.0%	21 36.8%	3 5.3%	20 35.1%	3 5.3%	4 7.0%
	40代	100	33 33.0%	9 9.0%	25 25.0%	9 9.0%	38 38.0%	18 18.0%	35 35.0%	3 3.0%	2 2.0%
	50代	94	31 33.0%	19 20.2%	25 26.6%	6 6.4%	38 40.4%	12 12.8%	25 26.6%	2 2.1%	4 4.3%
	60代	205	73 35.6%	17 8.3%	61 29.8%	11 5.4%	61 29.8%	26 12.7%	78 38.0%	9 4.4%	17 8.3%
	70代	207	68 32.9%	29 14.0%	74 35.7%	17 8.2%	61 29.5%	26 12.6%	67 32.4%	8 3.9%	14 6.8%
	80代以上	124	36 29.0%	16 12.9%	39 31.5%	15 12.1%	35 28.2%	10 8.1%	49 39.5%	4 3.2%	4 3.2%
居住地 ブロック	中央	287	98 34.1%	37 12.9%	101 35.2%	21 7.3%	84 29.3%	36 12.5%	88 30.7%	10 3.5%	18 6.3%
	東部	137	52 38.0%	18 13.1%	34 24.8%	12 8.8%	45 32.8%	16 11.7%	45 32.8%	8 5.8%	7 5.1%
	西部	166	53 31.9%	21 12.7%	43 25.9%	16 9.6%	61 36.7%	23 13.9%	58 34.9%	6 3.6%	9 5.4%
	三瓶	42	13 31.0%	7 16.7%	13 31.0%	3 7.1%	13 31.0%	3 7.1%	18 42.9%	1 2.4%	2 4.8%
	高山	41	8 19.5%	3 7.3%	10 24.4%	1 2.4%	10 24.4%	4 9.8%	21 51.2%	3 7.3%	4 9.8%
	温泉津	53	21 39.6%	5 9.4%	21 39.6%	4 7.5%	15 28.3%	2 3.8%	22 41.5%	1 1.9%	2 3.8%
	仁摩	90	28 31.1%	11 12.2%	25 27.8%	9 10.0%	35 38.9%	11 12.2%	30 33.3%	1 1.1%	6 6.7%

※数値の網掛け□はその区分において最も高い数値を示す。□は次に高い数値を示す。（「その他」、「無回答」を除く）

※青太字は全体平均より5ポイント以上10ポイント未満の値を示す。赤太字は、全体平均より10ポイント以上高い値を示す。

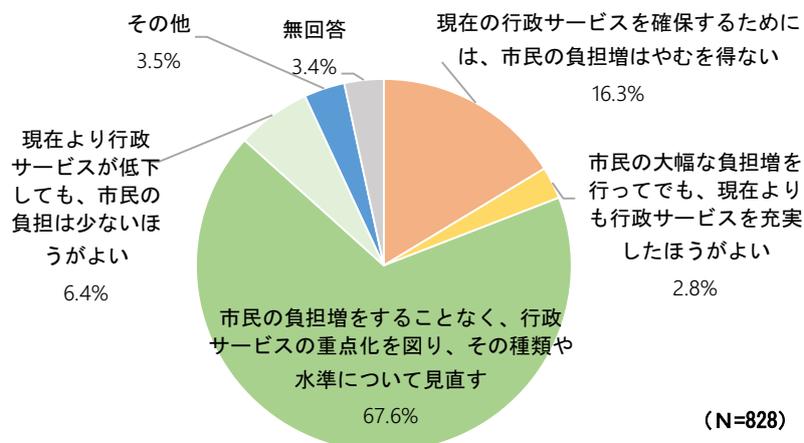
(3) 行政サービスのあり方

問 1 8 地方自治体を取り巻く財政状況は依然として厳しく、限られた財源をより効果的に配分・活用していくことが今後、いっそう求められています。大田市においても経費の削減や収入の確保に努めていますが、このような時代を迎え、これからの行政サービスのあり方について、どのようにお考えですか。(1つ選んで○をつけてください)

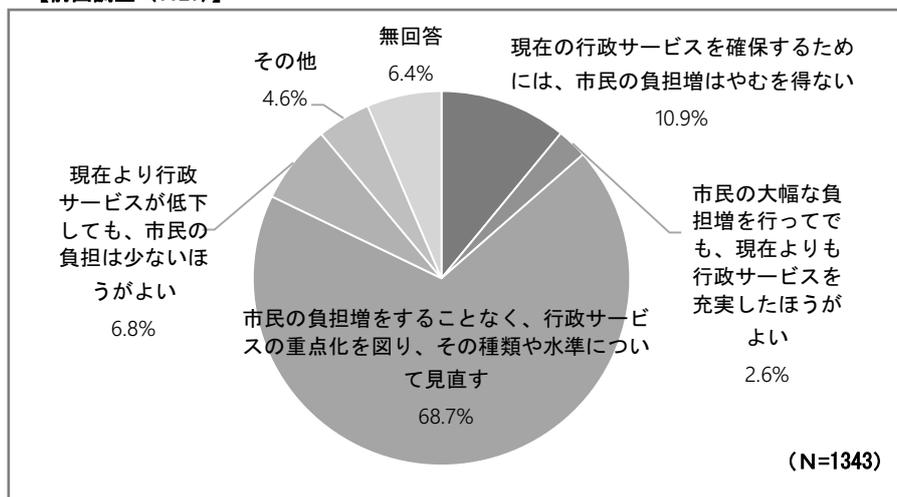
1. 現在の行政サービスを確保するためには、市民の負担増はやむを得ない
2. 市民の大幅な負担増を行ってでも、現在よりも行政サービスを充実したほうがよい
3. 市民の負担増をすることなく、行政サービスの重点化を図り、その種類や水準について見直す
4. 現在より行政サービスが低下しても、市民の負担は少ないほうがよい
5. その他 ()

【全体結果・前回調査比較】

- 全体では、「市民の負担増をすることなく、行政サービスの重点化を図り、その種類や水準を見直す」が 67.6%と最も高く、次いで、「現在の行政サービスを確保するためには、市民の負担増はやむを得ない」が 16.3%、「現在より行政サービスが低下しても、市民の負担は少ないほうがよい」が 6.4%となっている。
- 前回調査比較では、前回調査から「現在より行政サービスが低下しても、市民の負担増は少ないほうがよい」は 6.8ポイント減少しており、負担とサービスのバランスにおいて、一定の行政サービスの維持を必要としていることが伺える。



【前回調査 (H29)】



【行政サービスのあり方：性別・年齢別・居住地別クロス】

- 性別にみると、「男性」、「女性」ともに全体平均とほぼ同様の傾向となっている。
- 年齢別にみると、いずれの年齢においても全体平均とほぼ同様の傾向となっている。
- 居住地別にみると、「西部」、「三瓶」、「温泉津」では「市民の負担増をすることなく、行政サービスの重点化を図り、その種類や水準について見直す」の割合が高くなっている。

		合計	現在の行政サービスを確保するためには、市民の負担増はやむを得ない	市民の大層な負担増を行っても現在よりも行政サービスを充実したほうがよい	市民の負担増をすることなく行政サービスの重点化を図り、その種類や水準について見直す	現在より行政サービスが低下しても、市民の負担は少ないほうがよい	その他	無回答
全体		828	135	23	560	53	29	28
		100.0%	16.3%	2.8%	67.6%	6.4%	3.5%	3.4%
性別	男性	360	60	12	235	29	10	14
		100.1%	16.7%	3.3%	65.3%	8.1%	2.8%	3.9%
	女性	375	57	9	263	21	13	12
		100.0%	15.2%	2.4%	70.1%	5.6%	3.5%	3.2%
年齢	20代以下	38	5	2	24	3	1	3
		100.1%	13.2%	5.3%	63.2%	7.9%	2.6%	7.9%
	30代	57	13	2	37	2	2	1
		100.0%	22.8%	3.5%	64.9%	3.5%	3.5%	1.8%
	40代	100	17	0	74	6	1	2
		100.0%	17.0%	0.0%	74.0%	6.0%	1.0%	2.0%
	50代	94	11	2	70	6	3	2
		100.0%	11.7%	2.1%	74.5%	6.4%	3.2%	2.1%
60代	205	33	5	136	13	8	10	
	99.9%	16.1%	2.4%	66.3%	6.3%	3.9%	4.9%	
70代	207	33	7	135	18	8	6	
	100.0%	15.9%	3.4%	65.2%	8.7%	3.9%	2.9%	
80代以上	124	23	5	81	5	6	4	
	99.8%	18.5%	4.0%	65.3%	4.0%	4.8%	3.2%	
居住地ブロック	中央	287	57	11	170	27	11	11
		99.9%	19.9%	3.8%	59.2%	9.4%	3.8%	3.8%
	東部	137	17	3	98	8	8	3
		99.9%	12.4%	2.2%	71.5%	5.8%	5.8%	2.2%
	西部	166	23	5	125	6	4	3
		100.0%	13.9%	3.0%	75.3%	3.6%	2.4%	1.8%
	三瓶	42	6	1	31	1	2	1
		100.1%	14.3%	2.4%	73.8%	2.4%	4.8%	2.4%
高山	41	6	1	27	3	1	3	
	99.9%	14.6%	2.4%	65.9%	7.3%	2.4%	7.3%	
温泉津	53	9	0	40	1	1	2	
	100.1%	17.0%	0.0%	75.5%	1.9%	1.9%	3.8%	
仁摩	90	16	2	59	6	2	5	
	100.1%	17.8%	2.2%	65.6%	6.7%	2.2%	5.6%	

※数値の網掛け□はその区分において最も高い数値を示す。□は次に高い数値を示す。(「その他」、「無回答」を除く)

※青太字は全体平均より5ポイント以上10ポイント未満の値を示す。赤太字は、全体平均より10ポイント以上高い値を示す。

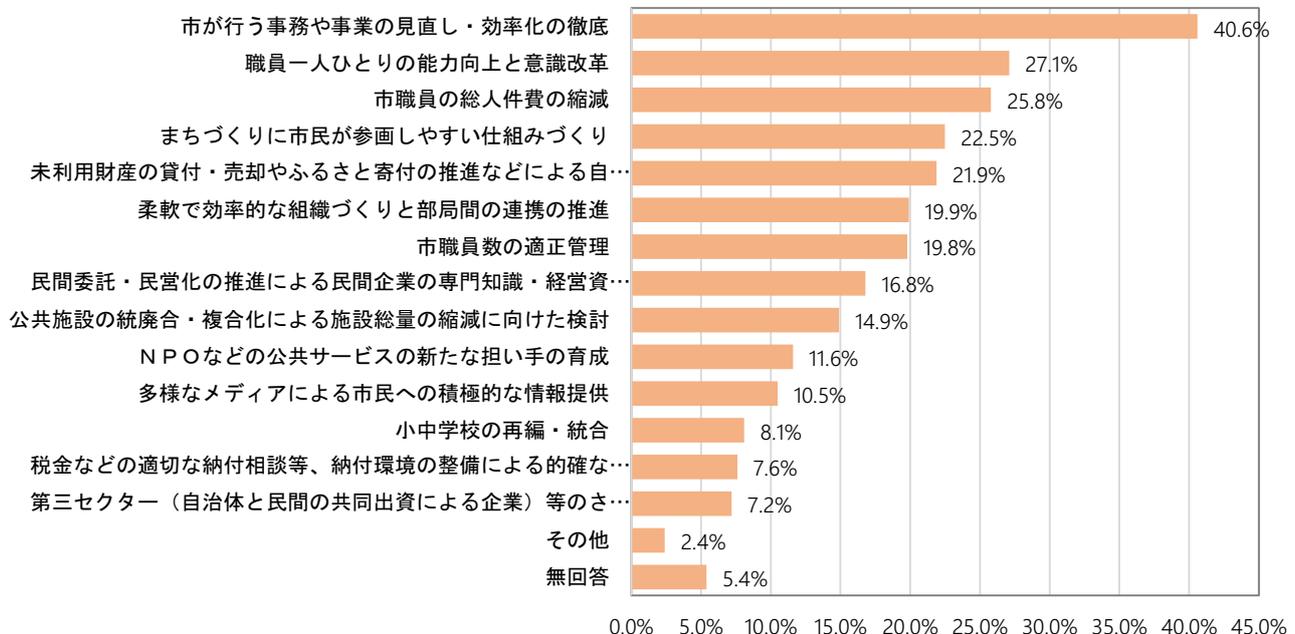
(4) 今後の行財政改革の優先的な取り組み

問 19 大田市が将来にわたって安定的な市政運営を継続させていくために、今後の行財政改革について優先的に行うべき取り組みは何だと思えますか。
(あてはまるものを3つまで選んで○をつけてください)

1. まちづくりに市民が参画しやすい仕組みづくり
2. NPOなどの公共サービスの新たな担い手の育成
3. 多様なメディアによる市民への積極的な情報提供
4. 市が行う事務や事業の見直し・効率化の徹底
5. 公共施設の統廃合・複合化による施設総量の縮減に向けた検討
6. 民間委託・民営化の推進による民間企業の専門知識・経営資源の活用
7. 第三セクター（自治体と民間の共同出資による企業）等のさらなる経営改善の促進
8. 小中学校の再編・統合
9. 柔軟で効率的な組織づくりと部局間の連携の推進
10. 市職員数の適正管理
11. 市職員の総人件費の縮減
12. 職員一人ひとりの能力向上と意識改革
13. 税金などの適切な納付相談等、納付環境の整備による的確な滞納処分の実施
14. 未利用財産の貸付・売却やふるさと寄付の推進などによる自主財源の確保
15. その他（ ）

【全体結果】

● 全体では、「市が行う事務や事業の見直し・効率化の徹底」が40.6%と最も高く、次いで「職員一人ひとりの能力向上と意識改革」が27.1%、「市職員の総人件費の縮減」が25.8%となっている。行財政改革として、事務や事業の見直しや市職員に関する事項が上位となっている。



(N=828)

【今後の行財政改革の優先的な取り組み：性別・年齢別・居住地別クロス】

- 性別にみると、「男性」、「女性」ともに全体平均とほぼ同様の傾向となっている。
- 年齢別にみると、「30代」、「40代」では「市職員数の適正管理」、「20代以下」「50代」は「市職員の総人件費の縮減」等が全体平均よりも5ポイント以上高くなっている。
- 居住地別にみると、「西部」では「市が行う事務や事業の見直し・効率化の徹底」が全体平均よりも5ポイント以上高くなっている。

		合計 件数	まちづくり市民 組みづくり が参画しやすい仕 組みづくり	NPOなどの住み 手への新たな担い 手の育成	多様なメディアに よる市民への直 接的な情報提供	市が行う事務や事 業の見直し・効率 化の徹底	公共施設の統廃 合・複合化による 施設稼働の増進に 向けた検討	民間委託・民営化の 推進による民間企 業の参入促進・資源 の活用	第三セクター（自治 体と民間の共同出 資による企業）等 さらなる経営改善 の促進	統合 小中学校の再編・
全体		828	22.5%	11.6%	10.5%	40.6%	14.9%	16.8%	7.2%	8.1%
性別	男性	360	23.1%	10.6%	9.7%	40.6%	14.2%	15.3%	6.1%	7.5%
	女性	375	21.6%	12.0%	10.1%	40.5%	15.5%	18.9%	8.0%	8.0%
年齢	20代以下	38	23.7%	7.9%	10.5%	36.8%	7.9%	15.8%	7.9%	10.5%
	30代	57	29.8%	10.5%	8.8%	38.6%	17.5%	12.3%	8.8%	10.5%
	40代	100	19.0%	10.0%	12.0%	41.0%	14.0%	18.0%	9.0%	6.0%
	50代	94	19.1%	10.6%	9.6%	46.8%	19.1%	14.9%	6.4%	6.4%
	60代	205	22.0%	14.6%	11.2%	39.0%	15.1%	17.1%	6.8%	5.9%
	70代	207	25.6%	9.7%	11.1%	40.6%	15.0%	18.4%	7.7%	9.7%
	80代以上	124	19.4%	13.7%	8.1%	41.1%	11.3%	16.1%	4.0%	10.5%
	居住地 ブロック	中央	287	24.7%	12.2%	12.2%	36.6%	15.0%	15.7%	8.0%
	東部	137	19.7%	11.7%	11.7%	45.3%	14.6%	21.2%	5.8%	9.5%
	西部	166	18.1%	12.0%	6.6%	46.4%	15.7%	17.5%	8.4%	7.2%
	三瓶	42	23.8%	16.7%	7.1%	35.7%	11.9%	11.9%	0.0%	4.8%
	高山	41	19.5%	9.8%	14.6%	39.0%	22.0%	14.6%	7.3%	9.8%
	温泉津	53	30.2%	9.4%	13.2%	32.1%	11.3%	15.1%	7.5%	5.7%
	仁摩	90	22.2%	10.0%	8.9%	44.4%	12.2%	16.7%	5.6%	5.6%

		合計 件数	柔軟で効率的な組 みづくりと部局間 の連携の推進	市 職員数の適正管 理	市 職員の総人件費 の縮減	職 員一人ひとりの 能力向上と意識改 革	税金などの適切な納付 相談等、納付環境の整 備による円滑な滞り処 分の実施	未利用財産の貸付・ 売却やふるさと寄付 の推進などによる自 主財源の確保	その他
全体		1343	19.9%	19.8%	25.8%	27.1%	7.6%	21.9%	2.4%
性別	男性	540	20.6%	18.6%	27.5%	27.5%	7.2%	20.6%	2.5%
	女性	621	18.4%	22.9%	26.1%	28.0%	7.7%	21.6%	2.1%
年齢	20代以下	78	18.4%	15.8%	31.6%	28.9%	2.6%	18.4%	2.6%
	30代	113	15.8%	26.3%	26.3%	26.3%	10.5%	19.3%	5.3%
	40代	134	23.0%	27.0%	25.0%	26.0%	8.0%	25.0%	1.0%
	50代	187	16.0%	17.0%	31.9%	26.6%	8.5%	23.4%	0.0%
	60代	353	22.4%	17.1%	26.8%	24.9%	3.9%	24.4%	2.9%
	70代	270	20.8%	18.8%	23.7%	29.5%	8.7%	19.3%	1.0%
	80代以上	201	16.9%	21.0%	22.6%	28.2%	11.3%	20.2%	5.6%
	居住地 ブロック	中央	425	18.1%	22.0%	29.3%	25.8%	8.4%	20.9%
	東部	241	19.0%	19.0%	28.5%	24.8%	13.9%	17.5%	1.5%
	西部	255	22.3%	18.1%	24.1%	29.5%	6.0%	25.3%	1.8%
	三瓶	70	28.6%	16.7%	23.8%	26.2%	2.4%	21.4%	4.8%
	高山	67	19.5%	17.1%	22.0%	31.7%	4.9%	17.1%	4.9%
	温泉津	108	11.3%	26.4%	18.9%	32.1%	3.8%	32.1%	1.9%
	仁摩	157	22.2%	18.9%	21.1%	25.6%	4.4%	22.2%	1.1%

※数値の網掛け□はその区分において最も高い数値を示す。□は次に高い数値を示す。□は次に高い数値を示す。（「その他」を除く）

※青太字は全体平均より5ポイント以上10ポイント未満の値を示す。赤太字は、全体平均より10ポイント以上高い値を示す。

3.4 地域活動（まちづくり）について

(1) 地域活動の取り組み

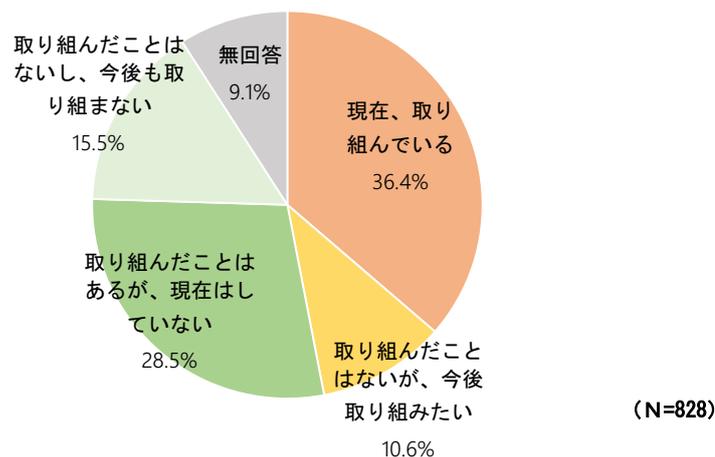
問20 あなたは、地域活動（まちづくり）に取り組んでいますか。（1つ選んで○をつけてください）

1. 現在、取り組んでいる
2. 取り組んだことはないが、今後取り組みたい
3. 取り組んだことはあるが、現在はしていない
4. 取り組んだことはないし、今後も取り組まない
5. その他（ ）

【全体結果】

● 全体では、「現在、取り組んでいる」が36.4%と最も高く、次いで「取り組んだことはあるが、現在はしていない」が28.5%となっており、地域活動に取り組んだことがある経験者は、併せて約6割となっている。

一方、地域活動の未経験者のうち、「取り組んだことはないし、今後も取り組まない」は15.5%となっており、「取り組んだことはないが、今後取り組みたい」の10.6%を上回っている。

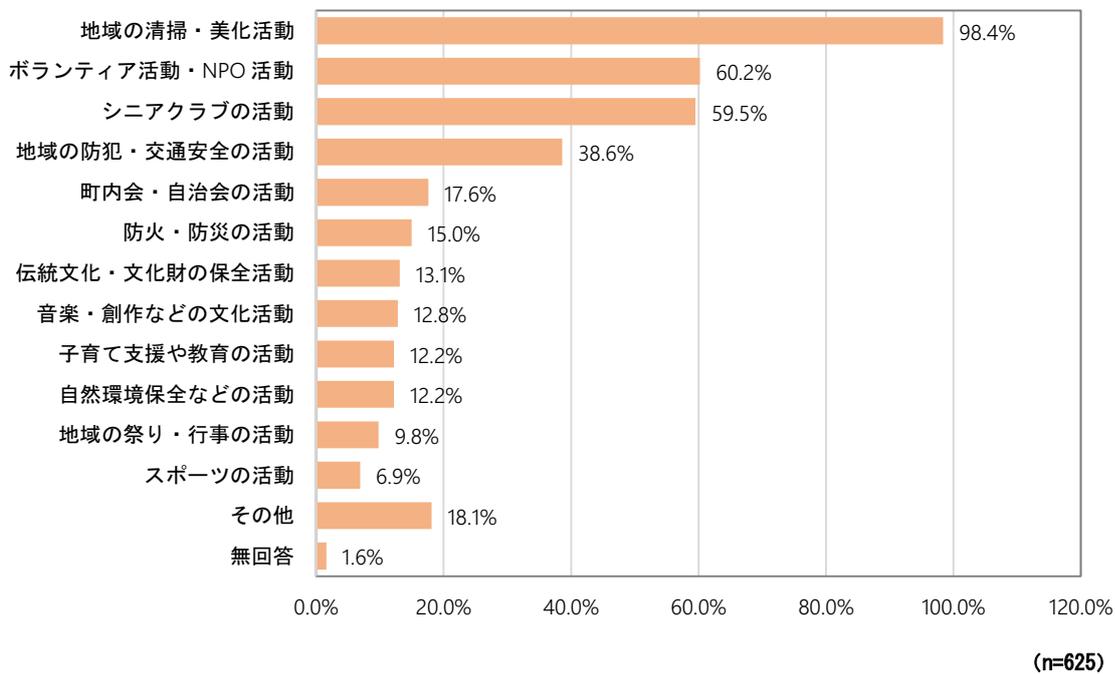


問20-1 どのような活動をしています（しました）か。また、今後してみたいですか。
（あてはまるものをすべて選んで○をつけてください）

※問20で「1. 現在、取り組んでいる」又は「2. 取り組んだことはないが、今後取り組みたい」、「3. 取り組んだことはあるが、現在はしていない」と回答した方のみ

- | | | |
|------------------|------------------|--------------------|
| 1. 地域の清掃・美化活動 | 2. シニアクラブの活動 | 3. 子育て支援や教育の活動 |
| 4. 自然環境保全などの活動 | 5. 伝統文化・文化財の保全活動 | 6. 地域の祭り・行事の活動 |
| 7. 地域の防犯・交通安全の活動 | 8. 防火・防災の活動 | 9. 音楽・創作などの文化活動 |
| 10. スポーツの活動 | 11. 町内会・自治会の活動 | 12. ボランティア活動・NPO活動 |
| 13. その他（） | | |

- 全体では、「地域の清掃・美化活動」が98.4%と最も高く、次いで「ボランティア活動・NPO活動」が60.2%、「シニアクラブの活動」が59.5%となっている。



【地域活動の取り組み：性別・年齢別・居住地別クロス】

- 性別にみると、「男性」、「女性」ともに全体平均とほぼ同様の傾向となっている。
- 年齢別にみると、「20代以下」と「70代」では、「現在、取り組んでいる」が全体平均よりも5ポイント以上高くなっている。
- 居住地別にみると、「三瓶」では「現在、取り組んでいる」の割合が約5割となっており、全体平均よりも10ポイント以上高くなっている。

		合計	現在、取り組んでいる	取り組んだことはないが、今後取り組みたい	取り組んだことはあるが、現在はしていない	取り組んだことはないし、今後もしない	無回答
全体		828 100.1%	301 36.4%	88 10.6%	236 28.5%	128 15.5%	75 9.1%
性別	男性	360 100.0%	138 38.3%	29 8.1%	99 27.5%	61 16.9%	33 9.2%
	女性	375 100.0%	137 36.5%	45 12.0%	106 28.3%	51 13.6%	36 9.6%
年齢	20代以下	38 100.0%	16 42.1%	2 5.3%	10 26.3%	6 15.8%	4 10.5%
	30代	57 99.9%	21 36.8%	6 10.5%	15 26.3%	10 17.5%	5 8.8%
	40代	100 100.0%	34 34.0%	10 10.0%	30 30.0%	14 14.0%	12 12.0%
	50代	94 99.9%	32 34.0%	14 14.9%	25 26.6%	13 13.8%	10 10.6%
	60代	205 100.0%	66 32.2%	23 11.2%	66 32.2%	31 15.1%	19 9.3%
	70代	207 100.0%	86 41.5%	22 10.6%	56 27.1%	30 14.5%	13 6.3%
	80代以上	124 100.0%	45 36.3%	11 8.9%	34 27.4%	23 18.5%	11 8.9%
	居住地ブロック	中央	287 100.0%	104 36.2%	30 10.5%	92 32.1%	40 13.9%
東部		137 100.1%	49 35.8%	16 11.7%	42 30.7%	17 12.4%	13 9.5%
西部		166 99.9%	60 36.1%	18 10.8%	37 22.3%	33 19.9%	18 10.8%
三瓶		42 100.0%	18 42.9%	3 7.1%	10 23.8%	6 14.3%	5 11.9%
高山		41 100.1%	20 48.8%	4 9.8%	8 19.5%	5 12.2%	4 9.8%
温泉津		53 100.1%	10 18.9%	6 11.3%	24 45.3%	10 18.9%	3 5.7%
仁摩		90 99.9%	36 40.0%	10 11.1%	22 24.4%	12 13.3%	10 11.1%

※数値の網掛け□はその区分において最も高い数値を示す。□は次に高い数値を示す。（「無回答」を除く）

※青太字は全体平均より5ポイント以上10ポイント未満の値を示す。赤太字は、全体平均より10ポイント以上高い値を示す。

【地域活動の取り組み内容：性別・年齢別・居住地別クロス】

- 性別にみると、「男性」、「女性」ともに全体平均とほぼ同様の傾向となっている。
- 年齢別にみると、「30代」では「地域の防犯・交通安全の活動」「音楽・創作などの文化活動」が全体平均よりも10ポイント以上高くなっている。
- 居住地別にみると、「三瓶」、「高山」では「地域の祭り・行事の活動」が全体平均よりも5ポイント以上高くなっている。

		合計 件数	地域の 清掃・ 美化活 動	シニアク ラブの活 動	子育て 支援や 教育の 活動	自然環 境保全 などの 活動	伝統文 化・文化 財の保全 活動	地域の祭 り・行事 の活動	地域の 防犯・ 交通安 全の活 動
全体		625	98.4%	59.5%	12.2%	12.2%	13.1%	9.8%	38.6%
性別	男性	266	98.5%	60.5%	13.9%	11.3%	11.7%	10.5%	39.5%
	女性	288	98.6%	61.5%	10.8%	13.9%	14.6%	9.7%	41.0%
年齢	20代以下	28	92.9%	64.3%	14.3%	10.7%	7.1%	3.6%	32.1%
	30代	42	100.0%	57.1%	14.3%	4.8%	14.3%	11.9%	50.0%
	40代	74	98.6%	51.4%	10.8%	12.2%	13.5%	6.8%	28.4%
	50代	71	95.8%	60.6%	8.5%	12.7%	8.5%	8.5%	36.6%
	60代	155	100.0%	60.6%	16.8%	14.8%	13.5%	10.3%	43.9%
	70代	164	97.6%	61.0%	13.4%	13.4%	17.1%	12.2%	37.8%
	80代以上	90	100.0%	60.0%	4.4%	8.9%	10.0%	8.9%	37.8%
	居住地 ブロック	中央	226	98.7%	61.5%	12.8%	10.2%	11.9%	6.2%
	東部	107	100.0%	57.0%	8.4%	9.3%	9.3%	7.5%	42.1%
	西部	115	95.7%	57.4%	16.5%	14.8%	17.4%	13.0%	40.0%
	三瓶	31	100.0%	45.2%	9.7%	6.5%	3.2%	16.1%	45.2%
	高山	32	100.0%	68.8%	9.4%	15.6%	18.8%	18.8%	34.4%
	温泉津	40	100.0%	62.5%	7.5%	12.5%	17.5%	10.0%	40.0%
	仁摩	68	97.1%	57.4%	11.8%	19.1%	13.2%	11.8%	39.7%

		合計 件数	防火・ 防災の 活動	音楽・ 創作な どの文 化活動	スポー ツの活 動	町内 会・自 治会の 活動	ボラン ティア 活動・ NPO活 動	その他
全体		625	15.0%	12.8%	6.9%	17.6%	60.2%	18.1%
性別	男性	266	14.7%	13.9%	6.8%	18.4%	62.4%	18.0%
	女性	288	16.0%	11.8%	7.6%	17.0%	58.7%	18.1%
年齢	20代以下	28	10.7%	10.7%	0.0%	14.3%	53.6%	17.9%
	30代	42	11.9%	23.8%	7.1%	11.9%	61.9%	21.4%
	40代	74	21.6%	6.8%	8.1%	13.5%	51.4%	14.9%
	50代	71	11.3%	15.5%	5.6%	15.5%	52.1%	21.1%
	60代	155	11.0%	12.3%	7.1%	20.0%	61.9%	18.7%
	70代	164	18.9%	15.2%	9.1%	18.9%	62.8%	17.1%
	80代以上	90	15.6%	7.8%	4.4%	20.0%	66.7%	17.8%
	居住地 ブロック	中央	226	15.9%	11.5%	6.2%	19.0%	61.5%
	東部	107	9.3%	10.3%	6.5%	23.4%	61.7%	15.9%
	西部	115	14.8%	15.7%	8.7%	13.9%	57.4%	20.9%
	三瓶	31	9.7%	19.4%	6.5%	12.9%	51.6%	19.4%
	高山	32	18.8%	6.3%	6.3%	12.5%	59.4%	9.4%
	温泉津	40	17.5%	17.5%	10.0%	15.0%	60.0%	17.5%
	仁摩	68	20.6%	13.2%	5.9%	16.2%	61.8%	29.4%

※数値の網掛け□はその区分において最も高い数値を示す。□は次に高い数値を示す。□は3番目に高い数値を示す。（「その他」を除く）

※青太字は全体平均より5ポイント以上10ポイント未満の値を示す。赤太字は、全体平均より10ポイント以上高い値を示す。

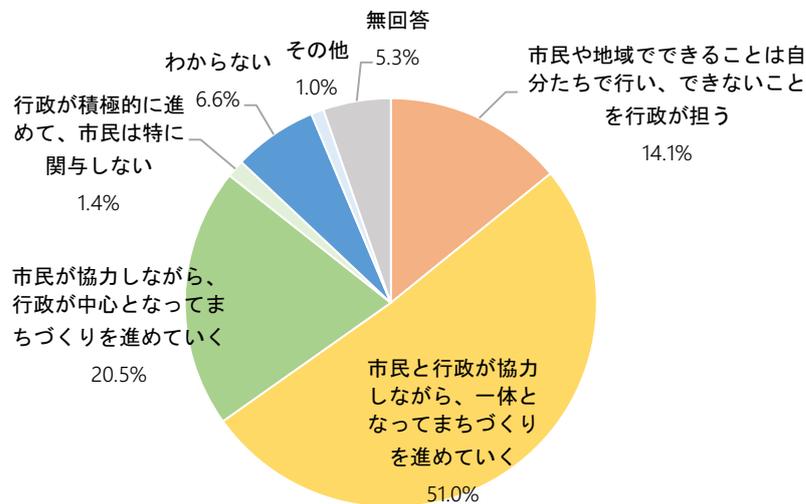
(2) 地域活動の市民と行政の役割分担

問 2 1 あなたは、今後の大田市の地域活動（まちづくり）を進めていくにあたり、市民と行政の役割分担はどうあるべきだと思いますか。（1つ選んで○をつけてください）

1. 市民や地域でできることは自分たちで行い、できないことを行政が担う
2. 市民と行政が協力しながら、一体となってまちづくりを進めていく
3. 市民が協力しながら、行政が中心となってまちづくりを進めていく
4. 行政が積極的に進めて、市民は特に関与しない
5. わからない
6. その他（ ）

【全体結果】

- 全体では、「市民と行政が協力しながら、一体となってまちづくりを進めていく」が51.0%と最も高く、次いで「市民が協力しながら、行政が中心となってまちづくりを進めていく」が20.5%、「市民や地域でできることは自分たちで行い、できないことを行政が担う」が14.1%となっている。



(N=828)

【地域活動の市民と行政の役割分担：性別・年齢別・居住地別クロス】

- 性別にみると、「男性」、「女性」ともに全体平均とほぼ同様の傾向となっている。
- 年齢別にみると、「20代以下」では「市民と行政が協力しながら、一体となってまちづくりを進めていく」、「50代」では「市民が協力しながら、行政が中心となってまちづくりを進めていく」が全体平均よりも5ポイント以上高くなっている。
- 居住地別にみると、「三瓶」では「市民と行政が協力しながら、一体となってまちづくりを進めていく」が全体平均よりも5ポイント以上高くなっている。

		合計	市民や地域でできることは自分たちで行い、必要なら行政が担う	市民と行政が協力しながら一体となってまちづくりを進めていく	市民が協力しながら行政が中心となってまちづくりを進めていく	行政が積極的に進めて市民はサポートする役割を担う	わからない	その他	無回答
全体		828 99.9%	117 14.1%	422 51.0%	170 20.5%	12 1.4%	55 6.6%	8 1.0%	44 5.3%
性別	男性	360 100.0%	58 16.1%	191 53.1%	57 15.8%	4 1.1%	26 7.2%	2 0.6%	22 6.1%
	女性	375 100.0%	45 12.0%	184 49.1%	93 24.8%	7 1.9%	23 6.1%	5 1.3%	18 4.8%
年齢	20代以下	38 99.9%	6 15.8%	23 60.5%	3 7.9%	1 2.6%	4 10.5%	0 0.0%	1 2.6%
	30代	57 99.9%	8 14.0%	30 52.6%	8 14.0%	0 0.0%	8 14.0%	2 3.5%	1 1.8%
	40代	100 100.0%	14 14.0%	48 48.0%	25 25.0%	0 0.0%	10 10.0%	0 0.0%	3 3.0%
	50代	94 100.0%	11 11.7%	41 43.6%	26 27.7%	3 3.2%	6 6.4%	0 0.0%	7 7.4%
	60代	205 100.1%	15 7.3%	113 55.1%	39 19.0%	4 2.0%	11 5.4%	4 2.0%	19 9.3%
	70代	207 100.0%	43 20.8%	100 48.3%	41 19.8%	4 1.9%	9 4.3%	2 1.0%	8 3.9%
	80代以上	124 99.9%	20 16.1%	67 54.0%	25 20.2%	0 0.0%	7 5.6%	0 0.0%	5 4.0%
	居住地ブロック	中央	287 99.9%	50 17.4%	136 47.4%	64 22.3%	3 1.0%	22 7.7%	3 1.0%
東部		137 100.2%	16 11.7%	76 55.5%	23 16.8%	2 1.5%	9 6.6%	2 1.5%	9 6.6%
西部		166 100.0%	24 14.5%	86 51.8%	28 16.9%	3 1.8%	10 6.0%	3 1.8%	12 7.2%
三瓶		42 100.0%	5 11.9%	25 59.5%	9 21.4%	0 0.0%	1 2.4%	0 0.0%	2 4.8%
高山		41 100.0%	2 4.9%	18 43.9%	11 26.8%	4 9.8%	3 7.3%	0 0.0%	3 7.3%
温泉津		53 99.9%	2 3.8%	28 52.8%	13 24.5%	0 0.0%	5 9.4%	0 0.0%	5 9.4%
仁摩		90 99.9%	16 17.8%	49 54.4%	18 20.0%	0 0.0%	3 3.3%	0 0.0%	4 4.4%

※数値の網掛け□はその区分において最も高い数値を示す。□は次に高い数値を示す。（「その他」、「無回答」を除く）

※青太字は全体平均より5ポイント以上10ポイント未満の値を示す。赤太字は、全体平均より10ポイント以上高い値を示す。

(3) 市民がまちづくりに参加しやすい仕組みづくり

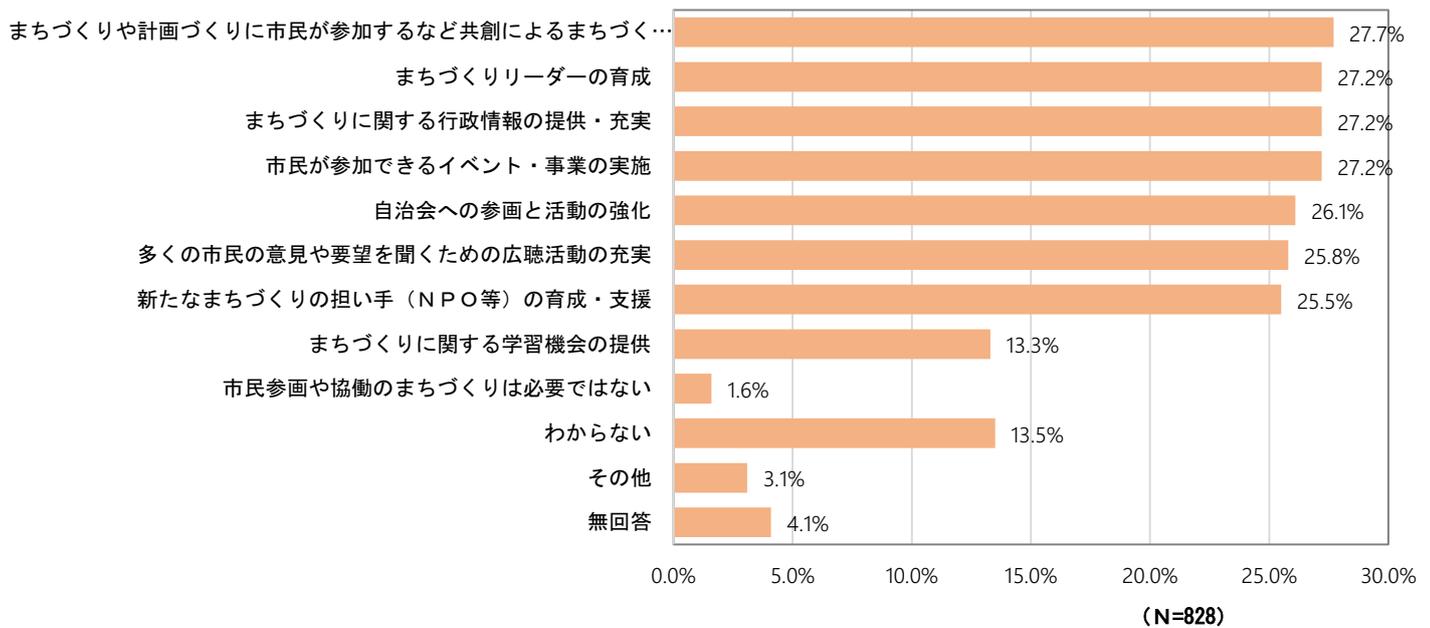
問 2 2 少子高齢化に伴う人口減少や厳しい財政状況の中、誰もが安心して住み慣れた地域で住み続けることができるようにしていくためには、地域の活力やコミュニティを維持していくことが重要です。そのためには、行政のまちづくりのみならず、市民一人ひとりがともに協力して自らの地域の課題解決や地域のまちづくりに取り組んでいくことが大切になります。

あなたは、市民がまちづくりに参加しやすい仕組みづくりとして、今後どのような取り組みが必要だと思いますか。（あてはまるものを3つまで選んで○をつけてください）

1. 自治会への参画と、活動の強化
2. まちづくりリーダーの育成
3. 新たなまちづくりの担い手（NPO等）の育成・支援
4. まちづくりに関する学習機会の提供
5. まちづくりや計画づくりに市民が参加するなど共創によるまちづくりの推進
6. 多くの市民の意見や要望を聞くための広聴活動の充実
7. まちづくりに関する行政情報の提供・充実
8. 市民が参加できるイベント・事業の実施
9. 市民参画や協働のまちづくりは必要ではない
10. わからない
11. その他（ ）

【全体結果】

- 全体では、「まちづくりや計画づくりに市民が参加するなど共創によるまちづくりの推進」が27.7%と最も高く、次いで「まちづくりリーダーの育成」、「まちづくりに関する行政情報の提供・充実」、「市民が参加できるイベント・事業の実施」が27.2%となっている。



【市民がまちづくりに参加しやすい仕組みづくり：性別・年齢別・居住地別クロス】

- 性別にみると、「男性」、「女性」ともに全体平均とほぼ同様の傾向となっている。
- 年齢別にみると、「20代以下」では「まちづくりに関する学習機会の提供」、「40代」では「自治会への参画と、活動の強化」が全体平均よりも5ポイント以上高くなっている。
- 居住地別にみると、「高山」「温泉津」「仁摩」では「まちづくりに関する行政情報の提供・充実」が全体平均よりも5ポイント以上高くなっている。

		合計 件数	自治会への参 画と活動の強 化	まちづくりリ ダーの養成	新たなまちづ くりの担い手 育成・支援 (NPO等)	まちづくりに 関する学習機 会の提供	まちづくりに 関する学習機 会の提供	まちづくりに 関する学習機 会の提供
全体		828	26.1%	27.2%	25.5%	13.3%	27.7%	
性別	男性	360	26.1%	25.8%	27.2%	13.3%	26.7%	
	女性	375	25.9%	28.0%	23.2%	14.1%	28.8%	
年齢	20代以下	38	15.8%	23.7%	28.9%	21.1%	28.9%	
	30代	57	21.1%	24.6%	26.3%	10.5%	28.1%	
	40代	100	33.0%	20.0%	22.0%	14.0%	29.0%	
	50代	94	26.6%	29.8%	23.4%	13.8%	26.6%	
	60代	205	24.9%	27.3%	26.8%	12.7%	26.3%	
	70代	207	29.5%	28.5%	21.7%	15.9%	28.5%	
	80代以上	124	22.6%	30.6%	31.5%	8.1%	27.4%	
居住地 ブロック	中央	287	26.8%	27.9%	25.4%	14.3%	26.8%	
	東部	137	27.0%	29.9%	27.7%	11.7%	27.0%	
	西部	166	24.1%	22.9%	25.3%	16.3%	31.3%	
	三瓶	42	23.8%	21.4%	28.6%	14.3%	23.8%	
	高山	41	17.1%	26.8%	19.5%	12.2%	26.8%	
	温泉津	53	20.8%	24.5%	26.4%	13.2%	22.6%	
	仁摩	90	33.3%	34.4%	22.2%	7.8%	28.9%	

		合計 件数	多くの市民の 意見や要望を 聞くための広 聴活動の充実	まちづくりに 関する行政情 報の提供・充 実	市民が参加でき るイベント・事 業の実施	市民参画や協 働のまちづく りは必要では ない	わからない	その他
全体		828	25.8%	27.2%	27.2%	1.6%	13.5%	3.1%
性別	男性	360	24.7%	28.6%	24.4%	2.2%	14.4%	3.1%
	女性	375	28.0%	27.5%	28.8%	1.3%	13.1%	2.9%
年齢	20代以下	38	28.9%	23.7%	21.1%	0.0%	13.2%	2.6%
	30代	57	24.6%	26.3%	21.1%	0.0%	19.3%	5.3%
	40代	100	26.0%	30.0%	29.0%	1.0%	20.0%	2.0%
	50代	94	23.4%	30.9%	30.9%	2.1%	13.8%	2.1%
	60代	205	26.3%	26.8%	27.3%	2.0%	11.2%	3.9%
	70代	207	30.0%	25.1%	26.1%	1.4%	10.6%	2.9%
	80代以上	124	19.4%	27.4%	28.2%	2.4%	14.5%	3.2%
居住地 ブロック	中央	287	25.8%	23.7%	28.9%	1.4%	16.0%	3.1%
	東部	137	23.4%	24.8%	21.9%	1.5%	12.4%	3.6%
	西部	166	30.1%	28.3%	24.1%	1.2%	12.0%	2.4%
	三瓶	42	19.0%	31.0%	38.1%	0.0%	14.3%	2.4%
	高山	41	19.5%	34.1%	29.3%	9.8%	12.2%	2.4%
	温泉津	53	34.0%	34.0%	35.8%	1.9%	13.2%	3.8%
	仁摩	90	21.1%	33.3%	23.3%	0.0%	12.2%	3.3%

※数値の網掛け□はその区分において最も高い数値を示す。□は次に高い数値を示す。□は3番目に高い数値を示す。（「わからない」、「その他」を除く）
 ※青太字は全体平均より5ポイント以上10ポイント未満の値を示す。赤太字は、全体平均より10ポイント以上高い値を示す。

3.5 大田市のまちの将来像について

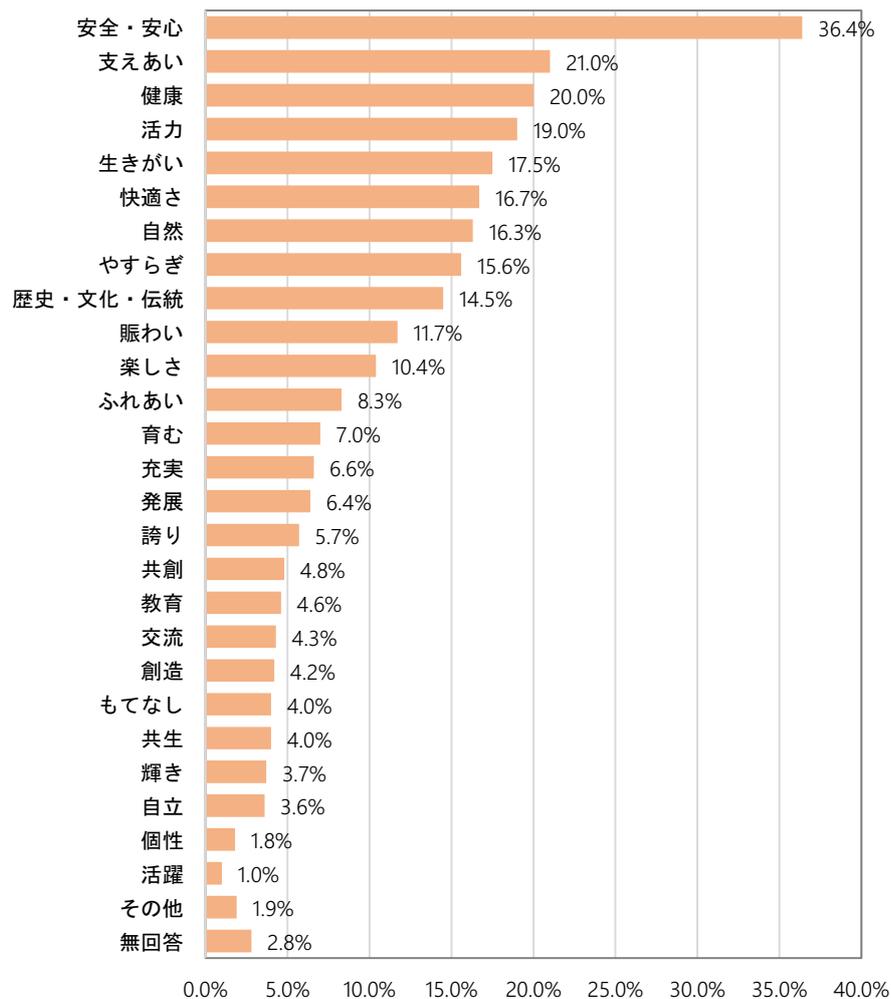
(1) まちの将来像

問23 あなたは、今後、大田市が目指していくべき将来像を表すものとして、どのような「言葉（キーワード）」がふさわしいと思いますか。（あてはまるものを3つまで選んで○をつけてください）

- | | | | |
|----------|----------|-----------|--------------|
| 1. 誇り | 2. 賑わい | 3. もてなし | 4. 楽しさ |
| 5. 活力 | 6. 健康 | 7. 育む | 8. 安全・安心 |
| 9. やすらぎ | 10. 個性 | 11. 快適さ | 12. 輝き |
| 13. 充実 | 14. 自立 | 15. 活躍 | 16. 支え合い |
| 17. ふれあい | 18. 生きがい | 19. 創造 | 20. 歴史・文化・伝統 |
| 21. 教育 | 22. 交流 | 23. 自然 | 24. 共生 |
| 25. 発展 | 26. 共創 | 27. その他（） | |

【全体結果】

- 全体では、「安全・安心」が36.4%と最も高く、次いで「支えあい」が21.0%、「健康」が20.0%、「活力」が19.0%となっている。



【まちの将来像：性別・年齢別・居住地別クロス】

(N=828)

- 性別にみると、「男性」、「女性」ともに全体平均とほぼ同様の傾向となっている。
- 年齢別にみると、「20代以下」から「40代」では「活力」、「安全・安心」等が全体平均よりも高く、「70代」では「快適さ」が全体平均よりも高くなっている。
- 居住地別にみると、「西部」「温泉津」では「活力」、「高山」では「賑わい」が全体平均よりも高くなっている。

		合計件数	誇り	賑わい	もてなし	楽しさ	活力	健康	育心	安全・安心	やすらぎ	個性	快適さ	輝き	充実	自立
全体		828	5.7%	11.7%	4.0%	10.4%	19.0%	20.0%	7.0%	36.4%	15.6%	1.8%	16.7%	3.7%	6.6%	3.6%
性別	男性	360	5.0%	10.8%	4.2%	9.4%	18.9%	21.1%	6.4%	36.7%	13.3%	1.9%	17.5%	3.3%	4.7%	4.4%
	女性	375	6.7%	12.3%	3.5%	11.2%	18.7%	16.8%	7.7%	36.8%	16.8%	1.3%	16.5%	4.5%	8.8%	2.9%
年齢	20代以下	29	2.6%	2.6%	2.6%	15.8%	18.4%	18.4%	0.0%	31.6%	21.1%	5.3%	21.1%	5.3%	5.3%	2.6%
	30代	38	7.0%	12.3%	3.5%	12.3%	24.6%	15.8%	8.8%	33.3%	8.8%	3.5%	10.5%	5.3%	7.0%	0.0%
	40代	57	7.0%	11.0%	4.0%	9.0%	25.0%	23.0%	11.0%	42.0%	15.0%	2.0%	13.0%	3.0%	4.0%	3.0%
	50代	100	6.4%	8.5%	2.1%	7.4%	20.2%	20.2%	10.6%	35.1%	20.2%	1.1%	11.7%	2.1%	9.6%	2.1%
	60代	94	4.9%	13.2%	4.4%	8.3%	19.5%	20.0%	4.9%	38.5%	15.1%	1.5%	17.6%	3.9%	4.9%	4.9%
	70代	205	6.3%	12.1%	4.8%	14.0%	16.4%	21.7%	6.3%	35.7%	15.9%	1.4%	21.7%	4.3%	5.8%	4.8%
	80代以上	207	4.8%	14.5%	4.0%	8.1%	14.5%	17.7%	6.5%	33.1%	12.9%	0.8%	15.3%	3.2%	11.3%	3.2%
居住地ブロック	中央	287	5.6%	10.8%	3.5%	13.2%	16.4%	24.0%	7.3%	35.9%	15.7%	2.8%	17.4%	4.5%	5.2%	3.1%
	東部	137	4.4%	9.5%	7.3%	13.1%	12.4%	21.2%	8.0%	37.2%	16.8%	0.0%	19.7%	2.9%	10.9%	4.4%
	西部	166	5.4%	12.7%	4.2%	6.0%	29.5%	16.3%	8.4%	31.3%	16.3%	2.4%	15.1%	3.0%	6.0%	5.4%
	三瓶	42	7.1%	7.1%	0.0%	9.5%	16.7%	19.0%	4.8%	38.1%	19.0%	2.4%	7.1%	2.4%	9.5%	4.8%
	高山	41	7.3%	22.0%	4.9%	7.3%	17.1%	14.6%	7.3%	41.5%	9.8%	0.0%	14.6%	9.8%	9.8%	2.4%
	温泉津	53	7.5%	17.0%	3.8%	5.7%	30.2%	15.1%	3.8%	39.6%	9.4%	0.0%	18.9%	1.9%	9.4%	1.9%
	仁摩	90	6.7%	12.2%	2.2%	10.0%	13.3%	17.8%	4.4%	41.1%	13.3%	1.1%	16.7%	3.3%	2.2%	2.2%

		合計件数	活躍	支えあい	ふれあい	生きがい	創造	統 歴史・文化伝	教育	交流	自然	共生	発展	共創	その他
全体		828	1.0%	21.0%	8.3%	17.5%	4.2%	14.5%	4.6%	4.3%	16.3%	4.0%	6.4%	4.8%	1.9%
性別	男性	360	1.1%	21.4%	7.8%	19.7%	4.4%	13.9%	5.3%	4.7%	17.2%	5.0%	6.9%	4.7%	0.6%
	女性	375	1.1%	21.3%	8.8%	16.0%	4.3%	15.5%	4.3%	4.0%	14.4%	2.9%	6.4%	5.6%	2.9%
年齢	20代以下	29	0.0%	23.7%	7.9%	18.4%	0.0%	13.2%	2.6%	7.9%	18.4%	7.9%	7.9%	2.6%	0.0%
	30代	38	1.8%	22.8%	7.0%	15.8%	12.3%	3.5%	8.8%	3.5%	15.8%	3.5%	7.0%	1.8%	1.8%
	40代	57	1.0%	23.0%	11.0%	18.0%	0.0%	11.0%	4.0%	5.0%	20.0%	2.0%	4.0%	8.0%	2.0%
	50代	100	0.0%	23.4%	4.3%	18.1%	4.3%	19.1%	4.3%	3.2%	11.7%	5.3%	9.6%	3.2%	3.2%
	60代	94	1.5%	19.5%	5.4%	17.1%	4.4%	17.6%	3.9%	5.9%	16.6%	2.9%	6.3%	4.9%	1.5%
	70代	205	1.4%	20.3%	10.6%	16.9%	2.4%	15.5%	5.3%	2.4%	14.5%	3.9%	4.8%	6.8%	1.9%
	80代以上	207	0.0%	19.4%	11.3%	18.5%	8.1%	12.9%	4.0%	4.8%	19.4%	5.6%	8.1%	2.4%	2.4%
居住地ブロック	中央	287	0.7%	19.9%	8.0%	20.2%	6.3%	11.8%	5.6%	5.2%	15.3%	5.6%	7.7%	3.5%	1.0%
	東部	137	0.0%	23.4%	10.2%	13.1%	2.2%	19.0%	2.9%	3.6%	16.1%	3.6%	3.6%	5.1%	4.4%
	西部	166	1.2%	21.7%	9.6%	18.1%	3.0%	13.3%	3.0%	4.2%	15.1%	3.6%	4.8%	7.2%	1.8%
	三瓶	42	2.4%	26.2%	0.0%	21.4%	4.8%	23.8%	4.8%	7.1%	21.4%	7.1%	7.1%	4.8%	0.0%
	高山	41	2.4%	14.6%	7.3%	17.1%	4.9%	7.3%	9.8%	0.0%	14.6%	2.4%	2.4%	2.4%	2.4%
	温泉津	53	1.9%	17.0%	5.7%	20.8%	3.8%	7.5%	0.0%	5.7%	11.3%	1.9%	11.3%	7.5%	1.9%
	仁摩	90	1.1%	23.3%	10.0%	10.0%	3.3%	20.0%	7.8%	2.2%	21.1%	1.1%	7.8%	4.4%	2.2%

※数値の網掛け□はその区分において最も高い数値を示す。□は次に高い数値を示す。□は3番目に高い数値を示す。（「その他」を除く）

※青太字は全体平均より5ポイント以上10ポイント未満の値を示す。赤太字は、全体平均より10ポイント以上高い値を示す。

(2) 人口減少、定住対策としての提案

問 2 4 大田市では、出生数の減少等により、人口減少が進んでいます。若者等の定住対策としてどのような取り組みが必要だと思いますか。ご提案などがありましたら、下記へご自由にお書きください。

【意見の詳細一覧】

内容	件数
仕事・産業対策	208
働く場所の確保	120
企業誘致	66
就労支援	14
賃金対策	7
起業促進	1
生活および経済支援	65
子育て支援	40
祝い金、一時金等	12
婚活支援	8
継続した支援等	5
住宅対策	39
空き家対応	18
住宅確保	13
家賃	8
インフラ整備	30
施設等の充実	19
交通機関対策	3
公園等施設整備	3
道路整備	2
通信・ネット整備	2
土地整備	1
教育対策	12
学校誘致	7
学校での定住教育	5
行財政対策	11
税金対策	3
行政改革（事業等）	3
行政改革（体制等）	2
議職強化	1
官庁誘致	1
市民の行政参加	1
人々の交流	11
海外からの移民受け入れ	1
地域コミュニティ	10
PR 対策	8
ホームページ SNS 利用等でのアピール	6
アトラクション、イベント等	1
自然環境	1

内容		件数
医療対策		7
	子ども医療費無料	3
	病院施設の拡充	3
	夜間救急の拡充	1
少子高齢・障がい者		2
	介護支援や障がい者支援	1
	高齢化対策	1
その他		11
	大田が好き、住みよい街にして欲しい	1
	魅力的な街になる必要がある	1
	市外からの通勤者に意見を聞いてみる	1
	その他	8
合 計		404

3.6 大田市の情報発信について

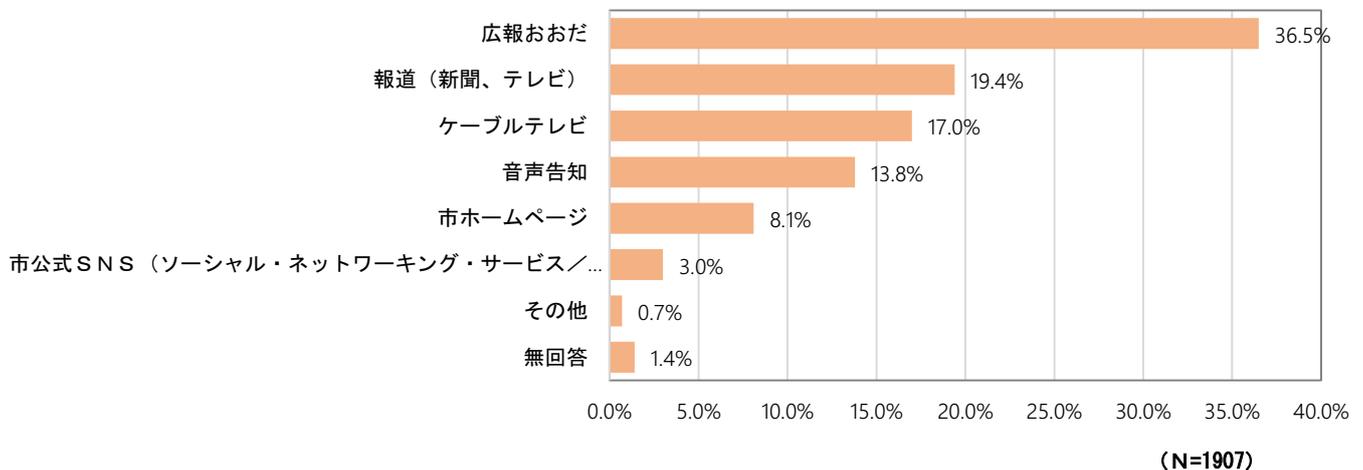
(1) 広報情報の取得

問 2 5 市の広報は、市政運営の方針や各種施策・業務・活動を様々な媒体を通して市民の皆さんをはじめとした、市に関心を寄せていただける人たちに広く情報発信をしています。あなたは、市からの情報（お知らせ）をどのような方法で入手していますか。（あてはまるものをすべて選んで○をつけてください）

- | | | |
|---|------------|---------------|
| 1. 広報おおだ | 2. 市ホームページ | |
| 3. 市公式 SNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス／Facebook、LINE、YouTube） | | |
| 4. 音声告知 | 5. ケーブルテレビ | 6. 報道（新聞、テレビ） |
| 7. その他（） | | |

【全体結果】

- 全体では、「広報おおだ」が 36.5%と最も高く、次いで「報道（新聞、テレビ）」が 19.4%となっている。



【広報情報の取得内容：性別・年齢別・居住地別クロス】

- 性別にみると、「男性」、「女性」ともに全体平均とほぼ同様の傾向となっている。
- 年齢別にみると、いずれの年齢においても全体平均とほぼ同様の傾向となっている。
- 居住地別にみると、いずれの居住地においても全体平均とほぼ同様の傾向となっている。

		合計 件数	広報お おだ	市ホーム ページ	市公式 SNS	音声告 知	ケーブル テレビ	報道(新 聞、テレ ビ)	その他
全体		1907	36.5%	8.1%	3.0%	13.8%	17.0%	19.4%	0.7%
性別	男性	852	36.4%	8.1%	2.7%	15.6%	16.9%	18.2%	0.8%
	女性	848	36.4%	8.6%	3.5%	12.1%	16.7%	20.5%	0.4%
年齢	20代以下	88	34.1%	5.7%	4.5%	14.8%	17.0%	20.5%	0.0%
	30代	131	38.2%	9.2%	3.8%	12.2%	14.5%	20.6%	1.5%
	40代	219	38.4%	8.2%	3.7%	16.0%	11.9%	18.7%	1.4%
	50代	207	35.3%	5.8%	4.8%	13.0%	19.8%	18.4%	0.0%
	60代	478	36.4%	8.6%	3.6%	14.6%	15.1%	20.5%	0.6%
	70代	491	36.0%	8.8%	2.0%	14.3%	18.1%	18.5%	0.6%
	80代以上	285	37.2%	8.4%	1.4%	10.9%	21.1%	19.3%	1.1%
居住地 ブロック	中央	659	36.6%	7.3%	3.8%	13.8%	17.3%	19.4%	0.6%
	東部	299	38.8%	8.4%	3.3%	12.0%	16.1%	19.7%	1.3%
	西部	393	35.6%	10.2%	1.3%	13.7%	17.0%	19.6%	1.0%
	三瓶	98	33.7%	7.1%	6.1%	14.3%	18.4%	19.4%	0.0%
	高山	95	35.8%	7.4%	3.2%	14.7%	16.8%	20.0%	1.1%
	温泉津	114	40.4%	4.4%	0.9%	16.7%	15.8%	21.1%	0.0%
	仁摩	221	34.8%	9.5%	3.2%	14.0%	17.6%	17.6%	0.0%

※数値の網掛け□はその区分において最も高い数値を示す。□は次に高い数値を示す。(「その他」を除く)

※青太字は全体平均より5ポイント以上10ポイント未満の値を示す。赤太字は、全体平均より10ポイント以上高い値を示す。

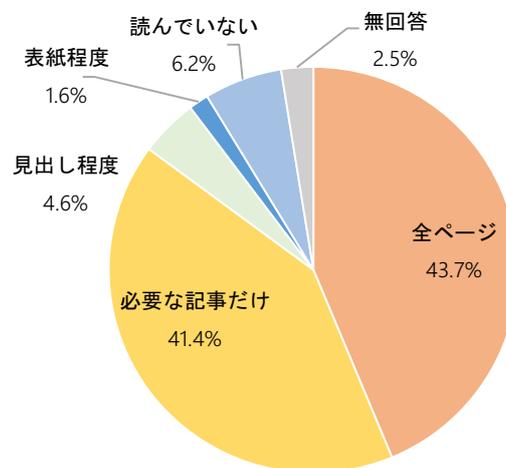
(2) 「広報おおだ」の閲覧について

問26 「広報おおだ」は、市民に最も身近な広報媒体です。全戸配布による浸透性も高いことから、世代を問わず市の取り組みを理解してもらうため、市民に分かりやすい広報誌の作成に心がけています。あなたは、「広報おおだ」をどの程度読んでいますか。(1つ選んで○をつけてください)

- | | | |
|---------|------------|----------|
| 1. 全ページ | 2. 必要な記事だけ | 3. 見出し程度 |
| 4. 表紙程度 | 5. 読んでいない | |

【全体結果】

- 全体では、「全ページ」が43.7%と最も高く、次いで「必要な記事だけ」が41.4%となっており、併せて約8割となっている。



(N=828)

【「広報おおだ」の閲覧内容：性別・年齢別・居住地別クロス】

- 性別にみると、「男性」、「女性」ともに全体平均とほぼ同様の傾向となっている。
- 年齢別にみると、「20代以下」、「30代」「50代」では「必要な記事だけ」が全体平均よりも5ポイント以上高くなっている。
- 居住地別にみると、「高山」では「表紙程度」「読んでいない」が全体平均よりも5ポイント以上高くなっており、一方「仁摩」では「全ページ」が全体平均よりも5ポイント以上高くなっている。

		合計	全ページ	必要な記事だけ	見出し程度	表紙程度	読んでいない	無回答
全体		828	362	343	38	13	51	21
		100.0%	43.7%	41.4%	4.6%	1.6%	6.2%	2.5%
性別	男性	360	155	158	18	7	15	7
		100.0%	43.1%	43.9%	5.0%	1.9%	4.2%	1.9%
	女性	375	165	150	16	6	26	12
		100.0%	44.0%	40.0%	4.3%	1.6%	6.9%	3.2%
年齢	20代以下	38	14	18	1	0	2	3
		100.0%	36.8%	47.4%	2.6%	0.0%	5.3%	7.9%
	30代	57	22	27	5	0	2	1
		100.1%	38.6%	47.4%	8.8%	0.0%	3.5%	1.8%
	40代	100	46	37	6	1	8	2
		100.0%	46.0%	37.0%	6.0%	1.0%	8.0%	2.0%
	50代	94	32	44	4	3	8	3
		100.0%	34.0%	46.8%	4.3%	3.2%	8.5%	3.2%
	60代	205	95	80	9	3	14	4
		100.0%	46.3%	39.0%	4.4%	1.5%	6.8%	2.0%
70代	207	99	82	6	6	9	5	
	99.9%	47.8%	39.6%	2.9%	2.9%	4.3%	2.4%	
80代以上	124	53	53	7	0	8	3	
	99.9%	42.7%	42.7%	5.6%	0.0%	6.5%	2.4%	
居住地ブロック	中央	287	119	129	15	3	16	5
		99.9%	41.5%	44.9%	5.2%	1.0%	5.6%	1.7%
	東部	137	66	52	5	2	9	3
		100.1%	48.2%	38.0%	3.6%	1.5%	6.6%	2.2%
	西部	166	71	67	8	4	11	5
		100.0%	42.8%	40.4%	4.8%	2.4%	6.6%	3.0%
	三瓶	42	15	19	4	0	3	1
		99.9%	35.7%	45.2%	9.5%	0.0%	7.1%	2.4%
	高山	41	16	15	1	3	5	1
		99.9%	39.0%	36.6%	2.4%	7.3%	12.2%	2.4%
温泉津	53	23	24	1	1	3	1	
	100.1%	43.4%	45.3%	1.9%	1.9%	5.7%	1.9%	
仁摩	90	46	32	4	0	3	5	
	100.0%	51.1%	35.6%	4.4%	0.0%	3.3%	5.6%	

※数値の網掛け□はその区分において最も高い数値を示す。□は次に高い数値を示す。（「無回答」を除く）

※青太字は全体平均より5ポイント以上10ポイント未満の値を示す。赤太字は、全体平均より10ポイント以上高い値を示す。

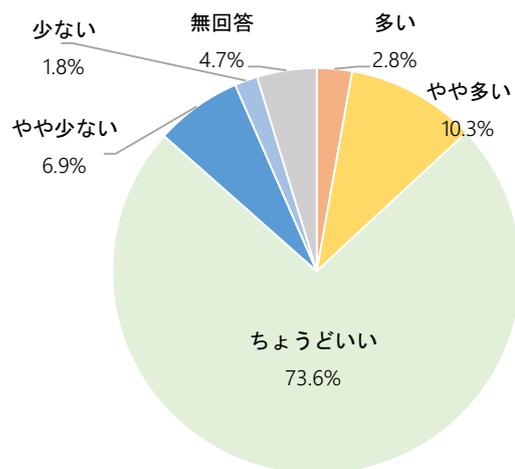
(3) 「広報おおだ」のページ数について

問27 あなたは、「広報おおだ」のページ数をどのように感じますか。(1つ選んで○をつけてください)

- | | | |
|----------|---------|-----------|
| 1. 多い | 2. やや多い | 3. ちょうどいい |
| 4. やや少ない | 5. 少ない | |

【全体結果】

- 全体では、「ちょうどいい」が73.6%と最も高くなっている。「多い」「やや多い」のほうが「少ない」「やや少ない」を若干上回っている。



(N=828)

【「広報おおだ」のページ数の内容：性別・年齢別・居住地別クロス】

- 性別にみると、「男性」、「女性」ともに全体平均とほぼ同様の傾向となっている。
- 年齢別にみると、「50代」が全体平均よりも5ポイント以上高くなっている。
- 居住地別にみると、いずれの居住地においても全体平均とほぼ同様の傾向となっている。

		合計	多い	やや多い	ちょうどいい	やや少ない	少ない	無回答
全体		828 100.1%	23 2.8%	85 10.3%	609 73.6%	57 6.9%	15 1.8%	39 4.7%
性別	男性	360 99.9%	12 3.3%	38 10.6%	265 73.6%	21 5.8%	8 2.2%	16 4.4%
	女性	375 100.2%	10 2.7%	40 10.7%	277 73.9%	25 6.7%	4 1.1%	19 5.1%
年齢	20代以下	38 100.1%	1 2.6%	5 13.2%	24 63.2%	3 7.9%	0 0.0%	5 13.2%
	30代	57 100.1%	3 5.3%	5 8.8%	44 77.2%	4 7.0%	0 0.0%	1 1.8%
	40代	100 100.0%	2 2.0%	6 6.0%	74 74.0%	8 8.0%	2 2.0%	8 8.0%
	50代	94 100.0%	4 4.3%	17 18.1%	65 69.1%	5 5.3%	0 0.0%	3 3.2%
	60代	205 100.0%	4 2.0%	21 10.2%	153 74.6%	8 3.9%	7 3.4%	12 5.9%
	70代	207 99.9%	5 2.4%	16 7.7%	158 76.3%	19 9.2%	4 1.9%	5 2.4%
	80代以上	124 100.0%	4 3.2%	15 12.1%	88 71.0%	10 8.1%	2 1.6%	5 4.0%
	居住地ブロック	中央	287 100.1%	8 2.8%	26 9.1%	212 73.9%	23 8.0%	6 2.1%
東部		137 99.9%	1 0.7%	14 10.2%	109 79.6%	5 3.6%	3 2.2%	5 3.6%
西部		166 99.9%	5 3.0%	12 7.2%	123 74.1%	13 7.8%	3 1.8%	10 6.0%
三瓶		42 100.1%	2 4.8%	6 14.3%	27 64.3%	4 9.5%	2 4.8%	1 2.4%
高山		41 100.1%	2 4.9%	4 9.8%	27 65.9%	3 7.3%	1 2.4%	4 9.8%
温泉津		53 100.1%	3 5.7%	8 15.1%	38 71.7%	2 3.8%	0 0.0%	2 3.8%
仁摩		90 99.9%	2 2.2%	13 14.4%	64 71.1%	7 7.8%	0 0.0%	4 4.4%

※数値の網掛け□はその区分において最も高い数値を示す。□は次に高い数値を示す。（「無回答」を除く）

※青太字は全体平均より5ポイント以上10ポイント未満の値を示す。赤太字は、全体平均より10ポイント以上高い値を示す。

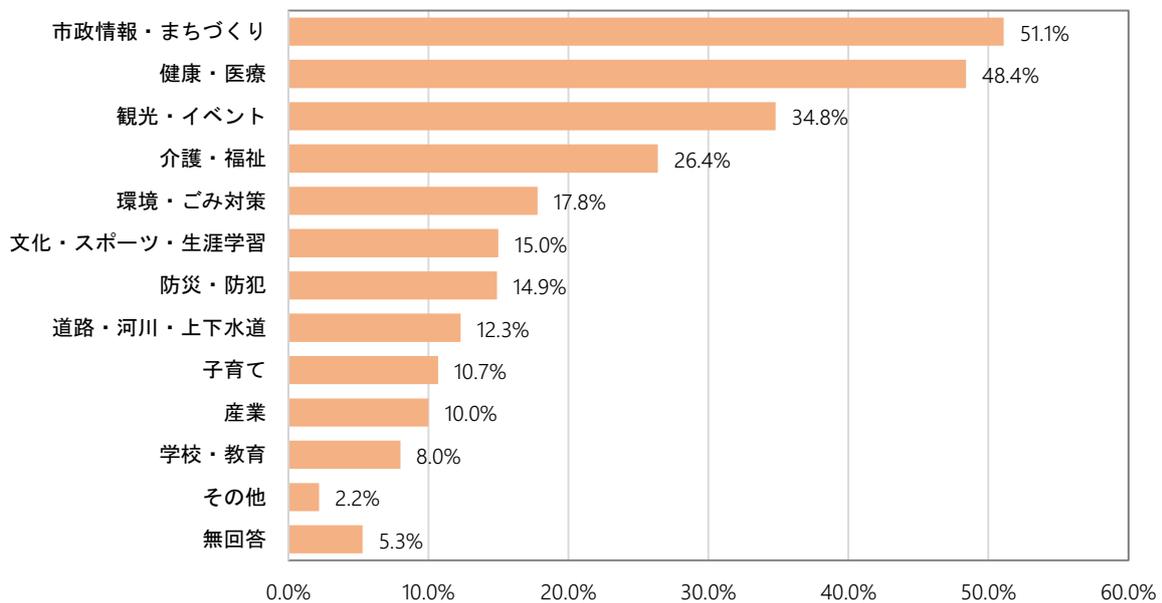
(4) 「広報おおだ」に取り上げて欲しい話題について

問 28 どのような情報を「広報おおだ」で取り上げてほしいですか。(あてはまるものを3つまで選んで○をつけてください)

- | | | |
|---------------|---------------|-----------------|
| 1. 市政情報・まちづくり | 2. 観光・イベント | 3. 産業 |
| 4. 子育て | 5. 道路・河川・上下水道 | 6. 介護・福祉 |
| 7. 健康・医療 | 8. 学校・教育 | 9. 文化・スポーツ・生涯学習 |
| 10. 環境・ごみ対策 | 11. 防災・防犯 | 12. その他 () |

【全体結果】

- 全体では、「市政情報・まちづくり」が51.1%と最も高く、次いで「健康・医療」が48.4%となっている。



(n=828)

【「広報おおだ」で取り上げてほしい内容：性別・年齢別・居住地別クロス】

- 性別にみると、「男性」、「女性」ともに全体平均とほぼ同様の傾向となっている。
- 年齢別にみると、「30代」「50代」では「市政情報・まちづくり」が全体平均よりも5ポイント以上高くなっている。
- 居住地別にみると、「三瓶」では「健康・医療」が、「高山」では「観光・イベント」が、「仁摩」では「市政情報・まちづくり」が全体平均よりも10ポイント以上高くなっている。

		合計 件数	市政情報・ まちづくり	観光・ イベント	産業	子育て	道路・ 河川・ 上下水道	介護・ 福祉	健康・ 医療
全体		828	51.1%	34.8%	10.0%	10.7%	12.3%	26.4%	48.4%
性別	男性	360	53.9%	33.6%	10.3%	10.6%	11.4%	27.5%	48.6%
	女性	375	47.7%	34.9%	9.9%	10.7%	13.3%	25.6%	47.2%
年齢	20代以下	38	47.4%	36.8%	10.5%	10.5%	18.4%	28.9%	50.0%
	30代	57	56.1%	38.6%	5.3%	8.8%	15.8%	26.3%	40.4%
	40代	100	54.0%	31.0%	10.0%	15.0%	11.0%	30.0%	51.0%
	50代	94	56.4%	35.1%	13.8%	7.4%	12.8%	26.6%	43.6%
	60代	205	47.8%	32.2%	11.2%	10.7%	8.8%	22.9%	51.2%
	70代	207	51.2%	35.7%	7.7%	11.6%	12.1%	30.9%	49.3%
	80代以上	124	48.4%	37.1%	10.5%	8.9%	16.1%	21.8%	47.6%
居住地 ブロック	中央	287	51.2%	33.8%	10.5%	10.1%	16.7%	26.1%	44.6%
	東部	137	43.1%	30.7%	10.9%	11.7%	13.1%	29.2%	51.8%
	西部	166	54.8%	33.7%	13.3%	10.8%	9.6%	23.5%	48.2%
	三瓶	42	50.0%	40.5%	4.8%	11.9%	7.1%	33.3%	59.5%
	高山	41	41.5%	51.2%	7.3%	14.6%	4.9%	22.0%	43.9%
	温泉津	53	45.3%	35.8%	7.5%	3.8%	11.3%	24.5%	54.7%
	仁摩	90	64.4%	34.4%	5.6%	13.3%	8.9%	28.9%	51.1%

		合計 件数	学校・ 教育	文化・ スポーツ・ 生涯学習	環境・ ごみ対策	防災・ 防犯	その他
全体		828	8.0%	15.0%	17.8%	14.9%	2.2%
性別	男性	360	5.8%	16.4%	15.3%	15.3%	3.1%
	女性	375	10.1%	14.9%	18.9%	15.5%	1.3%
年齢	20代以下	38	2.6%	5.3%	18.4%	13.2%	0.0%
	30代	57	10.5%	17.5%	5.3%	15.8%	1.8%
	40代	100	9.0%	15.0%	18.0%	16.0%	1.0%
	50代	94	9.6%	14.9%	21.3%	14.9%	0.0%
	60代	205	5.9%	14.6%	19.5%	15.6%	2.4%
	70代	207	8.2%	15.5%	17.4%	15.9%	3.4%
	80代以上	124	9.7%	16.9%	18.5%	11.3%	3.2%
居住地 ブロック	中央	287	7.0%	14.3%	18.5%	16.4%	2.1%
	東部	137	10.9%	14.6%	20.4%	10.9%	2.9%
	西部	166	9.0%	17.5%	18.7%	14.5%	3.6%
	三瓶	42	9.5%	19.0%	9.5%	14.3%	0.0%
	高山	41	9.8%	17.1%	12.2%	22.0%	2.4%
	温泉津	53	5.7%	15.1%	18.9%	15.1%	0.0%
	仁摩	90	5.6%	12.2%	14.4%	15.6%	0.0%

※数値の網掛け□はその区分において最も高い数値を示す。□は次に高い数値を示す。□は3番目に高い数値を示す。（「その他」を除く）

※青太字は全体平均より5ポイント以上10ポイント未満の値を示す。赤太字は、全体平均より10ポイント以上高い値を示す。

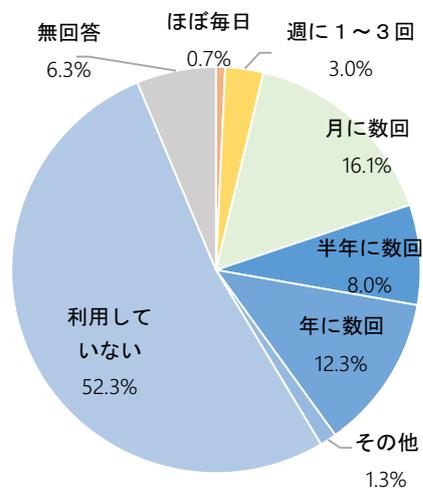
(5) 市のホームページの利用頻度について

問 2 9 市のホームページでは、皆さんが知りたい情報に到達しやすいほか、スマートフォンやタブレットなどでも閲覧がスムーズにおこなわれるよう努めています。あなたは、市ホームページをどのくらい利用していますか。（1つ選んで○をつけてください）

- | | | |
|------------|-----------|----------|
| 1. ほぼ毎日 | 2. 週に1～3回 | 3. 月に数回 |
| 4. 半年に数回 | 5. 年に数回 | 6. その他（） |
| 7. 利用していない | | |

【全体結果】

全体では、「利用していない」が52.3%と最も高く、次いで「月に数回」が16.1%、「年に数回」が12.3%となっている。



(N=828)

【市のホームページの利用頻度：性別・年齢別・居住地別クロス】

- 性別にみると、「男性」、「女性」ともに全体平均とほぼ同様の傾向となっている。
- 年齢別にみると、「30代」では「年に数回」が全体平均よりも5ポイント以上高く、「30代」から「80代以上」は「利用していない」が約5割となっている。
- 居住地別にみると、「東部」「温泉津」では「利用していない」が全体平均よりも5ポイント以上高くなっている。

		合計	ほぼ毎日	週に1～3回	月に数回	半年に数回	年に数回	その他	利用していない	無回答
全体		828 100.0%	6 0.7%	25 3.0%	133 16.1%	66 8.0%	102 12.3%	11 1.3%	433 52.3%	52 6.3%
性別	男性	360 99.9%	4 1.1%	13 3.6%	57 15.8%	32 8.9%	41 11.4%	3 0.8%	185 51.4%	25 6.9%
	女性	375 100.0%	2 0.5%	11 2.9%	64 17.1%	30 8.0%	46 12.3%	4 1.1%	198 52.8%	20 5.3%
年齢	20代以下	38 100.1%	0 0.0%	2 5.3%	5 13.2%	3 7.9%	5 13.2%	2 5.3%	17 44.7%	4 10.5%
	30代	57 99.9%	0 0.0%	2 3.5%	8 14.0%	3 5.3%	10 17.5%	0 0.0%	28 49.1%	6 10.5%
	40代	100 100.0%	0 0.0%	4 4.0%	14 14.0%	9 9.0%	10 10.0%	0 0.0%	58 58.0%	5 5.0%
	50代	94 100.1%	3 3.2%	1 1.1%	14 14.9%	6 6.4%	12 12.8%	0 0.0%	53 56.4%	5 5.3%
	60代	205 100.1%	1 0.5%	4 2.0%	36 17.6%	12 5.9%	22 10.7%	6 2.9%	112 54.6%	12 5.9%
	70代	207 100.0%	1 0.5%	7 3.4%	40 19.3%	19 9.2%	27 13.0%	2 1.0%	98 47.3%	13 6.3%
	80代以上	124 99.9%	1 0.8%	5 4.0%	16 12.9%	14 11.3%	15 12.1%	1 0.8%	65 52.4%	7 5.6%
	居住地 ブロッ	中央	287 99.9%	4 1.4%	11 3.8%	54 18.8%	21 7.3%	31 10.8%	4 1.4%	143 49.8%
東部		137 100.1%	1 0.7%	2 1.5%	17 12.4%	12 8.8%	17 12.4%	2 1.5%	80 58.4%	6 4.4%
西部		166 99.9%	0 0.0%	5 3.0%	25 15.1%	14 8.4%	20 12.0%	4 2.4%	90 54.2%	8 4.8%
三瓶		42 99.9%	0 0.0%	0 0.0%	8 19.0%	6 14.3%	4 9.5%	1 2.4%	20 47.6%	3 7.1%
高山		41 100.0%	0 0.0%	1 2.4%	5 12.2%	3 7.3%	9 22.0%	0 0.0%	22 53.7%	1 2.4%
温泉津		53 100.0%	0 0.0%	3 5.7%	5 9.4%	4 7.5%	7 13.2%	0 0.0%	31 58.5%	3 5.7%
仁摩		90 99.9%	1 1.1%	2 2.2%	17 18.9%	6 6.7%	12 13.3%	0 0.0%	40 44.4%	12 13.3%

※数値の網掛け□はその区分において最も高い数値を示す。□は次に高い数値を示す。（「無回答」を除く）

※青太字は全体平均より5ポイント以上10ポイント未満の値を示す。赤太字は、全体平均より10ポイント以上高い値を示す。

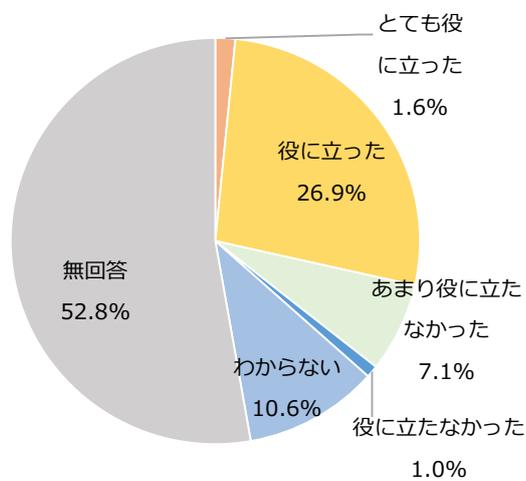
(6) 市のホームページの内容について

問30 市ホームページに掲載している情報が役に立ちましたか。(1つ選んで○をつけてください)

- | | | |
|-------------|----------|----------------|
| 1. とても役に立った | 2. 役に立った | 3. あまり役に立たなかった |
| 4. 役に立たなかった | 5. わからない | |

【全体結果】

全体では、「役に立った」が26.9%と最も高く、「とても役に立った」と合わせて3割ほどとなっている。一方、「あまり役に立たなかった」「役に立たなかった」も合わせて1割ほどとなっている。



(N=828)

【ホームページ掲載情報について：性別・年齢別・居住地別クロス】

- 性別にみると、「男性」、「女性」ともに全体平均とほぼ同様の傾向となっている。
- 年齢別にみると、「20 代以下」が「役に立った」となっており全体平均よりも 5 ポイント以上高くなっている一方、「30 代」では「あまり役に立たなかった」が全体平均よりも 5 ポイント以上高くなっている。
- 居住地別にみると、「三瓶」では「役に立った」が全体平均よりも 10 ポイント以上高くなっている。

		合計	とても役に立った	役に立った	あまり役に立たなかった	役に立たなかった	わからない	無回答
全体		828	13	223	59	8	88	437
		100.1%	1.6%	26.9%	7.1%	1.0%	10.6%	52.8%
性別	男性	360	7	96	22	4	38	193
		100.0%	1.9%	26.7%	6.1%	1.1%	10.6%	53.6%
	女性	375	5	107	31	3	40	189
		100.0%	1.3%	28.5%	8.3%	0.8%	10.7%	50.4%
年齢	20 代以下	38	0	13	3	1	2	19
		100.0%	0.0%	34.2%	7.9%	2.6%	5.3%	50.0%
	30 代	57	0	17	7	0	6	27
		100.0%	0.0%	29.8%	12.3%	0.0%	10.5%	47.4%
	40 代	100	1	26	6	0	11	56
		100.0%	1.0%	26.0%	6.0%	0.0%	11.0%	56.0%
	50 代	94	3	23	6	0	12	50
		100.1%	3.2%	24.5%	6.4%	0.0%	12.8%	53.2%
	60 代	205	5	50	6	4	27	113
		100.0%	2.4%	24.4%	2.9%	2.0%	13.2%	55.1%
	70 代	207	3	60	19	3	18	104
		99.9%	1.4%	29.0%	9.2%	1.4%	8.7%	50.2%
	80 代以上	124	1	34	11	0	12	66
		100.0%	0.8%	27.4%	8.9%	0.0%	9.7%	53.2%
居住地ブロック	中央	287	7	76	26	5	30	143
		100.0%	2.4%	26.5%	9.1%	1.7%	10.5%	49.8%
	東部	137	0	35	9	1	19	73
		100.0%	0.0%	25.5%	6.6%	0.7%	13.9%	53.3%
	西部	166	3	45	10	2	14	92
		99.9%	1.8%	27.1%	6.0%	1.2%	8.4%	55.4%
	三瓶	42	0	16	2	0	2	22
		100.1%	0.0%	38.1%	4.8%	0.0%	4.8%	52.4%
高山	41	0	10	3	0	6	22	
	100.0%	0.0%	24.4%	7.3%	0.0%	14.6%	53.7%	
温泉津	53	1	13	1	0	4	34	
	100.0%	1.9%	24.5%	1.9%	0.0%	7.5%	64.2%	
仁摩	90	1	26	7	0	10	46	
	100.0%	1.1%	28.9%	7.8%	0.0%	11.1%	51.1%	

※数値の網掛け□はその区分において最も高い数値を示す。□は次に高い数値を示す。（「無回答」を除く）

※青太字は全体平均より 5 ポイント以上 10 ポイント未満の値を示す。赤太字は、全体平均より 10 ポイント以上高い値を示す。

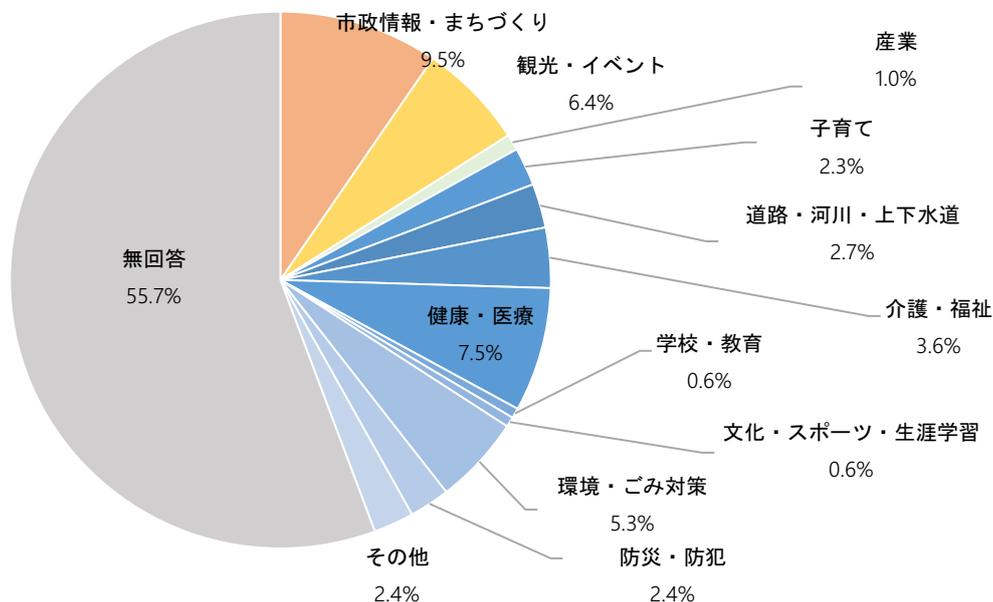
(7) 市のホームページの情報検索について

問3 1 あなたは、市ホームページでどのような情報を探しましたか。(1つ選んで○をつけてください)

- | | | |
|---------------|---------------|-----------------|
| 1. 市政情報・まちづくり | 2. 観光・イベント | 3. 産業 |
| 4. 子育て | 5. 道路・河川・上下水道 | 6. 介護・福祉 |
| 7. 健康・医療 | 8. 学校・教育 | 9. 文化・スポーツ・生涯学習 |
| 10. 環境・ごみ対策 | 11. 防災・防犯 | 12. その他 () |

【全体結果】

- 全体では、「市政情報・まちづくり」が9.5%と最も高く、次いで「健康・医療」が7.5%、「観光・イベント」が6.4%となっている。



(N=828)

【ホームページでの検索情報内容：性別・年齢別・居住地別クロス】

- 性別にみると、「男性」、「女性」ともに全体平均とほぼ同様の傾向となっている。
- 年齢別にみると、いずれの年齢においても全体平均とほぼ同様の傾向となっている。
- 居住地別にみると、「三瓶」では「観光・イベント」が、「高山」では「子育て」が全体平均よりも5ポイント以上高くなっている。

		合計	市政情報・まちづくり	観光・イベント	産業	子育て	道路・河川・上下水道	介護・福祉
全体		828	79	53	8	19	22	30
		100.0%	9.5%	6.4%	1.0%	2.3%	2.7%	3.6%
性別	男性	360	36	19	5	6	16	11
		100.1%	10.0%	5.3%	1.4%	1.7%	4.4%	3.1%
	女性	375	39	25	2	11	5	15
		99.9%	10.4%	6.7%	0.5%	2.9%	1.3%	4.0%
年齢	20代以下	38	4	2	0	1	2	0
		100.0%	10.5%	5.3%	0.0%	2.6%	5.3%	0.0%
	30代	57	5	6	1	0	3	3
		100.3%	8.8%	10.5%	1.8%	0.0%	5.3%	5.3%
	40代	100	9	4	0	2	4	4
		100.0%	9.0%	4.0%	0.0%	2.0%	4.0%	4.0%
	50代	94	4	7	1	1	6	4
		100.0%	4.3%	7.4%	1.1%	1.1%	6.4%	4.3%
60代	205	15	14	3	4	3	8	
	100.1%	7.3%	6.8%	1.5%	2.0%	1.5%	3.9%	
70代	207	29	8	2	8	2	9	
	100.1%	14.0%	3.9%	1.0%	3.9%	1.0%	4.3%	
80代以上	124	13	12	1	2	2	2	
	100.0%	10.5%	9.7%	0.8%	1.6%	1.6%	1.6%	
居住地ブロック	中央	287	28	20	3	7	12	14
		99.9%	9.8%	7.0%	1.0%	2.4%	4.2%	4.9%
	東部	137	14	3	1	2	4	3
		100.0%	10.2%	2.2%	0.7%	1.5%	2.9%	2.2%
	西部	166	19	12	1	3	3	5
		99.8%	11.4%	7.2%	0.6%	1.8%	1.8%	3.0%
	三瓶	42	2	5	0	1	2	3
		100.2%	4.8%	11.9%	0.0%	2.4%	4.8%	7.1%
高山	41	2	2	1	3	0	2	
	100.0%	4.9%	4.9%	2.4%	7.3%	0.0%	4.9%	
温泉津	53	2	2	0	0	0	2	
	100.0%	3.8%	3.8%	0.0%	0.0%	0.0%	3.8%	
仁摩	90	11	9	2	2	1	1	
	99.9%	12.2%	10.0%	2.2%	2.2%	1.1%	1.1%	

		健康・医療	学校・教育	文化・スポーツ・生涯学習	環境・ごみ対策	防災・防犯	その他	無回答
全体		62 7.5%	5 0.6%	5 0.6%	44 5.3%	20 2.4%	20 2.4%	461 55.7%
性別	男性	26 7.2%	2 0.6%	4 1.1%	15 4.2%	6 1.7%	9 2.5%	205 56.9%
	女性	31 8.3%	2 0.5%	0 0.0%	23 6.1%	11 2.9%	10 2.7%	201 53.6%
年齢	20代以下	4 10.5%	0 0.0%	0 0.0%	3 7.9%	0 0.0%	1 2.6%	21 55.3%
	30代	3 5.3%	1 1.8%	0 0.0%	1 1.8%	4 7.0%	1 1.8%	29 50.9%
	40代	6 6.0%	0 0.0%	1 1.0%	6 6.0%	3 3.0%	2 2.0%	59 59.0%
	50代	10 10.6%	0 0.0%	0 0.0%	2 2.1%	2 2.1%	3 3.2%	54 57.4%
	60代	12 5.9%	0 0.0%	3 1.5%	9 4.4%	5 2.4%	9 4.4%	120 58.5%
	70代	17 8.2%	2 1.0%	1 0.5%	14 6.8%	3 1.4%	3 1.4%	109 52.7%
	80代以上	10 8.1%	2 1.6%	0 0.0%	9 7.3%	3 2.4%	1 0.8%	67 54.0%
	居住地ブロック	中央	20 7.0%	3 1.0%	1 0.3%	9 3.1%	9 3.1%	9 3.1%
東部		13 9.5%	1 0.7%	2 1.5%	10 7.3%	4 2.9%	1 0.7%	79 57.7%
西部		9 5.4%	0 0.0%	0 0.0%	9 5.4%	5 3.0%	4 2.4%	96 57.8%
三瓶		2 4.8%	0 0.0%	0 0.0%	2 4.8%	0 0.0%	2 4.8%	23 54.8%
高山		4 9.8%	1 2.4%	0 0.0%	3 7.3%	0 0.0%	1 2.4%	22 53.7%
温泉津		4 7.5%	0 0.0%	2 3.8%	4 7.5%	0 0.0%	2 3.8%	35 66.0%
仁摩		8 8.9%	0 0.0%	0 0.0%	5 5.6%	2 2.2%	1 1.1%	48 53.3%

※数値の網掛け□はその区分において最も高い数値を示す。□は次に高い数値を示す。(「無回答」を除く)

※青太字は全体平均より5ポイント以上10ポイント未満の値を示す。赤太字は、全体平均より10ポイント以上高い値を示す。

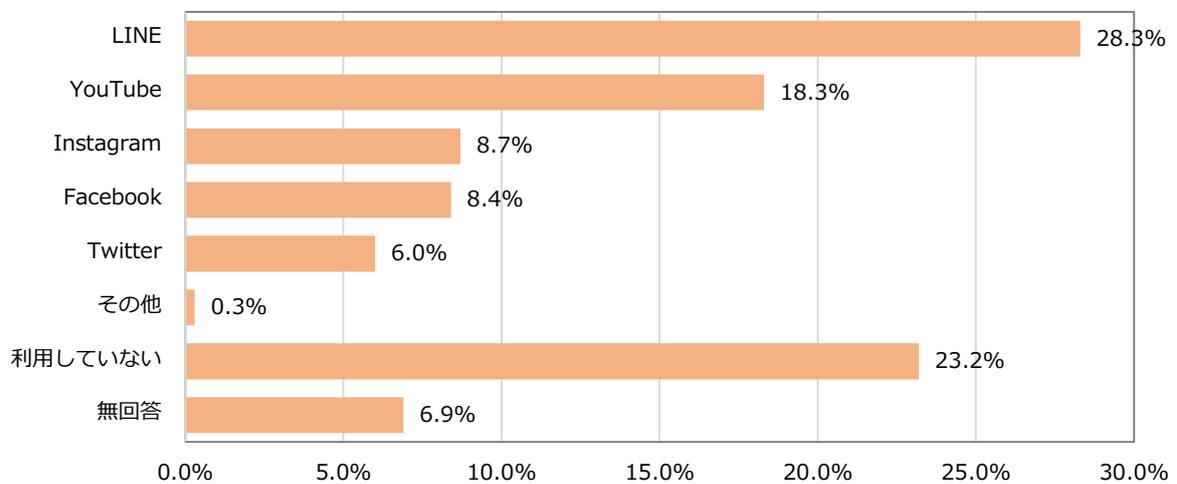
(8) SNS 利用頻度について

問32 近年、スマートフォンなどの普及に伴い、SNSを利用する人が増えています。SNSは、リアルタイムで更新され、情報の拡散性が高く、広く情報発信ができることから市でも複数のSNSを活用しています。あなたは、どのようなSNSを日常生活で利用していますか。(あてはまるものをすべて選んで○をつけてください)

- | | | |
|-------------|--------------|------------|
| 1. Facebook | 2. LINE | 3. YouTube |
| 4. Twitter | 5. Instagram | 6. その他 () |
| 7. 利用していない | | |

【全体結果】

- 全体では、「LINE」が28.3%と最も高く、次いで「利用していない」が23.2%、YouTubeが18.3%となっている。



(N=1341)

【SNS 利用頻度の内容：性別・年齢別・居住地別クロス】

- 性別にみると、「男性」、「女性」ともに全体平均とほぼ同様の傾向となっている。
- 年齢別にみると、「20代以下」では「Twitter」「Instagram」が、「50代」では「LINE」が全体平均よりも10ポイント以上高くなっている。なお、「70代」から「80代以上」では「利用していない」が5割以上となり、「無回答」と合わせて6割～9割を占める。
- 居住地別にみると、「高山」、「温泉津」では「利用していない」が全体平均よりも10ポイント以上高くなっている。

		合計 件数	Face book	LINE	You Tube	Twi tter	Insta gram	その 他	利用 して ない	無回 答
全体		1341	8.4%	28.3%	18.3%	6.0%	8.7%	0.3%	23.2%	6.9%
性別	男性	590	9.7%	28.3%	20.3%	6.4%	6.9%	0.7%	21.5%	6.1%
	女性	629	7.5%	29.3%	17.0%	6.2%	11.3%	0.0%	22.6%	6.2%
年齢	20代以下	117	6.0%	26.5%	26.5%	18.8%	19.7%	0.0%	2.6%	0.0%
	30代	154	14.9%	31.2%	27.9%	9.1%	14.9%	0.0%	1.9%	0.0%
	40代	222	13.5%	31.5%	23.0%	10.4%	12.6%	0.0%	7.7%	1.4%
	50代	183	11.5%	38.3%	24.6%	4.9%	12.0%	0.0%	8.2%	0.5%
	60代	300	8.0%	34.7%	16.7%	3.0%	6.0%	1.0%	27.3%	3.3%
	70代	234	2.1%	20.5%	9.8%	1.3%	1.3%	0.4%	51.3%	13.2%
	80代以上	128	1.6%	6.3%	1.6%	0.0%	0.0%	0.0%	53.9%	36.7%
居住地 ブロック	中央	473	8.0%	29.8%	19.2%	5.3%	10.1%	0.2%	20.5%	6.8%
	東部	224	9.8%	23.7%	17.4%	6.3%	8.5%	0.4%	24.1%	9.8%
	西部	270	7.4%	31.9%	18.5%	8.5%	7.4%	0.4%	21.5%	4.4%
	三瓶	59	8.5%	27.1%	11.9%	3.4%	8.5%	0.0%	28.8%	11.9%
	高山	53	3.8%	30.2%	15.1%	3.8%	1.9%	0.0%	35.8%	9.4%
	温泉津	78	9.0%	26.9%	15.4%	1.3%	9.0%	0.0%	34.6%	3.8%
	仁摩	167	10.8%	24.6%	21.6%	7.2%	9.0%	0.6%	21.0%	5.4%

※数値の網掛け□はその区分において最も高い数値を示す。□は次に高い数値を示す。（「無回答」を除く）

※青太字は全体平均より5ポイント以上10ポイント未満の値を示す。赤太字は、全体平均より10ポイント以上高い値を示す。

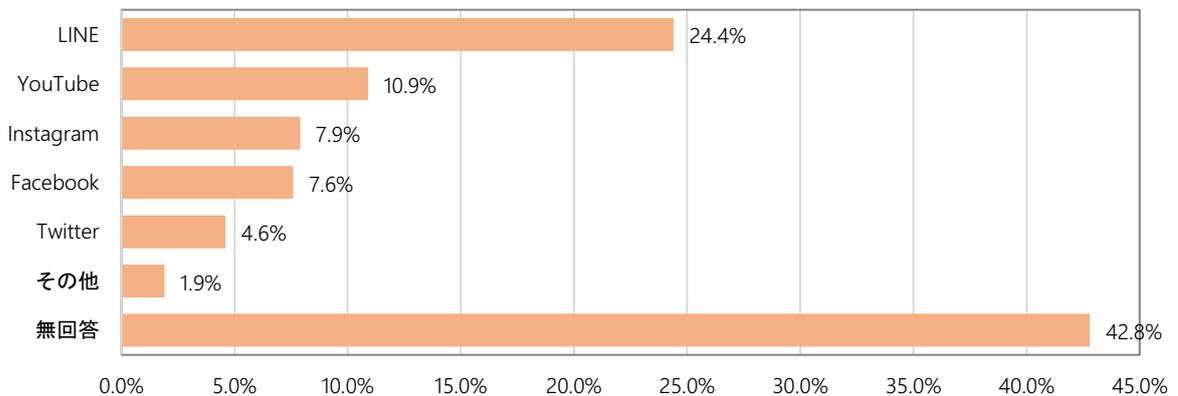
(9) SNS で取得希望の行政情報について

問 3 3 あなたは、どのような SNS で行政情報を知りたいですか。(あてはまるものをすべて選んで○をつけてください)

- | | | |
|-------------|--------------|------------|
| 1. Facebook | 2. LINE | 3. YouTube |
| 4. Twitter | 5. Instagram | 6. その他 () |

【全体結果】

- 全体では、「LINE」が 24.4%と最も高く、次いで「YouTube」が 10.9%となっており、全体的に SNS での行政情報取得は SNS 利用頻度と合わせた検討を必要とすることがうかがえる。



(N=1022)

【SNS での取得希望の行政情報内容：性別・年齢別・居住地別クロス】

- 性別にみると、「男性」、「女性」ともに全体平均とほぼ同様の傾向となっている。
- 年齢別にみると、「20 代以下」では「Twitter」「Instagram」が、「30 代」が「Instagram」が全体平均よりも 10 ポイント以上高くなっている。
- 居住地別にみると、「仁摩」では「Facebook」が全体平均よりも 5 ポイント以上高くなっている。

		合計 件数	Face book	LINE	You Tube	Twi tter	Insta gram	その他	無回答
全体		1022	7.6%	24.4%	10.9%	4.6%	7.9%	1.9%	42.8%
性別	男性	457	8.3%	24.5%	14.4%	5.7%	5.0%	2.4%	39.6%
	女性	455	7.5%	26.2%	7.5%	4.2%	11.0%	1.5%	42.2%
年齢	20 代以下	56	7.1%	21.4%	14.3%	19.6%	28.6%	0.0%	8.9%
	30 代	95	14.7%	31.6%	15.8%	12.6%	20.0%	1.1%	4.2%
	40 代	138	14.5%	32.6%	13.0%	8.7%	11.6%	4.3%	15.2%
	50 代	131	13.0%	33.6%	12.2%	4.6%	14.5%	3.8%	18.3%
	60 代	246	6.5%	29.7%	12.2%	1.6%	3.7%	2.0%	44.3%
	70 代	227	2.6%	16.3%	10.1%	0.9%	0.9%	0.0%	69.2%
	80 代以上	126	0.8%	5.6%	0.8%	0.0%	0.0%	1.6%	91.3%
居住地 ブロック	中央	370	7.3%	25.7%	12.2%	6.8%	8.4%	1.1%	38.6%
	東部	163	6.7%	22.1%	8.6%	1.8%	10.4%	1.2%	49.1%
	西部	206	7.3%	26.7%	11.7%	5.3%	6.8%	3.4%	38.8%
	三瓶	49	8.2%	20.4%	10.2%	0.0%	4.1%	4.1%	53.1%
	高山	44	0.0%	25.0%	6.8%	2.3%	2.3%	9.1%	54.5%
	温泉津	71	9.9%	25.4%	11.3%	0.0%	8.5%	0.0%	45.1%
	仁摩	105	13.3%	20.0%	9.5%	5.7%	7.6%	0.0%	43.8%

※数値の網掛け□はその区分において最も高い数値を示す。□は次に高い数値を示す。(「その他」「無回答」を除く)

※青太字は全体平均より 5 ポイント以上 10 ポイント未満の値を示す。赤太字は、全体平均より 10 ポイント以上高い値を示す。

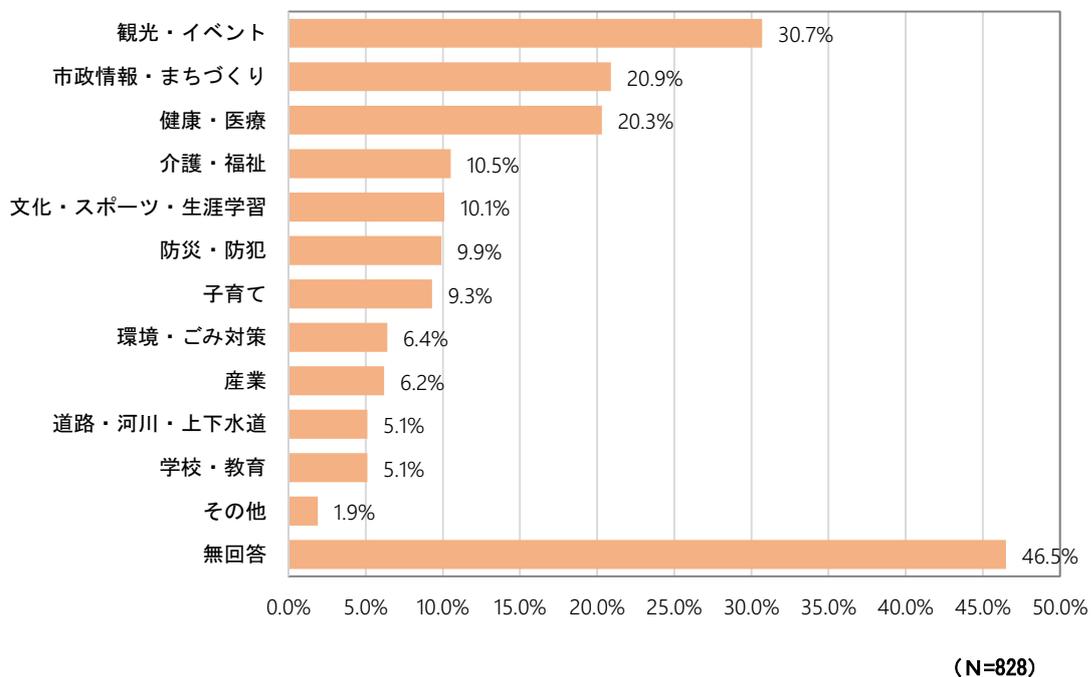
(10) SNS で取り上げて欲しい行政情報について

問34 どのような情報を市公式SNSに取り上げてほしいですか。(あてはまるものを3つまで選んで○をつけてください)

- | | | |
|---------------|---------------|-----------------|
| 1. 市政情報・まちづくり | 2. 観光・イベント | 3. 産業 |
| 4. 子育て | 5. 道路・河川・上下水道 | 6. 介護・福祉 |
| 7. 健康・医療 | 8. 学校・教育 | 9. 文化・スポーツ・生涯学習 |
| 10. 環境・ごみ対策 | 11. 防災・防犯 | 12. その他() |

【全体結果】

- 全体では、「観光・イベント」が30.7%と最も高く、次いで「市政情報・まちづくり」が20.9%、「健康・医療」が20.3%となっている。



【SNS での取り上げて欲しい内容：性別・年齢別・居住地別クロス】

- 性別にみると、「男性」、「女性」ともに全体平均とほぼ同様の傾向となっている。
- 年齢別にみると、「20代以下」では「健康・医療」が、「30代」では「学校・教育」「文化・スポーツ・生涯学習」が全体平均よりも5ポイント以上高くなっている。
- 居住地別にみると、「高山」では「子育て」が全体平均よりも10ポイント以上高くなっている。

		合計 件数	市政情 報・ま ちづく り	観光・ イベン ト	産業	子育て	道路・ 河川・ 上下水 道	介護・ 福祉	健康・ 医療
全体		828	20.9%	30.7%	6.2%	9.3%	5.1%	10.5%	20.3%
性別	男性	360	21.9%	26.4%	5.0%	8.6%	5.6%	10.3%	19.7%
	女性	375	19.7%	34.1%	7.2%	10.9%	4.3%	10.9%	20.5%
年齢	20代以下	38	23.7%	26.3%	2.6%	5.3%	5.3%	7.9%	26.3%
	30代	57	17.5%	31.6%	5.3%	7.0%	7.0%	14.0%	24.6%
	40代	100	18.0%	33.0%	4.0%	11.0%	4.0%	7.0%	19.0%
	50代	94	19.1%	30.9%	7.4%	8.5%	6.4%	11.7%	17.0%
	60代	205	14.1%	31.2%	5.9%	12.7%	3.9%	7.8%	18.5%
	70代	207	30.0%	27.1%	6.8%	7.7%	5.8%	13.5%	21.7%
	80代以上	124	21.0%	33.9%	8.1%	7.3%	4.8%	11.3%	19.4%
	居住地 ブロック	中央	287	22.3%	28.2%	5.2%	8.0%	5.9%	13.2%
東部		137	21.9%	29.2%	6.6%	8.8%	3.6%	9.5%	27.0%
西部		166	18.1%	33.1%	9.6%	9.6%	4.8%	7.2%	17.5%
三瓶		42	21.4%	35.7%	0.0%	11.9%	9.5%	11.9%	26.2%
高山		41	19.5%	36.6%	4.9%	19.5%	4.9%	7.3%	9.8%
温泉津		53	13.2%	28.3%	1.9%	1.9%	1.9%	11.3%	20.8%
仁摩		90	21.1%	30.0%	8.9%	11.1%	5.6%	10.0%	20.0%

		合計 件数	学校・ 教育	文化・ スポー ツ・生 涯学習	環境・ ごみ対 策	防災・ 防犯	その他
全体		828	5.1%	10.1%	6.4%	9.9%	1.9%
性別	男性	360	4.2%	11.1%	4.7%	12.5%	1.9%
	女性	375	6.4%	9.6%	7.5%	9.1%	1.9%
年齢	20代以下	38	0.0%	5.3%	5.3%	7.9%	2.6%
	30代	57	10.5%	17.5%	7.0%	8.8%	0.0%
	40代	100	5.0%	14.0%	9.0%	7.0%	0.0%
	50代	94	4.3%	8.5%	5.3%	8.5%	2.1%
	60代	205	3.9%	8.8%	5.4%	10.7%	2.4%
	70代	207	5.3%	9.7%	6.3%	11.6%	1.4%
	80代以上	124	6.5%	9.7%	7.3%	10.5%	4.0%
居住地 ブロック	中央	287	5.6%	13.6%	6.3%	8.4%	1.7%
	東部	137	4.4%	6.6%	8.0%	11.7%	1.5%
	西部	166	6.6%	10.8%	4.2%	12.0%	1.2%
	三瓶	42	7.1%	4.8%	7.1%	4.8%	4.8%
	高山	41	7.3%	7.3%	2.4%	12.2%	4.9%
	温泉津	53	1.9%	5.7%	13.2%	11.3%	3.8%
	仁摩	90	2.2%	10.0%	4.4%	10.0%	1.1%

※数値の網掛け□はその区分において最も高い数値を示す。□は次に高い数値を示す。□は3番目に高い数値を示す。（「その他」を除く）

※青太字は全体平均より5ポイント以上10ポイント未満の値を示す。赤太字は、全体平均より10ポイント以上高い値を示す。

3.7 大田市への意見

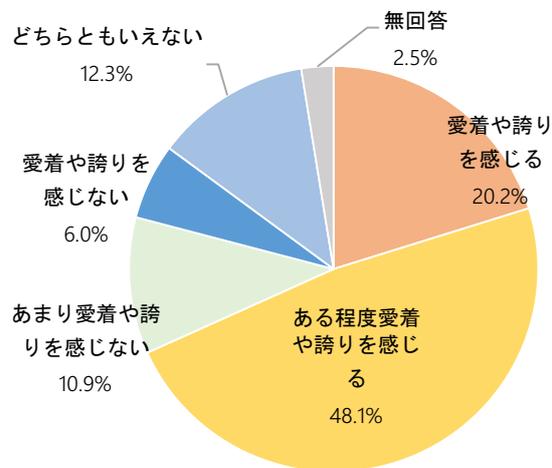
(1) 大田市への愛着や誇り

問35 あなたは、大田市に「自分のまちとしての愛着や誇り」を感じますか。
(1つ選んで○をつけてください)

- | | | |
|---------------|------------------|------------------|
| 1. 愛着や誇りを感じる | 2. ある程度愛着や誇りを感じる | 3. あまり愛着や誇りを感じない |
| 4. 愛着や誇りを感じない | 5. どちらともいえない | |

【全体結果】

- 全体では、「ある程度愛着や誇りを感じる」が48.1%と最も高くなっており、「愛着や誇りを感じる」の20.2%と併せると、大田市に愛着や誇りを感じている方は約7割を占めている。



(N=828)

【大田市への愛着や誇り：性別・年齢別・居住地別クロス】

- 性別にみると、「男性」、「女性」ともに全体平均とほぼ同様の傾向となっている。
- 年齢別にみると、「50代」では「ある程度愛着や誇りを感じる」が全体平均よりも5ポイント以上高くなっている。
- 居住地別にみると、「高山」では「愛着や誇りを感じない」の割合が全体平均よりも10ポイント以上高くなっている。

		合計	愛着や誇りを感じる	ある程度愛着や誇りを感じる	あまり愛着や誇りを感じない	愛着や誇りを感じない	どちらともいえない	無回答
全体		828	167	398	90	50	102	21
		100.0%	20.2%	48.1%	10.9%	6.0%	12.3%	2.5%
性別	男性	360	68	179	32	22	49	10
		100.0%	18.9%	49.7%	8.9%	6.1%	13.6%	2.8%
	女性	375	81	171	46	23	43	11
		100.0%	21.6%	45.6%	12.3%	6.1%	11.5%	2.9%
年齢	20代以下	38	6	20	1	2	7	2
		100.0%	15.8%	52.6%	2.6%	5.3%	18.4%	5.3%
	30代	57	11	27	7	3	9	0
		100.1%	19.3%	47.4%	12.3%	5.3%	15.8%	0.0%
	40代	100	24	53	6	3	11	3
		100.0%	24.0%	53.0%	6.0%	3.0%	11.0%	3.0%
	50代	94	13	52	8	8	8	5
	99.9%	13.8%	55.3%	8.5%	8.5%	8.5%	5.3%	
	60代	205	45	93	25	12	24	6
		100.1%	22.0%	45.4%	12.2%	5.9%	11.7%	2.9%
	70代	207	43	91	26	15	29	3
		100.0%	20.8%	44.0%	12.6%	7.2%	14.0%	1.4%
80代以上	124	23	61	17	7	14	2	
	99.9%	18.5%	49.2%	13.7%	5.6%	11.3%	1.6%	
居住地 ブロック	中央	287	51	142	37	12	36	9
		100.0%	17.8%	49.5%	12.9%	4.2%	12.5%	3.1%
	東部	137	28	61	21	10	16	1
		99.9%	20.4%	44.5%	15.3%	7.3%	11.7%	0.7%
	西部	166	37	79	9	12	24	5
		100.0%	22.3%	47.6%	5.4%	7.2%	14.5%	3.0%
	三瓶	42	10	23	6	1	2	0
	100.1%	23.8%	54.8%	14.3%	2.4%	4.8%	0.0%	
高山	41	8	16	5	7	4	1	
	100.0%	19.5%	39.0%	12.2%	17.1%	9.8%	2.4%	
温泉津	53	4	30	6	3	8	2	
	100.0%	7.5%	56.6%	11.3%	5.7%	15.1%	3.8%	
仁摩	90	24	45	6	4	9	2	
	100.0%	26.7%	50.0%	6.7%	4.4%	10.0%	2.2%	

※数値の網掛け□はその区分において最も高い数値を示す。□は次に高い数値を示す。（「無回答」を除く）

※青太字は全体平均より5ポイント以上10ポイント未満の値を示す。赤太字は、全体平均より10ポイント以上高い値を示す。

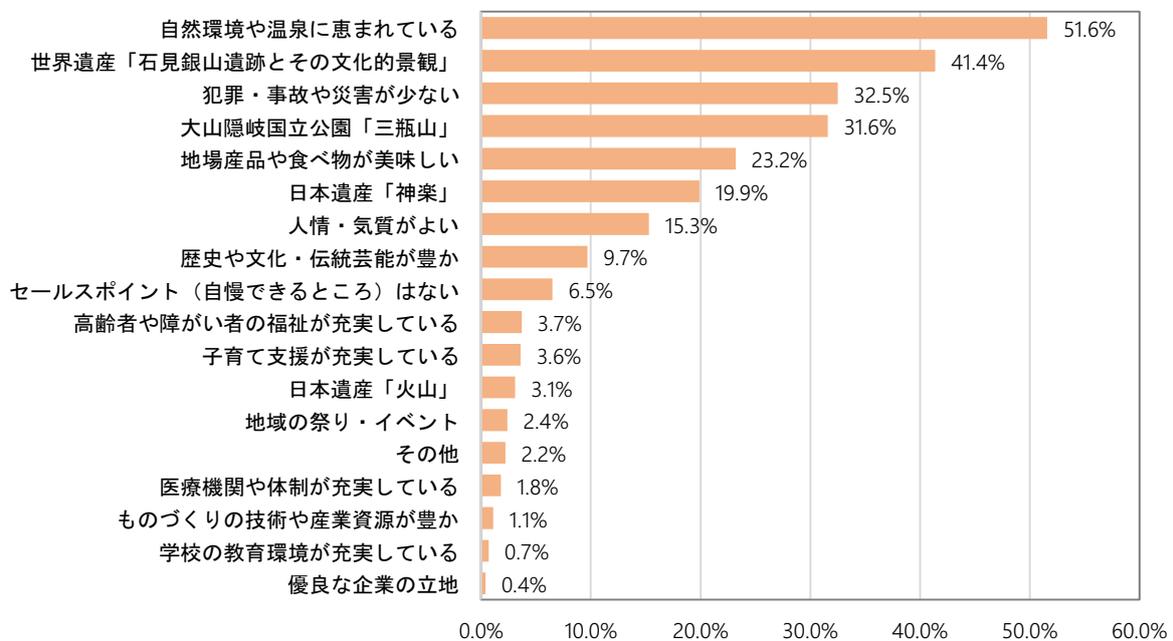
(2) 大田市のセールスポイント（自慢できるところ）

問36 あなたは、大田市のどのようなところがセールスポイント（自慢できるところ）だと思いますか。（あてはまるものを3つまで選んで○をつけてください）

- | | | |
|----------------------|---------------------------|------------------------|
| 1. 自然環境や温泉に恵まれている | 2. 世界遺産「石見銀山遺跡とその文化的景観」 | 3. 日本遺産「神楽」 |
| 4. 日本遺産「火山」 | 5. 大山隠岐国立公園「三瓶山」 | 6. 歴史や文化・伝統芸能が豊か |
| 7. 地域の祭り・イベント | 8. 地場産品や食べ物が美味しい | 9. 人情・気質がよい |
| 10. ものづくりの技術や産業資源が豊か | 11. 優良な企業の立地 | 12. 学校の教育環境が充実している |
| 13. 子育て支援が充実している | 14. 医療機関や体制が充実している | 15. 高齢者や障がい者の福祉が充実している |
| 16. 犯罪・事故や災害が少ない | 17. セールスポイント（自慢できるところ）はない | 17. その他（） |

【全体結果】

- 全体では、「自然環境や温泉に恵まれている」が51.6%と最も高く、次いで「世界遺産「石見銀山遺跡とその文化的景観」」が41.4%、「犯罪・事故や災害が少ない」が32.5%となっている。



(N=828)

【大田市のセールスポイント（自慢できる場所）：性別・年齢別・居住地別クロス】

- 性別にみると、「男性」、「女性」ともに全体平均とほぼ同様の傾向となっている。
- 年齢別にみると、「50代」では「自然環境や温泉に恵まれている」が全体平均よりも5ポイント以上高くなっている。
- 居住地別にみると、「仁摩」では「自然環境や温泉に恵まれている」が全体平均よりも10ポイント以上高くなっている。

	合計件数	自然環境や温泉に恵まれている	世界遺産「石見銀山遺跡とその文化的景観」	日本遺産「神楽」	日本遺産「火山」	大山隠岐国立公園「三瓶山」	歴史や文化・伝統芸能が豊かな	地域の祭り・イベント	地場産物や食べ物が美味し	人情・気質がよい	
全体	828	51.6%	41.4%	19.9%	3.1%	31.6%	9.7%	2.4%	23.2%	15.3%	
性別	男性	360	52.2%	42.5%	19.2%	3.9%	32.2%	8.6%	3.1%	22.2%	15.0%
	女性	375	50.7%	40.0%	21.9%	2.7%	30.9%	10.4%	1.6%	22.1%	16.0%
年齢	20代以下	38	47.4%	47.4%	18.4%	2.6%	18.4%	13.2%	5.3%	23.7%	15.8%
	30代	57	47.4%	42.1%	19.3%	3.5%	31.6%	7.0%	3.5%	15.8%	10.5%
	40代	100	53.0%	39.0%	25.0%	5.0%	28.0%	9.0%	3.0%	24.0%	21.0%
	50代	94	60.6%	27.7%	16.0%	2.1%	27.7%	13.8%	1.1%	25.5%	14.9%
	60代	205	53.2%	42.9%	17.1%	3.9%	34.1%	7.8%	0.5%	24.9%	14.6%
	70代	207	44.4%	46.4%	19.8%	2.9%	35.7%	9.7%	2.9%	22.2%	18.4%
	80代以上	124	54.8%	41.1%	25.0%	1.6%	31.5%	10.5%	4.0%	21.8%	8.9%
	居住地ブロック	中央	287	54.0%	41.1%	17.8%	3.1%	29.6%	8.4%	2.4%	21.6%
東部		137	48.9%	43.1%	27.7%	5.1%	32.8%	8.8%	4.4%	21.9%	16.8%
西部		166	43.4%	36.1%	21.1%	3.6%	34.9%	12.0%	1.8%	25.9%	16.9%
三瓶		42	57.1%	47.6%	19.0%	0.0%	38.1%	9.5%	2.4%	21.4%	9.5%
高山		41	34.1%	48.8%	24.4%	0.0%	29.3%	7.3%	0.0%	19.5%	17.1%
温泉津		53	58.5%	45.3%	7.5%	3.8%	32.1%	3.8%	3.8%	24.5%	13.2%
仁摩		90	62.2%	41.1%	17.8%	2.2%	28.9%	13.3%	1.1%	26.7%	15.6%

	合計件数	ものづくりの技術や産業資源が豊かな	優良な企業の立地	学校の教育環境が充実している	子育て支援が充実している	医療機関や体制が充実している	高齢者や障がい者の福祉が充実している	災害・事故や犯罪が少ない	セールスポイント（自慢できる場所）	その他	
全体	828	1.1%	0.4%	0.7%	3.6%	1.8%	3.7%	32.5%	6.5%	2.2%	
性別	男性	360	1.1%	0.6%	0.8%	3.3%	2.8%	3.1%	31.4%	6.7%	1.4%
	女性	375	0.8%	0.3%	0.5%	3.7%	1.1%	3.7%	33.1%	6.7%	2.9%
年齢	20代以下	38	5.3%	0.0%	2.6%	0.0%	2.6%	0.0%	26.3%	2.6%	0.0%
	30代	57	0.0%	1.8%	1.8%	1.8%	3.5%	3.5%	33.3%	10.5%	0.0%
	40代	100	0.0%	1.0%	1.0%	5.0%	1.0%	7.0%	29.0%	8.0%	0.0%
	50代	94	1.1%	0.0%	0.0%	3.2%	0.0%	3.2%	38.3%	7.4%	2.1%
	60代	205	1.0%	0.0%	0.5%	3.4%	2.9%	5.4%	33.2%	4.4%	3.9%
	70代	207	1.4%	0.0%	0.5%	3.4%	1.4%	2.9%	34.8%	5.3%	2.9%
	80代以上	124	0.8%	0.8%	0.8%	5.6%	1.6%	1.6%	27.4%	9.7%	1.6%
	居住地ブロック	中央	287	1.0%	0.3%	0.7%	3.1%	3.5%	3.8%	36.2%	8.0%
東部		137	1.5%	0.0%	0.0%	2.2%	0.7%	2.9%	25.5%	5.1%	3.6%
西部		166	2.4%	0.6%	1.8%	4.8%	0.6%	2.4%	31.9%	7.8%	2.4%
三瓶		42	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	4.8%	45.2%	4.8%	2.4%
高山		41	0.0%	0.0%	0.0%	12.2%	0.0%	9.8%	36.6%	4.9%	0.0%
温泉津		53	0.0%	0.0%	0.0%	5.7%	1.9%	5.7%	37.7%	3.8%	0.0%
仁摩		90	0.0%	1.1%	1.1%	2.2%	1.1%	3.3%	21.1%	5.6%	3.3%

※数値の網掛け□はその区分において最も高い数値を示す。□は次に高い数値を示す。□は3番目に高い数値を示す。（「その他」を除く）

※青太字は全体平均より5ポイント以上10ポイント未満の値を示す。赤太字は、全体平均より10ポイント以上高い値を示す。

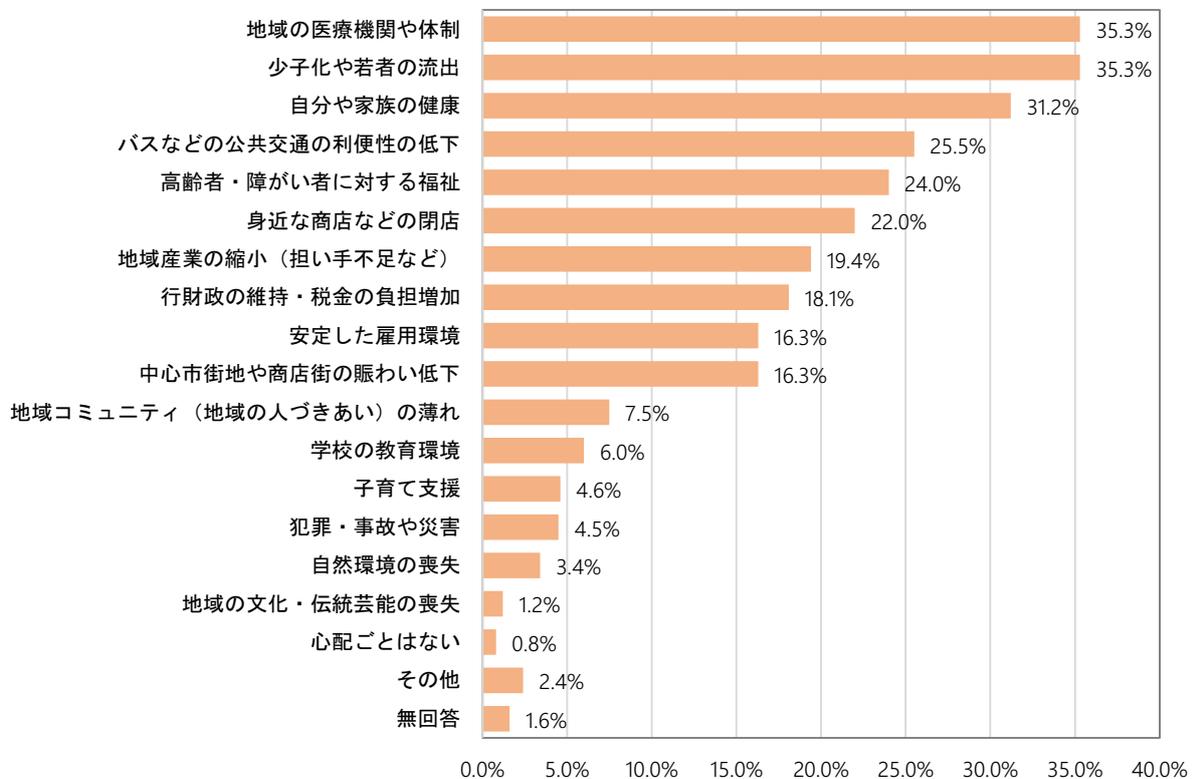
(3) 今後の心配ごと

問37 あなたは、大田市での生活において、今後どのようなことに心配をしますか。
(あてはまるものを3つまで選んで○をつけてください)

- | | | |
|----------------------|------------------------|---------------|
| 1. 自分や家族の健康 | 2. 高齢者・障がい者に対する福祉 | 3. 学校の教育環境 |
| 4. 子育て支援 | 5. 地域の医療機関や体制 | 6. 少子化や若者の流出 |
| 7. 地域産業の縮小（担い手不足など） | 8. 雇用環境 | 9. 身近な商店などの閉店 |
| 10. 中心市街地や商店街の賑わい | 11. 地域コミュニティ（地域の人づきあい） | 12. 犯罪・事故や災害 |
| 13. バスなどの公共交通の利便性の低下 | 14. 地域の文化・伝統芸能 | 15. 自然環境 |
| 16. 行財政の維持・税金の負担増加 | 17. 不安や心配ごとはない | 18. その他（） |

【全体結果】

- 全体では、「地域の医療機関や体制」、「少子化や若者の流出」が35.3%と最も高く、次いで「自分や家族の健康」が31.2%となっている。



(N=828)

(4) 自由意見

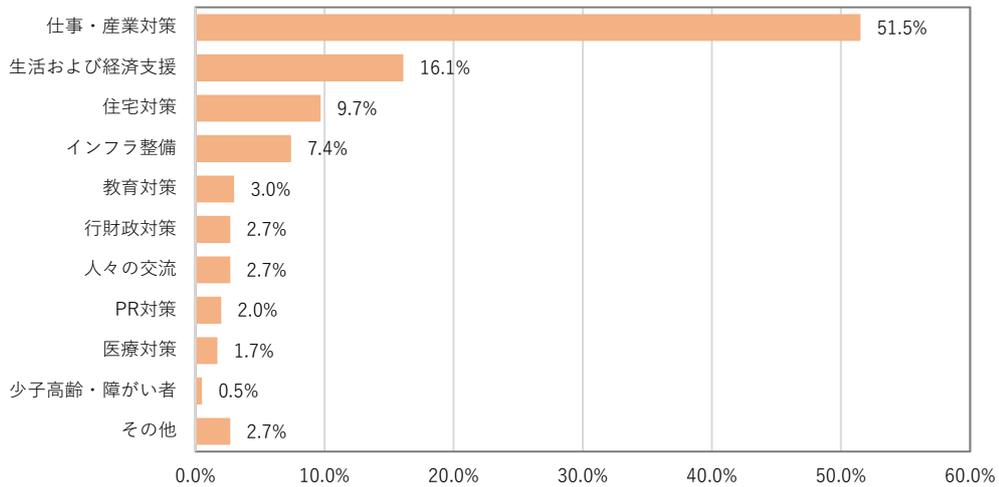
問38 これからの大田市のまちづくりに必要と考える取り組みや市に対するご意見、ご提案などがありましたら、下記へご自由にお書きください。

【意見の詳細一覧】

内容	件数
行財政改革	60
市職員の教育・質の向上	16
財源の確保	5
市職員の削減	5
市職員の採用	3
税金負担の改善	4
窓口対応の改善	3
支援金等の確保	2
PR活動、情報発信、取り組み	11
行政サービス向上	11
下水道・中心市街地等	19
パル跡地の活用	4
上下水道の整備	3
大田市駅前開発事業の推進	10
水道料金の改善	2
地域サポート体制	19
自治会の運営維持・充実	7
人間関係の形成	8
地区集会所等の環境の充実	4
協働によるまちづくり	17
市民がまちづくりに参加しやすい仕組みづくり	3
市民との一体的な取り組み	13
ボランティアやNPO等	1
道路	15
高速道路の早期完成	5
歩道整備	4
道路整備	6
生活交通の確保	15
公共交通の充実	15
空き家・土地利用	12
空き家・空き地対策	11
土地対策	1
高齢者・障がい者	11
福祉の充実	2
高齢者の人材活用	4
高齢者の自立支援	2
高齢者施設の充実	1
高齢者の安心生活	1
生きがいつくり	1
観光振興	8
石見銀山・三瓶山等の観光資源の活用	2
観光・宿泊施設の充実	2
ごいせ仁摩の活用	4

内容		件数
健康づくり・地域医療		7
	大田市立病院の運営の改善・充実	3
	医療機関・体制の充実	3
	健康増進・医療費の削減	1
商工業振興		7
	大田駅前通りの活性化	2
	施設等の充実	3
石見銀山遺跡・地域文化		7
	石見銀山の環境・文化の保全・活用	7
子育て支援		6
	子育て支援の充実	6
企業誘致		5
	企業誘致の推進	5
消防・防災・防犯		5
	災害時の避難場所の確保	2
	安全・安心なまちづくり	2
	災害時の迅速な対応	1
農林水産業		4
	農林水産業の振興	2
	鳥獣被害対策	2
ごみ対策・新エネルギー		2
	ごみの分別・収集・リサイクルの周知等	2
学校教育		1
	大学の誘致	1
自然環境保全		1
	自然環境、文化を活かしたまちづくり	1
その他		42
	働く場の確保	10
	アンケート調査の活用	7
	活気・魅力のある大田市の自立	1
	銀山テレビへの意見	2
	大田市の将来が不安	5
	市職員への励まし・感謝、市への激励	4
	その他	13
合 計		263

問 2 4 大田市では、出生数の減少等により、人口減少が進んでいます。若者等の定住対策としてどのような取り組みが必要だと思いますか。ご提案などがありましたら、下記へご自由にお書きください。(自由回答)



(n=404)

【意見の詳細一覧】

内容		件数	内容		件数
仕事・産業対策		208	医療対策		7
	働く場所の確保	120		子ども医療費無料	3
	企業誘致	66		病院施設の拡充	3
	就労支援	14	夜間救急の拡充	1	
	賃金対策	7	少子高齢・障がい者	2	
	起業促進	1	介護支援や障がい者支援	1	
生活および経済支援		65	高齢化対策	1	
	子育て支援	40	その他	11	
	祝い金、一時金等	12	大田が好き、住みよい街にして欲しい	1	
	婚活支援	8	魅力的な街になる必要がある	1	
	継続した支援等	5	市外からの通勤者に意見を聞いてみる	1	
住宅対策		39	その他	8	
	空き家対応	18			
	住宅確保	13			
インフラ整備		30	合計	404	
	施設等の充実	19			
	交通機関対策	3			
	公園等施設整備	3			
	道路整備	2			
	通信・ネット整備	2			
教育対策		12			
	学校誘致	7			
行財政対策		11			
	学校での定住教育	5			
	税金対策	3			
	行政改革（事業等）	3			
	行政改革（体制等）	2			
	組織強化	1			
人々の交流		11			
	海外からの移住受け入れ	1			
PR 対策		8			
	ホームページ SNS 利用等でのアピール	6			
	アトラクション、イベント等	1			
	自然環境	1			

【仕事・産業対策】 208 件

仕事・産業対策		【働く場所の確保】 120 件
年代	地域	内容
80 代以上	中央	生活が保障できる働き場の確保。安心・安全な住み良い環境。
60 代	中央	出雲より西方の収入の安さあり商貸金の産業化働ける場所作りが必要!ある程度収入があれば子作りもできるのでは？
60 代	中央	雇用の創設。
30 代	西部	雇用の確保。住みやすい地域整備。
70 代	中央	一日、学校校舎を利用、治用できませんか。奥地でもなにか働く所が必要だと思います。空室の治用(人口市部集中をなくす)。
40 代	中央	産業、企業を増やす
60 代	中央	就職できる企業を増やすこと。
70 代	高山	働ける会社企業の PR
60 代	中央	私にはよくわかりませんが、若い人たちが居たいおもしろいと思うような仕事を造る。又は自分達で造り上げることが出来るような支援等、出来たらどうかと思います。
60 代	中央	仕事の数、若者がより仕事の出来る場所。定住予算。
80 代以上	中央	大田市で若い人が働く所、せいかつが出来るだけの給料が出せるような仕事場があると少しは人口が増えるのではないのでしょうか？
60 代	温泉津	・働く場所。・住居。・子育て支援。・教育環境、店。
30 代	中央	新産業、企業等の創出育成。
80 代以上	三瓶	就職先があればよいと思います。
70 代	中央	働き場を増やし、町(店舗)を充実させる。
50 代	西部	魅力ある働ける職場。企業、産業。高給与。期末手当。福利厚生充実。病院、商業施設など市内で完結できない。隣市へ出かけなくても良い環境。
60 代	東部	定住するためには、職がないと出来ない。
70 代	西部	若者が将来の不安を抱くことなく働ける場所の保障 若者が集える場所 スポーツ施設 音楽施設
40 代	仁摩	働く場所
70 代	温泉津	企業が少ないため、将来に不安である。結婚しない人が多い。働らせる場所を作ってほしい。
80 代以上	東部	職場を多くして若い人を増やせば少しは増えると思います。
70 代	西部	働く場を提供する(物づくり作業、IT の利用等) 就職後 2～3 年で辞める傾向がみられる。(魅力づくり、生きがいを感じる)
30 代	高山	働き口の確保 所得の増加 企業の誘致などで、特に若者子育て世帯の所得を増やす事が重要だと考えます。
60 代	東部	働く所を増やす。そして若者をフォローそ続けるのが良いと思う。
20 代	東部	若者に対して地元で就職し生活していけるくらいの就職先を作る事で人口減少は対策できる。
60 代	高山	職場の確保と、働く環境の充実。とはわかっているのですが、孫達が、社会人になる頃、大田市に一人でも残ってもらえるよう企業努力を期待するしかないかもしれません。大田市は、安全安心な町です。ふるさと教育を充実させ学校・家庭のみちびきも大事なのかも。これは、長い目で見守り、かなわないことかもしれません。
70 代	高山	安定した収入を得られる就労場所の確保。子育て支援及び医療体制の充実が不可欠。
60 代	三瓶	仕事→収入→安定生活→安心安全→楽しい→生きがい
50 代	東部	仕事
60 代	西部	働く所と若い人が楽しめる所を増やしてほしい
60 代	西部	若者が働ける企業が多くあること 魅力のある企業 遊興場所があって多地区からでも来れる 来たいと思うイベント等
60 代	東部	就労先、住居の確保(提供) U,I,I ターン、外国人の受け入れと子どもらの教育施設充実による子どもらの定住化へ発展させる。
70 代	無回答	働く場所
60 代	三瓶	仕事場の提供
70 代	仁摩	働く仕事場がない
60 代	東部	若者が働くことができる企業が少ないことが一番問題であると思う
60 代	東部	職場の充実と働きやすい環境が必要
70 代	東部	豊かな海、森林、農林水産業への若者の積極的な就業の為に賃金、住宅等の積極的な投資を行ってゆく。

仕事・産業対策		【働く場所の確保】120件
年代	地域	内容
70代	中央	働き場所
70代	東部	大田市では中小企業が多く、大企業が少ない為に離れている。山が多い為、整地して工場を建てる。
80代以上	中央	出雲市への流出が多いように思います。私の孫も大学卒業で大田、出雲と悩みましたが、出雲に就職しました。大田市で家を持つとは言えません。出雲で家を持つようにすすめてます。
50代	中央	女性の働ける場づくり、女性向けの情報発信 興味を若い方に持ってもらうため
40代	東部	働き場所の増加
70代	中央	若い人の仕事場作り。住居の提供(老いも若い人も)。例えば共同スペースのある住居。
70代	中央	安定して働ける職場が必要
60代	西部	出生数の減少に関しては、若者等の定住とシンクロすると思う。働く場所の確保(正社員級)収入面、今の大田市には魅力を感じないのでは…。大学進学など、(近辺にはない為)お金がかかりすぎる(学費の他生活費等)。
60代	中央	働く場の確保。若者にとっての魅力ある場作り(出会い、スポーツ、娯楽)
60代	中央	職場をつくること。文化的事業の充実。
70代	東部	産業の育成
30代	温泉津	働き先が少ないから定住しないのではないかと思います
30代	中央	若い人が働きやすい環境(就職先)等の確保。出来るだけ安く借りられる賃貸アパート等を増やしていく。若い男女の出会いの場の提供。
50代	中央	働きやすい職場が多くあれば
70代	東部	働く場所(企業等)
80代以上	中央	この企業で一生働き安心して暮らせる場を造る
20代	温泉津	働く場所がもっと増えたらいいと思う。子育て世代、高齢者だけではなく、大学生、新卒などにもお金の面で支援があったらいいと思う。
60代	温泉津	若い人が働ける場所の確保 子育てしやすい職場
60代	高山	地元に関わる場を作るべき
70代	西部	若者等の仕事場
60代	西部	仕事です。市長は仕事があると言っておられるが、給料低すぎ
60代	仁摩	・雇用の創出。・出会いの場→結婚→子育ての支援)拡充。・大田市でしか入手できないアウトドアブランドの支援。
60代	西部	働き場所 企業の拡充
50代	仁摩	就労できる場所、会社、工場、施設、保育、看護、一就労者の賃上げが移住へつながる
40代	中央	産業振興(就職先を増やす)
70代	中央	職場確保
40代	仁摩	市内で働ける企業を増やす
60代	高山	働く場所(魅力ある)があればと思います。言うのは簡単ですが、孫の世代に繋がっていけばと思います。
40代	西部	就職先の確保(帰って来てても就職先がない)
60代	仁摩	農林水産業の潜在能力の再開発
60代	中央	若者が働らく職場がないと、学校を卒業しても、地元で定住出来ない。
60代	仁摩	魅力的な仕事の提供
60代	中央	働く場所
70代	仁摩	若者の働き場所づくり。楽しい町作り。
40代	仁摩	子育てをしやすい町にはなりつつあるけれど、それ以外の住民が長々と住みやすくなるような町づくりがあれば若者達のUターンなども増えると思う。帰っても仕事のない町だと思う
30代	西部	"職" 働くところの紹介や住むところの確保 住みやすさのアピール。
20代	中央	就職先の確保。
50代	中央	就職先の確保。
60代	東部	・若者の働く場が多く有れば、定住者(家族)が増えると思う。さみしい町では若者は、都会へ出て行く。・(出雲市の様に発展したいですね、大田市も！)
50代	仁摩	自然を生かした産業。県外に住む土地所有者の土地、家など有効に活用できないものか？
70代	中央	働く場所と住居など基本的な生活の場
40代	仁摩	雇用の確保。一定の収入がないと若者は定住しない。
70代	仁摩	魅力的な仕事場をつくる。
40代	高山	条件によりますが、仕事が安定している事、広大な遊具施設、息抜きできる広い公園、駅前通りは明るい並木道(ロマンチック的)ロケーションなどに似た風景など。

仕事・産業対策		【働く場所の確保】120件
年代	地域	内容
70代	中央	1.働く場所を増やす。2.住宅の確保、充実。3.子育て支援体制の整備、充実。
80代以上	東部	若者の働く起業が必要。
70代	東部	仕事、職場の提供。
40代	三瓶	仕事
70代	三瓶	新規の産業復興。新規と言っても必ずしもITなどを言うのではなく、農林業などの地元資源を活用した新しいビジネスがあるはず。
70代	温泉津	高校を卒業したらそのまま都会でなく(大田にも働き口があり住みよい環境がある、都会に勝るもの、〇〇や交通〇等、田舎の方がいい、老後を考えやがて大田に帰りたいと思える大田になってほしい。
80代以上	温泉津	働く職場が少ないため色々な職種、職場を増やすことが重要だと思います。
70代	西部	働く場所がない。
60代	中央	地域内の所得向上。企業を支える環境づくりや産業人材。
60代	中央	働き場の拡大。子育てのしやすさ。
50代	中央	職場の確保。結婚の推進。
70代	西部	若い人のハタラク場所がない。
50代	東部	雇用の拡充、魅力のある企業の創出。アパートの低家賃化。
70代	中央	安定して働く職場があれば定住も可能か？
60代	中央	就業と子育て支援
50代	高山	働く場をもっと増やす。大田市の魅力になることをもっと増やす。
40代	西部	雇用が増えるようにする。(給料も保証する。)
50代	東部	働く場所(仕事)の確保。低所得でも生活できる住宅や保育、教育の支援。外国では(デンマークなど)福祉が充実している。税金が高くて暮らしが楽なら住みたいまちになるのでは？
60代	中央	若い人が帰っても仕事場がない。7ブロックに保、小、中学がなくなっている。一極集中になつてるように思います。
20代	中央	就職先を増やす。
80代以上	中央	働く場の確保、拡充。
60代	東部	各事業における福利厚生の実施 地方創生(人材活躍推進)による大都市への地場産業進出
60代	東部	働く場所が少ないと思います。定住のためには、住宅や通信の確保も必要ではないでしょうか。
60代	中央	若者等の定住対策としては、安定した生活ができる収入が得られる職業が必要では？
50代	仁摩	働く場所の確保
60代	三瓶	働き場所
60代	中央	雇用-住宅環境の改善
30代	西部	多様な就労先の確保
30代	中央	働く場、子育て支援、公園の整備
30代	高山	給与の高い働き口の確保。漁業から高付加価値の農業へ(水産資源の同時確保も進め漁業復興を10年計画で進める)。農業、漁業、林業の期間的な人の流れを作る(隠岐の複業をイメージ)
30代	仁摩	若者の就職先を確保する。
30代	西部	働く場所を増やす
70代	西部	夫婦共働きでやっと生活がなりたっている現状。働くため必須の車、スマホが大きな出費。安定した働く場ほしい。本〇〇の充実。
30代	高山	県外へのアピール。働く場の確保。
40代	西部	家賃の安い住居の整備、就業先の確保、給料等収入増。
70代	東部	高収入が得られる。借入住宅等援助。仕事がない。(希望のある仕事)
30代	東部	交通の利便性の向上、働く場の確保、子育て環境の充実
60代	中央	未婚者の結婚対策、UIターン対策、市内就業支援、

仕事・産業対策		【企業誘致】66件
年代	地域	内容
40代	中央	企業誘致、イベント
70代	中央	企業誘地
80代以上	中央	若者の定住。企業誘致。観光振興。
50代	東部	大手企業の誘地による雇用促進、インフラ整備

仕事・産業対策		【企業誘致】66件
年代	地域	内容
70代	温泉津	企業誘致
50代	東部	企業誘致。収入増(他の市より低賃金)。定住住宅の推進。子育てや医療の充実。
60代	西部	就職先の確保(企業の誘致) 空き家(空地)の活用 子育て支援
80代以上	中央	企業誘致
50代	温泉津	企業誘致し、地元で働ける場所をつくる。
60代	三瓶	大手企業の誘致により、働く場所を多くする。(若者が県外に出なくてもいいように。)
70代	中央	企業(AIやEVやロボット技術を活用した将来見込みのある)を誘致し若者が都会へ出なくてもよいような働き場の確保が最重要と思います。
50代	西部	大田市の良い所を生かして、企業誘致をすすめ、現在の賃金で、若い人たちが、生活し、結婚、子育ては、レベルが〇くすぎて、生活していられない。Uターンしたとしても、市内での就職ができず、収入が少なくまた都会に出て行く。
30代	中央	市内にない業態の創出、誘致による定住促進(そのためには時間をかけた戦略づくり、マーケティングなどが必要)
40代	西部	企業の誘致など
80代以上	中央	企業誘致をして若者の定住を進める
50代	中央	企業を誘致して雇用を充実させる。
70代	仁摩	企業立地 平均賃金の底上げ
50代	中央	企業誘致 若者が出ていくことを止められないのであれば他所より来てもらえるように努力する。
60代	仁摩	市内での働く場所が少ないため、都会に出て行く。企業の誘致活動を行う必要がある(若者の働く場所の確保する為にも)
60代	中央	産業の減少により若者の就職先が無く、基本的に誘致が最優先と思います。
50代	仁摩	生活していくためには、働かなければいけない。そのための職場確保(企業誘致)の取り組みが必要だと思います。
50代	西部	企業誘致を行い雇用創出を作り、地元に残る人を増やす。
80代以上	中央	大田市は産業もなく若者の流出を止めることも出来ず、できたら不毛耕作地の開拓をして工場誘致を願うのみ
70代	中央	企業誘致
80代以上	中央	働く職場、会社の誘致
50代	東部	就職先(安定企業)を作る。誘致する。大田市が運営する市営住宅を作る。給料の安い若者が安心して支払えたり子育てできる家賃にする。
80代以上	東部	企業の誘致
80代以上	中央	企業誘致 高卒生の地元就職支援
60代	中央	大手企業の誘致
40代	無回答	働く会社の充実、誘致
70代	東部	大きな会社を誘致 公園の整備(子どもの遊び場を整える)
50代	中央	企業の誘致
60代	中央	企業誘致
60代	中央	企業の誘致による職の確保及び収入の確保。大田市では働く企業も多くなか賃金も安い傾向にある。都会から帰っても収入が変わらないような職が必要。
70代	温泉津	工業団地をもっと整備して企業誘致し、若者の流出を止め、地元就職を増やす。企業職場を増す。
70代	三瓶	国会議員及び自民党、県会議員、市会議員が多いのに何故企業誘置が出来ないのか分からない。
60代	西部	職場が少ないので、企業の誘致を行う
80代以上	仁摩	魅力ある新規企業者誘致し就職の機会を増す
80代以上	仁摩	1.学力が発揮出来る企業がない(若者が定住出来ない)。2.専門分野の力が出せる職を多くする。3.子育ての目玉を思い切って作り出すこと。
70代	仁摩	魅力ある企業の誘致
80代以上	西部	企業誘致 美郷町のように若者向け住居を安い家賃で貸し将来は自己所有になるような対策を建ててほしい
70代	三瓶	企業の誘致をしてほしい
80代以上	東部	企業の取り込み
60代	西部	企業誘致や新産業創出。それに伴う住宅の確保。
70代	中央	働らく場所がないと生活ができない。企業を増やさないと定住もできない。
80代以上	仁摩	若者達が将来向かって夢が持てる働き場を誘致する。近隣市町村との連携による働き場の

仕事・産業対策		【企業誘致】66件
年代	地域	内容
		拡大政策。
60代	中央	新しい企業進出をする。例えば波根の工業団地を地元の企業が入ってはだめ。
70代	中央	会社等の進出を望む
50代	東部	企業誘致、資金の上り
80代以上	三瓶	一件でも二件でも企業を増やしてほしい。
70代	中央	産業の復興。企業誘致（なければ働ける場所がない）
50代	東部	企業誘致、商業施設の誘致、大学誘致
30代	中央	・若者の就職率の向上(職種を選べるなど)。・リモートで仕事ができる企業の誘致、移住者のを増やすなど。
40代	中央	・県西部における神楽団のようなコミュニティの形成。・IT企業等、最先端っぽい企業の誘致。・地元企業を知る機会の更なる充実。
70代	中央	企業誘致(就業の場をつくる)企業にとってメリットがあるようにする。
40代	東部	ウインズをつくる、ガッチリ産業をまねてやる
20代	中央	賃金の底上げのために外部企業を誘致してはどうでしょう、もしくは在宅ワーク可能な企業の説明会を開催周知するなど
70代	西部	企業の誘致
70代	西部	働く場所(企業の誘致等)の確保 居住施設・健全娯楽施設の充実など行政が主体となって市民と共に取り組むこと。
60代	西部	あらゆる企業を誘致し雇用促進と最低賃金UP
60代	中央	企業誘致
40代	中央	企業の呼び込み、若者が集まる場所づくり。室内公園。
60代	西部	企業誘致等、働く場所の確保とともに、賃金水準の底上げが必要。
70代	仁摩	企業誘致活動を市民の目に見える形で推進する。
70代	西部	専門学校等の創設や、企業誘致や起業の促進
70代	仁摩	公共交通機関の確保。雇用の確保が充実したら、若者が自ずと地元に残り結婚し子どもを産み育て人口が増えて活気が出るのではないのでしょうか

仕事・産業対策		【就労支援】14件
年代	地域	内容
50代	中央	就労支援。賃金の安定性。
70代	仁摩	雇用の充実
80代以上	中央	IターンやUターンを増やす政策が必要
60代	中央	今はネットで全国からIターンができます。その活用を広げたりできれば良いなあと思います。人口減少は止まらないと思いますので。
30代	東部	安定した職業への就職サポート、その後のサポートも含めた仕事への不安を減らし収入を安定的に得られる状態を作る
60代	三瓶	安定賃金収入の保障。
60代	中央	雇用の確保
60代	中央	農業などに対するの仕事をさせていただき専門の方を多くする。
70代	中央	中学校でも行われていますが、高校でも市内の企業に就労体験を実施して、学生と就職の社会体験、コミュニケーションが取れて良いと思います。
20代	中央	仕事があって生計を立てられる地域にしていくための取組(農業等の振興、企業誘致、テレワーク等田舎に住んでいても都市部と同様に働ける環境作りなど)。小規模の学校における、個々の児童に合わせた手厚い教育を生かす取組。
60代	東部	就職先の確保
50代	中央	大田市の自然、歴史、文化など魅力を若者にうえるようなSNSで発信し続ける。家族向け住居定住促進(20年以上住んだら譲渡とか)併せて就労支援する。
10代	中央	数年間の経済的支援。就職活動のサポート。

仕事・産業対策		【賃金対策】7件
年代	地域	内容
40代	東部	まずは賃金アップだと思います。
50代	三瓶	賃金アップ(安心、安定した生活ができるような)
70代	仁摩	若い方の給料も上げてさし上げたら、結婚、出産も多くなるのではないですか?とも、どう

仕事・産業対策		【賃金対策】 7 件
年代	地域	内容
		してこんな日本、社会になったのでしょうか？日本の総理のやり方、働き方でしょうか？
70 代	西部	給料アップ
60 代	東部	若者達の給料の底上げ
80 代以上	中央	大田市で若い人が働く所、せいかつが出来るだけの給料が出せるような仕事場があると少しは人口が増えるのではないのでしょうか？
50 代	西部	大田市の良い所を生かして、企業誘致をすすめ、現在の賃金で、若い人たちが、生活し、結婚、子育ては、レベルが〇くすぎて、生活していられない。U ターンしたとしても、市内での就職ができず、収入が少なくまた都会に出て行く。

仕事・産業対策		【起業促進】 1 件
年代	地域	内容
70 代	西部	専門学校等の創設や、企業誘致や起業の促進

【生活および経済支援】 65 件

生活および経済支援		【子育て支援】 40 件
年代	地域	内容
70 代	東部	子育て支援の充実
30 代	高山	子供の足音等でクレームを言う人間がいる。子育てに協力的な市民を増やすことが必要。
70 代	西部	大田にもっと若い人が都会から帰って来て働くような会社が出来ない限り、無理と思います。大田の給料だけでは子供を育てるのにお金がかかり出かせぎをしなくてはならない事の原因だと思っています。よく 3 人目を生みたい若い夫婦が、〇〇れるのはそこにあると思います。
70 代	仁摩	保育 2 才～5 才園の無料(担保付)
50 代	中央	子育て支援の充実：例 中高生と乳幼児の触れ合いの場を持ち子どもの特性を知る。乳児検診時、全員参加で（元）保育士、調理、保健師等と子育てについて話し合う。土日に子どもと親と一緒に遊ぶ企画。市内の企業に協力を依頼し子育て中の親が休みを取りやすくしてもらおう。
80 代以上	東部	経済的余裕。子育てがしっかり出来る職場も必要と思います。
70 代	無回答	子育て、教育、仕事、楽しみなどいろいろな取り組みが必要だと思います。
60 代	仁摩	第 3 子出生時に補助金
30 代	東部	安心して子育てが出来る様、給料アップして欲しい。
70 代	仁摩	地元愛を身につける教育（子供に対して）
30 代	東部	若者の定住対策も大事だが、出生数が増加につながる策に重点を置いてもよいかと思う。若者は都会に憧れて一度は出るものだと思うし、帰って来る来ないは家庭での教育というか親がどうあってほしいかに話をするかが大きいと思う。結婚や出産をしない選択をする人もいの中で生命や血族を繋いでいる人に対する取り組みがあってもいいかなと感じます。
30 代	西部	子育て商品を扱う商業施設の充実。市立病院の夜間救急の体制を見直す(救急なのに電話をしてから来てくださいと言われた事に驚いた。子育てする上で心配)
60 代	三瓶	子育て支援の充実(医療費、保育費等々)
70 代	三瓶	安心して子育て出来る様な収入源の確保が必要。
30 代	中央	子育て支援の充実。
60 代	西部	子育て世代の職場、保育所の確保
40 代	西部	保育、医療の拡充
40 代	東部	思いきった、子育て支援
40 代	高山	仕事を継続しつつ子供を安心して預けることができる施設に助成金を拡充。子供が病気をしても仕事は休めない。縛りの少ない病児保育（小学生まで）をする施設への助成金拡充。
80 代以上	三瓶	子育て支援の充実
20 代	西部	子育て、妊娠時、妊娠前の支援
30 代	仁摩	定住住宅などの建設。市独自の子育て支援サービスなど拡充。特定不妊治療の助成金。
60 代	温泉津	・働く場所。・住居。・子育て支援。・教育環境、店。
60 代	西部	在宅ワークが進む中、大田で暮らして働きたいと思える環境の良さをアピールする。自然環境の良さ（海にも山にも美しさが残る）豊富な山海の美味。子育てに適した人情。沢山あります。

生活および経済支援		【子育て支援】40件
年代	地域	内容
30代	高山	働き口の確保 所得の増加 企業の誘致などで、特に若者子育て世帯の所得を増やす事が重要だと考えます。
60代	東部	U、Iターン者への空き家提供と子育て支援
70代	高山	安定した収入を得られる就労場所の確保。子育て支援及び医療体制の充実が不可欠。
60代	温泉津	若い人が働ける場所の確保 子育てしやすい職場
80代以上	仁摩	1.学力が発揮出来る企業がない(若者が定住出来ない)。2.専門分野の力が出せる職を多くする。3.子育ての目玉を思い切って作り出すこと。
60代	中央	例えば、一人親世帯や障がい児世帯などと主眼に置いた定住支援策 支援のため親が働いている間の児童を預かる等の市民の協力機関の政策等
40代	中央	・川本町のような定住促進住宅を建て、安く長く住んでもらえる状況を作る。・病時保育をしてもらえる場所を作る(病後保育ではなく)・児童クラブの費用への補助金を行い、家庭の出費が少なくなるよう支援する。
60代	中央	働き場の拡大。子育てのしやすさ。
60代	中央	就業と子育て支援
60代	東部	住宅の無償提供、育児児童手当の高額支給など安心して暮らせる環境背美の提供
30代	中央	働く場、子育て支援、公園の整備
50代	東部	企業誘致。収入増(他の市より低賃金)。定住住宅の推進。子育てや医療の充実。
60代	西部	就職先の確保(企業の誘致) 空き家(空地)の活用 子育て支援
50代	東部	就職先(安定企業)を作る。誘致する。大田市が運営する市営住宅を作る。給料の安い若者が安心して支払えたり子育てできる家賃にする。
70代	中央	1.働く場所を増やす。2.住宅の確保、充実。3.子育て支援体制の整備、充実。
30代	東部	交通の利便性の向上、働く場の確保、子育て環境の充実

生活および経済支援		【祝い金、一時金等】12件
年代	地域	内容
80代以上	西部	結婚5年定住者への祝金
80代以上	東部	若い人達を地元に残す。子ども3人目から市からお祝金をあげるとか。しかし住所が市内の人にかぎる。市民一人一人が地元で買い物を心掛けたらいいと思います。出雲へ買い物に行く人が多いと思います。
60代	西部	市外へ転出した後、再び市内に戻りやすいような「定住基金」のような制度を創る。行政がもっと若者の心に届くような呼びかけを。
20代	中央	給付金。地元へ残る価値がないと給料などがいい県外へ行き、子育て、転職をしようと思う。様々な要因はあるが、出生数の減少などは、金銭面による部分が多いと感じる。
50代	仁摩	市内就職したら祝金、Uターンしたら祝金、定住年数で祝金、入籍したら祝金、出産したら祝金(二人目、三人目とさらにアップ)、家を建てたら祝金(地元ならさらにアップ)、というような、出身町で生活なら応援金
70代	仁摩	経済的に子供の費用の軽減
70代	仁摩	Uターン、Iターンの人への補助と支援。空き家の活用。
40代	中央	給付金。空き家の有効活動。
10代	中央	数年間の経済的支援。就職活動のサポート。
70代	東部	高収入が得られる。借入住宅等援助。仕事がない。(希望のある仕事)
20代	温泉津	U、Iターン者への助成金や住宅支援
20代	温泉津	働く場所がもっと増えたらいいと思う。子育て世代、高齢者だけではなく、大学生、新卒などにもお金の面で支援があったらいいと思う。

生活および経済支援		【婚活支援】8件
年代	地域	内容
40代	中央	少子化問題、若者の定住、Iターン・Uターン促進の基盤として、「しまこ」や「はぴこ」などの婚活サポートシステムを活用する。
30代	中央	婚活パーティーなど
70代	中央	若い人が結婚できるようにする。安定と収入。
60代	温泉津	独身者への出会いフォロー(イベント等)
60代	中央	未婚者の結婚対策、Uターン対策、市内就業支援、
60代	仁摩	・雇用の創出。・出会いの場→結婚→子育ての支援)拡充。・大田市でしか入手できないアウト

生活および経済支援		【婚活支援】 8 件
年代	地域	内容
		ドアブランドの支援。
50 代	中央	職場の確保。結婚の推進。
30 代	中央	若い人が働きやすい環境（就職先）等の確保。出来るだけ安く借りられる賃貸アパート等を増やしていく。若い男女の出会いの場の提供。

生活および経済支援		【継続した支援等】 5 件
年代	地域	内容
60 代	中央	1 ターンなどに支援をしっかりと、若い人が定住できるようにする。
70 代	中央	住居手当など生活面での取り組みがあればいいと思う
70 代	西部	夫婦共働きでやっと生活がなりたっている現状。働くため必須の車、スマホが大きな出費。安定した働く場ほしい。本〇〇の充実。
60 代	東部	住宅の無償提供、育児児童手当の高額支給など安心して暮らせる環境背美の提供
60 代	西部	出生数の減少に関しては、若者等の定住とシンクロすると思う。働く場所の確保(正社員級)収入面、今の大田市には魅力を感じないのでは…。大学進学など、(近辺にはない為)お金がかかりすぎる(学費の他生活費等)。

【住宅対策】 39 件

住宅対策		【空き家対応】 18 件
年代	地域	内容
50 代	東部	都会では若者の貧困が問題になっているらしいので、そういう人(特に女性)をつれて来て、アパートや空き家に住んでもらう。(家賃は市が負担)そうすれば、自然と若い男性も増えて子供も生まれるじゃね…。
30 代	西部	空き家対策。所有者不明の家や空き家を行政が整備をし、移住者が腰をすえて住むことのできる環境を整備してあげる。
20 代	中央	空き家の活用→リフォームして安く貸し出す。
60 代	中央	・U ターン者、及び県外からの移住出来る安い価格の古民家の提供又は賃貸物件をリリースする。 ・思いきりの若者定住のビッグな NPO 法人を至急発足し内外からも来て頂く。
60 代	東部	若者が安価で住める住居の提供（大田市の空き家を住宅改修し市外若者家族に優先貸与又は何年か住むと安価で取得できるなどの条件の提案など）その情報の発信
60 代	東部	U、1 ターン者への空き家提供と子育て支援
30 代	中央	私は移住して（1 ターン）2 年目になりますが、まわりでも自然が多い地域への移住希望者がたくさんいます。空き家バンクを充実させたり、家を確保したりは重要だと思う。
50 代	高山	空家対策
50 代	仁摩	空き家を活用し若者等が住みやすく安く提供する、いろいろなイベントを開催し若者を呼び込み、大田市を知ってもらう。(三瓶でドローン大会、オートサーキット)
70 代	中央	空き家を活用して若い人の活動(芸術、イベント、観光)に取り組んでほしいと思います。
30 代	中央	空き家をキレイにして賃貸や購入で住めるようにする
40 代	西部	空き家対策（撤去）とファミリー向け賃貸住宅の充実
50 代	東部	アパート入居率の高い空き家も多くある空き家のリフォーム代金の補助、空き家解体費用の補助などがあるとよいと思われます
20 代	西部	市内の空き家を解体する
60 代	西部	就職先の確保（企業の誘致） 空き家（空地）の活用 子育て支援
50 代	仁摩	自然を生かした産業。県外に住む土地所有者の土地、家など有効に活用できないものか？
70 代	仁摩	U ターン、1 ターンの人への補助と支援。空き家の活用。
40 代	中央	給付金。空き家の有効活動。

住宅対策		【住宅確保】 13 件
年代	地域	内容
30 代	仁摩	定住住宅などの建設。市独自の子育て支援サービスなど拡充。特定不妊治療の助成金。
	中央	住宅の確保
20 代	東部	市が管理している土地をもっとアピールし、一戸建てなど建てやすい環境をつくってあげる。

住宅対策		【住宅確保】13 件
年代	地域	内容
60 代	西部	親が帰えしたい。同居でなくても近くに住ませたい(住ませられる)と思える事が、子どもにとって決心の要因として重いのかもしれません。親の自信、親のわがまま、親の心がわりへの対策はどうでしょう。
60 代	西部	若者定住用一戸建てコンパクト住宅（賃貸 30 年後格安に自己所有できる） 高速出雲開通によるベッドタウン化による定住（住宅地格安所有助成）
40 代	中央	・川本町のような定住促進住宅を建て、安く長く住んでもらえる状況を作る。・病時保育をしてもらえる場所を作る(病後保育ではなく)・児童クラブの費用への補助金を行い、家庭の出費が少なくなるよう支援する。
20 代	中央	一人暮らし用の賃貸物件を増やす。実家暮らしでない限り大田市に住みながら働くことが困難。
50 代	東部	企業誘致。収入増(他の市より低賃金)。定住住宅の推進。子育てや医療の充実。
50 代	東部	就職先（安定企業）を作る。誘致する。大田市が運営する市営住宅を作る。給料の安い若者が安心して支払えたり子育てでできる家賃にする。
70 代	中央	働く場所と住居など基本的生活の場
70 代	中央	1.働く場所を増やす。2.住宅の確保、充実。3.子育て支援体制の整備、充実。
60 代	東部	働く場所が少ないと思います。定住のためには、住宅や通信の確保も必要ではないでしょうか。
60 代	中央	雇用-住宅環境の改善

住宅対策		【家賃】8 件
年代	地域	内容
40 代	中央	家賃が高い
20 代	中央	若い人が進みやすい町づくり、定住、移住したいと思う町づくりが必要だと思います。正直どこの企業も給料が低いのにアパート、マンション代が高い。若い人が足を運ぶようなスーパーや遊べる所がありません。
20 代	中央	アパートの家賃が高すぎるからもう少し安く 家族でも住みやすい環境にする
40 代	西部	家賃の安い住居の整備、就業先の確保、給料等収入増。
40 代	東部	低価格の家を提供
30 代	中央	若い人が働きやすい環境（就職先）等の確保。出来るだけ安く借りられる賃貸アパート等を増やしていく。若い男女の出会いの場の提供。
80 代以上	西部	企業誘致 美郷町のように若者向け住居を安い家賃で貸し将来は自己所有になるような対策を建ててほしい
50 代	東部	雇用の拡充、魅力のある企業の創出。アパートの低家賃化。

【インフラ整備】30 件

インフラ整備		【施設等の充実】19 件
年代	地域	内容
80 代以上	東部	若者達の遊びの場(若い人達が集まると希望も生まれるし、留まろうと思う気持ちもわいてくると思う)。若い人達の活動の場を作ってやる。
50 代	西部	他市、他県への買い物に行く方が多い。それを大田市でするようにすると更に大田市が活性化すると思う。
10 代	仁摩	若者の好きなお店を作る。飲食的も行きやすいお店を作る。24 時間営業のお店があるとどの時間帯でも買い物しやすい。
40 代	三瓶	駅通りの施設の充実。駅の周りがとてもさみしい。
80 代以上	中央	スポーツ施設の充実（テニス、ゴルフ、卓球等）
40 代	西部	レジャースポットや飲食店も少なく、閉店時間も早く不便なので若者は特に住みにくく感じます。
20 代	東部	若者が残りたくても残れない。最低限の施設設備がないので仕方がないと思う。
70 代	東部	仕事はあっても、娯楽があまりないので映画館があればまたは、ボーリング場とかが出来たらよいと思います。
40 代	温泉津	買い物はよく出雲まで行く。飲食店も少ない。それは仕方ない。せめて、道路ネットワークが整備できれば、大田ももっと住みやすくなるのでは。
40 代	西部	若者が行きたいと思う場所がない。活気がない。前パルの所がもったいないと思います。何

インフラ整備		【施設等の充実】 19 件
年代	地域	内容
		か作るべきだと思う。
40 代	西部	商業施設、娯楽施設の充実。
80 代以上	西部	活気があり、賑やかな、便利な街。
30 代	西部	ショッピングモール等の充実
80 代以上	中央	若者の定住。企業誘致。観光振興。
70 代	西部	若者が将来の不安を抱くことなく働ける場所の保障 若者が集える場所 スポーツ施設 音楽施設
60 代	西部	若者が働ける企業が多くあること 魅力のある企業 遊興場所があって多地区からでも来れる 来たいと思うイベント等
20 代	中央	若い人が進みやすい町づくり、定住、移住したいと思う町づくりが必要だと思います。正直この企業も給料が低いのにアパート、マンション代が高い。若い人が足を運ぶようなスーパーや遊べる所がありません。
50 代	東部	企業誘致、商業施設の誘致、大学誘致
70 代	西部	働く場所（企業の誘致等）の確保 居住施設・健全娯楽施設の充実など行政が主体となって市民と共に取り組むこと。

インフラ整備		【交通機関対策】 3 件
年代	地域	内容
70 代	仁摩	公共交通機関の確保。雇用の確保が充実したら、若者が自ずと地元に残り結婚し子どもを生み育て人口が増えて活気が出るのではないのでしょうか
30 代	東部	交通の利便性の向上、働く場の確保、子育て環境の充実
20 代	東部	利便性をよくする

インフラ整備		【道路整備】 2 件
年代	地域	内容
60 代	中央	企業誘致などはなかなか難しい。山陰道がつながることにより、通勤範囲が広がるので、今の内に若者が住みやすいと感じる環境、（〇くを建てるのに有利性があることなど）の整備が必要。
40 代	東部	交通の便が悪いのは一番の要因だと思います。山陰道以外にも幅の広い道路整備を作る。広島や山口、岡山と近場の往来がしやすい道路があるといいです。冬場の雪で広島に行きづらいのもどうかしてほしい。

インフラ整備		【通信・ネット整備】 2 件
年代	地域	内容
60 代	西部	ネット環境の整備・充実
60 代	東部	働く場所が少ないと思います。定住のためには、住宅や通信の確保も必要ではないでしょうか。

インフラ整備		【土地整備】 1 件
年代	地域	内容
70 代	中央	将来子どもが大田市に I ターンしても土地（農地方）など問わず今の考えを是正してもらいたい。I ターンしても土地がないと（家はダメ）

【教育対策】 12 件

教育対策		【学校誘致】 7 件
年代	地域	内容
40 代	仁摩	高校を卒業したら進学のためみな県外へ行く。一度県外へ出たらなかなか戻らない。学校が少ないのも定住しない要因ではないかと思う。
70 代	西部	専門学校等の創設や、企業誘致や起業の促進
40 代	仁摩	大学・専門学校の誘致(学部単位で)。駅前のパルを活かして。それにより、バイト人材も活かして企業も助かるのでは。
70 代	中央	高等教育機関の設置

教育対策		【学校誘致】7件
年代	地域	内容
60代	中央	大田高校一校だけでは外へ出ていくだけ。
60代	中央	若い人が帰っても仕事場がない。7ブロックに保、小、中学がなくなっている。一極集中になってるように思います。
50代	東部	企業誘致、商業施設の誘致、大学誘致

教育対策		【学校での定住教育】5件
年代	地域	内容
40代	中央	市外、県外へ出た人に大田市が何が足りないか聞いて問題、課題を出して対策しないと、いる人に聞いても無駄。小中高で地域のことをしっかり教育していくくらいしかないのでは。基本市議の仕事。
50代	東部	定住する事の大切さ等を、幼少から教育する必要があると思います。
60代	東部	卒業後、地元に残るような、高校の進路指導をしてほしい。
30代	仁摩	教育 しっかりと地域のことに関心を持った若者を育てる為の教育方法を考案する。
40代	三瓶	教育の充実(学力向上や子どもの社会参加の促進など)により、都市部より子どもの可能性が広がるようにする取り組みが必要だと思います。子ども若者の希望を後押しするような姿勢があるとよい。

【行財政対策】11件

行財政対策		【税金対策】3件
年代	地域	内容
80代以上	中央	大田市で育てた子供たちが都会で働いた税金を大田市に入る様にすべきだと思います。
70代	東部	子どもが育てやすいように、所得の少ない家庭にあらゆる所に免除してあげ、出生数を増してほしい。
30代	中央	固定資産税の減額。子育てするには安心できる病院があることです(小児科がすくない)。医療費が控除されていても病院が少ないと意味がない。

行財政対策		【行政改革(事業等)】3件
年代	地域	内容
60代	東部	人口減少は大田市に限ったことではない。行政が市民を騙すことなく、きちんと仕事をして信頼関係を築き、住みやすい町、住んでよかったと感じられるように取り組んでほしい。井の中の蛙にならず、謙虚であってほしい
80代以上	東部	若者の移住促進事業
60代	仁摩	他の自治体との差別化を図るため、何か「これ」という事業に重点を置く、予算、人員配分を行う。例えば大規模農業法人の設立(生産～加工～販売)に力を入れる。

行財政対策		【行政改革(体制等)】2件
年代	地域	内容
70代	東部	行政職員から年功序列給を改め、民間企業も〇〇給を推進する。〇〇給=発想、アイデアなどの提示。給料=自己申告。
60代	仁摩	行政のたて割りが継続する限り市民の意見、繁栄にはならない。行政が一本化するにはどうしたらよいか(医療、教育、産業、住まい) たたき台を出して意見を求めてほしい。このようなアンケートが一番みにくい、どうしたいのかわかりづらい。

行財政対策		【議職強化】1件
年代	地域	内容
80代以上	西部	市内の議職を強課する

行財政対策		【官庁誘致】1件
年代	地域	内容
80代以上	東部	官公庁とか大きな企業〇地方に移して頂き〇いと思います。

行財政対策		【市民の行政参加】 1 件
年代	地域	内容
70 代	中央	若者の行政参加(意見できる回数を多くとる)

【人々の交流】 11 件

人々の交流		【海外からの移民受け入れ】 11 件
年代	地域	内容
50 代	温泉津	海外からの移民受け入れ

人々の交流		【地域コミュニティ】 10 件
年代	地域	内容
70 代	西部	市全体として魅力があり活性化してゆくよう努力してほしい。若者が住みたいと思う町づくりを。広く若者の参加できるように。(高い敷居ではなく)
50 代	東部	地域産業のスムーズな世代交代や新産業の育成により、生きがい、やりがいのある生活ができる環境を作る事。大田市への愛着が持てるように、地域の良いつながりを維持する。
60 代	温泉津	若者等の意見や要望を出し合い、実現に向けて何が出来るか。行政と共に話し合い活動を進める。大田市の良さ、可能性を生かしたビジョンを出し合う、募集する。
40 代	東部	若者の意見を取り入れたまちづくり。若者が参加出来るイベントを積極的に開催する。
70 代	無回答	門 38 にも書きました。結局は「人」なんです。
60 代	中央	小、中、高での地域参加カリキュラム。
60 代	東部	若者の要望が聞ける場を作ること。趣味や遊びといった若者達が一番自分を発揮できる機会の場所とコミュニケーションの場を提供していく。居酒屋ミーティングの場と機会がたいせつ。
10 代	西部	地域の活性化
50 代	仁摩	空き家を活用し若者等が住みやすく安く提供する、いろいろなイベントを開催し若者を呼び込み、大田市を知ってもらう。(三瓶でドローン大会、オートサーキット)
40 代	中央	企業の呼び込み、若者が集まる場所づくり。室内公園。

【PR 対策】 8 件

PR 対策		【ホームページ SNS 利用等でのアピール】 6 件
年代	地域	内容
40 代	中央	SNS 等で独自性ある発信
70 代	温泉津	大田市の良さのアピール
70 代	東部	積極的に大田市の PR をホームページなどでする。そして I ターンを目指す。
50 代	中央	大田市の自然、歴史、文化など魅力を若者にうえるような SNS で発信し続ける。家族向け住居定住促進(20 年以上住んだら譲渡とか)併せて就労支援する。
30 代	高山	県外へのアピール。働く場の確保。
30 代	中央	田舎の不便さを逆に都会人にアピールする

PR 対策		【アトラクション、イベント等】 1 件
年代	地域	内容
80 代以上	西部	年代別アトラクション、〇〇形式の意見交換会(出来れば少講演会) 子供連れで参加型のアトラクション付きパーティー 未婚者による企画、演出の意見交換会

PR 対策		【自然環境】 1 件
年代	地域	内容
60 代	西部	在宅ワークが進む中、大田で暮らして働きたいと思える環境の良さをアピールする。自然環境の良さ(海にも山にも美しさが残る)豊富な山海の美味。子育てに適した人情。沢山あります。

【医療対策】 7 件

医療対策		【子ども医療費無料】 3 件
年代	地域	内容
60 代	中央	雇用問題、住居、医療、子育て支援、全部関連している(定住対策)。特に医療は問題があると思う。
50 代	西部	18 歳以下(学生)の医療費無料
60 代	仁摩	子どもの医療費の無料化

医療対策		【病院施設の拡充】 3 件
年代	地域	内容
50 代	西部	魅力ある働ける職場。企業、産業。高給与。期末手当。福利厚生の充実。病院、商業施設など市内で完結できない。隣市へ出かけなくても良い環境。
30 代	中央	固定資産税の減額。子育てするには安心できる病院があることです(小児科がすくない)。医療費が控除されていても病院が少ないと意味がない。
40 代	西部	保育、医療の拡充

医療対策		【夜間救急の拡充】 1 件
年代	地域	内容
30 代	西部	子育て商品を扱う商業施設の充実。市立病院の夜間救急の体制を見直す(救急なのに電話をしてから来てくださいと言われた事に驚いた。子育てする上で心配)

【少子高齢・障がい者】 2 件

少子高齢・障がい者		【介護支援や障がい者支援】 1 件
年代	地域	内容
60 代	中央	例えば、一人親世帯や障がい児世帯などと主眼に置いた定住支援策 支援のため親が働いている間の児童を預かる等の市民の協力機関の政策等

少子高齢・障がい者		【高齢化対策】 1 件
年代	地域	内容
60 代	中央	少子高齢化は現実として、私たちの生活を脅かすものとなっています。子どもは都会にいて仕事が忙しく、半日以上もかけてこの地元に戻って来ることは厳しいようです。頼る親戚も近くにいないければ、必然的に残る選択肢がない訳です。

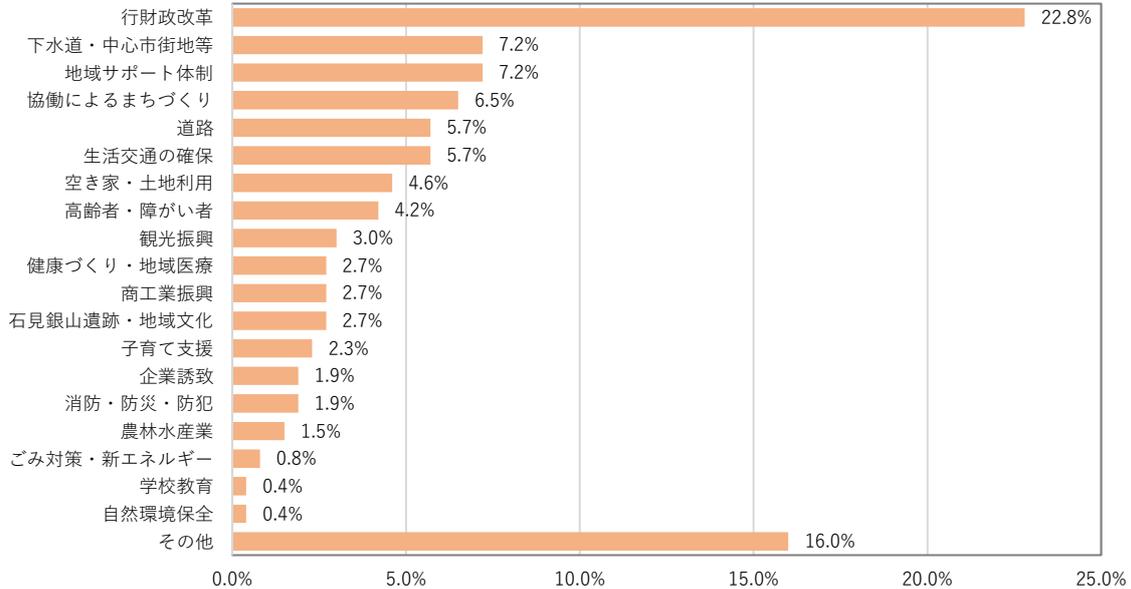
【その他】 11 件

その他		【大田が好き、住みよい街にして欲しい】 1 件
年代	地域	内容
70 代	東部	うちの孫達はこの大田が大好きです。定住対策…やっぱり働く所に限られる〇〇。大田はさびれていけばっかりでコロナ禍なんとも言えませんが子供達が明るく、住みやすい町に願います。

その他		【魅力的な街になる必要がある】 1 件
年代	地域	内容
70 代	西部	若者が定住したいと思える魅力的な街になる事必要だと思います。

その他		【市外からの通勤者に意見を聞いてみる】 1 件
年代	地域	内容
70 代	中央	わかりません。市外から通勤している市職員の人達に、なぜ大田市に住まないのか…を聞いてみたらヒントがあるかも。

問38 これからの大田市のまちづくりに必要と考える取り組みや市に対するご意見、ご提案などがありましたら、下記へご自由にお書きください。(自由回答)



(n=263)

【意見の詳細一覧】

内容	件数
行財政改革	60
市職員の教育・質の向上	16
財源の確保	5
市職員の削減	5
市職員の採用	3
税金負担の改善	4
窓口対応の改善	3
支援金等の確保	2
PR活動、情報発信、取り組み	11
行政サービス向上	11
下水道・中心市街地等	19
パル跡地の活用	4
上下水道の整備	3
大田市駅前開発事業の推進	10
水道料金の改善	2
地域サポート体制	19
自治会の運営維持・充実	7
人間関係の形成	8
地区集会所等の環境の充実	4
協働によるまちづくり	17
市民がまちづくりに参加しやすい仕組みづくり	3
市民との一体的な取り組み	13
ボランティアやNPO等	1
道路	15
高速道路の早期完成	6
歩道整備	4
道路整備	6
生活交通の確保	15
公共交通の充実	15
空き家・土地利用	12
空き家・空き地対策	11
土地対策	1
高齢者・障がい者	11
福祉の充実	2
高齢者の人材活用	4
高齢者の自立支援	2
高齢者施設の充実	1
高齢者の安心生活	1
生きがいづくり	1
観光振興	8
石見銀山・三瓶山等の観光資源の活用	2
観光・宿泊施設の充実	2
ごいせ仁摩の活用	4

内容	件数
健康づくり・地域医療	7
大田市立病院の運営の改善・充実	3
医療機関・体制の充実	3
健康増進・医療費の削減	1
商工業振興	7
大田駅前通りの活性化	2
施設等の充実	3
地域産業の振興	2
石見銀山遺跡・地域文化	7
石見銀山の環境・文化の保全・活用	7
子育て支援	6
子育て支援の充実	6
企業誘致	5
企業誘致の推進	5
消防・防災・防犯	5
災害時の避難場所の確保	2
安全・安心なまちづくり	2
災害時の迅速な対応	1
農林水産業	4
農林水産業の振興	2
鳥獣被害対策	2
ごみ対策・新エネルギー	2
ごみの分別・収集・リサイクルの周知等	2
学校教育	1
大学の誘致	1
自然環境保全	1
自然環境、文化を活かしたまちづくり	1
その他	42
働く場の確保	10
アンケート調査の活用	7
活気・魅力のある大田市の自立	1
銀山テレビへの意見	2
大田市の将来が不安	5
市職員への励まし・感謝、市への感謝	4
その他	13
合計	263

【行財政改革】 60 件

行財政改革		【市職員の教育・質の向上】 16 件
年代	地域	内容
40 代	中央	取り組む人とまったく関心のない人との差が激しすぎる。市の職員の方も親切な方とそうでない人の差があります。採用の方法や教育を徹底して下さい。
40 代	中央	流行している言葉を議会質問ばかりしている市議はいらない。定数足りなくても選挙して一定数とれない人は落ちてもらわないと説明会と届出日で就職できてしまう。定数が多いのでは？満足かどうか聞くのはいいが方向性を聞くのは行政の怠慢。市民参加で同じ人ばかり(良識のある人)。いろいろな事に参加しているので考えが偏ったり地域の良い面や悪い面になってしまう。いろいろな方法でたくさんの人に参加してもらおう仕○づくりが必要なのでは。
60 代	西部	大田市に対して、職員の方々、又、私達も、意識改革が必要と思います。だれかがする、意見を言うのではなく、もっと、いろんなことに参加する。意見を発表する場があれば？
80 代以上	東部	大田市職員は市民の意見を聞いて実行してください。フォローアップも忘れずに回答してください。(言ったことに対して責任を持ってください。)特に弱者の気持ちを大事にしてください。
50 代	西部	建物ばかりを建てて、空家にして、財生の無駄使いそのもの!土地整備をしても、空地。市職員は、もう少し外にでて、移動、出張等のサービスをしたら、職員、たて物の削減につながると思う。これからの企業を誘致すればいいと思う。現状では、若者の定住は無いに等しいと思う。公務員は、〇〇〇〇で、給料が増えてくるが、一般企業は、手取りは 10 万以下だし、正職員では就職できませんし、まず、自分一人の生活が難しい。その前に就職先ありません。老人は増えてばかりで、ダメです。
70 代	無回答	竹月安市政は酷いもんでしたなあ。新聞に投稿しても知らんぷり、手紙で直訴してもなしのつづて。梶野市長さんには〇〇〇と見識のある市政を願います。
70 代	東部	市職員数の見直し。能力向上と意識改革
60 代	西部	まちセンが、地域の自治リーダーとして機能する事!!(村役場)行政事務等の取りまとめも、自治活動の一環であり、市職員のお手伝いではありません。職員さんの横着でなければ、きちんと目的を知らせること。また、まちセン職員に求める能力も含めて、しっかり活かす政策をしないと、施設管理係程度に思えてしまう。
20 代	中央	市の方への意見として市職員の方の対応と態度に不信感を抱える時が市役所へ足を運ぶ際にとっても強く感じます。(市職員の方すべてとは言いませんが)呼び掛けでも出てこれなかったり、嫌な態度をされたりとすごく不信感を覚えてしまいます。まちづくりもわかりませんが、先ずは市の職員の方の教育や接遇に力を入れていただきたいです。若い人への定住、移住へのまちづくりを期待しています。
70 代	西部	職員の資質の向上、縁放採用はしない。もっとえりを正して給料に見合う働きを市長以下全職員に求めます。勉強不足・知識不足・思いやり
40 代	中央	市の若い職員の人たちが頑張っているのだからこれからどんどん良くなると思います。熱意のある人、心ある人が増えたように感じて本当に嬉しいです。彼ら彼女らはプライベートでも家族、地域のことなど本当によくやってくれています。疲れをためないように適度にリフレッシュ休暇をとって無理なく働けるようにしてあげてほしいです。
70 代	三瓶	何故国政を司る自民党国会、県会、市会議員がこれ程多い中で全てが良く成らないのか大不思議だ。何をしとるんか議員たちは！！
70 代	仁摩	市職員の本気度が感じられない。
60 代	中央	錆れた駅通りなのに今後中心市街地と言わないで欲しい。人も歩いていない、車の通らない寂しい駅前通り。市職員はすれ違っても相変わらず挨拶をしない。市役所はサービス業と言う事が分かっているのか。
60 代	中央	各課の課長以上は、全体の課との共有が必要。学校を失くすではなく、残す努力が必要と思います。町づくり委員会 12 年間で終り公民館となくなり、それで町づくりははずかしいその他で議員さんは 16 名でいいと思います。
60 代	西部	まちづくりは大切ですが、その前に挨拶をしっかりしてください。後、退職した人の再雇用は、おかしいと思います。
行財政改革		【財源の確保】 5 件
年代	地域	内容
60 代	東部	予算がないとばかり言わないで、何か知恵をしばって大田市の行政を行ってほしい。
50 代	その他	大田市が何を指そうとしているのかわからない。財政難であるなら何に力を入れるか明確にして、市長にも理解してもらえるよう説明し、市民と一緒に進めるべき。
40 代	西部	若者が帰りたいと思えるような町づくりをしてほしい。無駄な出費を控え、適確なお金(税

行財政改革		【財源の確保】 5 件
年代	地域	内容
60 代	高山	金)の使い方をしてほしい(人件費、工事費など)。柔軟に物事を考え判断してほしい。出来もしない計画作成してもお金の無駄です。市職員(市長も含む)はすぐに市にお金がないと言いますが、節約しているのでしょうか? 担当の石飛さん、阿部さんこのアンケートで残業代を稼いでください。
30 代	仁摩	・年齢に応じて段階的に税金を割増しする。・納税状況に応じたサービスを考案する。・商店街はネット価格に対抗できるくらいでないとい未来はみえません。

行財政改革		【市職員の削減】 5 件
年代	地域	内容
50 代	東部	議員数の減少(質の問題)
40 代	仁摩	市の職員を減らせばよい
60 代	仁摩	職員のリストラ。〇〇が出来ない職員は大田市行政の無理、無駄に貢献している。劣勢遺伝を排除すべきです。民間が行っているのに行政は何故しないのか。
70 代	中央	1.市職員、市会議員数が多いと思われます。業務内容の見直し、改善攻めの仕事をしてほしいです。2.石見銀山、世界遺産、三瓶山など観光資源に非常に恵まれています。もっと PR する必要があります。
70 代	中央	市職員を減らす。島根中央を大切に。市議会議員を減らす。家族記入。

行財政改革		【市職員の採用】 3 件
年代	地域	内容
50 代	東部	USJ を V 字回復させた方に行財政の V 字回復案をお願いしてみる。(一般的な案では、無理だと考えます。)
50 代	中央	市職員等広い地域から公募すること 商業施設他、他地域からくることを反対しないこと。消費は町内になれば出雲に買いに行くだけ
60 代	西部	大田市独自のアイデア、他所のまねではなくそのためにはユニークな人材の採用を。採用試験の見直しなど。大田市駅を降りた時の前面に広がる空間、見晴らしの良さ、一方通行の改善など。JA と協力して耕作放棄地の有効活用など。

行財政改革		【税金負担の改善】 4 件
年代	地域	内容
40 代	中央	ご苦労さまで。今後も施策面の方など、今にもましてよろしく申し上げます。またコロナ禍で生活も大変と思います。税金等他の負担が少しでも楽になればと思います。
70 代	西部	大田市民の年収は全国平均より低いと思う。今まで以上の住民負担で発展を考えるのではなく軽減策を考えてほしい。介護保険料、国民健康保険料の軽減を国へ意見を挙げてほしい。高齢者の健康寿命を伸ばす策、再生可能エネルギーの実現、交通の利便性の策を実現するための雇用の場を増やし循環する経済、豊かな暮らしを考えてほしい。
70 代	仁摩	公共サービスが低下しない様、税負担なども見直して考えてほしい。
80 代以上	東部	市長は大田市の西の温泉津、福波にさえ普段おいでになった事はない〇〇よう。夏になると道路はものすごい〇、落ちそうな橋もあり旧温泉津町ではこんなことはありませんでした。高いのは税、水道代など住みたくない市である。

行財政改革		【窓口対応の改善】 3 件
年代	地域	内容
60 代	東部	近年クレマーが増えていて聞いています。心折れることなく自信をもって職務に励んでください。
60 代	中央	現市長になられてから大分方向性が見え始めたと感じます。市役所に行った際、職員の表情が暗いと感じるのは私だけでしょうか? 行政の明確な方向性を職員全員が共有し、もっと明るくテキパキとした対応を期待します。
40 代	西部	夜間に書類取得ができるなどの窓口を作してほしい。屋はなかなかいくことができない。市職も昼休憩などで人が少なく対応が遅い。週に数日でも窓口が開設されると助かる人があると思う。

行財政改革		【支援金等の確保】2件
年代	地域	内容
20代	温泉津	コロナ禍でも働いていた(保育士、介護士など)に、もっと手当てをあげてほしい。18歳未満だけでなく、専門学生、大学生などにも手当て、支援が必要だと思う。大田市に住んでよかったなと思えるメリットがほしい。
60代	その他	大学生、専門学生への支援が自宅からの人には(通学)支援がされていないのは不公平だと思います。身近に自宅から通って、バイトして、それでも大変な学生さんが居られます。コロナが原因でバイトも出来なくなったり…。前回の支援金(18歳以下)ですが、「子どもの居る家庭ばかりが苦しいわけではない!!」と町の声が多く聞かれました。

行財政改革		【PR活動、情報発信、取り組み】11件
年代	地域	内容
80代以上	西部	大田を住みやすく…は、一人ひとりの意識に関っている。多くの人に関心や興味持てよ事を、PRしては。買物や、病院受診も出雲に流れる人が多く、中心市街地も寂れ衣類を購入するのも困って。ete上手に書けません。
60代	温泉津	・地域格差が生じない大田市であってほしい。・よそのやっていることではなく大田独自の取り組みをお願いします。
70代	西部	・全市民がわかるように情報を発信してほしい。・スリム化が必要と思う。・危険な空家の法的かつ真剣に対処してほしい。
50代	東部	新型コロナで中止になったイベントが多く、その分町の魅力や特徴が無くなり、愛着がわきにくくなっている。楽しい思い出がたくさんある町になり、皆が愛着があり大切にしたい町になるように中日さん、花火、地域の運動会、天領さんなどのイベントの復活のための支援をコロナ後、または治まっていなくても早めから皆の気持ちが冷めないうちに重点的に取り組んでほしい。町の力に任せず、市の行政の支援がないと動かない。
70代	中央	気楽に意見、提案をどのように、どこでできるの?よく知らない。
70代	西部	広報誌の字が小さくて読みづらいので改善を(このアンケートも太字はよいが表中の字は細い)
50代	仁摩	災害などがあった時に状況などを確認したいのですが、新しい情報がなかったと思います。市外へ勤務している人も多いと思います。近隣の市町村へ行く時に通行止めとかの情報を早く出して頂きたいです。
50代	仁摩	少子高齢化を迎えるにあたり、市行政として市内企業、NPOなど「地域を支える」協議を加速させることが必要。市民の不安はどんなものであるか、もっと明確に公表し市民も一人一人考えることが大切だと思います。
30代	高山	・広報の字が小さいので読みにくい。お年寄りには読めないと思う。・アンケートが長い。・観光できるところを増やす。もう少しPRした方がいい。・雨の日でも子供が遊べる場があるといい。
60代	西部	市のホームページを開いても、必要な項目になかなかとりつけられないことが多々ありました。改善を要望します!!
30代	高山	どんどん You Tube、Twitter、Instagram で発信をして宣伝をしてほしい。

行財政改革		【行政サービス向上】11件
年代	地域	内容
80代以上	三瓶	市民の福祉行政の連絡、迅速で安心をモットに勤めてほしい。すべての機関でサービスの向上を望んだ
60代	中央	市民との対話
60代	中央	大田は過疎が進んでいますが、それだからこそその人の付き合いやかかわり合いを大切にできる町、少人数だからこそできることを見つけていく。行政という仕事はとかく、やって当たり前、できなくて批判、となりますが、本当はすごいお仕事だと思います。どんな小さな仕事でも、きっと誰かを助けていると、思うのです。体日、夜間、誰からもほめられなくても黙々と仕事をしている人達もおられます。そのおかげで私達はちゃんと暮らせています。誇りを持って取り組んで下さい。
60代	中央	大田市の行政運営に予軟さを求めたいが、国・県の意向が方針決定に強く作用しており、市独自の取り組みには、いつも限界を感じている。
50代	中央	無理をしても行政は続けられない
60代	仁摩	活用されていない施設やちょっとした休憩施設、遊具が見受けられます。維持・管理等あると思われるので、安く販売撤去しコストを減らす等、未来を見据えた施設づくりを期待しま

行財政改革		【行政サービス向上】11件
年代	地域	内容
		す。はび得チケットが Go to eat と金額が変わりません。少額でも安ずくする事で、Go to より優位性を持つチケットであれば、良かったですね。
60代	西部	大雨で市道の一部が破損した情報を名前を言って連絡したが、数カ月たっても何の連絡もない。市職員の意識改善が必要。まちづくり、自治会活動などで色々な役が回ってきて大変だ。健康増進課に PCR 検査を行っている所を尋ねたら、把握していなかった。中央保健所も同様だった。ケアマネの情報で病院を探して見つかった。
70代	東部	ほかの市町村に比べて何もかもが遅いと言われているのをよく聞きます。いつも何故? どうして? と思います。どこがそうさせているのかと思います。
70代	西部	40~50手前にきまったことを新しくきまりに作ってほしい。
40代	中央	行政サービス充実しています。いつもありがとうございます。12才以上のコロナワクチン集団接種も早く、とても安心してすごせます。市職員のみなさんのおかげです。少しでも市職員のみなさんの負担が減りますように。
60代	東部	基本計画が多すぎて、全てが中途半端になってしまう。本当に必要で、行うべき計画に全力投球して欲しい。

【下水道・中心市街地等】19件

下水道・中心市街地等		【パル跡地の活用】4件
年代	地域	内容
60代	西部	景観も重要だと思います。駅前に立った時目前にパルの跡地や駅通り商店街の中でも目を覆いたくなるような廃屋など市民が嫌がっている所は観光客の方などはもっと嫌だと思います。
40代	中央	パルが廃屋となり、大変さびしい感じになっているので新庁舎の移転先にして欲しい。(他に活用法などない気がする。)
60代	中央	大田駅前広場の有効活用 (パル跡地)
50代	東部	駅前のパルが、長年そのままの状態になっている駅前ということで、景観がよくないと思われる対策をお願いしたいと思いますゴミの分別が高齢者にとって、とてもわかりづらいですもっとわかりやすいものを考えていただきたいと思います

下水道・中心市街地等		【上下水道の整備】3件
年代	地域	内容
80代以上	中央	市の町中が中心に目を向けないと町は荒れ放題です。浄化槽もいつつくのかわからない。水道本管も通ってない 水道管も外に出されたまま市は道の下に入れると言うものの個人になければここ 18年も待っておりどうにか出来ないかと書かせてもらいました。
70代	東部	側溝の清掃を市で行ってほしい (高齢化し側溝のふたが重くてとることができず、砂等がたまり衛生上よくない) 上下水道の完備
40代	西部	水道関係の整備。家庭によって水圧の違いがあり、非常に困っています。どうして水圧低下が発生するのでしょうか? 水圧が一定せず本当に困っています。

下水道・中心市街地等		【大田市駅前開発事業の推進】10件
年代	地域	内容
80代以上	中央	大田市駅通りがもう少し商店街として見た目もきれいになり賑わいを取り戻してほしい
60代	東部	大田市駅周辺の再開発に重点を置いてほしい
50代	仁摩	JR 大田市駅前の再開発。駅前エリアが現状のままだと市全体が活気がないように感じるため。
70代	西部	大田市駅前、商店街の賑わいがほしい。
70代	温泉津	大田市駅前周辺を整備し賑わいを取り戻してほしい(パル跡)
60代	中央	中心となる大田市駅周辺が、何も開発もされず、人通りもない状態が続いています。パル跡地も行政の力で何とか出来ないでしょうか! 駅前開発もすすめ、企業誘致して下さい。
70代	東部	世界遺産のある大田市なのに大田の駅を出ると、なんともさびれた活気のない町で、昔の方がずっとずっと活気があったような気がします。
80代以上	中央	j r 大田駅が市の玄関としていかにも寂しい。私が大田市民となったら 50 年余り前とほとんど変わらない。j r、商工会、市が一体となって大森銀山だけではなく大田市を作り上げ

下水道・中心市街地等		【大田市駅前開発事業の推進】 10 件
年代	地域	内容
		てもらいたい。
80 代以上	仁摩	駅前開発を早く進める必要がある。
70 代	中央	大田市駅前の商店街の活性化が急がれる。各商店は駅前の大型店(誘致すべき)に出店すればよい

下水道・中心市街地等		【水道料金の改善】 2 件
年代	地域	内容
80 代以上	仁摩	・市は県の中央に有り、すべての環境には恵まれている。不足しているのは何か？人間力(創造力、意欲、つながり等皆で考えてみよう)。 ・駅のさびれ、自動車教習所の移転(老人は矢上、出雲等へ行くのは??)等。 ・税金、料金(水道等)何故高い？ ・財せいがゆとり有る政策は何か？ *選ばれた市職の皆さんのリーダーシップ、やる気に期待大なり！
60 代	西部	水道代の値下げを希望します

【地域サポート体制】 19 件

地域サポート体制		【自治会の運営維持・充実】 7 件
年代	地域	内容
30 代	中央	地域再編は実行不可能だが、このままだと自治会運営ができなくなる地域が増える。行政の吹くラッパに顔を出す人材はいずれ年老い動けなくなる。誰も反応しなくなるか、仕方なく返事だけするみたいなことが生じるのではないかと不安!
70 代	西部	荒地、休耕地、草ボウボウ、毎年のように増加している!!人手不足!!淋しい。若者に余裕のある仕事が出来、土日に地域活動に参加出来るような仕組みができると良いと思う。
80 代以上	西部	街づくりに必要とされる取り組みは、各地域のつながりが大切だと考えます。それには自治会等の隣人同士の小さなつながりから生まれるのではないかと思います。難しいと思わずに若い力で楽しい交わりができると嬉しいですね。
60 代	東部	・地域の祭り、イベントが衰退している。コミュニケーションが不足している。自治会活動が地域主体ではなく、行政提案が多いと感じる。 ・若者たちが気安く集う場を地域に提供して会話の機会を作る。年配者が若者を応援して活性する地域を目指す。市としてはそれを支援する若者目線での対応を求めます。
40 代	三瓶	小さい自治体なので、特色ある思い切ったまちづくり、シビックプライドを育てる発信が必要だと思います。
70 代	西部	地域活動の活発化を図るため、自治会加入者(特にアパート入居者)を行政側で積極的に行う。安心・安全なまちづくりのため、子育て支援と高齢者、特に独居高齢者への医療福祉の配慮。物理的まちづくり～空家対策で地域活動での活用方法も考える。問 26 では「広報おおだは全戸配布による浸透性も高いことから」と記載されているが、自治会では自治会加入者のみに配布している。アパート在住者は未配布であり、行政は個々に配布しているのか？または個々の居住者が受取りに来庁しているのか？
30 代	東部	単身者が居住しているアパートなどでは、ペットボトルなど一部のゴミは回収してもらえず自分で持ち込む必要があったり、広報や議会だよりが配布されなかったりと、市制の情報はいづらかったり、少し暮らしに不便があると感じるので、それが解消されるといいかと思ひます。

地域サポート体制		【人間関係の形成】 8 件
年代	地域	内容
80 代以上	中央	なによりも市民〇生の〇れた信頼感のある人間関係の醸成です。そのためには、それを促し育む情報や刺激が必要です。互いに教わることであり、なおかつ市行政からの適切な情報提供や心温まる対応を今後も切に望むところです。
30 代	高山	排他的な気質を年配者が改めない限り人口増は見込めない。
70 代	高山	ひとり住まいの高齢化へのコミュニケーション
80 代以上	西部	(1)過疎化の原因は何か。 ・イ、どうすれば良いか。口、人口を増やすには。 ハ、地域住民の意識改革が必要。 ニ、人材育成が必要(個人、家庭、学校、自治体)。 昔の日本人は謙虚で粘り強さがあつた。今の人間はその場だけ自分さえ良ければなが増えてる。9割がそういう人間になった。 ・人の振り見て我が振り直せ(昔の諺)。(2)まず市議会議員は(15名で良い)。9割の議員が議会だけの議員でいる。 ・削減(歳費)を使って空き家の立地の良い家などを修理

地域サポート体制		【人間関係の形成】8件
年代	地域	内容
		(リフォーム)して、他県からの移住者を求める。(残りは入力出来ませんでした)
80代以上	東部	少子化で(高齢者)今はめぐまれてるけど先はどうなるだろう。(めぐまれすぎた)…なれて。地域コミュニティもうすく、不安デス。(85才)高齢者。?ない。
50代	中央	市のためにいろいろ考えていただきありがとうございます。1人1人が自分の出来ることで支えあい、生活が充実していると考えられるようになれば良くなっていくのではないかと思います。
80代以上	東部	病院もなく、店もない。自動車にも乗れない高齢者。高い交通費を払って遠く行くその体力もなくなって。
80代以上	東部	まちづくりセンターで週一回、高齢者集いの場があります。係の方、ボランティアの方が多方面で良くしてくださり感謝しております。週に一回、高齢者向けの体操があれば良いのではと思っております。(現在実年向けはウォーキング協権が行われております)

地域サポート体制		【地区集会所等の環境の充実】4件
年代	地域	内容
70代	西部	・高令者にとって、何かとスマホでされるが、スマホを買っても、買った店が〇〇がなく、店内で聞くだけではわからないため、市の方でスマホ教室を作ってほしい。使い方がわからなくては、どうしようもないため。・各地域に会館が作られている事が、人と人との出逢いをなくしていると思います。少し〇ろした方がいいのではないのでしょうか。又同じ人が使用され新しい人が使う時、使用出来ずにあきらめていました。以前のように沢〇を守り、使用される方の方法を考えてほしいと思います。(サンレディー、公民館など)
80代以上	仁摩	健康ではないのですが大田まちづくりセンターへ毎週一回高齢者通いの場に出かけて皆様との出会いを楽しみにしています。送迎もしていただきボランティアの方に助けていただきありがたく思っております。これが出来るのも市からの補助があるからですよと聞いております。ありがとうございます。
70代	西部	大田のふれあい館のような利用出来る、仁万近辺に同じような集まりの出来る場所を提供してもらえば利用しやすいし近場の者としてありがたい。ミニサロンもいいけど物足りない。
60代	仁摩	身近な地域での行事、事業に対する予算を多く付けてもらいたい。子どもや老人は身近な地域での行事などには参加しやすく、ひいては諸活動への参画へとつながって行くと思う。

【協働によるまちづくり】17件

協働によるまちづくり		【市民がまちづくりに参加しやすい仕組みづくり】3件
年代	地域	内容
40代	中央	都会のやり方に惑わされずに、大田ならではの(田舎であることを逆手に取るなど)の方法を市民と行政が共に考えながら、大胆かつ丁寧な町づくりを進めていく。
40代	東部	大田を盛り上げようとしてくれている人の多くは県外からの移住者や地元の出身者ではない方が多いような気がします。大田市民はそれに頼って自分たちが積極的に動こうとしないように私は感じます。メガパンさんという邑南町出身の方で現在は大阪を拠点に「アーティスト鍼灸師」として活躍されておられる方が地元を元気にしようといろいろな活動ができていないかを考えておられます。私もメガパンさんと一緒に今回活動してみようと思っております。今後もしかしたら市の担当の方や観光協会、商工会の方にもお会いすることがあるかもしれませんがその
20代	中央	若い人たちが楽しく生活できるような市にしてほしい。若い人たちでの集まりとかあると嬉しいです。

協働によるまちづくり		【市民との一体的な取り組み】13件
年代	地域	内容
70代	東部	一昨日のニュースでサッカー本田圭佑氏が子供達が学ぶサッカー事業をこの島根でとのニュース、一瞬ワクワク感を感じました。この大田の地にも著名人の方がたくさんいらっしゃいます。この年寄りには、ただただ孫達の時代がいい道になる事を願います。
80代以上	東部	地域の発展を行政と市民で最強の協力がどういう風にすればいいか、なかなか自分にはわからない
60代	西部	出生数n増加は今後期待が出来ないので転入数を増やす施策を官民で考えてほしい。
70代	中央	出来ないではなく、誰も自分が出来る事を探しましょう。一人一人が登り上げていく事が大

協働によるまちづくり		【市民との一体的な取り組み】 13 件
年代	地域	内容
		切。借金(市の)を多く作らないでください。
50 代	高山	今後孤立する集落が出てきます。スマートシティを目指して進むのかの判断をしていかなければならない。インフラ整備が重要と感じる。
80 代以上	中央	まちづくりセンターを行政及び地域の拠点として人材を更に深く考えていくべき まちづくりセンター運営委員 10 名程度など認識 見て実際にまちづくりセンターにどのように関わっているのが再三検証すべきだと考えます。
60 代	東部	良い所はいっぱいあるけど生かされていない様でもったいない気がする。小さなことでも大田市はこれと言えものがあれば良いと思う。
70 代	中央	日中、若い人が市内を動くまちづくりを目指す。
80 代以上	中央	一度大田市を離れた者が、やっぱり故郷へ帰りたいと考える市でほしい。高齢者になったら田舎へ帰りたいたいという声は最近が多い。
60 代	中央	市長の声と考えを市民(一般)の事業で。
60 代	東部	社会人としてこの大田市での活躍を期待するのではなく中学高校生時代に様々なイベント実行委員に入ってもらい企画、運営に参加協力体験してもらう
20 代	中央	人口が少ない、子供が少ない、という点が何を進めていくにしろネックになると思います。市民として何ができるかも考えていきたいと思います。
50 代	高山	とにかく活気の失われた市だと感じる。活力のない街には若者は定住しない。雇用も少ないためなんらかの対策が必要。

協働によるまちづくり		【ボランティアや NPO 等】 1 件
年代	地域	内容
60 代	中央	・市民の独自の NPO 法人(全国でもないような企画)を発足を期待します。・空家と農地のふんだん活用及び提供を安い値段を県外へ発信。不動産の活用。

【道路】 15 件

道路		【高速道路の早期完成】 5 件
年代	地域	内容
	中央	山陰道が開通すれば、出雲、松江へ通勤可能となる。大田市では住む所と税制面でもインフラ(水、電気、ネット環境など)面でも都会地より魅力的にすれば定住する人が増えるのではないかと。海も山もある自然は魅力の基礎としてあるので。
60 代	中央	水道料金値下げ。広島に抜ける高速化。
80 代以上	中央	現在、高速道路が開通していません。三年後には山手の方、五十猛より今の 9 号線を通らず出雲の方へ行くと今の 9 号線はさびれる一方です。何とかして今の大田の町の 9 号線がさびれないようにしていきたいものです。大森、三瓶と大いに宣伝してほしいものです。県も含めて。三瓶の山から出雲ドームも見えますよ。
60 代	中央	2、3 年後に高速道路が開通すれば交通の便が良くなり、大田市のも人の流れが変わる、変えられると思います。この高速道路が開通することによって何をしたらいいかわかりませんが、大田市が住み良い町になる様に考えていただければありがたいです。
60 代	中央	高速道路開通後の地域活性化への取り組み

道路		【歩道整備】 4 件
年代	地域	内容
80 代以上	中央	・久手まちセンは建物が古いので地震等の災害時の避難に不安。・通学路、歩道の整備(久手町)
80 代以上	中央	小学校の通学路が危険な状態なのになかなか直してもらえない。問 35 で 1 を選んだことが 1 番で都会へ出て田舎帰ってきたから 30 年前の東京と大田市の差です。運転免許も返納したいのですがなかなかできません
	中央	横断歩道のマーキング消滅ヶ所の再マーキングに早急に取り組んでほしい。(理由、横断中に車が人をよけて通過するので非常に危険である。)場所大田市久利町市原先市自治会内、岩石宅前の横断歩道
20 代	東部	通学路の歩道もう少し安全に安心して通行できるようになれば歩行者も運転士も安心だと思います。

道路		【道路整備】 6 件
年代	地域	内容
40 代	中央	9 号線から三瓶方面への道路、アクセス
80 代以上	温泉津	何年か前に出来た道路ですが、途中止まりで意味がありません。(柴町高禪寺線)
40 代	中央	この時期、もっと迅速に雪道対策を行ってほしい。(融雪剤の散布、除雪車の出勤などなぜ市内に散布しないのか。危険なところがたくさんある。)
70 代	中央	道路の整備
70 代	西部	大きな道路の整備も必要だが、細い道路(ガタガタ道)を利用している住民へも目を向けてほしい。同じように住民税を払っている…。
60 代	西部	1.道路整備事業が公平でない！ 2.スサノオ一族の出身の場所として大屋を観光の一つとして売り出してもいいのでは(大屋の波多野さんという方がよく知っておられます)「スサノオは鬼だった」を検索してみてください。+カグラでおもしろいですヨ。大屋の〇〇神社はすごいですヨ。大森の世界遺産だけでなく。

【生活交通の確保】 15 件

生活交通の確保		【公共交通の充実】 15 件
年代	地域	内容
80 代以上	温泉津	・ 駅周辺の整備。・ 交通(バス)機関の見直し…大型バス→小型バスへ石見交通との対応を。・ 過疎地の高齢者対策を今どのように市として実施されているか知りたい。
80 代以上	東部	年よりは交通が不便でみんな困っています。
60 代	東部	高齢者の数がこれから増えていくので必要なのは、交通事故に巻き込まれるかもしれないし起こすかもしれない。自由に移動できるようにしてほしい(いつ車の運転が出来なくなるかわからないので)
60 代	東部	大田市内へ安く行けるハイエースくらいのコミュニティバスの運行をお願いします。軽く飲みに行きたい。
50 代	仁摩	高齢化が進み免許返納した者は公共交通機関を利用するのだが、利用しにくく不便である。特に山間部に住んでいる人は病院、買い物(食料品)に行くのが大変である。また大田市はイノシシ、猿などの畑、作物への被害が多く困っている。
80 代以上	仁摩	13 バスなどの公共交通がこれ以上縮小されない様に。今回、運転免許返納によるタクシー1 割引がなくなりました。助かっていた(高齢者にとって)事が簡単に無くなる事が割り切れない事です。復活は出来ない物かと思えます。
80 代以上	中央	高齢となって免許は返上するので、通院、買い物などの交通の便が不安です。高齢になってからこの地に移り住んだので知合いなどが少なく、地域とのコミュニケーションも不安です。健康面の不安もあります。
70 代	中央	年々年を取っています。今は大丈夫でも、買い物、病院(マイカー)、今後はもっとバスなどの公共交通の充実を望む。
60 代	中央	高齢化が進んでいる当市では、一人暮らしや高齢者世帯が不安なく住めるような地域交通の充実、買い物支援、地域の助け合い、防災などを積極的に取り組むべき。
70 代	中央	今は車の運転が出来るので自由に買い物出来るが、数年たったら買い物も通院も人に頼まないと出来なくなり引きこもり状になるだろうと思う。出来たらコミュニティバスなどが廻って来るようになったらいいなと思っている。
60 代	西部	高齢化が進み持続可能な町づくりが出来ればと思います。買物、病院等車がどうしても必要ですが、乗り合いタクシーや移動販売車に来てもらうなどして、少しでも生活の不安がとり除かれることを願います。
40 代	西部	交通の利便性(高齢者の運転は危険と感じるが、近くに商店がなく、生活ができないため免許返納をすすめられない。)。移動スーパーを増やせたらいい。
80 代以上	西部	交通機関の充実。
20 代	西部	交通機関の改善、若者が立ち寄るような施設
20 代	中央	公共バスが大きすぎる。乗客数と見合っていない。ハイエースなど大型タクシーでいいと思う。

【空き家・土地利用】 12 件

空き家・土地利用		【空き家・空き地対策】 11 件
年代	地域	内容
70 代	中央	R3.12.31 市若手職員が構想練る。アイデアを話し合う研修会。人口減少や空き家の課題。
60 代	西部	空き家を活用してほしい。
30 代	中央	もっと移住者を増やすための活動を自分でも出来たらと思っています。行政では空き家をなくす努力をよりいっそう強めてほしいなと感じています。空き家は住民にとっても良くはないことですのでうまく活用できたら移住者も増えるのではと思います。大田市（富山町）が魅力的だなあと感じ、ターンしてきました。同じような人もいると思うのでここでの活動を市と共に頑張れたら。
70 代	中央	空き家や倒壊しそうな家が多く寂しすぎる。活気ある町になってほしいです。
60 代	仁摩	空き家対策として税制を変更した方が良い。
70 代	仁摩	老朽化した空き家が多くて、強風下に崩れそうで心配です。
80 代以上	東部	近所に何軒か空家がありますので、なるべく〇は歩かないつもりです。何とか国と市で対策を考えがえて頂きたいですが。
40 代	仁摩	地元企業に購入いただきリノベーションした物件をどがどがサイト等に掲示し全国へ発信。その自治会情報なども加えて情報提供し、定住支援強化。農業担い手不足に対し官民一体となでの取組み強化。専門学校・大学の学部単位での誘致。スポーツ施設の強化で県央での大会誘致。
60 代	中央	空家対策
50 代	高山	働く場を増やすことで人口も増える。空き家なども、発信することで目にとまり活用したり利用したりする人が増えると思う。大田市の魅力にもっと力を入れ、もっと押し出す。売りを作りアピールする。
70 代	東部	市内の空家を片付けてほしい。道路端の草刈とゴミ掃除。海岸のゴミ拾い。

空き家・土地利用		【土地対策】 1 件
年代	地域	内容
50 代	温泉津	取り敢えず、人口が増えないと、取り組みを考える事も出来ないのでは。広い土地があるのに移民を考えない手はないはず。

【高齢者・障がい者】 11 件

高齢者・障がい者		【福祉の充実】 2 件
年代	地域	内容
50 代	中央	介護、福祉の値下げ
30 代	西部	障害のある子（2 才）がいるが保育園に空きがなく（近隣のところ以外はあったが職場より 20～30 分かかる）現在も保育園に行けず悩んでいる。加配のいる子のため、また病気も多くあり探すのに苦戦するのではないかと探すのも大変です。年度途中の申込みだったためかもしれないが、障害のある子の親の相談も手厚くしてもらいたいです。特に保育園についてとても困った。現在自宅で祖母が見てくれています。（両親共働き）

高齢者・障がい者		【高齢者の人材活用】 4 件
年代	地域	内容
60 代	温泉津	自治会規模での多様な活動を後押しする。シニア力の活用を工夫する。
80 代以上	東部	大田市も高齢化が進み、私の周りでも感じますが、どうしたらいいのか思いつかない(自分が年を取ってきたから)。いろいろな人、行政に助けてもらいながら日一日と思い、〇ら淋しいこと悲しいこともあるけど明るい気持ちを持って進みたいものです。でも不安あり。参考にはならないと思いますが今の私の考えです。失礼致しました。
70 代	東部	高齢者といえども、週 2 日～3 日働ける体制作り。働くから給料をもらう、給料がもらえるから働く、どっち？
40 代	東部	・若者が働ける場所の確保。・賃上げ(安いから出雲の方へ仕事に行く知人も居ました。)・高齢者雇用の充実。定年が 60 や 65 でも今は元気な方も多いため。・市が会社を作って雇用の体制作っても良いのでは？(観光や、都会へ市の PR、地元農作の会社化など)

高齢者・障がい者		【高齢者の自立支援】 2 件
年代	地域	内容
70 代	中央	高齢化が進み、車がないと、生活できない地域が増え、生活に支障をきたすようになるが、タクシーを使ってばかりでは、大変であり、乗り合いタクシーとか、1 人暮らしの人の為、何か異常があれば、ボタンなどで知らせるシステムなどあれば体が動く間は、自宅で過ごせ健康を維持する事になるのでは?(特に農村部)
80 代以上	中央	高齢者が自立出来るよう自分のことは自分で出来るよう努力する事。次に介護関係にお世話になるよう努めることが重要だと考えます。私は現在島根 GB 協会の〇〇理事、そして厚生年金協会大田支会長を努め常に会員の健康づくりに努力するよう進めています。

高齢者・障がい者		【高齢者施設の充実】 1 件
年代	地域	内容
70 代	中央	低所得者でも入所できる老人ホーム施設がたくさんあればいいと思います。

高齢者・障がい者		【高齢者の安心生活】 1 件
年代	地域	内容
60 代	東部	・若者の定住が出来る大田市を作る。(人口増の為)・高齢者が安心して住める大田市を作る。(年金ぐらしで、定額の為)(市職員の皆様、ガンバッテ下さい!)

高齢者・障がい者		【生きがいづくり】 1 件
年代	地域	内容
70 代	東部	高齢者があまりにも多い為離れたがる。どうしていいかわからない。

【観光振興】 8 件

観光振興		【石見銀山・三瓶山等の観光資源の活用】 2 件
年代	地域	内容
60 代	東部	石見銀山、三瓶山、温泉津の観光の活性化 大田中心市街地での中日さん、天領さんなどイベントの復活 賑わいへの取り組み
70 代	三瓶	自然を利用した観光資源(三瓶山など)、スキー場、遊歩道、サイクリングコースの拡充、農林業者の後継づくり、安定した収入の確保(補助金など)、他地域とのアクセス(大田市～広島)高速道路の建設。

観光振興		【観光・宿泊施設の充実】 2 件
年代	地域	内容
30 代	中央	宿泊施設が少ない
40 代	中央	駅通りの活性化! パークの建設、ホテルの建設、観光客の定着

観光振興		【ごいせ仁摩の活用】 4 件
年代	地域	内容
70 代	西部	この再機会、いただきありがとうございます。中学卒業して、働いています。色んな人との関わり助けていただいたりして 76 才です。先きざき子供に、迷惑かけない様にと、日々頑張っているけど、中々楽な生活は夢の又夢のようです。子供達に、負担かけない様にと心がけております。大田市が今後少しでも飛躍できる事祈ってます。仁摩町の「ごいせ道の駅」成功祈ってます。
40 代	東部	ごいせ仁摩道の駅は赤字なら即廃止してほしいです。
80 代以上	東部	別の問題かもしれませんが、「ごいせ仁摩」? 道の駅については、何か住民としてすっきりしません。大田市の不安の種子でしょうか?
60 代	温泉津	仁摩に道の駅が建てられました。道の駅をとて魅力のある、集客を見込めるものにしなないといけないと思います。大田市には、水産品(あなご他)が多数ありますので、それを PR して集客する。又、野菜などもほかの地域にはないものを生み出して多くの人が集まる道の駅にする。「仁摩の道の駅に行きたい」と思わせる!! 日本全国の人気の道の駅に名を連ねて欲しいものです。

【健康づくり・地域医療】 7 件

健康づくり・地域医療		【大田市立病院の運営の改善・充実】 3 件
年代	地域	内容
40 代	三瓶	もっと明るい大田市になってほしいです。大田市立病院が建て替わったが、医師が常にいるわけではなく何かあったときに不安である。大田市にお金をおろしたいと思うが、限られた店しかなく出雲でお金を使う。もう少し発展した大田市になってほしい。どんどん必要な物がなくなり、これ必要？って物もみられる。子どもが遊びやすい場所など、どんどん増えてほしい。
60 代	温泉津	定期的に市立病院受診をしておりますが、毎回支払いの所でかなり待たされて困っています。「待ってる間に具合が悪くなる」という声も聞こえます。会計事務の効率化を早急にお願いします。このアンケートは年末の気ぜわしい時期に実施されないほうがよいと思いました。
50 代	中央	大田市全体の活気や賑わいの創出が必要ではないか。また、この地域で安心して暮らせるよう大田市立病院の医療体制の確保が必要。(現在の水準を維持、経営の支援)

健康づくり・地域医療		【医療機関・体制の充実】 3 件
年代	地域	内容
60 代	西部	医療体制 夜間・休日安心して受診出来るか。高齢者の足（通院・買い物）の確保は…車の免許返納〇、どうするか。など不安材料が多い。このまま大田市で暮らしていけるか…。
60 代	中央	医療体制の充実。(出雲市内の病院に頼るところも大きい為)若者の定住代(大田に戻って定住出来る体制、雇用・教育・医療の充実)
80 代以上	西部	地域の医療やをもっと多くしたい。

健康づくり・地域医療		【健康増進・医療費の削減】 1 件
年代	地域	内容
70 代	東部	高齢化が進みまして、健康で長生きしたいと思うこの頃です。知り合いと言っているんです。仁摩には温泉が 1ヶ所ありますが、以前ありました、ぴしゃもんがなくなりましたので、温泉がもう一つ出来るといいねと話しております。健康にもよいし、皆さんとのコミュニケーションがとれますし、元気が出ると思いますが.....

【商工業振興】 7 件

商工業振興		【大田駅前通りの活性化】 2 件
年代	地域	内容
70 代	温泉津	駅前商店街の淋しさを感じる。高齢者には不便なやさしくない街である。若い人の働く場所が少なく、都会に出ていき、帰ってこないのが先が不安である。
70 代	無回答	駅通り商店街を見ると寂しくなります。不要な家屋は解体あるいは活用し、人が集まるようになればと思います。楽しみもあれば尚いいです。美術館もあってほしいです。

商工業振興		【施設等の充実】 3 件
年代	地域	内容
70 代	高山	2 才前後から小学校に上がるまでの幼児期の子供が遊ぶ場所、施設があまりにも大田市に無い現状（特に雨等の悪天候時）、将来を担う子供達の子育て支援の充実に取り組んでほしい。
80 代以上	中央	大田市のグラウンドゴルフ場の建設 立派な設備 ゴルフ場のような芝生の施設 使用料は徴収する
20 代	東部	休日に過ごせる場所が欲しいです。(ネットカフェ、ゲームセンター)

商工業振興		【地域産業の振興】 2 件
年代	地域	内容
60 代	西部	もっと産業復興を考えて、計画的な企業への援助が必要。
60 代	東部	6次産業の起業、地産地消に向けた情報提供運営支援などの取組

【石見銀山遺跡・地域文化】 7 件

石見銀山遺跡・地域文化		【石見銀山の環境・文化の保全・活用】 7 件
年代	地域	内容
80 代以上	西部	大田市の歴史と言えば石見銀山の歴史でしょうが、それ以前の大田町の成り立ち、古道やお寺の起源等についての歴史、鎌倉、平安期の大田町近辺の状態等、大田の歴史として市民に認知することが大切と考える。市民会館内又は市役所等にて大田の歴史室を設けて、誰にも解りやすく展示することは大田のルーツを知る上で大切な事と思います。是非少しずつでも実現するようにしてほしい。
60 代	仁摩	小中高での教育の場で、大田市の歴史や文化財、産業等について伝えていき、大田市の良さを幼少時から知ってもらおう。条件を付けてではあるが、U ターン者へ補助金を授与する。
70 代	中央	私自身も含めて市民の気が無り、諦めている様に感じます。色々市の職員様も大変だと思います。諦めずに続けて行く事が大事なのは。銀山・三瓶、温泉津等文化的な資産は他市にまけないと思います。さらにこれらを生かす工夫を続ける。
50 代	東部	百年後にも大田市が大田市であり続けてほしい。大田市が元々持っている資源である「景観」に気づき、それを守り活かしてほしい。生きがいのある暮らしの空間が生まれ、大田市の価値の向上につながる持続的で豊かな自立した街にしたいと切に願います。
70 代	中央	他市並に、大田市も美術館を建設して欲しいです。
30 代	中央	世界遺産、日本遺産などたくさんあるにも関わらず、なかなか観光などにつながってないように感じます。教育面で産休の入られた先生のかわりの先生が定年を過ぎた先生…。当たり前前に受けられる教育面への充実をお願いします。子育て世帯は高齢世帯と同じように外出が大変なことがあります。特にスーパーから離れている家庭の負担は大きいです。小さな子を連れて出ることや病院へ行くことなど支援があれば良いと思います。(交通の便が少ない地域もあります)
60 代	高山	観光・自然は盛りだくさんなので、絞り切れていない。市民にも行政も「これしかない」という危機感がない。

【子育て支援】 6 件

子育て支援		【子育て支援の充実】 6 件
年代	地域	内容
20 代	中央	子育て環境の充実、補助金などの支援が必要だと思う。少子高齢化が一番重要な問題であり、全てに関係していると思うので、そこを重点的に考えてほしい。
50 代	仁摩	若者は出身町が不便(雪が多い、通勤に時間がかかる)なので大田や長久のアパートを借りて生活。家賃が高くて、なかなか結婚も出来ず、子育てが充実しているとはいえ病気の時の対応を考えると大変なことも。教育にも格差が広がっていると思う。年を重ねると、車のない生活は無理な環境では不安しかない。人に会うより、猿や猪を見る事が多く、ますます町から離れて地域での生活は不便、不自由しかないです。子供たちが生まれた町で結婚後も暮らしていける様な特策を考えていただけたらと願うばかりです。
40 代	中央	子ども達の学力にもっと目を向けた方がよいのではないかと(特に国語と算数(数学))
60 代	中央	子育て支援は必要だと思います。しかし、そこに携わる人たちの育成もそれ以上に大切なことのように思います。見近なところで言えば、大人が率先して「ことば」を交わす姿を見せなければ、子ども等も同じことをします。犯罪を恐れて人を避けることを教えることは、本当に教育でしょうか。思いやりのある心と行動のとれる子の育成に向けて支援する方が大事だと思います。
50 代	東部	お金がないと言っていたら本当に無くなってしまふ。無い無いと言っていないで、もっと前向きに楽しいこと考えて、明るい大田の未来を描いて頂きたい。子どもたちの発想は面白いので、子どもたちに大田の未来を描いてほしい。
60 代	中央	少子化対策、子育て環境整備

【企業誘致】 5 件

企業誘致		【企業誘致の推進】 5 件
年代	地域	内容
80 代以上	中央	大小かわりなく商工業の誘致、多くの若者、又子供の増加、活気ある楽しい町、又後期亨令者(運転無免許者)、生活(特に食生活に必要な品)の支障不安あり。小型でもよいので、高令者専

企業誘致		【企業誘致の推進】5件
年代	地域	内容
		用車1週間一度でもよいので利用できれば多少なりとも安心生活できるのではないかと思います。ヘルパーさん利用法もあるもやはり自分の目で見ながらの楽しみもあるために、欲っします。
70代	西部	大田市は高齢者の街となつては活力も発展も望めない。若者定住対策を最重点に、企業誘致等を加速して地元で就職、生活出来る魅力ある街にしていけないと若者離れでは将来大田市はますます衰退につながっていくと思います。
60代	仁摩	とにかく優良な企業の立地が一番だと思ひます。
80代以上	三瓶	大企業の誘地による人口の増加を期待する。
50代	東部	人を呼び寄せる施設。人口増加につながる取組み。税収確保のための企業誘致。道路の整備。世界遺産の活用。雇用の創出。

【消防・防災・防犯】5件

消防・防災・防犯		【災害時の避難場所の確保】2件
年代	地域	内容
70代	中央	大田市内を流れる三瓶川の山崎から下流の河川敷の樹木の伐採を早急をお願いします。大雨時流木による被害が心配、また町が二分され景観が悪い、10年前は自治会が年2回位ボランティアで行っていたのに「まちセン」からストップがかかり向こう岸が見えない位・・・。
60代	西部	自然災害時どのタイミングでどこに避難所が開設されているかの情報を得ることが難しく強い不安を感じます。銀山放送を経済的理由で設置出来ていないし、妨害放送も言っている事が聞き取れない。このまま年を重ねるともっと不便になりもっと不安が大きくなると感じる。生活困窮者が安心して暮らせるところになるよう希望します。

消防・防災・防犯		【安全・安心なまちづくり】2件
年代	地域	内容
50代	高山	台風などによる大雨・大水になった時の河川の整備。高速道路開通による、人口の流出、市内に来てもらえるよう大田商店街の魅力化。山が荒れて動物が街に寄って来ているように思えます。山の整備、活用。
70代	中央	災害のない町づくり(特に地滑りなど)

消防・防災・防犯		【災害時の迅速な対応】1件
年代	地域	内容
70代	中央	1.最近、自然災害が多いので各地域ごとに防災用品の備蓄が必要になるのではないのでしょうか？ 2.最近また家で孤立して人と接しない人が増えているので、とりあえず声をかけて一人一人のつながりが大切だと思います(犯罪につながらないように)

【農林水産業】4件

農林水産業		【農林水産業の振興】2件
年代	地域	内容
70代	温泉津	農地で自分が生活して行く為に必要な農地の取得が出来るような農地法の見直しが必要で取るのではないかと思います
70代	中央	老人が多くなるので、生きがいがあり健康で楽しく生活ができる大田市になったらいいと思います。3世代が同居しているので少しでも収入できる農業にしたいと思っています。

農林水産業		【鳥獣被害対策】2件
年代	地域	内容
70代	仁摩	猿対策を強化。費用3万ぐらいに(1匹)。インターネットやホームページが見れない(持っていない者は)どうすればいいか。
70代	仁摩	住み良い市、町にしたいが、畑を荒らされたり、私達の食料作りを害する動物(サル、他)。どうかして好しい。住み良い、住みたい町に皆で協力していきましょう。側溝へ枯葉が詰まって道路へ水が流れる、との高齢者の声があり、市政はかまってくれないとかおっしゃっ

農林水産業		【鳥獣被害対策】 2 件
年代	地域	内容
		ています。どうかしてあげてほしいと思います。

【ごみ対策・新エネルギー】 2 件

ごみ対策・新エネルギー		【ごみの分別・収集・リサイクルの周知等】 2 件
年代	地域	内容
60 代	東部	ゴミを道に捨てる人が多く、生き物を虐める事をなんとも思わない人が多い文化と外の人間からは見えています。外の世界をもっとよく知ってほしいと思います。
40 代	高山	市はゴミのリサイクルを重要な収入源と位置付けているがこれからナフコ駐車場リサイクル BOX や山口資源などへ貴重な収入源が流出するのではないかと地域のリサイクルに出して市の財源となるようにすべき。自治会で厳しすぎるリサイクルをしていると余計に流れる。その点も改革すべき。あと、自宅前のゴミ出しではなくある程度収集ステーションを増やして業者への委託金を削減すべき。特に大田の町中など家の前に出している割合が明らかに多い。現状維持派の反対を押しきってでも、ステーションを置くところがなくても知恵を出しあい改革すべき。

【学校教育】 1 件

学校教育		【大学の誘致】 1 件
年代	地域	内容
70 代	中央	財政状況、人口減少を踏まえ、満遍なく基盤整備するのではなく、拠点を整備していく必要がある。都市計画区域を早急に見直し、必要最小限にとどめてもらいたい。(今後の事業計画と整合性がとれているのか!)三瓶山にどこの大学でもいいので、自然・環境といった分野の学部を誘致できたらと思います。大田～三次間の高速道路の整備をお願いしたい。

【自然環境保全】 1 件

自然環境保全		【自然環境、文化を活かしたまちづくり】 1 件
年代	地域	内容
70 代	仁摩	自然をいかした町づくり。

【その他】 42 件

その他		【働く場の確保】 10 件
年代	地域	内容
50 代	中央	現在、自分達の子供世代が一生懸命学び、資格を取得しようとしているが、就職先に困っている状況(結果、県外就職をしている)。資格取得者に対する就労支援があるといいですね。
60 代	中央	一次産業の見直し。
80 代以上	中央	働き場を作る政策が必要
70 代	仁摩	仕事場、事業所、個人事業の拡大(キボ)数多く
60 代	西部	若者が働ける場所が増えるといいです。
30 代	温泉津	働き先の充実 道の駅や観光といった市外の人のためにお金をかけるのではなく市内の人のためになることにもっとお金を使ってほしい
30 代	東部	島根県内でも大田市は最低賃金である。希望が持てる様な体制(給料アップ)にして欲しい。
40 代	高山	仕事がない
80 代以上	温泉津	1.農林水産業の〇〇と後継者の支援。2.都会から若者が帰ってきて生活できる、安定した企業。
30 代	中央	働く場

その他		【アンケート調査の活用】7件
年代	地域	内容
50代	東部	このアンケートが本当に役に立っているのか疑問です。市職員の人件費縮減で、特に残業手当が一時期問題になっていたと思います。忙しい課は、他の課から応援してもらうとか、職員が団結して残業0にしてほしいです。創意工夫して大田市職員として誇りを持って仕事してください。
80代以上	西部	この意識調査は本当に無作為でしょうか？私はたびたび来るような気がします。90才近い者の考えが参考になるのでしょうか
70代	西部	対象者を20代～40代の方をお願いします。70以上になると質問に答えるのに苦労します。
50代	三瓶	このアンケート作成、大変だったと思います。ご苦労さまです。が内容が読むのもうんざりするようなものでした。面倒で正しく回答できないものでした。市民の意見がしっかり出せるようなもう少し簡潔なアンケートなら本気でアンケートに取り組みしていたのではないかと思います。すみません。
70代	中央	(1)一人何役、同じ顔触れだと (2)居座ることで (3)怠慢、惰性に繋がり、人の意見を聞かない、会に遅刻、早退を繰り返し、馴れ合いの会が多いと〇〇ける (4)新しい大田は望めない (5)役職は一人一つにし、全体〇〇の底上げをして、新大田市を作って頂きたい (6)少数部落でもポツンと一人ではないのだから。このアンケート、今年で三回目、先日は交通量のも記入しました。〇〇でした。〇数を書きました。この記入で意味ありますか。調査結果で〇りませんか？(ここから先は入力出来ませんでした)
60代	中央	このアンケートで何が改善されるか楽しみです。
70代	温泉津	大田市を盛り上げようとする人に〇を持たせて、協力、援助がしてあげられるようにしてほしい。このアンケートはなかなか難しい。質問に迷う返答が多かったです。

その他		【活気・魅力のある大田市の自立】1件
年代	地域	内容
60代	中央	自分が子供の頃、大田と出雲と格差は感じなかったが、今は。それがどうのこうのいうではないけれど。人口の減少は地域の衰退になったのか。目先の過去の行政が、先々を見据えた明日の布石となるような、少しでも自立できる地域になればと思います。

その他		【銀山テレビへの意見】2件
年代	地域	内容
80代以上	中央	世間に出ることが少なくなると、銀山テレビをよく見る。銀山テレビを見てこんな事をされているのだと知ることが多い。銀山テレビを活用されてほしい。
40代	東部	銀テレ告知放送のお悔やみのお知らせで、個人情報(職場)を伝えることに違和感を覚える、との声を多く聞きます(特に若い世代、家族が了承しているとはいえ…)

その他		【大田市の将来が不安】5件
年代	地域	内容
70代	西部	余り変化(すべての面で発展的)感じられない様に思う。
50代	東部	今のままでは大田市は消滅する。それも仕方ない。他所へ移る。
60代	高山	嫁に来た時、26軒の自治会が、現在、常会に集う人々は10軒。10年後、活動できる軒数は、3～4軒ぐらいかもしれません。考えてもいなかった事が、突然起こりびっくりしたのが、10年ぐらい前でした。猿のむれが30匹ぐらいに巨大化(1つの集団です)米や野菜も作れず、ふるさと教育と望んでも、地元三中の存続もむずかしく、統合という言葉で、ムダな支出を見直さなくてはなりません。猿の駆除と、少人数でも安全・安心して暮らせる学校作りはムリでしょうか。考えてもらいたいです。
70代	中央	人が少ないので、今まで通りにはできないし、期待すべきでない。
60代	中央	あまり希望が持てない

その他		【市職員への励まし・感謝、市への激励】4件
年代	地域	内容
80代以上	温泉津	何分にも高齢のため色々参加できませんが大田の人々が確実に成長します様祈っています。
20代	東部	住みやすい、いい所だなと思える大田市に期待しています。

その他		【市職員への励まし・感謝、市への激励】4件
年代	地域	内容
50代	中央	頑張ろう 大田市！！
80代以上	中央	一生懸命の姿が見えます。感謝しています。ありがとう

その他		【その他】13件
年代	地域	内容
80代以上	西部	身近なことですが、年金生活の中で必ず必要なゴミ袋代があまりにも高い（生活ごみは必ず出ます）
80代以上	中央	電波がないので携帯が使えず現代に取り残されたようです。大田市でも山奥にいるものは困ります。
70代	東部	後期高齢につきとんちんかん回答にお許しを。
50代	西部	問 24 の充実。
30代	中央	人口の減少、税収の減少など行政の〇〇か大きな〇〇、〇〇と〇中をするべきであるか、職員の意〇〇〇が出来ているか。市の〇〇から変えていくべき。
	三瓶	市民の数が減ることを考えての取り組み
60代	中央	邑南町では「邑南町公式アプリ」を作成しスマートフォン等で誰でも利用出来るようにしています。私は邑南町から見れば町外の住人ということになりますが、情報をリアルタイムに得ることができ、大変便利なので毎日のように見えています。大田市でも是非このようなアプリを作ってほしいです。
40代	西部	どうせ無駄なので書きません。
30代	中央	問 24 と同じ
60代	中央	ムキになって活性化させる必要はない。地方のひなびた町でもつつましくやかに身の丈に応じた暮らしで満足。箱物づくりで財政圧迫して将来につけを回さない方がよい。今あるインフラを維持することに重きを置く。
70代	西部	特になし
70代	中央	人口が減るということは、産業、環境すべて支える事が出来ないのであって、小さな市でもにぎやかな楽しい祭りが出来るくらい活性化してほしい。
40代	東部	ネオニコチノイド根絶

第2次大田市総合計画(後期計画)のための市民意識調査 ご協力をお願い ～ みなさまのご意見をお聞かせください ～

市民のみなさまには、日頃から市政運営にご理解、ご協力をいただき、厚くお礼を申し上げます。

さて、本市では、まちづくりの指針である「第2次大田市総合計画」に基づき、市の将来像である『子どもたちの笑顔があふれ、みんなが夢を抱けるまち“おおだ”』の実現に向けて、様々な施策を行っています。

この施策を計画的かつ効率的に推進するとともに、市民のみなさまの満足度の高いまちづくりを進めていくため、令和5年度から令和8年度までの4年間の基本計画や実施計画策定にあたっての基礎資料とすることを目的に、市民のみなさまのご意向や本市が行っている施策の満足度、重要度などについてお聞きする意識調査を実施することといたしました。

つきましては、大変お忙しいところ誠に恐縮ですが、本調査の趣旨をご理解いただき、なにとぞ、ご協力をたまわりますようお願い申し上げます。 令和3年12月

■本意識調査について

○対象者

今回の意識調査は、18歳以上の市民のみなさま（令和3年12月現在）の中から、**無作為に抽出した2,000名**を対象に郵送により行うものです。

○個人情報やプライバシー保護

この「調査票」に回答された内容は、**統計的に処理しますので、個人が特定されることはありません。**なお、ご回答いただいた内容は、**本調査の目的以外には一切使用いたしません。**

■回答にあたってのお願い

○回答は、「調査票」に直接ご記入、またはインターネット（パソコン・スマートフォンなどからアクセス）のいずれかの方法でご回答ください。

○お送りした「あて名」のご本人がお答えください。ご本人の記入等が困難な場合は、ご本人の意思を反映されて、ご家族のかたなどが記入等されてもかまいません。

○ご記入後の「調査票」は、同封の返信用封筒に折って入れ、**令和4年1月20日（木曜日）**までに、郵便ポストへ投函してください。（切手を貼る必要はありません）

なお、パソコン・スマートフォンなどで回答されたかたは、このアンケート用紙の提出は不要です。

【パソコン・スマートフォンなどから回答される場合】（回答締め切りは令和4年1月20日23時59分です）

下記 URL からアクセスしてください。

https://s-kantan.jp/city-ohda-shimane-u/offer/offerList_detail.action?tempSeq=10075

二次元コード対応のスマートフォンなどをご利用の場合は、下図の二次元コードから回答用の画面にアクセスすることができます。（利用者登録をせずに回答ページに進んでください）



お問い合わせ先

大田市役所 政策企画部政策企画課（担当：石飛・阿部）

電話：0854-83-8005 メール：o-seisaku@city.ohda.lg.jp

2. 現在の住環境についておたずねします

問10 あなたは、大田市にお住まいになって通算で何年くらいになりますか。

(1つ選んで○をつけてください) ※合併前の旧市・旧町を含めてお答えください。

- | | | |
|---------------|---------------|--------------|
| 1. 1年未満 | 2. 1年以上5年未満 | 3. 5年以上10年未満 |
| 4. 10年以上20年未満 | 5. 20年以上30年未満 | 6. 30年以上 |

問11 あなたは、大田市の「住み心地」についてどう感じていますか。

(1つ選んで○をつけてください)

- | | |
|------------------|------------------|
| 1. 大変住みやすい | 2. どちらかといえば住みやすい |
| 3. どちらかといえば住みにくい | 4. 住みにくい |
| 5. どちらともいえない | |

問12 あなたは、今後も大田市に住み続けたいと思いますか。(1つ選んで○をつけてください)

- | | | |
|----------------|-----------------|------------|
| 1. 今の場所で住み続けたい | 2. 市内の他の地域へ移りたい | 3. 市外へ移りたい |
| 4. どちらともいえない | | |

↓
【「1」と回答したかたは
問12-1をお答えください】

問12-1. 住み続けたい主な理由は何ですか。
(あてはまるものを3つまで選んで○をつけてください)

1. 自然環境がよい
2. 騒音・悪臭など公害が少なく住環境がよい
3. 医療機関や福祉サービスが充実している
4. 子育てをしやすい
5. 買い物などの日常生活が便利
6. 都市基盤が整っている
7. 交通の便がよい
8. 公共施設が充実している
9. 子どもの教育環境がよい
10. 安全に暮らせる
11. 地域の人間関係がよい
12. 学校や仕事、家族の都合
13. 住み慣れていて愛着がある
14. その他()

↓
【「2」または「3」と回答したかたは
問12-2をお答えください】

問12-2. 移りたい主な理由は何ですか。
(あてはまるものを3つまで選んで○をつけてください)

1. 自然環境がよくない
2. 公害など住環境がよくない
3. 医療機関や福祉サービスが充実していない
4. 子育てをしにくい
5. 買い物などの日常生活が不便
6. 都市基盤が整っていない
7. 交通の便がよくない
8. 公共施設が充実していない
9. 子どもの教育環境がよくない
10. 安全に暮らせない
11. 地域の人間関係がよくない
12. 学校や仕事、家族の都合
13. 愛着がない
14. その他()

問13 あなたは、ここ数年の間で、お住まいの周辺の生活環境について、全般的にどのような感じていますか。(1つ選んで○をつけてください)

- | | |
|-----------------|-----------------|
| 1. 以前より住みやすくなった | 2. 以前より住みにくくなった |
| 3. 良くも悪くもなっていない | 4. わからない |

↓
【「1」または「2」と回答したかたは問13-1をお答えください】

問13-1. その理由は
何ですか。

大田市の施策の項目		【A】現状の満足度					【B】今後の重要度				
		満足	やや満足	やや不満	不満	重要	やや重要	あまり重要ではない	重要ではない		
①生涯スポーツの推進	・スポーツ活動の推進やスポーツ施設の改修、大田市健康・体力づくり市民大会・三権高原クロスカントリー大会などの交流活動の推進 など	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
②地域間交流の推進	・小中学生の山村留学（長期・短期）の推進 ・韓国の大田（テジョン） 慶城市や岡山県笠岡市との国内外交流の推進 など	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
生活環境に関する取り組み											
③自然環境の保全	・海岸・河川等の自然環境の保全と、自然や歴史を活かした景観づくり など	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
④ごみの減量化とリサイクルの促進	・ごみ・し尿処理の対策、ごみのリサイクルの推進、太陽光発電などの新エネルギー導入の推進 など	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
⑤飲料水の確保と供給	・上水道・簡易給水施設の整備	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
持続可能なまちづくり・行財政に関する取り組み											
⑥持続可能なまちづくりの推進	・市民と行政による持続可能なまちづくりの推進、まちづくりセンターの活動支援 ・広報誌の発行・ホームページの充実による市民との情報の共有化の推進 など	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
⑦地域サポート体制の充実	・各ブロックの活動支援、自治会集会所建設などへの助成 など	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
⑧行財政改革の推進	・公共施設の総延床面積の削減 ・歳入の確保(市税、ふるさと納税制度などの有効活用) ・歳出の削減(人件費などの経常的経費)など	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

問15 問14の「①から⑧」の取り組み項目のうち、特にあなたが今後『重要』だと思う施策は何ですか。(あてはまるものを3つまで選んで○をつけてください)

1. 商工業の振興	2. 観光の振興	3. 新産業の創出
4. 農林水産業の振興	5. 企業誘致活動の推進	6. 産業人材の確保・育成
7. 子育て支援の充実	8. 保健、地域医療の充実・確保	9. 高齢者等の福祉の充実
10. 人権尊重の推進	11. 計画的な土地利用の促進	12. 都市基盤の整備
13. 道路ネットワークの整備	14. 公共交通の確保	15. 情報通信網の整備・活用
16. 安全な生活の確保	17. 遺跡保全と歴史・文化の振興	18. 学校教育の推進
19. 生涯学習の推進	20. 生涯スポーツの推進	21. 地域間交流の推進
22. 自然環境の保全	23. ごみの減量化とリサイクルの促進	24. 飲料水の確保と供給
25. 持続可能なまちづくりの推進	26. 地域サポート体制の充実	27. 行財政改革の推進
28. その他 ()		

4. 大田市の行政についておたずねします

問16 あなたは、大田市の行政について関心をお持ちですか。(1つ選んで○をつけてください)

1. 関心がある
2. どちらかといえば関心がある
3. どちらかといえば関心がない
4. 関心がない
5. どちらともいえない

問17 大田市では、ホームページや広報誌を通じて、市政に関する情報提供を行うとともに市政に対する意見や提案を「市民の声」としていただき、まちづくりの施策に活かすよう努めています。今後、いっそう市民参画の市政を行っていくために、どのようなことが重要だとお考えですか。(あてはまるものを2つまで選んで○をつけてください)

1. 市民説明会・意見交換会など、重要事項に関する直接的な対話機会の充実
2. 市長と対話できる機会の充実
3. 幅広い市民参加の促進
4. 審議会などへの市民参画の充実
5. アンケート調査など市民の意見を聴く機会の充実
6. パブリックコメント（意見公募）の充実
7. 広報誌やホームページなどによる情報提供の機会の充実
8. その他（ ）

問18 地方自治体を取り巻く財政状況は依然として厳しく、限られた財源をより効果的に配分・活用していくことが今後、いっそう求められています。大田市においても経費の削減や収入の確保に努めていますが、このような時代を迎え、これからの行政サービスのあり方について、どのようにお考えですか。(1つ選んで○をつけてください)

【行政サービスとは】

・地域住民が安心して快適に暮らすことができるように自治体が行うサービスです。
日常生活に係るさまざまな分野に及びます。

例) 住民窓口・住民相談、子育て支援、高齢者・障がい者等の福祉、地域医療・保健、教育・文化、ごみ収集・処理、環境・衛生、産業の振興、上下水道・道路・公共施設の整備や維持管理、公共交通機関の確保など

1. 現在の行政サービスを確保するためには、市民の負担増はやむを得ない
2. 市民の大幅な負担増を行ってでも、現在よりも行政サービスを充実したほうがよい
3. 市民の負担増をすることなく、行政サービスの重点化を図り、その種類や水準について見直す
4. 現在より行政サービスが低下しても、市民の負担は少ないほうがよい
5. その他（ ）

問24 大田市では、出生数の減少等により、人口減少が進んでいます。若者等の定住対策としてどのような取り組みが必要だと思いますか。
ご提案などがありましたら、下記へご自由にお書きください。

7. 大田市の情報発信についてあなたのご意見をおうかがいします

問25 市の広報は、市政運営の方針や各種施策・業務・活動を様々な媒体を通して市民の皆さんをはじめとした、市に関心を寄せていただける人たちに広く情報発信をしています。あなたは、市からの情報（お知らせ）をどのような方法で入手していますか。（あてはまるものを**すべて選んで**○をつけてください）

1. 広報おおだ	2. 市ホームページ
3. 市公式SNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス/Facebook、LINE、YouTube）	
4. 音声告知	5. ケーブルテレビ
6. 報道（新聞、テレビ）	7. その他（ ）

問26 「広報おおだ」は、市民に最も身近な広報媒体です。全戸配布による浸透性も高いことから、世代を問わず市の取り組みを理解してもらうため、市民に分かりやすい広報誌の作成に心がけています。
あなたは、「広報おおだ」をどの程度読んでいますか。（**1つ選んで**○をつけてください）

1. 全ページ	2. 必要な記事だけ	3. 見出し程度	4. 表紙程度	5. 読んでいない
---------	------------	----------	---------	-----------

問27 あなたは、「広報おおだ」のページ数をどのように感じますか。（**1つ選んで**○をつけてください）

1. 多い	2. やや多い	3. ちょうどいい	4. やや少ない	5. 少ない
-------	---------	-----------	----------	--------

問28 どのような情報を「広報おおだ」で取り上げてほしいですか。（あてはまるものを**3つまで選んで**○をつけてください）

1. 市政情報・まちづくり	2. 観光・イベント	3. 産業	4. 子育て
5. 道路・河川・上下水道	6. 介護・福祉	7. 健康・医療	8. 学校・教育
9. 文化・スポーツ・生涯学習	10. 環境・ごみ対策	11. 防災・防犯	12. その他（ ）

※ 「広報おおだ」は、市ホームページでも掲載しています。スマートフォンやタブレットなどいつでも広報を確認することができます。

問29 市のホームページでは、皆さんが知りたい情報に到達しやすいほか、スマートフォンやタブレットなどでも閲覧がスムーズにおこなわれるよう努めています。
あなたは、市ホームページをどのくらい利用していますか。（**1つ選んで**○をつけてください）

1. ほぼ毎日	2. 週に1～3回	3. 月に数回	4. 半年に数回	5. 年に数回
6. その他（ ）	7. 利用していない	➡【問32へお進みください】		

問30 市ホームページに掲載している情報が役に立ちましたか。(1つ選んで○をつけてください)

- | | | |
|-------------|----------|----------------|
| 1. とても役に立った | 2. 役に立った | 3. あまり役に立たなかった |
| 4. 役に立たなかった | 5. わからない | |

問31 あなたは、市ホームページでどのような情報を探しましたか。(1つ選んで○をつけてください)

- | | | | |
|-----------------|-------------|-----------|------------|
| 1. 市政情報・まちづくり | 2. 観光・イベント | 3. 産業 | 4. 子育て |
| 5. 道路・河川・上下水道 | 6. 介護・福祉 | 7. 健康・医療 | 8. 学校・教育 |
| 9. 文化・スポーツ・生涯学習 | 10. 環境・ごみ対策 | 11. 防災・防犯 | 12. その他() |

問32 近年、スマートフォンなどの普及に伴い、SNSを利用する人が増えています。SNSは、リアルタイムで更新され、情報の拡散性が高く、広く情報発信ができることから市でも複数のSNSを活用しています。

あなたは、どのようなSNSを日常生活で利用していますか。(あてはまるものをすべて選んで○をつけてください)

- | | | | | |
|-------------|------------|-----------------|------------|--------------|
| 1. Facebook | 2. LINE | 3. YouTube | 4. Twitter | 5. Instagram |
| 6. その他() | 7. 利用していない | → 【問35へお進みください】 | | |

問33 あなたは、どのようなSNSで行政情報を知りたいですか。(あてはまるものをすべて選んで○をつけてください)

- | | | | | |
|-------------|---------|------------|------------|--------------|
| 1. Facebook | 2. LINE | 3. YouTube | 4. Twitter | 5. Instagram |
| 6. その他() | | | | |

問34 どのような情報を市公式SNSに取り上げてほしいですか。(あてはまるものを3つまで選んで○をつけてください)

- | | | | |
|-----------------|-------------|-----------|------------|
| 1. 市政情報・まちづくり | 2. 観光・イベント | 3. 産業 | 4. 子育て |
| 5. 道路・河川・上下水道 | 6. 介護・福祉 | 7. 健康・医療 | 8. 学校・教育 |
| 9. 文化・スポーツ・生涯学習 | 10. 環境・ごみ対策 | 11. 防災・防犯 | 12. その他() |

※ 大田市公式SNSのフォローや登録をお願いします。



Facebook



LINE



YouTube

8. 最後に大田市へ対するあなたのご意見をおうかがいします

問35 あなたは、大田市に「自分のまちとしての愛着や誇り」を感じますか。(1つ選んで○をつけてください)

- | | | |
|------------------|------------------|--------------|
| 1. 愛着や誇りを感じる | 2. ある程度愛着や誇りを感じる | |
| 3. あまり愛着や誇りを感じない | 4. 愛着や誇りを感じない | 5. どちらともいえない |

問36 あなたは、大田市のどのようなところがセールスポイント（自慢できるところ）だと思いますか。（あてはまるものを**3つまで選んで**○をつけてください）

- | | |
|---------------------------|-------------------------|
| 1. 自然環境や温泉に恵まれている | 2. 世界遺産「石見銀山遺跡とその文化的景観」 |
| 3. 日本遺産「神楽」 | 4. 日本遺産「火山」 |
| 5. 大山隠岐国立公園「三瓶山」 | 6. 歴史や文化・伝統芸能が豊か |
| 7. 地域の祭り・イベント | 8. 地場産品や食べ物が美味しい |
| 9. 人情・気質がよい | 10. ものづくりの技術や産業資源が豊か |
| 11. 優良な企業の立地 | 12. 学校の教育環境が充実している |
| 13. 子育て支援が充実している | 14. 医療機関や体制が充実している |
| 15. 高齢者や障がい者の福祉が充実している | 16. 犯罪や事故が少ない |
| 17. セールスポイント（自慢できるところ）はない | |
| 18. その他（
） | |

問37 あなたは、大田市での生活において、どのようなことに不安や心配を感じていますか。（あてはまるものを**3つまで選んで**○をつけてください）

- | | |
|------------------------|-------------------|
| 1. 自分や家族の健康 | 2. 高齢者・障がい者に対する福祉 |
| 3. 学校の教育環境 | 4. 子育て支援 |
| 5. 地域の医療機関や体制 | 6. 少子化や若者の流出 |
| 7. 地域産業の縮小（担い手不足など） | 8. 雇用環境 |
| 9. 身近な商店などの閉店 | 10. 中心市街地や商店街の賑わい |
| 11. 地域コミュニティ（地域の人づきあい） | 12. 犯罪・事故や災害 |
| 13. バスなどの公共交通 | 14. 地域の文化・伝統芸能 |
| 15. 自然環境 | 16. 行財政の維持・税金の負担 |
| 17. 不安や心配ごとはない | |
| 18. その他（
） | |

問38 これからの大田市のまちづくりに必要と考える取り組みや市に対するご意見、ご提案などがありましたら、下記へご自由にお書きください。

以上で質問は終わりです。最後までご協力いただき、ありがとうございました。
ご記入いただいたこの調査票は、返信用封筒（切手は不要）に入れて、
令和4年1月20日（木）までに、投函してください。